

東田中遺跡 2

一般国道6号千代田石岡バイパス
(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書 10

上 卷

平成 31 年 3 月

国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
公益財団法人茨城県教育財団

ひがし た なか
東田中遺跡 2

一般国道6号千代田石岡バイパス
(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書10

上 卷

平成 31 年 3 月

国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所
公益財団法人茨城県教育財団



第2号貝層全景（南東から）



第2号貝層出土土器

序

公益財団法人茨城県教育財団は、国や県などの各事業者から委託を受けて埋蔵文化財の発掘調査と整理業務を実施することを主な目的として、昭和52年に調査課が設置されて以来、数多くの遺跡の発掘調査を実施し、その成果として文化財調査報告書を刊行してきました。

この度、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所による一般国道6号千代田石岡バイパス（かすみがうら市市川～石岡市東大橋）建設事業に伴って実施した、茨城県石岡市東田中遺跡の発掘調査報告書を刊行する運びとなりました。

平成23・25年度に実施した調査の成果については、既に当財団文化財調査報告第407集として平成28年3月に刊行したところです。

今回の調査によって、縄文時代の厚さ2mを越す貝層や多様な遺物が出土した遺物包含層の様子などが明らかになりました。これらの成果は、当地域の社会の成り立ちや歴史を知る上で欠くことのできない貴重な資料となります。

本書が、歴史研究の学術資料としてはもとより、郷土の歴史に対する理解を深め、教育・文化の向上のための資料として広く活用いただければ幸いです。

最後になりますが、発掘調査から本書の刊行に至るまで、多大な御協力を賜りました委託者であります国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所に対して厚く御礼申し上げますとともに、茨城県教育委員会、石岡市教育委員会をはじめ、御指導、御協力をいただきました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成31年 3月

公益財団法人茨城県教育財団
理事長 野口 通

例 言

- 1 本書は、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所の委託により、公益財団法人茨城県教育財団が平成25・26年度に発掘調査を実施した、茨城県石岡市東田中宇柄柄833番地ほか[※]に所在する東田中遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査期間及び整理期間は以下のとおりである。
調査 平成26年1月1日～平成26年3月31日（4区）
平成26年7月1日～平成27年1月31日（4区及び5区の一部）
整理 平成30年4月1日～平成31年3月31日（4区）
- 3 発掘調査は、調査課長白田正子のもと、以下の者が担当した。
平成25年度
首席調査員兼班長 綿引 英樹
次席調査員 小川 貴行
調査員 櫻井 二郎
平成26年度
首席調査員兼班長 酒井 雄一
次席調査員 舟橋 理 平成26年7月1日～9月30日
次席調査員 作山 智彦
調査員 江原美奈子 平成26年11月1日～平成27年1月31日
調査員 根本 康弘 平成26年10月1日～12月31日
- 4 整理及び本書の執筆・編集は、整理課長皆川修のもと、以下の者が担当した。
次席調査員 作山 智彦
調査員 見越 広幸 平成30年6月1日～9月30日
平成30年11月1日～平成31年2月28日
- 5 本書の執筆分担任は、下記のとおりである。
次席調査員 作山 智彦 第1章～第3章第3節1(1)・(3)・(4)、第4節
調査員 見越 広幸 第3章第3節1(2)編集、(4)、2、3
パリオ・サーヴェイ株式会社 第3章第3節1(2)
- 6 漆喰状白色物質、炭化材、自然遺物等の自然科学分析については、パリオ・サーヴェイ株式会社に委託し、その成果は、当財団が編集した上で第3章第3節1(2)に掲載した。
縄文土器の一部の実測図化業務については、株式会社シン技術コンサルに委託した。
- 7 当遺跡の出土遺物・柱状サンプル及び実測図・写真等の資料は、茨城県埋蔵文化財センターにて保管している。なお、発掘調査中に水洗選別を実施しなかった貝層土壌は、石岡市教育委員会にて保管している。

凡 例

- 1 当遺跡の地区設定は、日本平面直角座標第Ⅸ系座標に準拠し、 $X = + 19,440 \text{ m}$ 、 $Y = + 41,960 \text{ m}$ の交点を基準点 (A 1a) とした。なお、この原点は、世界測地系による基準点である。

この基準点を基に遺跡範囲内を東西・南北各々40m四方の大調査区に分割し、さらに、この大調査区を東西・南北に各々10等分し、4m四方の小調査区を設定した。

大調査区の名称は、アルファベットと算用数字を用い、北から南へA、B、C…、西から東へ1、2、3…とし、「A 1区」のように呼称した。さらに小調査区は、北から南へa、b、c…j、西から東へ1、2、3、…0と小文字を付し、名称は、大調査区の名称を冠して「A 1a 1区」のように呼称した。

- 2 調査区の呼称について、平成25年度調査分を1区及び4区、平成26年度調査分を4区及び5区の一部としている。

- 3 実測図・一覧表・遺物観察表等で使用した記号は次のとおりである。

遺構 HG - 遺物包含層 SD - 溝跡 SK - 土坑 SM - 貝層

遺物 B - 骨角器 DP - 土製品 N - 自然遺物 Q - 石器・石製品 S - 貝製品

土層 K - 攪乱

- 4 遺構・遺物実測図の作成方法については、次のとおりである。

(1) 遺構全体図は400分の1、各遺構の実測図は原則として80分の1の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(2) 遺物実測図は、原則として3分の1の縮尺とした。種類や大きさにより異なる場合は、個々に縮尺をスケールで表示した。

(3) 遺構・遺物実測図中の表示は、次のとおりである。

 純貝層  混土貝層  混貝土層

 焼土・赤彩  黒色処理

● 石器 ○ 土製品 □ 石器・石製品 ■ 骨角器 ▲ 貝製品 △ 自然遺物

- 5 土層観察と遺物における色調の判定は、『新版標準土色帖』（小山正忠・竹原秀雄編著 日本色研事業株式会社）を使用した。また、土層解説中の含有物については、各々総量を記述した。

- 6 遺構一覧表・遺物観察表の表記は、次のとおりである。

(1) 計測値の単位はm、cm、kg、g、Lで示した。なお、現存値は（ ）を、推定値は[]を付して示した。

(2) 遺物番号は通し番号とし、本文、挿図、観察表、写真図版に記した番号と同一とした。

(3) 遺物観察表の備考の欄は、残存率、写真図版番号及びその他必要と思われる事項を記した。

- 7 遺構の主軸は、長軸（径）方向とみなした。長軸・長径方向は、座標北からみて、どの方向にどれだけ振れているかを角度で表示した（例 N - 10° - E）。

- 8 今回の報告分で、整理の段階で遺構名を変更したものと及び欠番にしたものは以下のとおりである。

変更 SI 32・SM 2 第Ⅸ層 → HG 3

欠番 SK 355

目 次

-上 卷-

序	
例 言	
凡 例	
目 次	
東田中遺跡の概要	1
第1章 調査経緯	3
第1節 調査に至る経緯	3
第2節 調査経過	4
第2章 位置と環境	5
第1節 位置と地形	5
第2節 歴史的環境	5
第3章 調査の成果	12
第1節 調査の概要	12
第2節 基本層序	12
第3節 遺構と遺物	16
1 縄文時代の遺構と遺物	16
(1) 斜面貝層	16
(2) 自然科学分析	
ア はじめに	165
イ 漆喰状白色物質の素材	165
ウ 炭化材および放射性炭素年代測定	168
エ 貝塚及び遺構出土骨貝類の種類構成	171

-下 卷-

(3) 土 坑	249
(4) 遺物包含層	253
2 江戸時代以降の遺構と遺物	339
溝 跡	339
3 その他の遺物	340
遺構外出土遺物	340
第4節 まとめ	341
写真図版	PL 1 ~ PL72
抄 録	
付 図	

東田中遺跡の概要

遺跡の位置と調査の目的

東田中遺跡は、石岡市の南東部に位置し、^{さんのうがわ}山王川左岸の標高約 25 m の台地上に立地しています。一般国道 6 号千代田石岡バイパス建設事業に伴い、遺跡の内容を図や写真に記録して保存するため、公益財団法人茨城県教育財団が平成 25・26 年度に調査 4 区の発掘調査を行いました。



調査の内容と成果

今回の調査で、縄文時代の^{しゃめんかいそう}斜面貝層（^{かいづか}貝塚）1 か所、^{どこう}土坑 4 基、^{いぶつほうがんそう}遺物包含層 3 か所、江戸時代以降の^{みぞあと}溝跡 1 条を確認しました。

斜面貝層や遺物包含層からは、多数の縄文土器片のほか、^{ぞく}鐵・^{まぜいせき}磨製石斧・^{ぼんいし}凹石などの石器、^{みみかざ}耳飾りや^{たれかざ}垂飾りなどの土製品、動物の骨や角などを加工した^{こつかくき}骨角器、^{かいじん}貝刃や^{かいわ}貝輪などの貝製品等の生活道具や装身具が出土しています。



遺跡遠景（北から）



厚さ約2 mにおよぶ貝層



幾重にも堆積した貝層



加工痕のある鹿角（第2号貝層第Ⅷ層）



調査終了状況（第3号遺物包含層）

斜面貝層からは、縄文時代中期終わり頃（約4,500～4,000年前）の暮らしの様子や自然環境などを考える上で役立つ資料が多数出土しました。規模は、長軸約10 m、短軸約8 m、厚さ約2 mで、多量の貝類が谷部の窪地を埋めつくすように堆積していました。出土した貝類は、マガキ、ハマグリなどの二枚貝や、ウミニナ、アカニシなどの巻貝で、現代のわたしたちにもなじみのある美味なものもみられます。最も多い貝類は、マガキと考えられます。また、マイワシのようなニシン亜科、クロダイ、ヒラメなどの魚骨が出土しています。これらの貝類や魚類は、主に海水域に生息すること、漁網のおもりとなる土器どき片へん錘すいや獲物を突き刺すヤスなどの漁労具が出土していることから、縄文海進にともなって現在の霞ヶ浦周辺に広がった入江状の海で、人々は漁労をしながら生活していたことが明らかになりました。このほか、カモ科やイノシシなどの鳥獣骨、クリ材やオニグルミなどの植物も出土しています。

第1章 調査経緯

第1節 調査に至る経緯

国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所は、かすみがうら市及び石岡市において一般国道6号千代田石岡バイパス（かすみがうら市市川～石岡市東大橋）の道路整備を進めている。

平成10年11月12日、建設省関東地方建設局常陸工事事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに一般国道6号千代田石岡バイパス建設事業地内における埋蔵文化財の所在の有無及びその取扱いについて照会した。これを受けて茨城県教育委員会は、路線予定地内の東田中地区について平成11年2月8日～3月3日までの間に現地踏査を、平成23年1月5～7日に試掘調査を実施し、遺跡の所在を確認した。平成23年3月1日、茨城県教育委員会教育長は、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長あてに事業地内に東田中遺跡が所在すること及びその取扱いについて別途協議が必要である旨を回答した。

平成25年1月23日、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに文化財保護法第94条に基づき、土木工事等のための埋蔵文化財包蔵地の発掘について通知した。平成25年1月30日、茨城県教育委員会教育長は、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長あてに現状保存が困難であることから記録保存のための発掘調査が必要であると決定し、工事着手前に発掘調査を実施するよう通知した。

平成25年2月28日及び平成26年2月14日、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長は、茨城県教育委員会教育長あてに一般国道6号千代田石岡バイパス建設事業に係る埋蔵文化財発掘調査の実施についての協議書を提出した。平成25年3月4日及び平成26年2月19日、茨城県教育委員会教育長は、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長あてに東田中遺跡について発掘調査の範囲及び面積等について回答し、併せて調査機関として公益財団法人茨城県教育財団を紹介した。

公益財団法人茨城県教育財団は、国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所長から埋蔵文化財発掘調査事業について委託を受け、平成25年度は1・4区を併せて平成25年10月1日から平成26年3月31日までの内、4区は平成26年1月1日から3月31日まで発掘調査を実施した。平成26年度は5区の一部と併せて平成26年7月1日から平成27年1月31日まで発掘調査を実施した。

第2節 調査経過

東田中道跡4区の調査は、平成26年1月1日から3月31日まで及び平成26年7月1日から平成27年1月31日までの計10か月にわたって実施した。以下、その概要を表で記載する。

平成25年度

工程	期間	1月	2月	3月
調査準備 表土除去 構造確認				
遺構調査				
遺物洗浄 写真整理				
撤収				

平成26年度

工程	期間	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
調査準備 表土除去 構造確認								
遺構調査								
遺物洗浄 写真整理								
撤収								

第2章 位置と環境

第1節 位置と地形

東田中遺跡は、茨城県石岡市東田中丁目833番地ほかに所在している。

石岡市域の地勢は、霞ヶ浦の北西、県中央部に広がる洪積台地を主体としている。筑波山系の加波山に源を発する恋瀬川が、北西から南東方向に流れて霞ヶ浦の高浜入りに注ぎ、両岸には、標高20～30mほどの台地が広がっている。市の北西域は、恋瀬川とその支流によって、高地、台地、低地と起伏に富んだ地形が形成され、恋瀬川上流右岸の台地上は、柿岡地区を中心とした旧八郷市街地が広がっている。南東域は南端の高浜から市域の中央部に位置する龍神山麓まで、約8kmにわたり、幅1.5kmほどの狭長な台地が形成され、恋瀬川と園部川、その間を流れる山王川によって支谷が刻まれている。恋瀬川左岸に位置するこの台地は、標高20～30mほどの平坦な地形で石岡台地と呼ばれ、現在は石岡市街地が広がっている。

地質は、未固結の砂を主とする石崎層、浅海性の貝化石を産する海成の砂層である美和層を基盤とし、その上に茨城粘土層（常総粘土層）と呼ばれる層、さらに、褐色の関東ローム層が連続して堆積し、最上部は腐食土層となっている¹⁾。

東田中遺跡は、石岡市の南東部、霞ヶ浦の高浜入りに注ぐ山王川左岸の支谷に挟まれた標高20～25mの舌状台地上に立地している。遺跡から山王川の河口までは、南へ1.5kmである。遺跡の所在する舌状台地は、南北長約750m、東西幅約400mで、西側と東側に幅の狭い支谷が入り込み、その低位面との比高は約12mである。台地は山林や畑地として、沖積低地は水田として利用されている。

第2節 歴史的環境

恋瀬川流域や霞ヶ浦沿岸の石岡市、かすみがうら市、小美玉市には、多くの遺跡が分布している。ここでは、東田中遺跡に関連する周辺遺跡を中心に、時代ごとに記述する。

恋瀬川流域や霞ヶ浦沿岸における旧石器時代の様相は、未だ不明な点が多い。東田中遺跡から28kmほど南東に位置する小美玉市館山遺跡²⁾では、縦長剥片を素材としたナイフ形石器、台形棒石器、石核、縦長剥片などが出土している。館山遺跡に隣接する権現平古墳群³⁾や権現山古墳⁴⁾の調査では、槍先形尖頭器、ナイフ形石器、搔器、削器などが出土している。また、当遺跡から小谷を挟んで東側に位置する大作台遺跡⁵⁾(10)では、石器集中地点が確認され、石錐、石核、剥片などが出土している。石材は黒色安山岩とチャートが中心である。恋瀬川流域においても当財団の調査によって、田島遺跡（田島下地区）⁶⁾(51)では頁岩製のナイフ形石器、田島遺跡（三面寺地区）⁷⁾と中津川遺跡⁸⁾(44)では頁岩製の縦長剥片がそれぞれ出土している。

縄文時代の遺跡は、草創期から晩期にかけて各時期のものが確認されている。東田中遺跡周辺では、山王川を挟んで対岸に位置する植堀遺跡⁹⁾(41)で、早期の炉穴11基、前期の堅穴建物跡11棟、中期の堅穴建物跡3棟、後期の堅穴建物跡1棟が確認されている。その他、早期・前期の茅山式・関山式期の遺構が確認された大谷津遺跡¹⁰⁾(48)、前期の花積下層式期の堅穴建物跡が5棟確認された田島遺跡（南光院地区・南光院下地区）¹¹⁾、茅山式期の堅穴建物跡が3棟、前期の黒浜式期の堅穴建物跡7棟、前期の浮島式・諸磯式期の堅穴建物跡32棟が確認された外山遺跡¹²⁾(47)、浮島式・諸磯式期の堅穴建物跡が15棟確認された新池台遺跡¹³⁾(66)、前期か

ら後期までの堅穴建物跡が確認された中津川遺跡など多くの集落跡のほか、早期から前期の遺物包含層などが確認された東大橋逆井遺跡¹⁴⁾(80)がある。中期の遺跡では、有段式堅穴遺構や袋状土坑が確認された東田中遺跡¹⁵⁾、東大橋原遺跡¹⁶⁾(76)や大作台遺跡¹⁷⁾、堅穴建物跡や袋状土坑が確認された三村城跡¹⁸⁾(34)などがある。特に、東大橋原遺跡は遺物の分布範囲が約80,000m²に及ぶ大きな遺跡で、当時期の中心的集落と思われる。後期になると、東田中遺跡周辺の遺跡数は減少するが、東田中遺跡から南東へ2.1kmのところ、部室貝塚¹⁹⁾(22)が所在する。部室貝塚は、中期から晩期にかけてのもので、斜面貝層3か所、地点貝塚14か所が確認されている。斜面貝層はハマグリ、サルボウ、シオフキ、マガキなどの鹹水性の貝種で構成されている。調査によって、中期前葉から後期後葉にかけて形成された斜面貝層の下から加曾利B式期の土坑及び堀之内式期の堅穴建物跡が、地点貝塚の下から堀之内式期の堅穴建物跡がそれぞれ確認されている。晩期になると遺跡数はさらに減少し、部室貝塚など限定された地域にだけ遺跡が展開するようになる。この現象の背景には、当地域における遺跡群に何らかの構造的変化が起きたことが想定される。

弥生時代に入ると、水田耕作が始まり、生活や文化に変化が見られるようになる。東田中遺跡の南側に位置する石川山崎鹿島神社境内では、土器底部に稲作が行われていたことを実証する籾痕がある弥生土器が発見されている。東田中遺跡周辺における集落跡は、新池台遺跡で確認されている。新池台遺跡は中期末葉の集落跡で、ぜんぶ塚古墳群²⁰⁾(12)や出口遺跡⁽²⁰⁾では、当時期の良好な資料が出土している。後期の遺跡として、山王川を挟んだ東田中遺跡の対岸に中津川遺跡、植堀遺跡が所在し、中津川遺跡では後期中葉の堅穴建物跡が7棟、植堀遺跡では後期中葉から後葉にかけての堅穴建物跡が8棟確認されている。また、東田中遺跡から支谷を挟んだ西側に外山遺跡が所在している。外山遺跡では後期後葉の堅穴建物跡が11棟確認され、上稲古式土器、十玉台式土器、二軒屋式土器が出土している。これらの遺跡は、山王川やその支谷を望む台地端部に位置していることから、入り組んだ谷津の地形を利用して農耕生活を営み、集落を形成していたことをうかがうことができる。

古墳時代の社会は、可耕地の拡大や農耕技術の進歩による生産力が格段に向上したことにより、明確な階層社会が成立した時代である。当地域の古墳時代の始まりは方形周溝墓の伝播から知ることができる。前期初頭のものとして、東田中遺跡から南東へ3.2kmの霞ヶ浦沿岸の台地縁辺部に権現平2号墳が所在する。権現平2号墳は、周溝の内法が一辺20mほどの方形周溝墓であり、霞ヶ浦沿岸地域では最大級のものである。この周溝からは東海系の壺2点、大形の片口鉢(底部焼成後穿孔)1点、二重口緑壺2点、畿内や東海地方の特徴のある壺1点、東海地方の棒状浮文で装飾された壺や碗、埴、器台などの土器が出土している。これらの土器は供献用²¹⁾として使用された東海系を中心とした外来系土器であることから、権現平2号墳の被葬者は東海地方と所縁のあった人物と思われる。この方形周溝墓は、東田中遺跡から南へ1kmほどの上野遺跡²²⁾(35)でも確認され、二重口緑を呈する壺形埴輪が2点出土している。恋瀬川河口から北東へ3.8kmの恋瀬川を望む台地縁辺部に位置する熊野古墳²³⁾は、当地域最古の前方後円墳である。全長68mで、前方部が低い前期古墳の特徴をよく示しており、壺形埴輪片などが確認されている。中期になると、恋瀬川流域を支配していることを示すように、河口から1.7kmほどの恋瀬川左岸の台地縁辺部に全長186mの舟塚山古墳が出現する。舟塚山古墳は県下最大の規模で、当地域における強大な力をもった首長墓とみられる。続いて中期後葉には、中津川遺跡に隣接して全長90mの府中愛宕山古墳が構築されている。舟塚山古墳周辺の遺跡として、前期のものは東田中遺跡²⁴⁾、田崎遺跡²⁵⁾(50)、田島遺跡、植堀遺跡、外山遺跡で、中期のものは中津川遺跡、植堀遺跡、三村城跡で集落跡が確認されている。これらの集落の人々が支配者を支え、古墳築造に従事したと思われる。後期になると、大形の前方後円墳は、小美玉市玉里地区に多くみられるようになってくる。当遺跡周辺では、円墳

や方墳がほとんどで、41基確認されている舟塚山古墳群(45)の多くは、箱式石棺を埋葬施設とする円墳や方墳と思われる。この時期の集落跡は、田崎遺跡、田島遺跡(田島下地区、南光院地区・南光院下地区、三面寺地区)、中津川遺跡などで確認されており、恋瀬川や山王川の低地開発が拡大していったことを裏付けている。

奈良・平安時代になると、律令制により国・郡・里(郷)制がしかれた。石岡市域は茨城郡に属し、常陸国府が置かれた。常陸国衙跡では、東田中遺跡から3.5kmほど北西に位置する現石岡小学校敷地内において継続的な調査³⁰⁾が行われた。1町四方の区画内に正殿跡、前殿跡、その東西に整然と配された脇殿跡が確認されたことにより、常陸国衙の中核部である国庁であったことが判明した。常陸国衙を中心として周辺には、常陸国分僧寺、常陸国分尼寺、鹿の子遺跡、茨城郡衙跡、茨城廃寺跡が存在しており、現石岡市街地が常陸国の中心地域であったことを知ることができる。東田中遺跡周辺でも、田崎遺跡、田島遺跡(南光院地区・南光院下地区、三面寺地区)、中津川遺跡などで集落跡が確認されている。

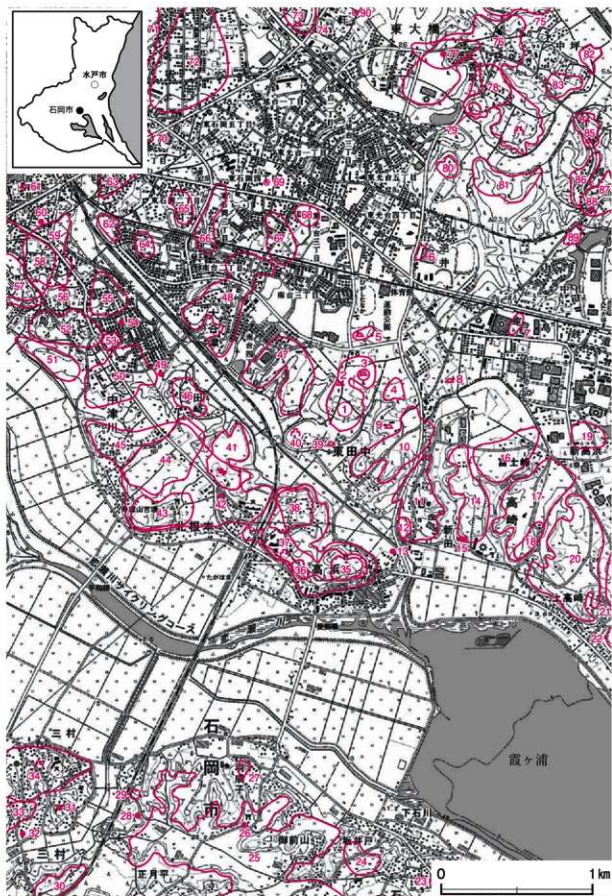
中世になると、武家が台頭して勢力争いが起こり、戦国乱世に流れていく中、各地に城郭が築造されるようになる。石岡市域では、鎌倉時代に常陸国衙において政務を執っていた常陸大掾馬場資幹が外城の地に石岡城を構築した。南北朝時代には、大掾氏と小田氏との間で抗争が激化し、8代詮国は現在の石岡小学校の場所に城を移して府中城とした。これにより石岡城は、府中城の出城としての性格を強めた。高野浜城跡(40)や、三村城跡などは、この時期に築城された出城である。中世末期には、再び大掾氏と小田氏や佐竹氏との抗争が起こり、やがて佐竹氏の支配下に入るのである。

徳川家康が江戸に幕府を開いた近世には、佐竹氏が秋田へ移封される。その後、江戸や城下町に住む将軍や大名、あるいは旗本のような幕藩領主による支配を経て、元禄13年(1700年)、水戸藩主徳川頼房の五男頼隆が府中城の一画に陣屋を置いて統治した。古来から水運に恵まれていた石岡の地は、周辺集落や各地からの物産集散地としての性格を色濃くし、特に酒・醤油などの醸造業を中心とした商人層が活躍した。また、陸路も発達し、江戸から水戸、さらには東北地方へ延びる浜街道が整備され、交通の要衝の地としても繁栄した。

※ 文中の〈 〉内の番号は、第1図及び表1の当該番号と同じである。なお、本章は、既刊の茨城県教育財団文化財調査報告第407集を改編したものである。

註

- 1) 石岡市史編さん委員会『石岡市史 下巻』石岡市 1985年3月
- 2) 小玉秀成・本田信之『館山遺跡発掘調査報告書-旧石器・縄文・弥生時代編-』玉里村教育委員会 1999年3月
- 3) 伊東重敏『権現平古墳群』玉里村埋蔵文化財調査報告第1集 玉里村教育委員会 1994年3月
- 4) 小林三郎編『玉里村権現山古墳発掘調査報告書』玉里村教育委員会 2000年3月
- 5) 小玉秀成・本田信之・川口武彦『大作台遺跡発掘調査報告』『玉里村立史料館報』Vol.6 玉里村立史料館 2001年3月
- 6) 飯泉達司『田島遺跡(田島下地区) 一般国道6号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)事業地内埋蔵文化財調査報告書1』茨城県教育財団文化財調査報告第253集 2006年3月
- 7) 飯田浩彦・大関武・小野政美・齋藤和浩『田島遺跡(三面寺地区) 一般国道6号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)事業地内埋蔵文化財調査報告書3』茨城県教育財団文化財調査報告第311集 2009年3月
- 8) 櫻井完介・近江屋成陽・大久保隆史『中津川遺跡 一般国道6号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)事業地内埋蔵文化財調査報告書5』茨城県教育財団文化財調査報告第338集 2011年3月
- 9) 櫻井完介『檜堀遺跡 一般国道6号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)事業地内埋蔵文化財調査報告書7』茨城県教育財団文化財調査報告第370集 2013年3月

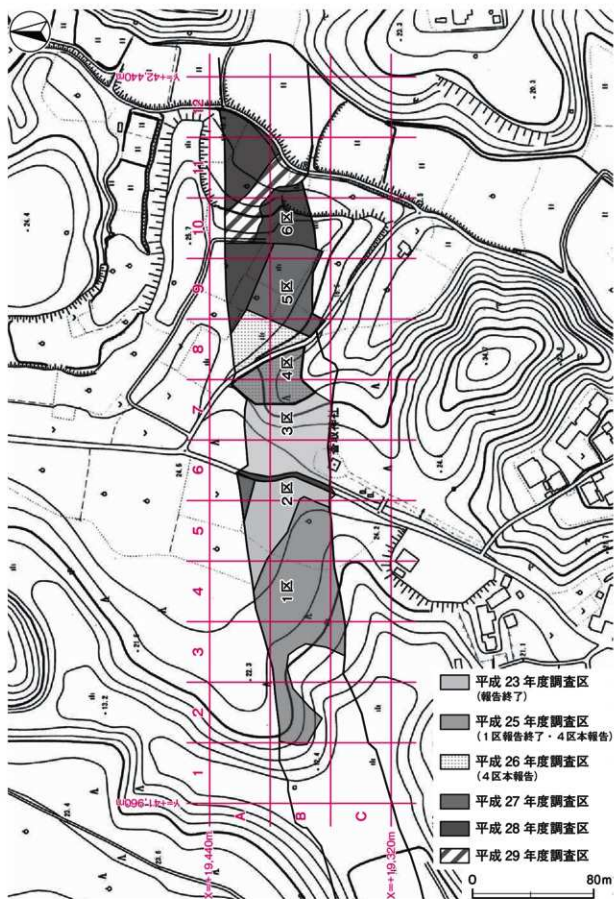


第1図 東田中遺跡周辺遺跡分布図(国土地理院 25,000 分の1「石岡」〔常陸高浜〕)

表1 東田中遺跡周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	時代						番号	遺跡名	時代							
		旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町			江戸	旧石器	縄文	弥生	古墳	奈良・平安	鎌倉・室町	江戸
①	東田中遺跡		○		○	○	○	○	46	石岡田遺跡		○			○		
2	貝柄塚群							○	47	外山遺跡		○	○	○	○		
3	木戸口塚							○	48	大谷津遺跡		○			○	○	○
4	柏葉遺跡		○						49	田崎古墳				○			
5	十三稲荷山塚群							○	50	田崎遺跡	○	○	○	○	○	○	
6	逆井遺跡		○						51	田島遺跡	○	○	○	○	○	○	
7	中山南遺跡					○	○		52	三面寺遺跡	○	○		○	○	○	
8	前原塚							○	53	千部塚遺跡						○	
9	申塚							○	54	茨城古墳				○			
10	大作台遺跡	○	○			○	○		55	税所屋敷遺跡		○	○		○	○	
11	新田遺跡		○	○	○	○	○	○	56	茨城塚群						○	
12	ぜんぶ塚古墳群			○	○				57	茨城郡衛				○			
13	下川古墳					○			58	外城遺跡		○	○	○	○	○	
14	瓦ヶ台遺跡		○	○	○	○	○	○	59	小目代遺跡				○	○	○	
15	龍王塚古墳								60	愛宕神社古墳				○			
16	中台(五万堀)遺跡		○					○	61	富田東塚						○	
17	富士峰遺跡	○	○	○	○	○	○	○	62	兵崎遺跡		○	○		○		
18	富士峰古墳群					○			63	兵崎箕輪遺跡		○		○	○		
19	新林遺跡		○						64	兵崎下遺跡		○		○			
20	出口遺跡	○	○	○	○	○	○	○	65	駒込遺跡		○					
21	弥蔵遺跡							○	66	新池台遺跡		○	○				
22	部室貝塚		○	○	○	○	○	○	67	六軒遺跡		○		○			
23	十王遺跡		○	○	○	○	○	○	68	八幡塚群						○	
24	穀龍遺跡		○	○	○	○	○	○	69	小川道土塁						○	
25	下ノ宮遺跡		○	○	○			○	70	山王遺跡				○	○		
26	下ノ宮塚							○	71	東の辻遺跡		○		○		○	
27	羽成子遺跡							○	72	大塚遺跡				○		○	
28	諸土久保古墳					○			73	八軒台塚						○	
29	天神塚群							○	74	上人塚遺跡		○		○			
30	大角山遺跡							○	75	鞆下遺跡			○	○	○	○	
31	吹上古墳					○			76	東大橋原遺跡				○	○	○	
32	古道古墳					○			77	東大橋古墳群				○			
33	宿平遺跡		○				○	○	78	東大橋要害						○	
34	三村城跡		○			○	○	○	79	香取塚群						○	
35	上野遺跡							○	80	東大橋逆井遺跡		○					
36	権現遺跡		○			○			81	新山遺跡		○					
37	高浜要害							○	82	寺久保下遺跡					○		
38	関戸遺跡		○	○	○				83	中坪遺跡		○			○	○	
39	山伏塚							○	84	白旗遺跡		○		○	○	○	
40	高野浜城跡							○	85	下坪塚						○	
41	槌堀遺跡		○	○	○	○			86	池下遺跡(小美玉市)				○	○		
42	道祖神塚							○	87	池下遺跡(石岡市)					○	○	
43	宮久保遺跡		○	○	○			○	88	初上塚						○	
44	中津川遺跡	○	○	○	○	○	○	○	89	中山北遺跡		○		○	○		
45	舟塚山古墳群					○			90	八軒台掩蔽壕						近現代	

- 10) 山本勝男「石岡都市計画事業南台土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 兵崎遺跡 大谷津 A 遺跡 村馬塚遺跡 大谷津 B 遺跡 大谷津 C 遺跡 外山遺跡」茨城県教育財団文化財調査報告第 13 集 1982 年 3 月
- 11) 小野政美「田島遺跡(南光院地区・南光院下地区) 一般国道 6 号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋) 事業地内埋蔵文化財調査報告書 2」茨城県教育財団文化財調査報告第 287 集 2008 年 3 月
- 12) 註 10) 文献に同じ
- 13) 和田雄次「石岡都市計画事業南台土地地区画整理事業地内埋蔵文化財調査報告書 2 新池台遺跡」茨城県教育財団文化財調査報告第 17 集 1983 年 3 月
- 14) 菅川貴之「東大橋逆井遺跡 一般国道 6 号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋) 事業地内埋蔵文化財調査報告書 9」茨城県教育財団文化財調査報告第 425 集 2018 年 3 月
- 15) 木村光輝・海老澤稔「東田中遺跡 中津川遺跡 2 一般国道 6 号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋) 事業地内埋蔵文化財調査報告書 8」茨城県教育財団文化財調査報告第 407 集 2016 年 3 月
- 16) 川崎純徳・海老沢稔ほか「石岡市東大橋原遺跡 第 3 次調査報告」石岡市教育委員会 1980 年 3 月
- 17) 川崎純徳・海老沢稔ほか「石岡市大作台遺跡発掘調査報告」石岡市教育委員会 1981 年 3 月
- 18) 栗田功「三村城跡 一般県道飯岡石岡線道路改良事業地内埋蔵文化財調査報告書」茨城県教育財団文化財調査報告第 299 集 2008 年 3 月
- 19) 玉里村史編纂委員会編「玉里村の歴史」玉里村 2006 年 2 月
- 20) 諸星政博・松本裕治・海老沢稔ほか「ぜんぶ塚(九十九塚)古墳発掘調査報告書」石岡市教育委員会 1982 年 3 月
- 21) 古屋紀之「茨城県玉里村権現平 2 号墳の再検討～出土土器と葬送儀礼の系譜を中心に～」『玉里村立史料館報』Vol.11 玉里村立史料館 2006 年 2 月
- 22) 土生朗治「茨城県石岡市上野遺跡出土土器について」『山武考古学研究所年報』No.18 山武考古学研究所 2000 年 6 月
- 23) 田中裕「茨城県千代田町熊野古墳の測量調査」『筑波大学 先史学・考古学研究』第 8 号 1997 年 3 月
- 24) 註 15) 文献に同じ
- 25) 齋藤貴史・本橋弘巳「田崎遺跡 一般国道 6 号千代田石岡バイパス(かすみがうら市市川～石岡市東大橋) 事業地内埋蔵文化財調査報告書 4」茨城県教育財団文化財調査報告第 327 集 2010 年 3 月
- 26) 箕輪健一「常陸国銜跡-国守・曹司の調査-」石岡市教育委員会 2009 年 3 月



第2図 東田中遺跡調査区設定図 (石岡市都市計画図2,500分の1より作成)

第3章 調査の成果

第1節 調査の概要

東田中遺跡では、平成23年度から系統的に調査している。本報告は、便宜的に分けられた1～6区うちの4区部分で、調査区域全体の中央部、山王川の支谷奥部に面した標高約20mの斜面部に位置している。調査面積は1,020㎡で、調査前の現況は畑地、山林、原野である。

調査の結果、斜面貝層1か所（縄文時代）、土坑4基（縄文時代）、遺物包含層3か所（縄文時代）、溝跡1条（江戸時代以降）を確認した。

遺物は、遺物収納コンテナ（60×40×20cm）に494箱出土している。主な遺物は、縄文土器（深鉢・浅鉢・注口土器・蓋・ミニチュア土器・有孔髑付土器・台形土器・壺形土器）、土製品（土器片錘・耳飾り・土製円盤・土器片円盤・匙形土製品・垂飾り）、石器（尖頭器・搔器・削器・鎌・打製石斧・磨製石斧・石皿・磨石・敲石・石錘・凹石・砥石）、石製品（耳飾り・垂飾り・軽石製品）、骨角器（釣針・ヤス・ヘラ・棒状加工品・鹿角加工品・垂飾り）、貝製品（貝刃・貝輪・垂飾り・加工品）、自然遺物（貝類・魚骨・鳥骨・獣骨・植物・漆喰状白色物質）などである。

第2節 基本層序

調査区北部の斜面部（A79区）にテストピットを設定し、基本土層（第3図）の堆積状況の観察を行った。台地上に位置している2区（B6区）の基本土層も併記する。

第1層は、暗褐色を呈する表土層である。粘性・締まりともに普通で、層厚は14～22cmである。

第2層は、ロームブロックを少量含むにぶい黄褐色を呈するソフトローム層への漸移層である。粘性がやや強く締まりは普通で、層厚は8～20cmである。

第3層は、明黄褐色を呈するソフトローム層である。粘性・締まりともにやや強く、層厚は8～26cmである。

第4層は、黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は10～22cmである。

第5層は、明黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は15～34cmである。

第6層は、暗褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに極めて強く、層厚は13～30cmである。第2黒色帯上層に対比される。

第7層は、にぶい黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに極めて強く、層厚は12～21cmである。第2黒色帯下層に対比される。

第8層は、鹿沼軽石を中量含む黄褐色を呈するハードローム層である。粘性は普通で締まりは強く、層厚は6～12cmである。

第9層は、鹿沼軽石を少量含む黄褐色を呈するハードローム層である。粘性は普通で締まりは強く、層厚は13～30cmである。

第10層は、鹿沼軽石を微量含むにぶい黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締まりともに強く、層厚は8～38cmである。

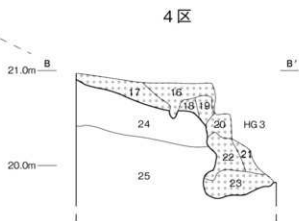
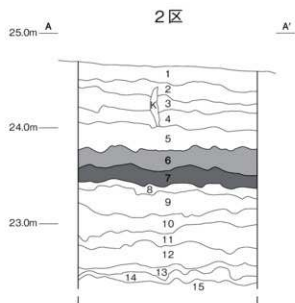
第11層は、白色粒子・黒色粒子を微量含むにぶい黄褐色を呈するハードローム層である。粘性は普通で締めりは強く、層厚は6～33cmである。

第12層は、黒色粒子を微量含む黄褐色を呈するハードローム層である。粘性は普通で締めりは強く、層厚は12～30cmである。

第13層は、黒色粒子を微量含む明黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締めりともに強く、層厚は4～15cmである。

第14層は、褐色粘土ブロックを少量含む褐色を呈するハードローム層である。粘性・締めりともに極めて強く、層厚4～16cmである。

第15層は、白色粘土ブロックを中量含むにぶい黄褐色を呈するハードローム層である。粘性・締めりともに極めて強い。層厚は下層が未掘のため不明である。



第3図 基本土層図

第16～23層は、斜面部の高所から谷津部への崩落土である。地滑りまたは崖崩れによるものと考えられる。隣接する調査区北壁でも、ローム層下の層序の逆転と崩落が観察できる。第3号遺物包含層が形成された窪地に削られていることから、縄文時代中期中葉以前に崩落したと考えられる。第24・25層は、崩落を免れた基盤層である。土層の観察結果は、以下のとおりである。

第16層は、ハードロームブロックを多量に含む褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は14～36cmである。

第17層は、ハードロームブロックと灰白色粘土ブロックを多量に含む褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は8～22cmである。

第18層は、ハードロームブロックと灰白色粘土ブロックを中量含む褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は10～20cmである。

第19層は、ハードロームブロックを中量含む黒褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は18～30cmである。

第20層は、ハードロームブロックと灰白色粘土ブロックを中量含む暗褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は14～26cmである。

第21層は、ハードロームブロックを多量に含む褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は20～34cmである。

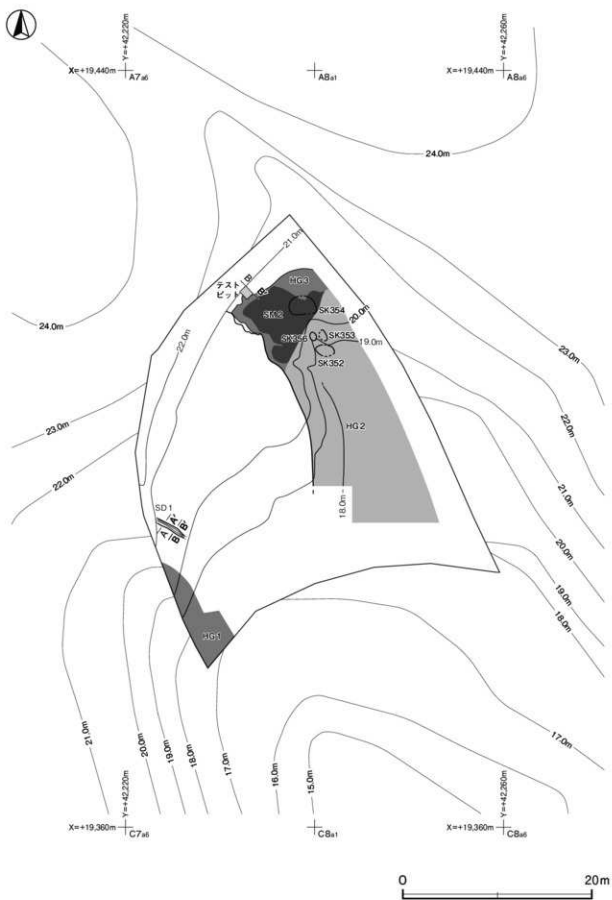
第22層は、ハードロームブロックを多量に含む暗褐色を呈する崩落土である。粘性・締まりともに普通で、層厚は32～50cmである。

第23層は、ハードロームブロックと明黄褐色細砂ブロックを中量含む黒褐色を呈する崩落土である。ラミナ状細砂ブロックを縦位や斜位で含有している。粘性・締まりともに普通で、層厚は12～28cmである。

第24層は、灰白色を呈する粘土層である。シルト～粘土がラミナ状に堆積している。粘性は強く締まりは普通で、層厚は24cm～48cmである。常総粘土層に比定される。

第25層は、明黄褐色を呈するシルト層である。細砂～シルトがラミナ状に堆積し、一部でグライ化した灰黄色シルトと互層になっている。粘性・締まりともに弱く、層厚は下層が未掘のため不明である。

第25層の下層は、第3号遺物包含層の壁面観察から明黄褐色を呈する細砂層で、層厚は不明である。遺構は、主に第24層上面で確認した。



第4図 東田中遺跡（4区）遺構全体図

第3節 遺構と遺物

1 縄文時代の遺構と遺物

当時代の遺構は、斜面貝層1か所、土坑4基、遺物包含層3か所である。以下、遺構及び遺物について記述する。

(1) 斜面貝層

第2号貝層（第5～9図 PL 1～14）

調査年度 平成25・26年度

位置 調査区北部のA7区南東部～A8区南西部、標高18～20mほどの谷頭部に位置している。

確認状況 平成25年度に、斜面部高所でブロック状に散布する本貝層の一部を検出した。本貝層と第2・3号遺物包含層の堆積状況や新旧関係などを確認するため、斜面部高所から低所にかけてAトレンチを掘削した。また、確認面でブロック状貝層の精査を行った。その結果、本貝層は斜面貝層で、第2号遺物包含層下で広がっていることなどを確認した。

平成26年度にAトレンチ内の貝層を掘削した結果、傾斜角が急峻で、層厚2mを超える斜面貝層であることが判明した。第2号遺物包含層の調査終了後には、斜面部の高所から低所までの貝層全体を検出した。貝散布状況を把握するための平面精査では、廃棄単位の集合とみられるブロック状貝層と焼土ブロックや炭化物などを含む土の間層の広がり確認できた。それぞれのブロック状貝層の平面では、廃棄単位とみられる小規模貝層が縮状に薄く重なり合っていることから、斜面部の高所から低所裾部に傾斜しながら堆積していることが推測できた。これらの平面確認状況から、貝層の堆積状況が良好に観察できるとみられた位置に高所から低所方向へBトレンチを掘削し、その北東壁を堆積状況や貝種構成などを観察するための中央ベルトとした。各貝層の広がりや、Aトレンチ貝層断面（A-A'）及び中央ベルト断面（B-B'）などを総合的に観察し、ブロック状貝層を第I～IX層に分層した。なお、第X層は第IX層下で検出した貝層で、調査区域外に延びているため平面では確認できなかった。

重複関係 第3号遺物包含層の上部に形成されている。第352～354・356号土坑に掘り込まれ、第2号遺物包含層が貝層上部に形成されている。

調査の方法 貝層が急峻な傾斜角で堆積していること、それぞれの貝層の広がり比較的把握しやすいことを踏まえ、貝層の規模や傾斜角などに適した調査方法を検討し、それぞれのブロック状貝層の広がりや堆積状況を観察しながら分層発掘することにした。掘り込み作業では、必要に応じてサブトレンチを設定し、それぞれの貝層の広がりや貝層間の新旧関係等を確認しながら調査を進めた。最も新しく形成された第I・II層から順次調査を進め、A・Bトレンチで観察できなかった第IX・X層の断面を調査区東壁（C-C'）及び傾斜方向に沿った貝層ベルト（D-D'）で記録した。貝層断面観察では、貝種とその含有率、混貝率、破砕率、その他の含有物などを記録し、それぞれの層を純貝層、混土貝層、混貝土層、土主体層に区別した。

掘り込み作業では、すべての貝層土壌を土嚢袋に収納して取り上げた。貝層土壌の水洗作業では、ウォーターセパレーションで5mmメッシュ、25mmメッシュ、1mmメッシュの篩を使用し、貝類、魚骨、鳥獣骨などの自然遺物のほか、骨角器や貝製品などの遺物を採取した。中央ベルトでは、14層でそれぞれ3Lの柱状サンプルを採取し、自然科学分析を業務委託した。結果及び考察については、本節1(2)に掲載した。自然科学分析

に該当しなかった中央ベルトの貝層や、中央ベルトで観察できなかった第Ⅴ・Ⅹ層では、当財団がそれぞれ10 Lの貝層土壌サンプルを水洗し、貝種分類や個体数の集計などを行った。分類作業では、自然科学分析による同定を基にした。集計作業では、殻頂が残存している貝殻を対象とし、二枚貝腹縁のみや巻貝体層のみの破砕片は除外した。また、マガキとイワガキなど判別が困難な貝類については一括して集計し、貝類組成表として掲載した。自然科学分析で計測していないマガキとウミミナノ殻高については、当財団が計測し、最小値と最大値を土層・貝層解説に記載した。このほか、水洗前の貝層土壌体積と洗浄後の貝殻体積を比較するために計測混貝率を算出し、表2に記載した。体積の計測は、5mmメッシュ篩で採取した貝殻を対象とし、1mmメッシュ及び2.5mmメッシュ篩で採取した破砕片を含んでいないため、計測混貝率は貝層断面観察の混貝率と比較すると低い数値になっている。純貝層における計測混貝率は50%前後で、5mm未満の破砕片とわずかな土壌が残り半分程度の割合を占めていると考えられる。

貝層の広がりと堆積状況 詳細は層毎に後述する。第Ⅰ～Ⅹ層が継続的に堆積した結果、南北幅8.0m、東西幅は、東部が調査区域外に延びているため10.6mの不整形円形で、層厚約2.4m、傾斜角約25～35度の貝層が形成されている。貝層は、崖崩れもしくは掘削行為によって形成されたとみられる窪地内に堆積している。窪地の北側は、第3号遺物包含層堆積土が内傾及び斜面状に、東側は第3号遺物包含層堆積土や基盤層が斜面状にそれぞれ削られている。貝層の底面はU字状とみられ、貝層が傾斜に沿って斜面部の低所へ流れ込んでいないことから、標高18.0m付近が窪地の底面になる可能性がある。貝層の堆積状況から、多量の貝類が斜面部の高所から低所へ継続的に投棄され、貝層が窪地の壁際から低所へ広がったと考えられる。

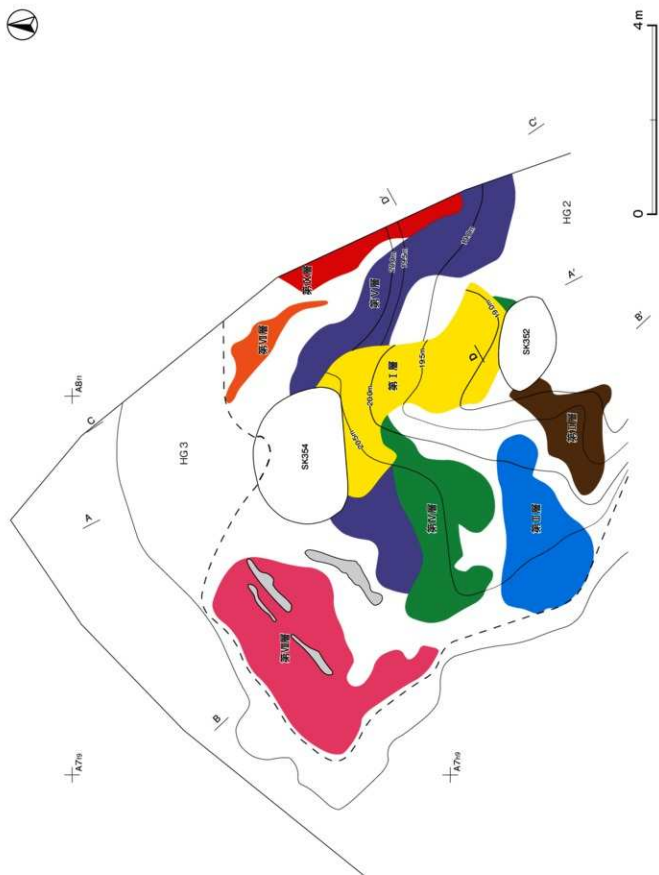
遺物出土状況 詳細は層毎に後述する。貝層全体からは、縄土器片28,552点(第Ⅰ～Ⅹ層23,927、トレンチなど4,625)、土製品240点(第Ⅰ・Ⅲ～Ⅹ層214、トレンチなど26)、石器105点(第Ⅱ～Ⅹ層79、トレンチなど26)、剥片49点(第Ⅲ～Ⅹ層46、トレンチ3)、石製品4点(第Ⅳ～Ⅵ層)、骨角器39点(第Ⅳ～Ⅹ層)、貝製品37点(第Ⅲ～Ⅹ層36、トレンチ1)のほか、自然遺物(貝類、魚骨、鳥骨、獣骨、植物、漆喰状白色物質など)が出土している。出土した土器の大半は破片で、破損後高所から低所へ投棄されている。遺物は、急峻な傾斜角によって高所や隣接した層などから低所へ流れ込んだものも混在しているとみられる。

なお、遺物出土状況の垂直分布図は、平面における出土位置から近接した断面図に遺物を投影したものである。中央ベルトの位置は貝層底面よりも標高がやや高いため、傾斜角や出土位置などに起因して貝層断面図よりも上部や下部に投影されている遺物もある。なお、出土層位が明瞭な中央ベルト内の遺物は、垂直分布図に投影せず、観察表に出土層位を記載している。

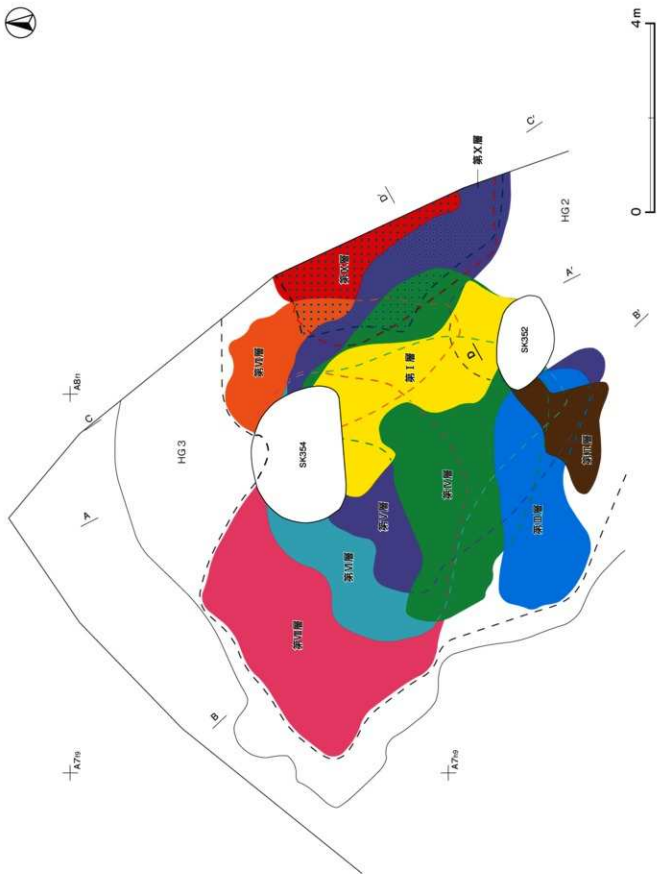
所見 詳細は層毎に後述する。マガキ、ウミミナ、ハマグリなどの海水域に生息する貝類が大半を占めることから、主鹹貝塚である。出土した貝類の大半は、小形の個体とみられる。平成26年度調査分の貝層全体の貝層土壌総重量は、74,423.6kgである。中央ベルトの貝層土壌サンプル73層分、体積730.0 Lの重量は564.5kgであることから、貝層全体の貝層土壌総体積は約96,243.1 Lと算出できる。また、貝層土壌サンプル730.0 L中の貝殻総体積は244.9 Lであることから、貝層全体の貝殻総体積は約32,287.6 Lと算出できる。

貝類や土器片などの遺物は、第3号遺物包含層が形成された窪地とほぼ同位置に形成された新たな窪地に投棄されたと考えられる。谷頭部の窪地は、集落域に近接した「捨て場」や「送り場」として継続的に利用されていた可能性がある。貝層の堆積状況から、第Ⅰ・Ⅱ層が最も新しく、第Ⅷ・Ⅹ層が最も古い。キセルガイが多量に出土している層は、地表面となっていた期間があると考えられるもの、出土土器から、貝層は中期後葉のうちに形成されたものと考えられる。

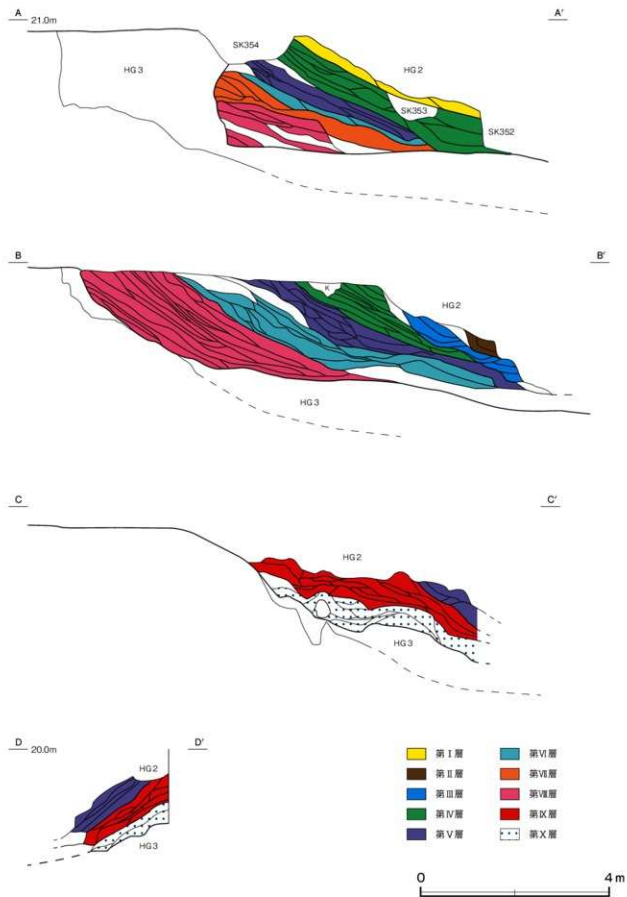
以下、第Ⅰ～Ⅹ層について記述する。



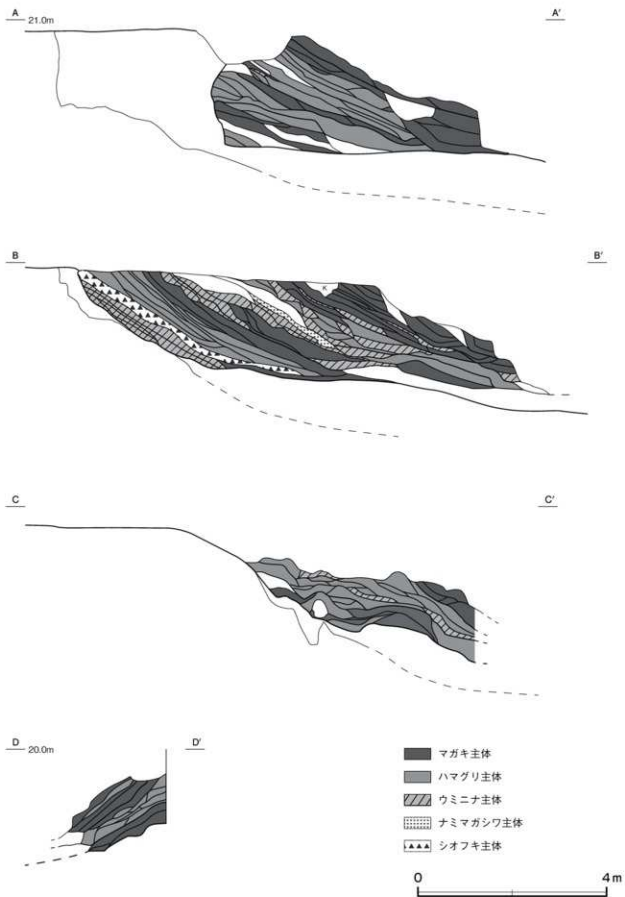
第5図 第2号貝層確認状況実測図



第6图 第2号貝層实测图1)



第7图 第2号貝層实测图(2)

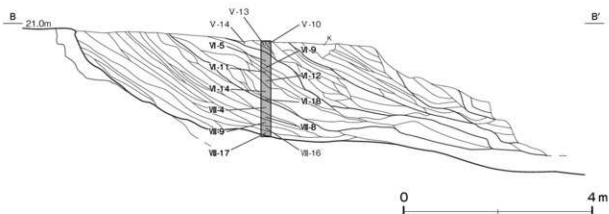


第8図 第2号貝層貝類別主体層

表2 中央ベルト貝層土壌サンプル計測値

層	重量 (kg)		体積 (L)		計測混比率 (4)÷(3)×100
	水洗前 (1)	水洗後 (2)	水洗前 (3)	水洗後 (4)	
II-1	85	18	10.0	29	29%
II-2	105	22	10.0	37	37%
III-1	-	-	-	-	-
III-2	84	27	10.0	48	48%
III-3	86	35	10.0	62	62%
III-4	88	35	10.0	60	60%
III-5	106	20	10.0	36	36%
III-6	85	15	10.0	24	24%
III-7	90	12	10.0	18	18%
III-8	98	07	10.0	09	9%
III-9	88	08	10.0	10	10%
IV-1	-	-	-	-	-
IV-2	51	30	10.0	60	60%
IV-3	68	30	10.0	53	53%
IV-4	70	34	10.0	62	62%
IV-5	74	31	10.0	52	52%
IV-6	70	19	10.0	36	36%
IV-7	54	25	10.0	47	47%
IV-8	65	25	10.0	45	45%
IV-9	70	23	10.0	40	40%
IV-10	70	28	10.0	55	55%
IV-11	69	21	10.0	40	40%
IV-12	70	23	10.0	41	41%
IV-13	60	21	10.0	43	43%
IV-14	65	21	10.0	40	40%
V-1	-	-	-	-	-
V-2	74	12	10.0	19	19%
V-3	80	11	10.0	21	21%
V-4	82	22	10.0	38	38%
V-5	70	27	10.0	48	48%
V-6	70	09	10.0	14	14%
V-7	78	20	10.0	35	35%
V-8	78	25	10.0	45	45%
V-9	76	21	10.0	39	39%
V-10※	72	25	10.0	49	49%
V-11	72	22	10.0	39	39%
V-12	86	23	10.0	42	42%
V-13※	80	17	10.0	28	28%
V-14※	75	06	10.0	08	8%
V-15	80	19	10.0	33	33%
V-16	82	19	10.0	30	30%
V-17	69	08	10.0	13	13%
V-18	80	11	10.0	17	17%
VI-5※	-	-	-	-	-
VI-6	78	16	10.0	29	29%
VI-7	73	10	10.0	16	16%
VI-8	82	06	10.0	08	8%
VI-9※	80	13	10.0	22	22%
VI-10	-	-	-	-	-
VI-11※	74	04	10.0	13	13%
VI-12※	71	27	10.0	53	53%
VI-13	70	23	10.0	47	47%
VI-14※	54	30	10.0	60	60%
VI-15	76	36	10.0	61	61%
VI-16	100	24	10.0	48	48%
VI-17	82	25	10.0	49	49%
VI-18※	100	08	10.0	35	35%
VI-19	60	25	10.0	47	47%
VII-1	-	-	-	-	-
VII-2	85	12	10.0	20	20%
VII-3	58	26	10.0	48	48%
VII-4※	70	29	10.0	60	60%
VII-5	70	19	10.0	33	33%
VII-6	76	16	10.0	29	29%
VII-7	74	12	10.0	17	17%
VII-8※	74	07	10.0	16	16%
VII-9※	76	30	10.0	53	53%
VII-10	90	12	10.0	19	19%
VII-11	82	24	10.0	40	40%
VII-12	84	16	10.0	27	27%
VII-13	70	13	10.0	22	22%
VII-14	82	12	10.0	20	20%
VII-15	75	09	10.0	16	16%
VII-16※	75	07	10.0	09	9%
VII-17※	84	03	10.0	03	3%
VII-18	90	11	10.0	19	19%
VII-19	80	07	10.0	10	10%
VII-20	85	11	10.0	18	18%
VII-21	90	10	10.0	17	17%
計	564.5	136.0	730.0	244.9	33.5%

※は自然科学分析該当層で、数値は別途採取サンプルのもの



第9図 第2号貝層柱状サンプル採取位置図

第I層 (第10～14図)

確認状況 中央部の東寄りに位置するブロック状貝層である。第2号遺物包含層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 第IV層、第353号土坑の上部に形成されている。第II層とともに最も新しい貝層のひとつである。第352・354号土坑に掘り込まれ、第2号遺物包含層が上部に形成されている。

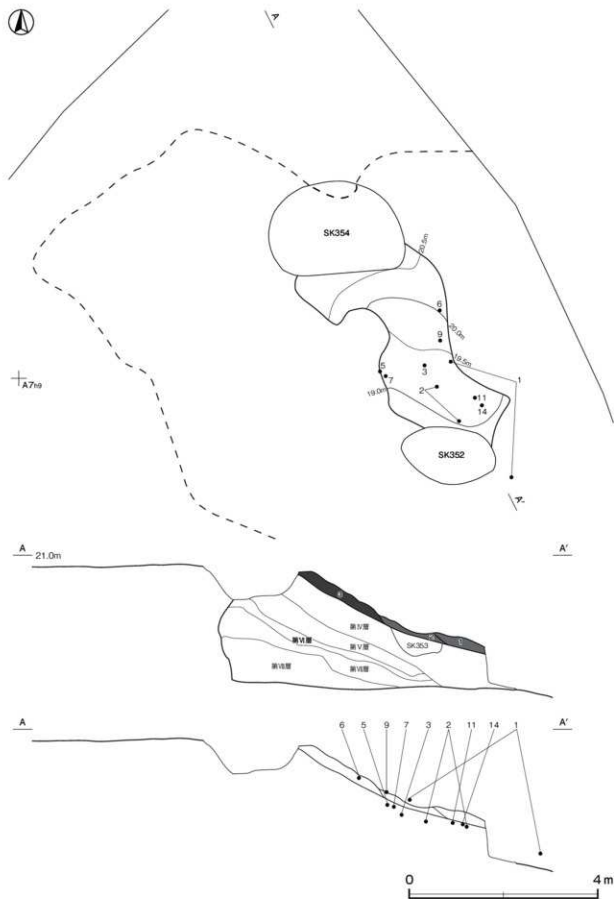
広がりと堆積状況 東西幅は約2.4mで、南北幅は第352・354号土坑に掘り込まれているため約4.6mしか確認できなかった。層厚は約20cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北東方向から投棄されたものとみられる。3層に分層でき、小形のマガキを主体とした貝層が堆積している。なお、集計作業は、貝層土壌サンプルを定量で採取していないため行っていない。

土層・貝層解説

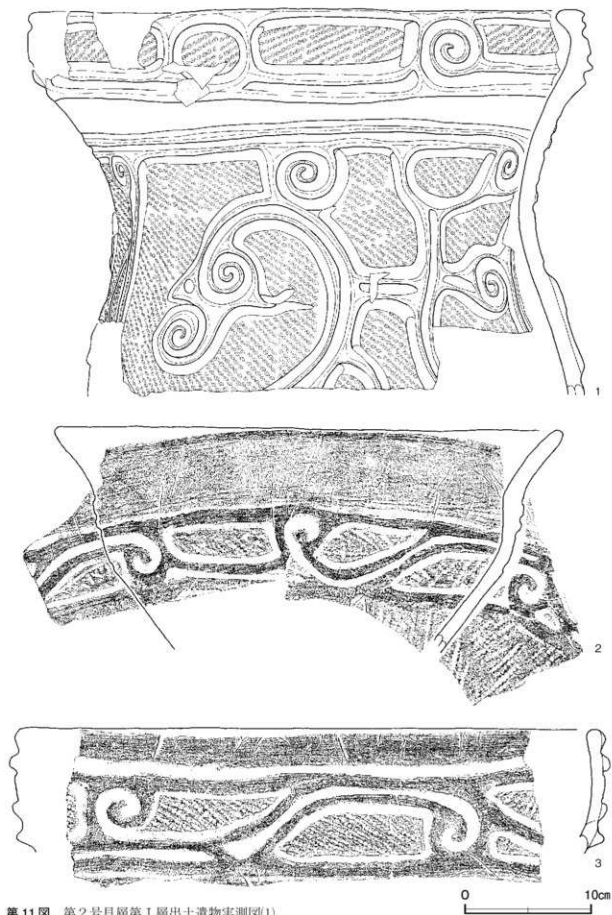
- | | | | |
|--------|--|-------|--|
| 1 混土貝層 | マガキ主体・ハマグリ・シオフキなど、混貝率80%、
破砕率70%、焼土粒子・炭化粒子少量、ローム、
ブロック微量 | 3 純貝層 | マガキ主体・ハマグリ・ウミナシなど、破砕率50%、
炭化粒子少量、ロームブロック・焼土粒子微量 |
| 2 混土貝層 | マガキ主体・ハマグリ・オキシジミなど、混貝率
80%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子少量、ローム
ブロック微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片366点（深鉢362、浅鉢3、有孔罎付土器1）、土製品5点（土器片鏝）、自然遺物（貝類、ウナギ属、カレイ科、コチ科、サメ・エイ類、スズキ属、ニシン亜科、ハゼ科、ボラなどの魚骨、鳥骨、イヌ科、イノシシ、ノウサギなどの獣骨）が出土している。出土した土器の大半は破片で、破損後に高所から低所へ投棄されたものとみられる。1は、貝層中から出土した土器片と第2号遺物包含層堆積土中から出土した土器片が接合したもので、破片の一部が投棄時または投棄後に低所まで流れ込んだと考えられる。

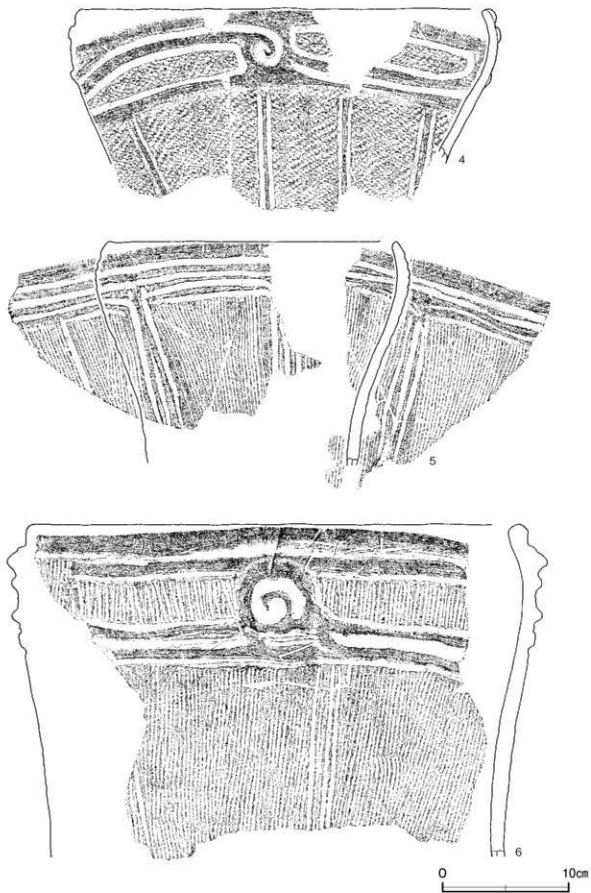
所見 干潟群集に属するマガキが主体で、同群集に属するオキシジミやウミナシ、内湾砂底群集に属するハマグリやシオフキなどが少量出土していることから、泥質干潟や砂泥質干潟で採貝していたとみられる。魚類では、海水域に生息するカレイ科やコチ科、海水域から汽水域に生息するハゼ科やボラ、汽水域から淡水域に生息するウナギ属などの魚骨が出土している。ニシン亜科とされる魚骨は、マイワシやサッパなどの魚類と考えられ、湾内を回遊している魚群が、土器片鏝を使用した網漁で捕獲された可能性がある。出土した貝類や魚骨から、貝層形成の終盤においても主に湾奥部や河口付近で採貝活動や漁労活動を行っていたとみられる。時期は、出土土器から中期後葉と考えられる。



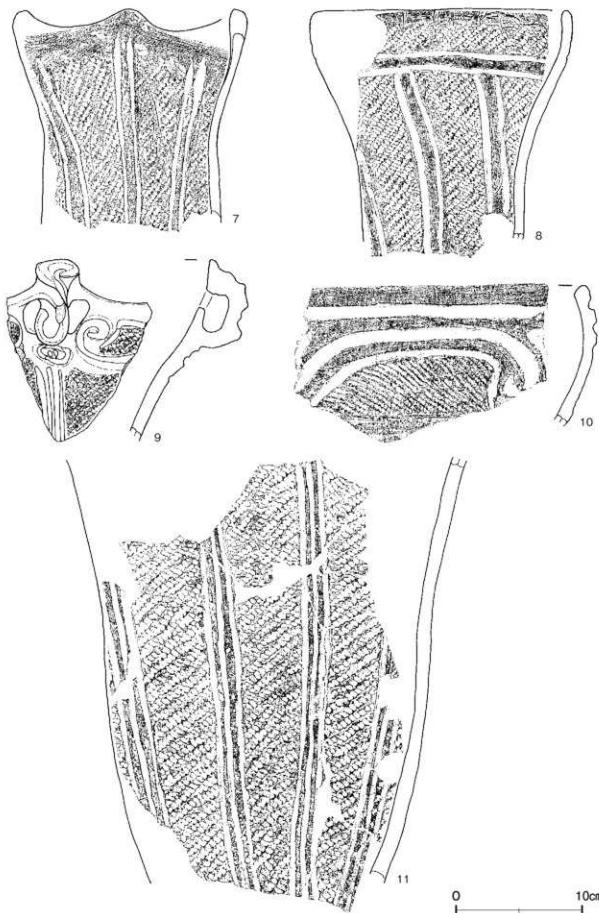
第10圖 第2号貝層第1層実測図



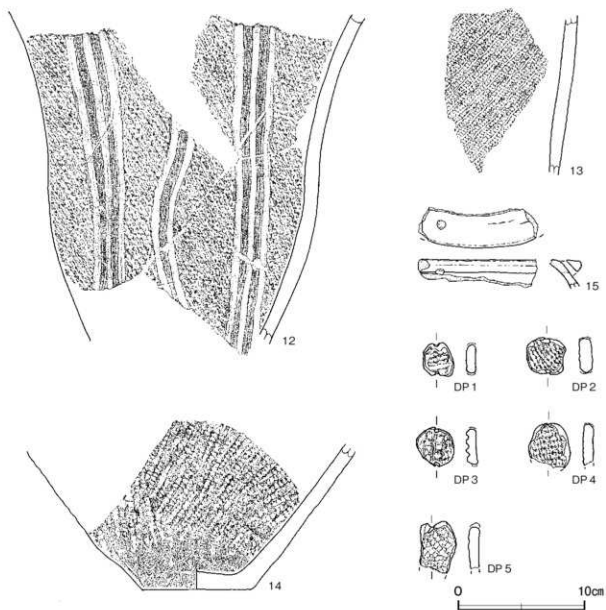
第11圖 第2号貝層第I層出土遺物実測図(1)



第12图 第2号貝層第1層出土遺物实测图(2)



第13图 第2号貝層第I層出土遺物実測図(3)



第14図 第2号貝層第1層出土遺物実測図(4)

第2号貝層第1層出土遺物観察表(第11~14図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	地成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
1	縄文土器	深鉢	420	(306)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	複筋縄文LRL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 隆帯と沈線による斜先行渦巻文	低所 Hig. 2	75% PL22
2	縄文土器	深鉢	[396]	(177)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所	20% PL46
3	縄文土器	深鉢	[460]	(99)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所	10% PL45
4	縄文土器	深鉢	326	(123)	-	長石・石英	にぶい赤黒	普通	単筋縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 磨消懸垂文	貝層中	20%
5	縄文土器	深鉢	228	(179)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黒	普通	沈線による方形区画 磨削状工具による条線文 光潤 磨垂文	低所	30%
6	縄文土器	深鉢	[400]	(265)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	良好	複筋文 隆帯と沈線による渦巻文 沈線充填 磨垂文	高所	20% PL45
7	縄文土器	深鉢	[180]	(175)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	単筋縄文RL(縦) 磨垂文	低所	20%
8	縄文土器	深鉢	[202]	(184)	-	長石・石英・雲母	粗灰	良好	単筋縄文RL(縦) 磨消懸垂文	貝層中	15%
9	縄文土器	深鉢	-	(145)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄	普通	単筋縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 1単位3条の磨消懸垂文	低所	PL45
10	縄文土器	深鉢	-	(112)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文RL(横) 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	
11	縄文土器	深鉢	-	(338)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	単筋縄文RL(縦) 磨垂文	低所	20%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
12	縄文土器	深鉢	-	(26.4)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	良好	腹部縄文L字(縦) 1単位3条の磨消型直文 磨消型L字(横)	貝層中	15%
13	縄文土器	深鉢	-	(12.6)	-	長石・石英・雲母・細砂	灰黄褐色	良好	附加条1横(附加1条)縄文	貝層中	
14	縄文土器	深鉢	-	(11.6)	8.5	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	華部縄文RL(縦)	低所	20%
15	縄文土器	有孔陶片	-	(2.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	良好	筒に穿孔	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP 1	土器片断	2.7	2.5	0.7	5.9	長石・石英・雲母	灰黄褐色	割断片 周縁研磨 長軸方向に一対の削み	貝層中	
DP 2	土器片断	3.0	3.1	1.1	13.0	長石・石英・雲母	黒褐色	割断片 周縁研磨 短軸方向に一対の削み	貝層中	
DP 3	土器片断	3.1	3.0	0.8	10.2	長石・石英・雲母	にぶい褐色	割断片 周縁研磨 長軸方向に一対の削み	貝層中	PL61
DP 4	土器片断 (3.6)	3.3	0.9	(13.2)		長石・石英・雲母	にぶい褐色	割断片 周縁研磨 片端部削み欠損	貝層中	
DP 5	土器片断 (4.2)	2.9	0.9	(12.5)		長石・石英・雲母	黒褐色	割断片 周縁研磨 片端部削み欠損	貝層中	

第Ⅱ層 (第15・16図)

確認状況 中央部の南寄りに位置しているブロック状貝層である。第2号遺物包含層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 本貝層第Ⅲ層の上部に形成されている。第Ⅰ層とともに最も新しい貝層のひとつである。第352号土坑に掘り込まれ、第2号遺物包含層が上部に形成されている。

広がりや堆積状況 南北幅は約1.9mで、東西幅は第352号土坑に掘り込まれているため約2.6mしか確認できなかった。層厚は約30cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北方向から投棄されたとみられる。2層に分層でき、それぞれ小形のマガキを主体とした混土貝層である。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。

土層・貝層解説

- 1 混土貝層 殻高1.8～5.0cmのマガキ主体、混貝率85%。炭粉率75%。炭化粒子微量
- 2 混土貝層 殻高1.2～7.1cmのマガキ主体、混貝率75%。炭粉率60%。炭化粒子微量

表3 第Ⅱ-1層貝類組成表

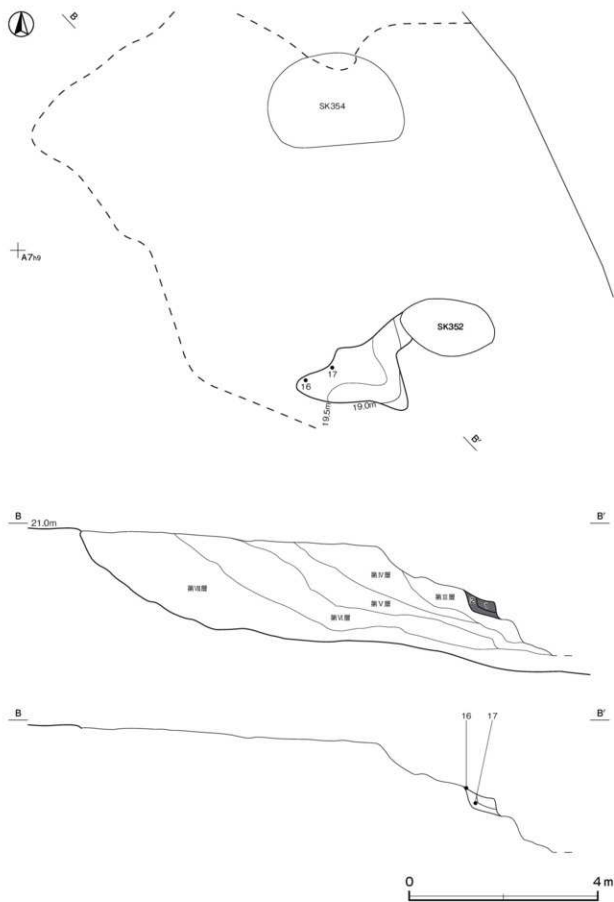
貝種	マガキ	ウミナシ	ハマグリ	サルボウ	シオフキ	カワアイ	オキシジミ	ナミダシ	ヤマトシジミ	ネコガイ	アラムシ	カノコガイ	個体数
点	右殻 197 左殻 118	44	25	13	1	6	4	0	3	2	1	1	305
割合(%)	64.6	14.4	8.2	4.3	2.0	2.0	1.3	1.0	1.0	0.6	0.3	0.3	

表4 第Ⅱ-2層貝類組成表

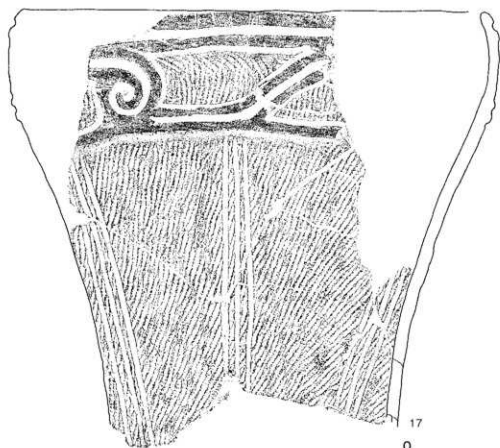
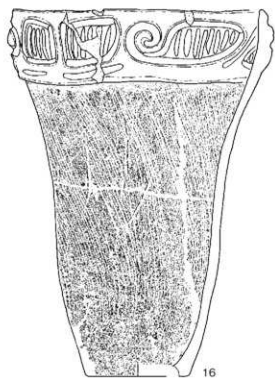
貝種	マガキ	ウミナシ	カワアイ	ハマグリ	サルボウ	オキシジミ	シオフキ	ナミダシ	ヤマトシジミ	ウミナシ トマガキ	レイノガイ	カノコガイ	個体数
点	右殻 206 左殻 286	80	37	34	9	10	8	3	2	1	1	1	481
割合(%)	59.5	16.6	7.7	7.3	3.1	2.1	1.7	1.0	0.4	0.2	0.2	0.2	

遺物出土状況 縄文土器片131点(深鉢130, 浅鉢1), 石器1点(磨石), 自然遺物(貝類, ニシン亜科などの魚骨, 鳥骨, イノシシ)が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたとみられる。16は, 底部が欠損したために投棄されたとみられる。

所見 干潟群集に属するマガキが主体である。感潮域群集に属するヤマトシジミもわずかに出土しているが, 貝類の大半は海水域に生息するものである。魚類では, ニシン亜科が出土している。出土した貝類から, 貝層形成の終盤においては, 主に湾奥部の泥質干潟で採貝活動を行っていたとみられる。時期は, 出土土器から中期後葉と考えられる。



第 15 圖 第 2 号貝層第 II 層実測図



0 10cm

第 16 图 第 2 号贝层第 II 层出土物实测

第2号貝層第Ⅱ層出土遺物観察表 (第16図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
16	縄文土器	深鉢	200	291	〔81〕	長石・石英・雲母	明黄褐色	普通	隆帯と沈線による高帯文 沈線光順 磨面状工	高所上層	90% P1.22
17	縄文土器	深鉢	〔364〕	〔330〕	—	長石・石英・雲母	に高い黄褐色	普通	単筋線文区(横・縦) 隆帯と沈線による高帯文 磨面状工	高所下層	30%

第Ⅲ層 (第17～20図)

確認状況 窪地の西壁際南寄りに位置するブロック状貝層である。第Ⅱ層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 第Ⅳ層の上部に形成されている。

広がりと堆積状況 東西幅は約4.6m、南北幅は約1.8mで、層厚は約50cmである。形状や傾斜方向から、高所の西方向から投棄された貝類が低所へ流れたと考えられる。9層に分層でき、小形のマガキを主体とした貝層などが堆積している。第Ⅲ-1層は、貝類を含まない暗褐色土の間層である。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。

土層・貝層解説

- | | | | |
|--------|--|--------|--|
| 1 暗褐色 | ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子少量 | 6 混土貝層 | 殻高1.6～4.4cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率80%、炭化粒子微量 |
| 2 純貝層 | 殻高1.2～5.1cmのマガキ主体、破砕率60%、炭化粒子微量 | 7 混貝土層 | 黒褐色、殻高2.0～5.7cmのマガキ主体、混貝率40%、破砕率60%、炭化粒子微量 |
| 3 純貝層 | 殻高1.5～8.8cmのマガキ主体、破砕率50%、炭化粒子微量 | 8 混貝土層 | 黒褐色、殻高1.6～2.8cmのマガキ主体、混貝率25%、破砕率75%、炭化粒子微量 |
| 4 純貝層 | 殻高1.3～5.6cmのマガキ主体、破砕率50%、炭化粒子微量 | 9 混貝土層 | 黒褐色、殻高1.8～3.0cmウミナ主体、混貝率40%、破砕率80%、焼土粒子少量、炭化粒子微量 |
| 5 混土貝層 | 殻高1.4～3.9cmのマガキ主体、混貝率75%、破砕率75%、炭化粒子微量 | | |

表5 第Ⅲ-2層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミナ	ハマグリ	カワアイ	サルボウ	オキシジミ	カノコガイ	シオフキ	ウネナシトマゴ	ハマシロ	アサリ	ヤマトシジミ	その他	個体数
点	右殻	314	110	43	29	19	24	12	6	2	1	2	2	603 (微生物除く)
	左殻	340		45		27	21		6	2	2	0	0	
割合(%)	56.4	18.3	7.5	4.8	4.5	4.0	2.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	

表6 第Ⅲ-3層貝類組成表

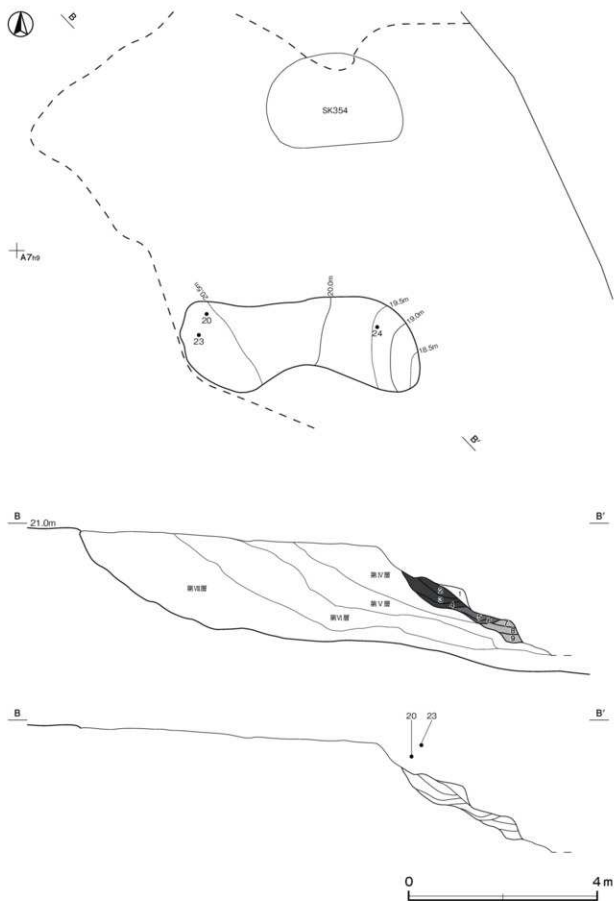
貝種	マガキ	ウミナ	ハマグリ	カワアイ	シオフキ	サルボウ	オキシジミ	レイシガイ	ハマシロ	カノコガイ	アラムシロ	アサリ	その他	個体数
点	右殻	307	200	145	77	74	59	35	32	9	16	12	4	979 (微生物除く)
	左殻	213		143		58	41	30		16		2	2	
割合(%)	31.4	20.4	14.8	7.9	7.6	6.0	3.6	3.3	1.6	1.6	1.2	0.4	0.2	

表7 第Ⅲ-4層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	カワアイ	ウミナ	シオフキ	サルボウ	オキシジミ	アサリ	アカニシ	アラムシロ	カノコガイ	スガイ	個体数
点	右殻	241	84	80	79	51	40	27	3	3	2	1	645
	左殻	211	79			59	39	25					
割合(%)	37.4	13.0	12.4	12.2	9.1	6.2	4.2	4.0	0.5	0.5	0.3	0.2	

表8 第Ⅲ-5層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	カワアイ	オキシジミ	ウミナ	サルボウ	シオフキ	レイシガイ	アサリ	アラムシロ	カノコガイ	個体数	
点	右殻	81	39	28	26	25	16	17	11	7	2	2	259
	左殻	59	35		17		13	21					
割合(%)	31.3	15.0	10.8	10.0	9.7	8.1	6.6	4.2	2.7	0.8	0.8		



第17圖 第2号貝層第III層実測図

表9 第三-6層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	ウミナ	カワアイ	オキシジミ	サルボウ	アサリ	シオフキ	アカニシ	ナマガシラ	アラムシロ	カノコガイ	ヤマトシジミ	個体数
点	84	31	45	22	5	11	3	6	4	0	3	3	1	258
割合(%)	32.6	18.6	17.4	8.5	7.8	5.0	2.3	2.3	1.6	1.2	1.2	1.2	0.3	

表10 第三-7層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	ウミナ	サルボウ	カワアイ	アカニシ	シオフキ	アサリ	オキシジミ	アラムシロ	カノコガイ	個体数
点	54	42	34	7	9	5	2	1	1	1	1	165
割合(%)	32.7	25.5	20.6	7.9	5.5	3.0	1.2	1.2	1.2	0.6	0.6	

表11 第三-8層貝類組成表

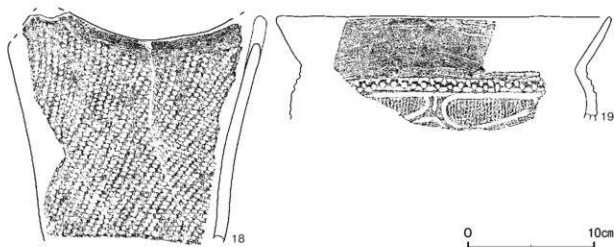
貝種	マガキ	サルボウ	ハマグリ	ウミナ	シオフキ	オキシジミ	カワアイ	個体数
点	21	9	9	9	2	1	2	59
割合(%)	35.6	22.0	16.9	15.3	3.4	3.4	3.4	

表12 第三-9層貝類組成表

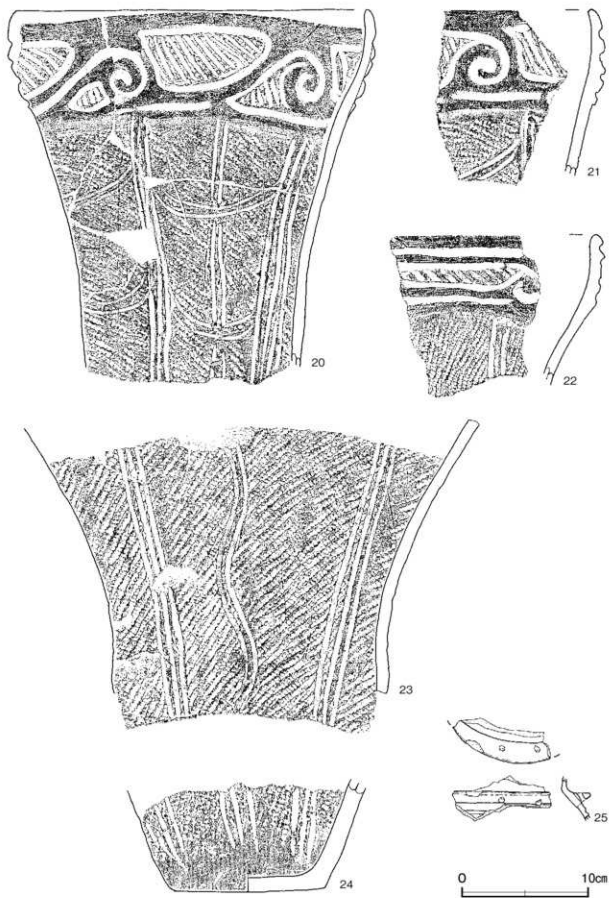
貝種	ウミナ	ハマグリ	マガキ	ナマガシラ	アカニシ	カワアイ	サルボウ	オキシジミ	アラムシロ	個体数
点	67	13	0	2	2	2	1	0	1	94
割合(%)	71.2	16.0	3.2	2.1	2.1	2.1	1.1	1.1	1.1	

遺物出土状況 縄文土器片1,261点(深鉢1,255,浅鉢5,有孔罽付土器1),土製品7点(土器片錘),石器3点(石皿1,磨石2),剥片2点(チャート,石英),貝製品1点(貝輪),自然遺物(貝類,ウナギ属,コチ科,サメ・エイ類,スズキ属,ニシン亜科,ハゼ科などの魚骨,カモ科などの鳥骨,イノシシ,ノリス,ノウサギなどの獣骨)が出土している。出土した土器の大半は破片で,破損後に高所から低所へ投棄されたものとみられる。20・23は西壁際の高所からそれぞれ出土している。N 304～N 307のノリスは,確認面から出土している。

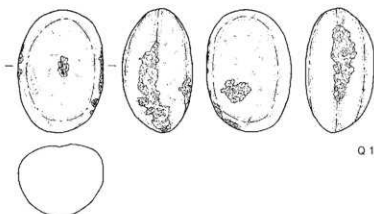
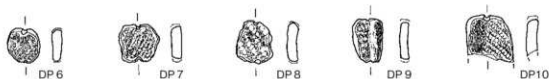
所見 干潟群集に属するマガキやウミナが主体で,内湾砂底群集に属するハマグリやサルボウなども出土している。海水域に生息するニシン亜科のほか,ハゼ科やウナギ属などの魚骨が出土していることから,内湾から河口付近で漁労活動が行われたとみられる。時期は,出土土器から中期後葉と考えられる。



第18図 第2号貝層第三層出土遺物実測図(1)



第19图 第2号貝層第三層实测图(2)



第20図 第2号貝層第Ⅲ層出土遺物実測図(3)

第2号貝層第Ⅲ層出土遺物観察表(第18~20図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
18	縄文土器	深鉢	-	(18.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単筋縄文(縦)	貝層中	20%
19	縄文土器	深鉢	[26.4]	(8.2)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	交互刺突 断糸文 沈線による渦巻文	第Ⅴ-6層	5%
20	縄文土器	深鉢	[27.8]	(28.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	単筋縄文L状(縦) 段帯と沈線による渦巻文 沈線充填 弧状文を伴う断糸文	高所上層	30%
21	縄文土器	深鉢	-	(13.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単筋縄文L状(縦) 段帯と沈線による渦巻文 沈線充填 弧状文を伴う断糸文	貝層中	
22	縄文土器	深鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単筋縄文(縦) 段帯と沈線による渦巻文 沈線充填 断糸文	第Ⅴ-2層	
23	縄文土器	深鉢	-	(21.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単筋縄文(縦) 断糸文 能行沈線	高所上層	20%
24	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	12.2	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	単筋縄文(縦) 断糸文	第Ⅴ-5層	10%
25	縄文土器	穿孔器付	-	(3.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	器に穿孔 横位沈線	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP6	土器片鉢	2.8	2.5	0.8	7.3	長石・石英・雲母	黒褐色	胴部片 扇線研磨 長軸方向に一对の刻み	第Ⅴ-9層	
DP7	土器片鉢	3.0	3.2	0.8	11.1	長石・石英・雲母	黒褐色	胴部片 扇線研磨 短軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP8	土器片鉢	3.5	3.0	1.0	10.6	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	胴部片 扇線研磨 長軸方向に一对の刻み	第Ⅴ-2層	
DP9	土器片鉢	3.4	2.4	0.7	9.3	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	口縁部片 扇線研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP10	土器片鉢	(3.7)	3.8	0.9	(10.6)	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	胴部片 扇線研磨 片端部刻み欠損	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q1	磨石	9.8	6.8	5.6	518.0	砂岩	片面研磨 敲打痕	第Ⅴ-6層	

第Ⅳ層(第21~35図)

確認状況 中央部の南寄りに位置するブロック状貝層である。第Ⅰ・Ⅲ層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 第Ⅴ層の上部に形成されている。第352~354号土坑に掘り込まれている。

広がりや堆積状況 東西幅約7.4m、南北幅約5.1mで、層厚は約80cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北方向から投棄されたと考えられる。25層に分層でき、主に小形のマガキを主体とした貝層などが堆積している。第Ⅳ-1層は、貝類を含まない黒褐色土の間層である。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。

土層・貝層解説

1 黒褐色土	焼土粒子・炭化粒子微量	14 混土貝層	殻高10～33cmのウミニナ主体、混貝率60%、破砕率50%、炭化粒子微量
2 純貝層	殻高16～90cmのマガキ主体、破砕率50%、炭化粒子微量	15 混土貝層	暗褐色、マガキ主体・ハマグリ・ウミニナなど、混貝率40%、破砕率50%、炭化粒子少量
3 純貝層	殻高14～62cmのマガキ主体、破砕率60%、炭化粒子微量	16 混土貝層	マガキ主体・ウミニナ・シオフキなど、混貝率80%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
4 純貝層	殻高19～61cmのマガキ主体、破砕率50%、炭化粒子少量	17 混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・ウミニナなど、混貝率80%、破砕率50%、炭化粒子微量
5 純貝層	殻高21～47cmのマガキ主体、破砕率60%、炭化粒子微量	18 混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・ウミニナなど、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子微量
6 混土貝層	殻高15～48cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率50%、炭化粒子少量	19 混土貝層	ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率80%、破砕率50%、炭化粒子微量
7 混土貝層	殻高14～5.4cmのマガキ主体、混貝率75%、破砕率50%、炭化粒子微量	20 純貝層	ハマグリ主体・マガキ・シオフキなど、破砕率50%、炭化粒子微量
8 混土貝層	殻高16～9.1cmのマガキ主体、混貝率75%、破砕率60%、炭化粒子微量	21 混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・ウミニナなど、混貝率60%、破砕率80%、ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量
9 混土貝層	殻高10～29cmのウミニナ主体、混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子少量	22 混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・サルボウなど、混貝率75%、破砕率80%、炭化粒子微量
10 純貝層	殻高16～8.1cmのマガキ主体、破砕率60%、炭化粒子微量	23 混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・ウミニナなど、混貝率60%、破砕率90%、炭化粒子微量
11 混土貝層	殻高18～4.5cmのマガキ主体、混貝率80%、破砕率60%、炭化粒子微量	24 混土貝層	暗褐色、ハマグリ主体・マガキ・ナミマガシワなど、混貝率20%、破砕率50%、炭化粒子少量
12 混土貝層	殻高18～4.8cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子微量	25 混土貝層	ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率80%、破砕率50%、炭化粒子微量
13 混土貝層	殻高10～8.0cmのマガキ主体、混貝率75%、破砕率60%、炭化粒子微量		

表13 第Ⅳ-2層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	カワアイ	カノコガイ	ハマグリ	シオフキ	サルボウ	オキシジミ	ウネナシトマ	アラムシロ	レイシガイ	ヤマトシジミ	個体数
点	右数	399	318	69	51	44	11	16	2	5	2	1	1
左数	310	46				20	15	6	4	1			
割合(%)		52.8	28.0	6.1	4.5	4.1	1.8	1.4	0.5	0.4	0.2	0.1	0.1

表14 第Ⅳ-3層貝類組成表

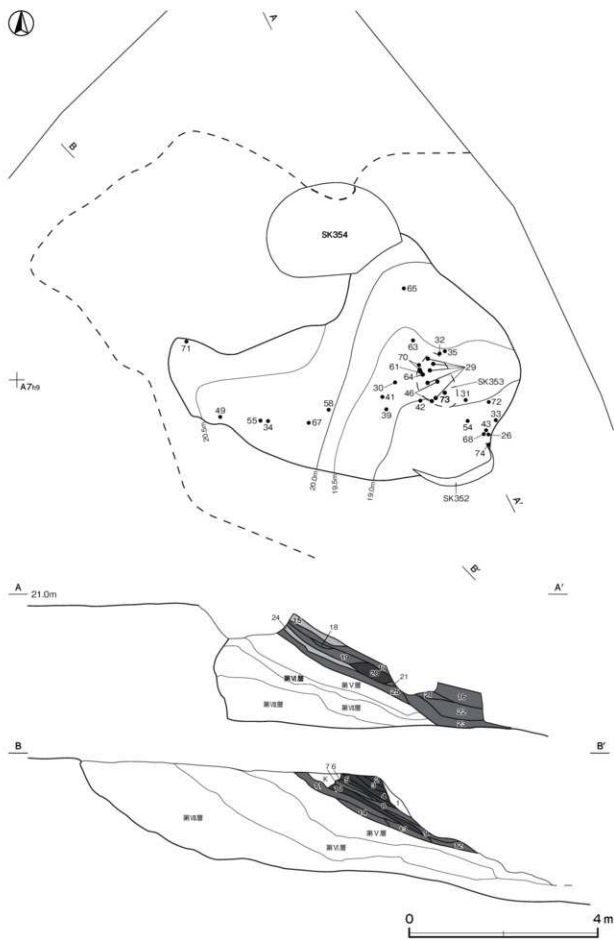
貝種	マガキ	ウミニナ	ハマグリ	カワアイ	カノコガイ	サルボウ	シオフキ	ナミマガシワ	オキシジミ	レイシガイ	アサリ	その他	個体数
点	右数	731	242	118	66	28	19	5	3	7	1	スガイ1	1
左数	484	125		19			19	8	3	5		1	
割合(%)		58.3	19.3	10.0	5.3	2.2	1.5	1.5	0.6	0.5	0.4	0.1	0.3

表15 第Ⅳ-4層貝類組成表

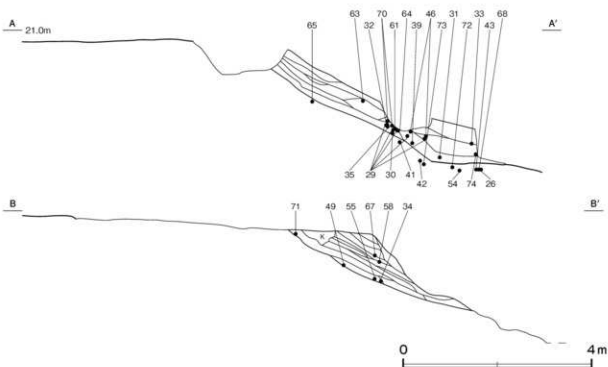
貝種	マガキ	ウミニナ	ハマグリ	カノコガイ	シオフキ	カワアイ	レイシガイ	サルボウ	オキシジミ	ナミマガシワ	アラムシロ	アサリ	その他	個体数
点	右数	509	413	201	81	70	49	34	25	21	6	5	カワデンシヨウ2	1
左数	346	179		79		27		12	18	17	5		キセルガイ14	
割合(%)		35.0	28.4	13.8	5.6	5.4	3.4	2.3	1.9	1.4	1.2	1.1	0.3	0.2

表16 第Ⅳ-5層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	カワアイ	ハマグリ	シオフキ	サルボウ	アサリ	アラムシロ	カノコガイ	オキシジミ	ナミマガシワ	レイシガイ	その他	個体数
点	右数	361	142	86	80	43	29	24	14	10	8	2	2	アカニシ1
左数	305	79		49		30		26		8		7		2
割合(%)		44.2	17.4	10.5	9.8	6.0	3.7	3.2	1.7	1.2	1.0	0.9	0.2	0.2



第21图 第2号貝層第IV層実測図(1)



第22図 第2号貝層第IV層実測図(2)

表17 第IV-6層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	カワアイ	シオフキ	ハマグリ	アサリ	ナミダシロ	アラムシロ	オキシジミ	カノコガイ	サルボウ	その他	個体数
点	右殻	330	103	75	37	29	22	11	9	6	5	キセルガイ5	702
	左殻	376			39	27	25	24	5	3			
割合(%)	53.6	14.7	10.7	5.5	4.1	3.6	3.4	1.6	1.3	0.8	0.7	—	(残生除く)

表18 第IV-7層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	カワアイ	シオフキ	ハマグリ	アサリ	ナミダシロ	オキシジミ	カノコガイ	アラムシロ	サルボウ	スガイ	その他	個体数
点	右殻	431	125	67	47	34	34	14	15	13	8	5	クサナシトマヤ アカニシ1 レイシガイ1 キセルガイ16	819
	左殻	342			24	41	34	28	11		4	2		
割合(%)	52.6	15.3	8.2	5.7	5.0	4.2	3.4	1.8	1.6	1.0	0.6	0.2	0.4	(残生除く)

表19 第IV-8層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	ハマグリ	シオフキ	カワアイ	ナミダシロ	アラムシロ	アサリ	オキシジミ	カノコガイ	サルボウ	スガイ	その他	個体数
点	右殻	393	143	46	41		12	10	6		6	4	レイシガイ3 カワニナ2 キセルガイ5	762
	左殻	315		32	39	34	29	6	9	9	6			
割合(%)	51.6	18.8	6.0	5.4	4.5	4.3	3.8	1.3	1.2	1.2	0.8	0.5	0.6	(残生除く)

表20 第IV-9層貝類組成表

貝種	ウミニナ	ハマグリ	マガキ	シオフキ	オキシジミ	カワアイ	レイシガイ	サルボウ	ナミダシロ	カノコガイ	アラムシロ	アサリ	その他	個体数
点	右殻	426	155	88	42	15		12	1		11	10	アカニシ1 キセルガイ9	843
	左殻		121	68	43	28	27	21	8	12		4		
割合(%)	50.6	18.4	10.4	5.1	3.3	3.2	2.5	1.4	1.4	1.3	1.2	1.1	0.1	(残生除く)

表 21 第Ⅳ－10 層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	シオフキ	ハマグリ	ナミダシロ	アラムシロ	サルボウ	アサリ	カノコガイ	カワアイ	オキシジミ	レイシガイ	その他	個体数
点	右殻	347	217	164	51	36	33	26	27	21	12	8	8	975
	左殻	181		139	32			45	32					
割合(%)	35.6	22.3	16.8	5.2	4.6	3.4	3.3	2.8	2.2	1.2	0.8	0.8	1.0	

表 22 第Ⅳ－11 層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	ハマグリ	シオフキ	カワアイ	アラムシロ	アサリ	ナミダシロ	サルボウ	オキシジミ	スガイ	カノコガイ	個体数
点	右殻	281	212	41	20	20	20	10	6	10	3	4	4
	左殻	186		31	22			19	15	8	7		
割合(%)	42.9	32.4	6.3	3.4	3.0	3.0	2.9	2.3	1.5	1.1	0.6	0.6	655

表 23 第Ⅳ－12 層貝類組成表

貝種	マガキ	シオフキ	ウミニナ	ハマグリ	アサリ	カワアイ	カノコガイ	サルボウ	オキシジミ	ナミダシロ	アラムシロ	ヒメコザラ	その他	個体数
点	右殻	205	73	53	48	30	29	21	19	11	6	6	2	505
	左殻	179	66		32	29		14	7	5				
割合(%)	40.6	14.5	10.5	9.5	5.9	5.7	4.1	3.8	2.2	1.2	1.2	0.4	0.4	

表 24 第Ⅳ－13 層貝類組成表

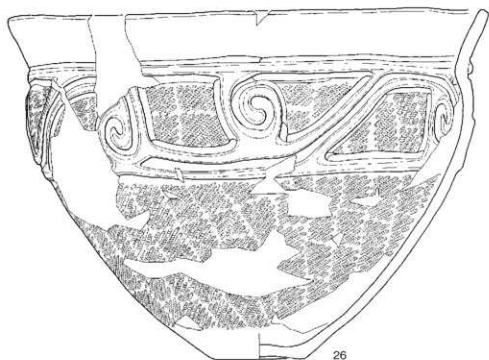
貝種	マガキ	ウミニナ	シオフキ	ハマグリ	カワアイ	オキシジミ	ナミダシロ	アサリ	アラムシロ	カノコガイ	サルボウ	アカシ	その他	個体数
点	右殻	151	64	54	41	26	9	7	7	7	6	3	3	414
	左殻	180	47	37	11		10	6	4					
割合(%)	43.5	15.5	13.0	9.9	6.3	2.7	2.4	1.7	1.7	1.4	1.0	0.7	0.2	

表 25 第Ⅳ－14 層貝類組成表

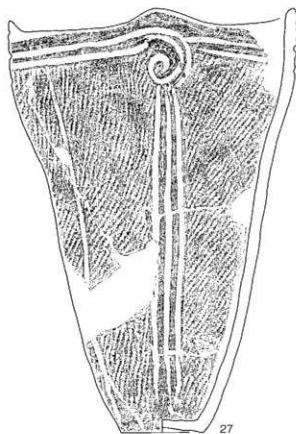
貝種	ウミニナ	シオフキ	マガキ	サルボウ	ハマグリ	アサリ	オキシジミ	ナミダシロ	アラムシロ	カノコガイ	カワアイ	レイシガイ	その他	個体数
点	右殻	97	78	59	38	35	21	20	16	16	12	6	5	414
	左殻		79	42	43	33	15	19	16					
割合(%)	23.4	19.1	14.2	10.4	8.5	5.1	4.8	3.9	3.9	2.9	1.4	1.2	1.2	

遺物出土状況 縄文土器片 2,544 点(深鉢 2,490, 浅鉢 48, ミニチュア土器 4, 有孔鐔付土器 2), 土製品 20 点(土器片鏝 19, 土器片円盤 1), 石器 3 点(磨製石斧, 磨石, 敲石), 石製品 1 点(軽石製品), 剥片 3 点(チャート 2, 瑪瑙 1), 骨角器 1 点(棒状加工品), 貝製品 2 点(垂飾り), 自然遺物(貝類, アカエイ, アジ科[※], ウナギ属, コチ科, サメ・エイ類, スズキ属, タイ科[※], ニシン科, ハゼ科, ボラ, マダイ亜科, メバル亜科などの魚骨, カラス科, カモ科[※], キジ科などの鳥骨, イヌ科, イノシシ, ニホンジカ[※]などの獣骨, 漆喰状白色物質)が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたとみられる。70 は, 貝層中から出土した土器片と第 2 号遺物包含層堆積土中から出土した土器片が接合したものである。貝層中から出土した漆喰状白色物質は, 動物由来物質が再結晶したものと考えられる。詳細については, 本節 1(2)に掲載した。

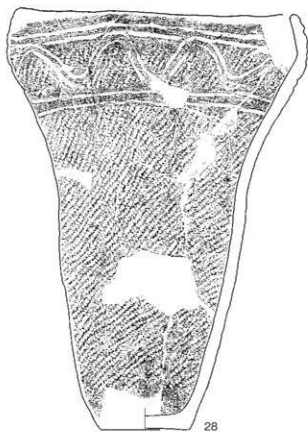
所見 干潟群集に属するマガキやウミニナの割合が高いことから, 内湾の泥質干潟を中心に採貝活動を行っていたとみられる。出土した魚骨から, 湾内や河口付近において漁労活動を行っていたとみられる。時期は, 出土土器から中期後葉と考えられる。



26



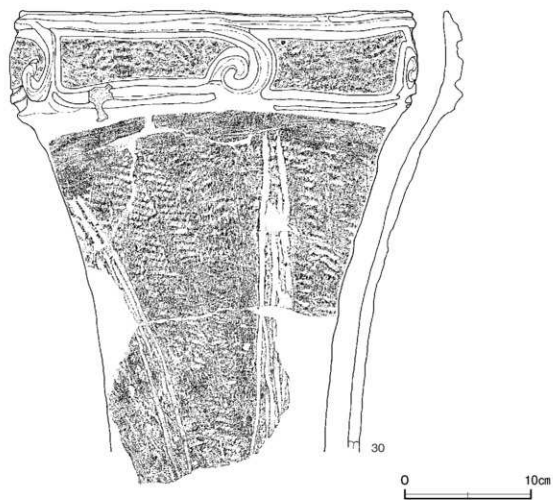
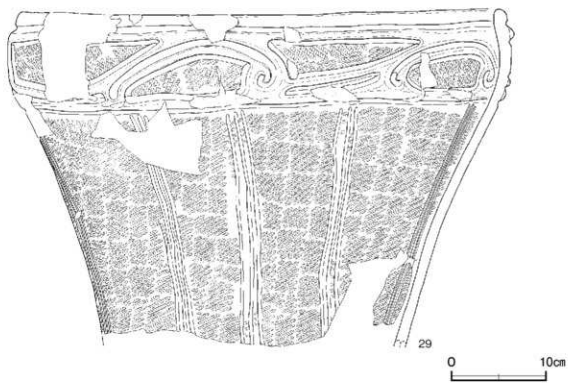
27



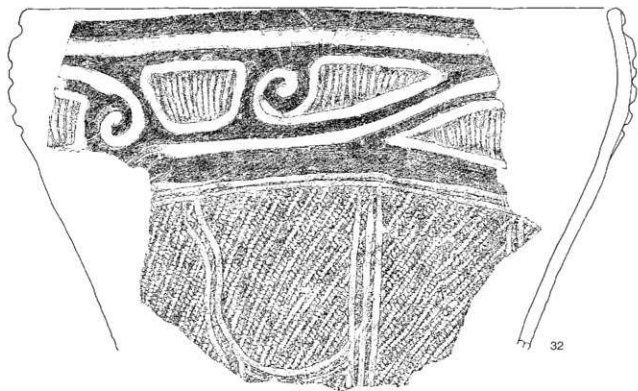
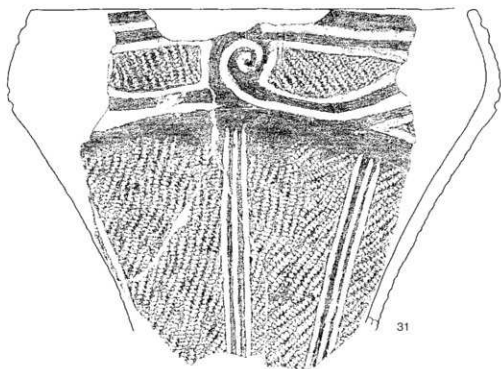
28



第23图 第2号貝層第IV層出土遺物实测图(1)

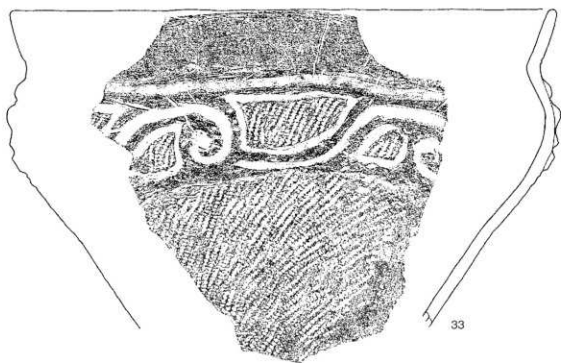


第 24 图 第 2 号貝層第 IV 層出土遺物実測図(2)



0 10cm

第25图 第2号貝層第IV層出土遺物実測图(3)



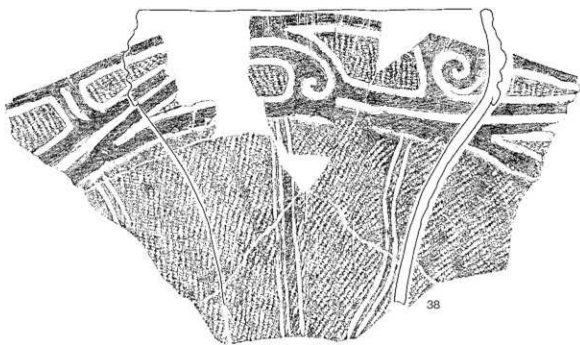
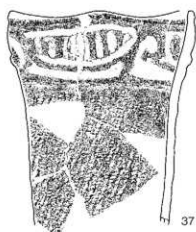
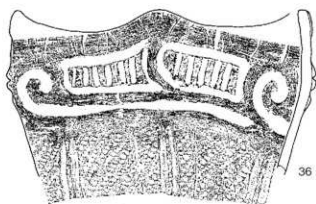
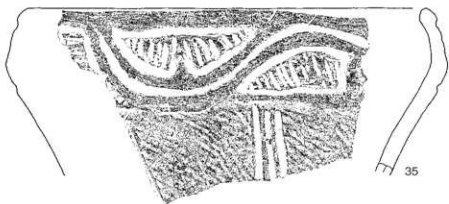
33



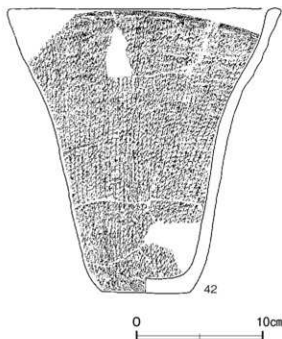
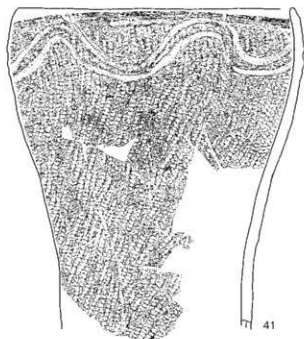
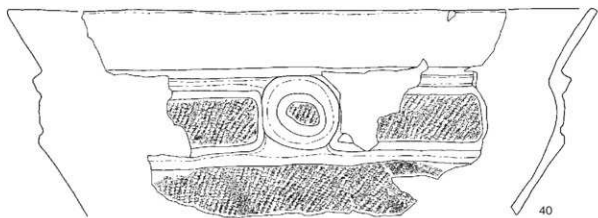
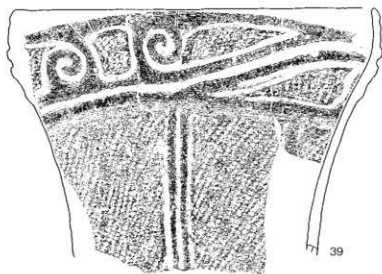
34

0 10cm

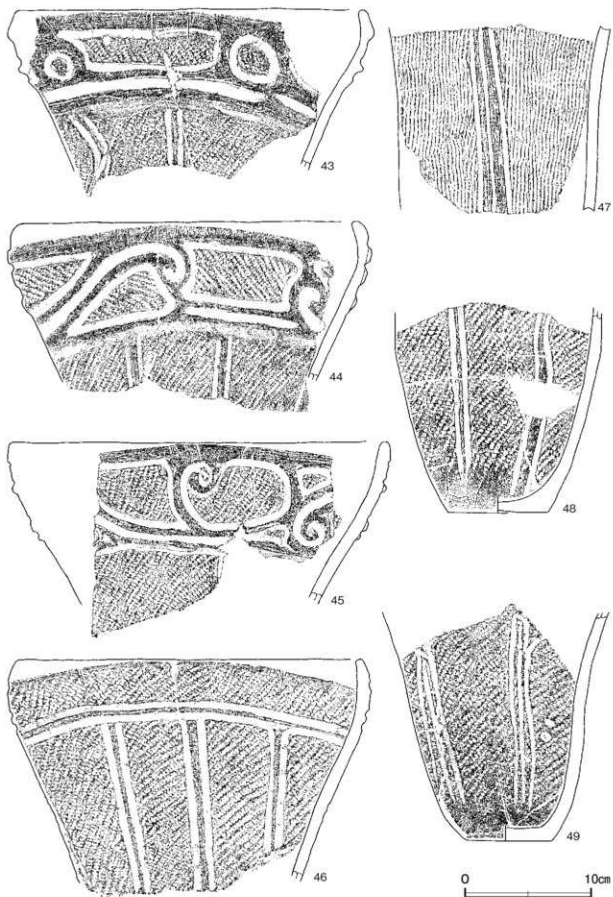
第26图 第2号貝層第IV層出土遺物実測図(4)



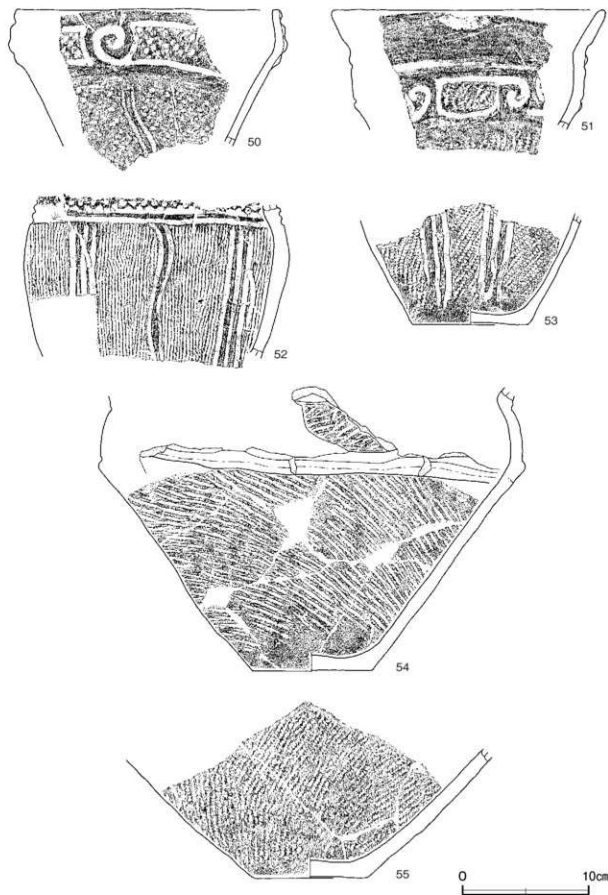
第27图 第2号貝層第IV層出土遺物实测图(5)



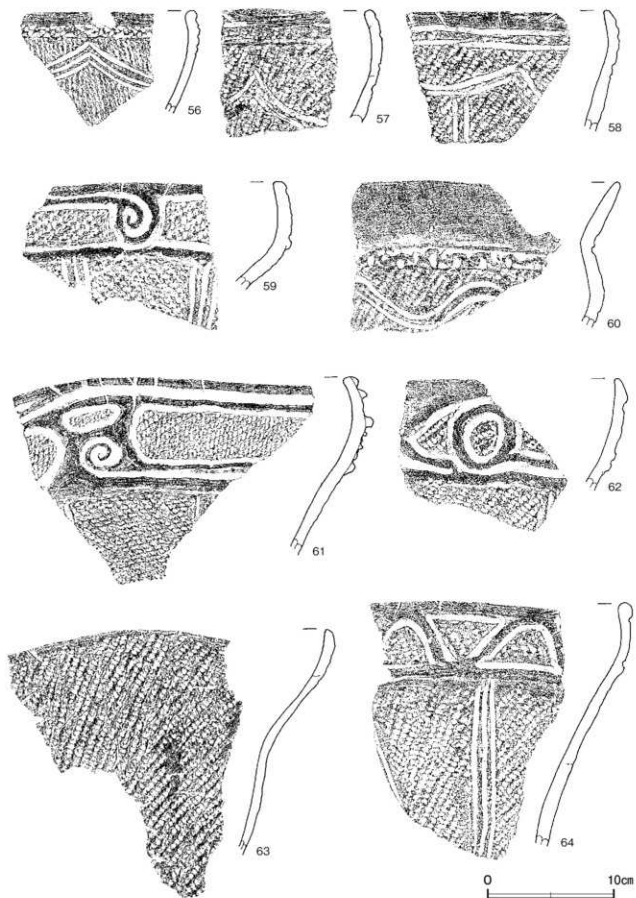
第28图 第2号貝層第IV層出土遺物実測図(6)



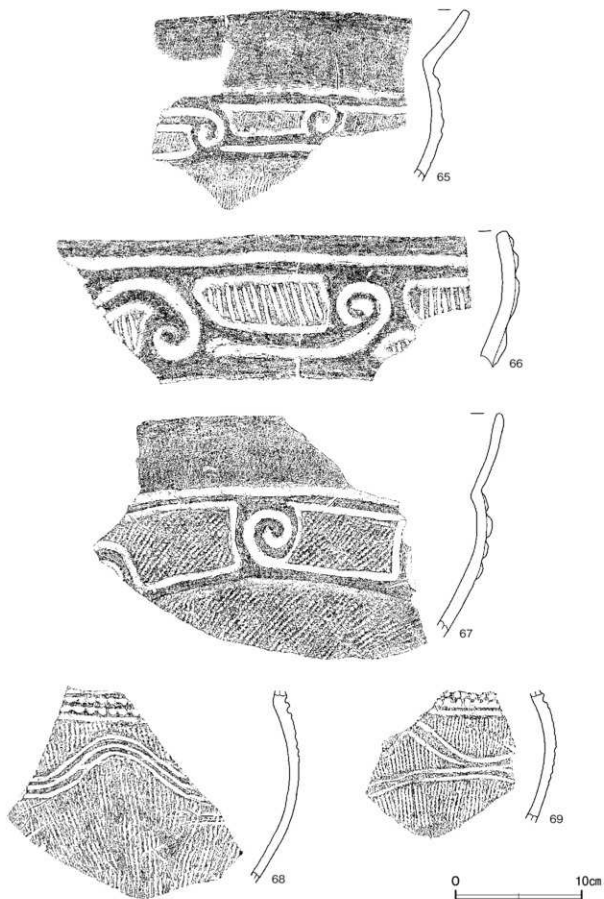
第29图 第2号貝層第IV層出土遺物实测图(7)



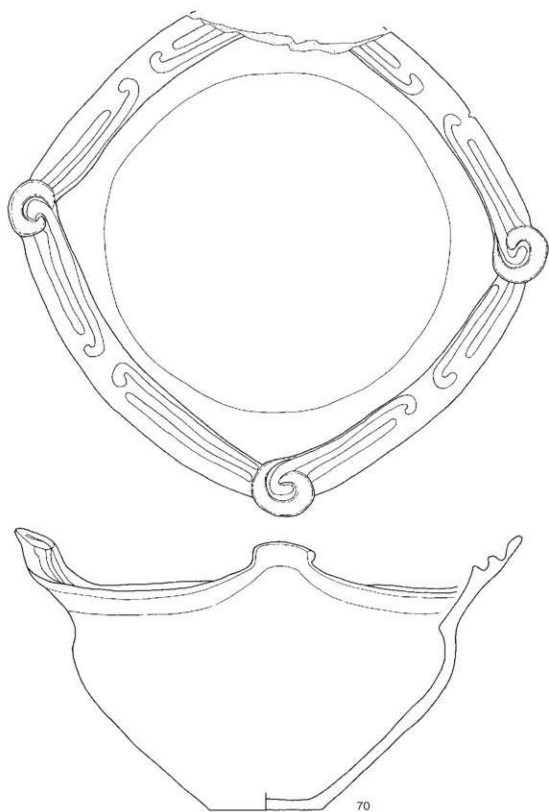
第30图 第2号貝層第IV層出土遺物实测图(8)



第31图 第2号貝層第IV層出土遺物实测图(9)

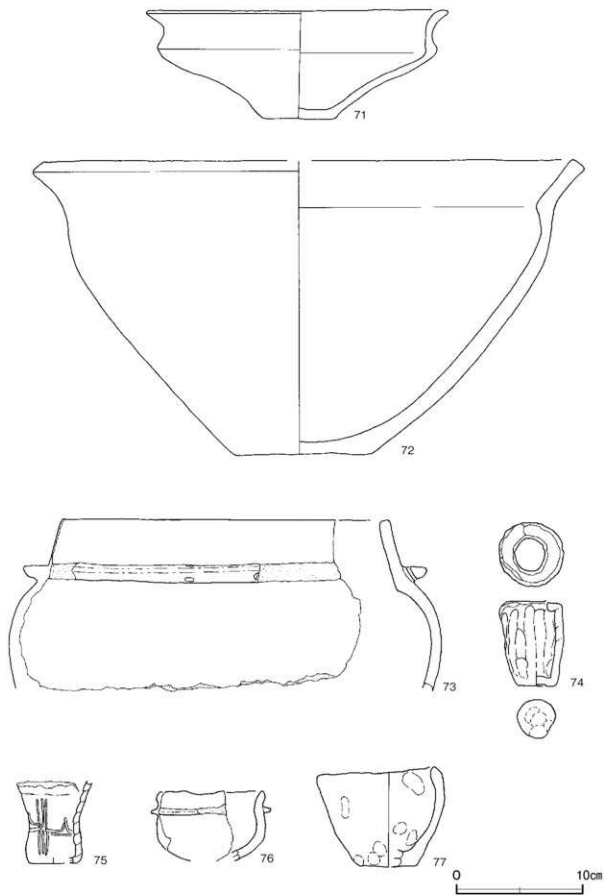


第 32 图 第 2 号貝層第 IV 層出土遺物实测图(10)

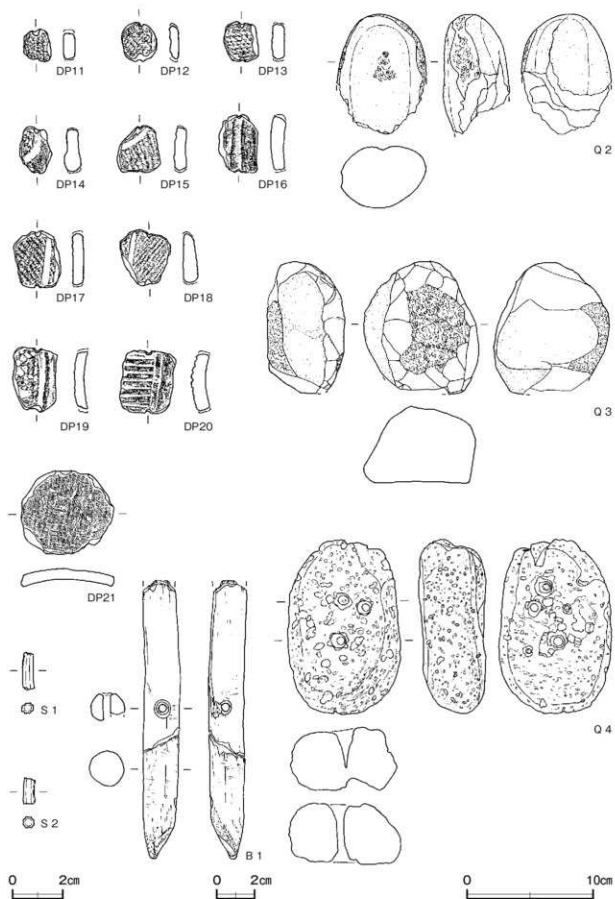


0 10cm

第33图 第2号貝層第IV層出土遺物実測図(1)



第34图 第2号貝層第IV層出土遺物実測図02



第35图 第2号貝層第IV層出土遺物実測図(33)

第2号貝層第4層出土遺物観察表(第23~35図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
26	縄文土器	深鉢	379	28.0	7.4	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文	低所下層	60% PL.23
27	縄文土器	深鉢	226	33.6	6.6	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 沈殿による渦巻文 1単位3条の磨消懸垂文	貝層中	60% PL.22
28	縄文土器	深鉢	21.8	33.3	7.0	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 沈殿による波状文	貝層中	80% PL.24
29	縄文土器	深鉢	498	(35.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 懸垂文	低所下層	40% PL.23
30	縄文土器	深鉢	30.8	(35.0)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	無輪縄文 L(縦) 除帯と沈殿による渦巻文 懸垂文	低所下層	40%
31	縄文土器	深鉢	(35.2)	(25.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 1単位3条の磨消懸垂文	低所下層	20%
32	縄文土器	深鉢	(47.0)	(27.1)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	除帯と沈殿による渦巻文 沈殿充填 単輪縄文 R.L.(縦) 波状沈殿	低所下層	10% PL.46
33	縄文土器	深鉢	(43.0)	(25.3)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文	低所上層	20%
34	縄文土器	深鉢	(40.0)	(36.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 沈殿による波状文 懸垂文 蛇行沈殿	高所下層	30%
35	縄文土器	深鉢	(31.6)	(13.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	除帯と沈殿による渦巻文 沈殿充填 無輪縄文 L(縦) 懸垂文	低所下層	10%
36	縄文土器	深鉢	(23.2)	(14.1)	-	長石・石英・雲母・細礫	灰褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文 沈殿充填 懸垂文	貝層中	25% PL.46
37	縄文土器	深鉢	(14.5)	(16.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	除帯と沈殿による渦巻文 沈殿充填 単輪縄文 R.L.(縦)	貝層中	40%
38	縄文土器	深鉢	(28.0)	(23.4)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 懸垂文 蛇行沈殿	貝層中	30% PL.46
39	縄文土器	深鉢	(28.6)	(19.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 1単位3条の磨消懸垂文	貝層中	30%
40	縄文土器	深鉢	(46.6)	(16.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による円形文	貝層中	20%
41	縄文土器	深鉢	(21.8)	(25.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 沈殿による波状文	低所下層	30%
42	縄文土器	深鉢	21.2	22.7	7.0	長石・石英・雲母	褐色	普通	懸垂文	低所下層	70% PL.24
43	縄文土器	深鉢	(27.2)	(12.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による円形文 懸垂文 蛇行沈殿	低所下層	10% PL.46
44	縄文土器	深鉢	(26.6)	(12.7)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 磨消懸垂文	貝層中	10%
45	縄文土器	深鉢	(29.6)	(12.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文	貝層中	10%
46	縄文土器	深鉢	(27.4)	(17.7)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 磨消懸垂文	低所下層	30%
47	縄文土器	深鉢	-	(14.5)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	懸垂文 1単位3条の磨消懸垂文	貝層中	5%
48	縄文土器	深鉢	-	(16.3)	7.8	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 懸垂文 蛇行沈殿	貝層中	20%
49	縄文土器	深鉢	-	(18.1)	6.9	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 懸垂文	高所下層	15%
50	縄文土器	深鉢	(20.8)	(10.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 蛇行沈殿	貝層中	5%
51	縄文土器	深鉢	(21.4)	(9.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文	貝層中	5%
52	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	交互刻突 懸垂文 1単位3条の磨消懸垂文 磨消蛇行沈殿	貝層中	25%
53	縄文土器	深鉢	-	(8.9)	9.4	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 1単位3条の磨消懸垂文	貝層中	10%
54	縄文土器	深鉢	-	(22.5)	9.6	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	多条縄文 L.R.(横・縦)	低所下層	35% PL.24
55	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	(8.8)	長石・石英	浅黄褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦)	高所下層	15%
56	縄文土器	深鉢	-	(8.1)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	交互刻突 懸垂文 透気文	貝層中	
57	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 透気文	貝層中	
58	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 透気文 懸垂文	高所上層	
59	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	接輪縄文 L.R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文 懸垂文	貝層中	
60	縄文土器	深鉢	-	(11.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	交互刻突 単輪縄文 R.L.(縦) 沈殿による波状文	貝層中	
61	縄文土器	深鉢	-	(14.1)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	接輪縄文 L.R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による渦巻文	低所下層	
62	縄文土器	深鉢	-	(9.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による円形文	貝層中	
63	縄文土器	深鉢	-	(17.8)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦)	低所上層	
64	縄文土器	深鉢	-	(19.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単輪縄文 R.L.(横・縦) 除帯と沈殿による波状文 懸垂文	低所下層	
65	縄文土器	深鉢	-	(13.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	無輪縄文 R(斜) 除帯と沈殿による渦巻文	高所下層	
66	縄文土器	深鉢	-	(10.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	除帯と沈殿による渦巻文 沈殿充填	貝層中	
67	縄文土器	深鉢	-	(17.7)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単輪縄文 R.L.(縦) 除帯と沈殿による渦巻文	高所上層	
68	縄文土器	深鉢	-	(15.1)	-	長石・石英	灰黄褐色	普通	円形刻突列 無輪縄文 L.L.(縦) 透気文	低所下層	
69	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英	にぶい赤褐色	普通	交互刻突 懸垂文 透気文	貝層中	
70	縄文土器	浅鉢	53.0	28.9	11.8	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	渦巻文	低所下層 図2	90% PL.25
71	縄文土器	浅鉢	23.7	8.8	5.8	長石・石英・雲母	褐色	普通	無文	高所下層	90%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
72	縄文土器	浅鉢	[420]	23.4	10.5	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	無文 口縁部外・内面赤彩痕	低所下層	60%
73	縄文土器	有孔陶片	[260]	(13.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	罅に穿孔	低所下層	10% PL46
74	縄文土器	にぶた7	5.1	6.8	3.0	長石・石英・雲母	橙	普通	ナゾ痕	低所下層	100% PL45
75	縄文土器	にぶた7	-	(6.3)	[4.0]	長石・石英	にぶい赤褐	普通	鈎状沈線	貝層中	30% PL45
76	縄文土器	にぶた7	[8.0]	(5.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	鈎状	確認面	30%
77	縄文土器	にぶた7	9.0	7.9	[4.4]	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	指頭痕	貝層中	60% PL24

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP11	土器片鉢	2.6	2.2	0.9	6.6	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第IV～3層	
DP12	土器片鉢	3.1	2.8	0.7	9.3	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第IV～8層	
DP13	土器片鉢	3.1	2.8	1.0	12.1	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP14	土器片鉢	3.7	2.5	1.3	12.8	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第IV～11層	PL61
DP15	土器片鉢	3.8	3.5	1.0	15.5	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP16	土器片鉢	4.6	3.0	1.3	21.4	長石・石英・雲母	黒褐	口縁部片 周縁未研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP17	土器片鉢	4.5	3.7	1.0	20.2	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP18	土器片鉢	4.5	4.0	1.2	28.8	長石・石英・雲母	灰黄褐	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP19	土器片鉢	5.2	3.5	1.0	20.4	長石・石英・雲母	灰褐	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP20	土器片鉢	5.0	4.5	1.5	39.5	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP21	土器片内盤	6.6	7.4	1.4	58.0	長石・石英・雲母	橙	胴部片 周縁研磨	貝層中	PL61

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q2	磨石	(9.5)	7.1	5.2	(420.9)	石英斑岩	両面研磨 片面に凹み 敲打痕	貝層中	
Q3	敲石	10.5	9.3	6.1	(786.5)	砂岩	敲打痕	貝層中	PL64
Q4	軽石製品	13.8	9.0	5.3	82.3	軽石	穿孔6か所のうち貫通孔2か所 片端部に刻み	貝層中	PL66

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B1	棒状加工品	(14.8)	2.1	2.0	(16.3)	ニホンジカ角	表面研磨 先端部欠損 二方向から穿孔 孔径0.9～0.4cm	貝層中	PL71

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S1	垂飾り	1.5	0.5	0.4	0.2	ヤカドツノガイ	両端部切断	確認面	
S2	垂飾り	1.1	0.5	0.4	0.1	ヤカドツノガイ	両端部切断	確認面	

第V層 (第36～55区)

確認状況 窪地の中央部に位置するブロック状貝層である。第IV層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 第VI層の上部に形成されている。第354号土坑に掘り込まれ、第2号遺物包含層が上部に形成されている。

広がりや堆積状況 南北幅は約6.6mで、東西幅は、東側が調査区域外へ延びているため約7.6mしか確認できなかった。層厚は約50cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北方向や東方向から低所に投棄されたと考えられる。36層に分層でき、小形のマガキ、小形のハマグリ、ウミナを主体とした貝層などが堆積している。調査区東壁に土止壁を設置したため、貝層断面の一部を作図できなかった。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。第V～6層では破砕率が高いため、集計できた貝類は少数であった。第V・10・13・14層は自然科学分析該当層で、第V～10層ではウミナが、第V・13・14層ではハマグリが主体である。また、カワザンシヨウガイやヒメカノコなどの微小貝類もサンプル内から出土している。

土層・貝層解説

- 1 暗褐色 焼土粒子・炭化粒子少量
 2 混貝土層 黒褐色、殻高1.4～2.6cmのウミナナ主体、混貝率40%、破砕率50%、焼土粒子・灰中量、炭化粒子少量
 3 混貝土層 暗褐色、殻高1.1～4.8cmマガキ主体、混貝率40%、破砕率75%、焼土粒子中量、炭化粒子・灰少量
 4 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
 5 混貝土層 殻高1.5～3.2cmのウミナナ主体、混貝率90%、破砕率60%、灰中量、焼土粒子・炭化粒子微量
 6 混貝土層 黒褐色、ハマグリ主体、混貝率25%、破砕率80%、炭化粒子少量、焼土粒子微量
 7 混貝土層 殻高1.6～5.5cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率60%、焼土粒子・炭化粒子微量
 8 混貝土層 殻高1.0～3.8cmのウミナナ主体、混貝率80%、破砕率50%、焼土粒子中量、炭化粒子微量
 9 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率75%、破砕率60%、焼土粒子・炭化粒子微量
 10 混貝土層 殻高1.2～3.5cmのウミナナ主体、混貝率80%、破砕率60%、焼土粒子中量、炭化粒子・灰少量
 11 混貝土層 殻高0.9～2.8cmのウミナナ主体、混貝率80%、破砕率60%、灰中量、焼土粒子・炭化粒子微量
 12 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
 13 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率75%、破砕率75%、炭化粒子少量、焼土粒子微量
 14 混貝土層 黒褐色、ハマグリ主体、混貝率20%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子少量、灰微量
 15 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子少量
 16 混貝土層 ハマガリ主体、混貝率75%、破砕率75%、炭化粒子少量
 17 混貝土層 黒褐色、ハマグリ主体、混貝率30%、破砕率50%、炭化粒子少量
 18 混貝土層 黒褐色、殻高1.9～3.4cmのウミナナ主体、混貝率25%、破砕率50%、炭化粒子中量、焼土粒子少量
 19 暗褐色 炭化粒子中量、ロームブロック・焼土ブロック微量
 20 混貝土層 暗褐色、ハマグリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率40%、破砕率50%、炭化粒子少量
 21 混貝土層 ハマガリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率80%、破砕率50%、炭化粒子少量
 22 混貝土層 ハマガリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率60%、破砕率50%、炭化粒子微量
 23 暗褐色 灰多量、炭化粒子微量
 24 混貝土層 暗褐色、マガキ主体、混貝率5%、破砕率95%、炭化粒子少量
 25 混貝土層 暗褐色、ウミナナ主体、混貝率5%、破砕率50%、灰多量、炭化粒子少量
 26 混貝土層 ハマガリ主体・マガキ・ウミナナなど、混貝率75%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
 27 混貝土層 暗褐色、ハマグリ主体、混貝率10%、破砕率80%、灰中量、炭化粒子少量
 28 混貝土層 暗褐色、ハマグリ主体、混貝率5%、破砕率80%、焼土粒子・灰中量、炭化粒子少量
 29 混貝土層 マガキ主体・ウミナナ・ハマグリなど、混貝率75%、破砕率60%、焼土粒子・炭化粒子微量
 30 混貝土層 マガキ主体・ハマグリ・ウミナナなど、混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
 31 混貝土層 マガキ主体・ナミマガシワ・ウミナナなど、混貝率80%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量
 32 混貝土層 マガキ主体・ハマグリ・ウミナナなど、混貝率80%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子微量
 33 混貝土層 マガキ主体・ハマグリ・サルボウなど、混貝率75%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子少量
 34 混貝土層 黒褐色、ハマグリ主体・ウミナナ・サルボウなど、混貝率25%、破砕率95%、炭化粒子少量
 35 混貝土層 マガキ主体・ウミナナ・サルボウなど、混貝率60%、破砕率80%、炭化粒子中量、焼土粒子少量
 36 混貝土層 マガキ主体・ウミナナ・サルボウなど、混貝率80%、破砕率80%、炭化粒子少量

表26 第V-2層貝類組成表

貝種	ウミナナ	マガキ	ハマグリ	シオフキ	アラムシロ	サルボウ	レイシガイ	カノコガイ	ナミマガシワ	アサリ	ナミマガシワ	カワアイ	その他	個体数	
点	右殻 左殻	66 51	45 34	24 32	18	16 12	5	5	3 1	2 2	1	1	キセルガイ4	265	
割合(%)		24.9	23.0	20.4	12.1	6.8	6.0	1.9	1.9	1.1	0.8	0.8	0.3	-	(推定除く)

表27 第V-3層貝類組成表

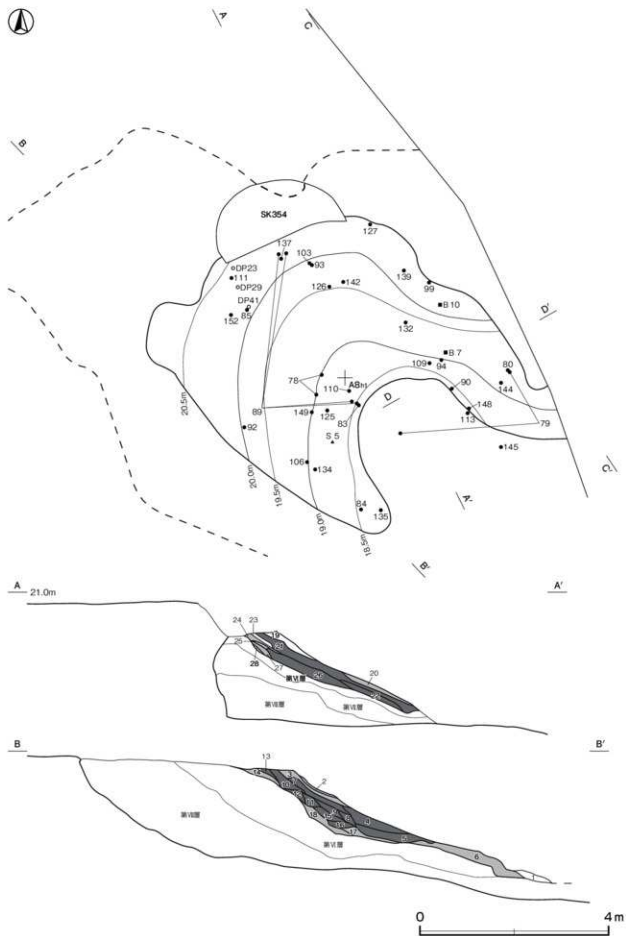
貝種	マガキ	サルボウ	ハマグリ	アラムシロ	ウミナナ	シオフキ	カノコガイ	ナミマガシワ	カワアイ	アサリ	ナミマガシワ	ヒメコサザ	その他	個体数	
点	右殻 左殻	66 73	40 61	45 38	24	22	15 21	14	8 12	6	4 5	2 1	1	キセルガイ8	286
割合(%)		25.5	21.3	15.7	8.4	7.7	7.3	4.9	4.2	2.2	1.7	0.7	0.4	-	(推定除く)

表28 第V-4層貝類組成表

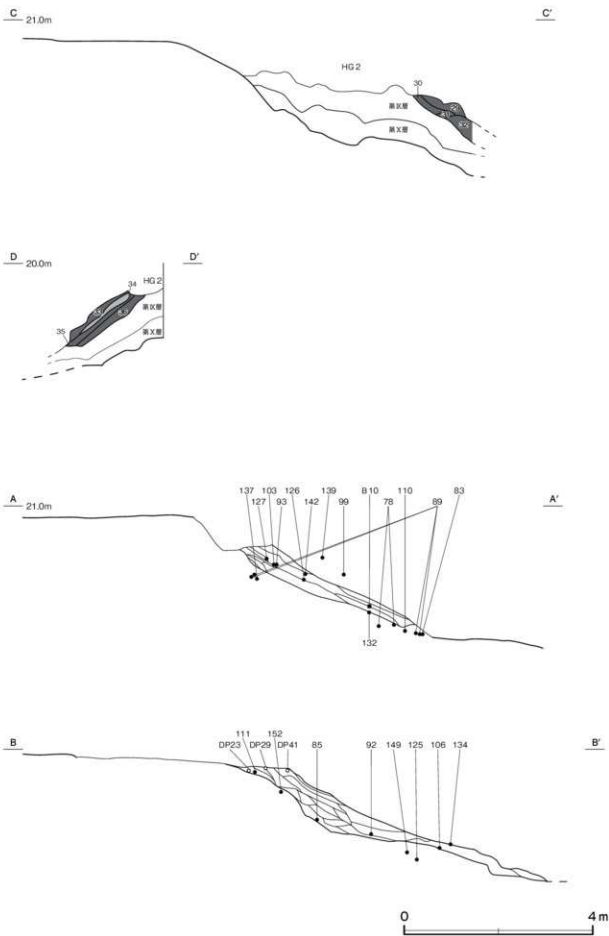
貝種	ハマグリ	マガキ	ウミナナ	サルボウ	シオフキ	アラムシロ	カワアイ	レイシガイ	ナミマガシワ	カノコガイ	アサリ	個体数	
点	右殻 左殻	135 137	100 102	60	23 28	24 18	23	7	5	4 4	3 2	1 0	397
割合(%)		34.5	25.7	15.1	7.1	6.0	5.8	1.8	1.3	1.0	0.7	0.7	0.3

表29 第V-5層貝類組成表

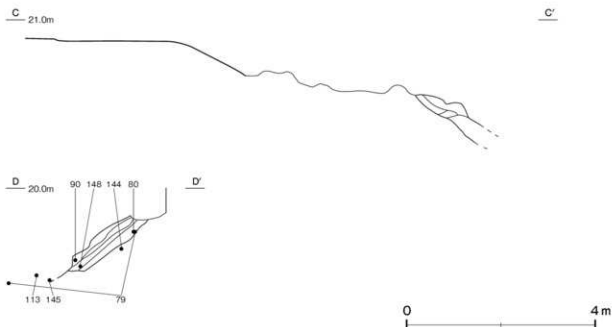
貝種	ウミナナ	マガキ	ハマグリ	シオフキ	アラムシロ	サルボウ	カワアイ	カノコガイ	レイシガイ	アサリ	ナミマガシワ	その他	個体数	
点	右殻 左殻	195 161	114 139	154 71	76	29	9 13	10	8	7	4 0	2 1	カブメガイ1 キセルガイ17	682
割合(%)		29.4	24.3	23.3	11.5	4.4	2.0	1.5	1.2	1.0	0.6	0.4	0.2	(推定除く)



第36图 第2号貝層第V層実測圖(1)



第 37 图 第 2 号貝層第 V 層实测图(2)



第38図 第2号貝層第V層実測図(3)

表30 第V-6層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	ウミニナ	サルボウ	オキシジミ	シオフキ	カリアイ	アサリ	アラムシロ	その他	個体数
点	右殻	22	20	14	6	10	5	1	1	キセルガイ2	99
	左殻	31	18		13	4	3	4	0		
割合(%)		32.0	20.0	14.0	13.0	10.0	5.0	4.0	10	1.0	(残生除く)

表31 第V-7層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	ウミニナ	シオフキ	アラムシロ	カノコガイ	サルボウ	カリアイ	レイシガイ	アサリ	オキシジミ	ハマシロ	その他	個体数	
点	右殻	151	110	92	37	23	12	10	7	7	4	3	0	ウネナシトマヤ1 アカニシ1 キセルガイ18 (残生除く)	488
	左殻	135	138		35			10			4	3	3		
割合(%)		31.0	28.3	18.9	7.6	4.7	2.5	2.0	14	14	0.8	0.6	0.6	0.2	

表32 第V-8層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	ハマグリ	アラムシロ	シオフキ	レイシガイ	サルボウ	カノコガイ	カリアイ	トシマガシロ	オキシジミ	アサリ	その他	個体数
点	右殻	737	120	81	53	46	10			1	3	1	ウネナシトマヤ1 アカニシ1 キセルガイ9 (残生除く)	1090
	左殻		83	66		44	16	10	10	7	4	0		
割合(%)		67.6	11.0	7.4	4.9	4.2	1.5	0.9	0.9	0.6	0.4	0.3	0.1	0.2

表33 第V-9層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	シオフキ	ウミニナ	アラムシロ	サルボウ	レイシガイ	カリアイ	カノコガイ	アサリ	トシマガシロ	ヒメコガラ	その他	個体数
点	右殻	180	82	80	75	26	4	5	5	5	0	0	キセルガイ7 (残生除く)	485
	左殻	186	88	82			6				4	2		
割合(%)		38.4	18.2	16.9	15.5	5.4	1.2	1.0	1.0	1.0	0.8	0.4	0.2	-

表34 第V-11層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	ハマグリ	シオフキ	アラムシロ	レイシガイ	カノコガイ	サルボウ	カリアイ	オキシジミ	トシマガシロ	アサリ	その他	個体数
点	右殻	206	166	92	43	31	18	15	4	1	1	0	ネコガイ2 カウマンシヨウ1 キセルガイ12 (残生除く)	597
	左殻		111	89	37				10	6	3	3		
割合(%)		34.4	27.8	15.4	7.2	5.2	3.0	2.5	1.7	1.0	0.5	0.5	0.3	0.5

表35 第V-12層貝類組成表

貝種	ハマグリ	シオフキ	ウミナナ	マガキ	アラムシロ	レイシガイ	トミダシウ	オキシジミ	カノコガイ	アサリ	カワイイ	スガイ	その他	個体数
点	右殻 187	84	93	39	19	9	2	5	5	3	3	3	キセルガイ2 キセルガイ4	483 (塵生除く)
左殻	196	95	13	8			7	4						
割合(%)	40.6	19.7	19.3	8.1	3.9	1.9	1.7	1.4	1.0	0.8	0.6	0.6	0.4	

表36 第V-15層貝類組成表

貝種	ハマグリ	ウミナナ	シオフキ	マガキ	レイシガイ	アラムシロ	カワイイ	キセルボウ	アサリ	トミダシウ	オキシジミ	カノコガイ	その他	個体数
点	右殻 129	111	65	29	23	22	7	4	2	2	1	2	キセルガイ3	422 (塵生除く)
左殻	152		60	29				3	3	2	2			
割合(%)	36.0	36.3	15.4	6.9	5.4	5.2	1.7	0.9	0.7	0.5	0.5	0.5	-	

表37 第V-16層貝類組成表

貝種	ハマグリ	ウミナナ	シオフキ	マガキ	アラムシロ	カノコガイ	カワイイ	レイシガイ	オキシジミ	アサリ	キセルボウ	スガイ	その他	個体数
点	右殻 210	88	69	68	44	7	6	5	3	0	0	1	キセルガイ2	526 (塵生除く)
左殻	228		65	50					4	4	2			
割合(%)	43.3	16.7	13.1	12.9	8.4	1.3	1.1	1.0	0.8	0.8	0.4	0.2	-	

表38 第V-17層貝類組成表

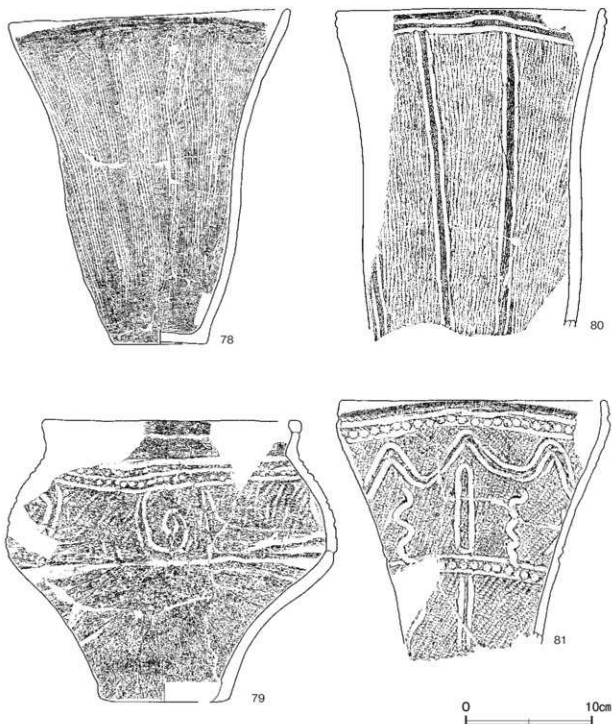
貝種	ハマグリ	シオフキ	ウミナナ	アラムシロ	マガキ	キセルボウ	オキシジミ	アサリ	カワイイ	カノコガイ	その他	個体数
点	右殻 65	30	27	19	2	1	2	1	2	2	キセルガイ8	160 (塵生除く)
左殻	63	18			5	4	3	3				
割合(%)	40.6	18.8	16.9	11.9	3.1	2.5	1.9	1.9	1.2	1.2	-	

表39 第V-18層貝類組成表

貝種	ウミナナ	マガキ	カワイイ	アラムシロ	ハマグリ	キセルボウ	シオフキ	カノコガイ	トミダシウ	レイシガイ	オキシジミ	アサリ	その他	個体数
点	右殻 174	59	31	29	13	10	13	13	9	5	2	3	キセルガイ38 マイマイ2	375 (塵生除く)
左殻	32	18			16	14	7		4		1			
割合(%)	46.4	15.7	8.3	7.7	4.8	4.3	3.7	3.5	2.4	1.3	1.1	0.8	-	

遺物出土状況 縄文土器片 5,650点 (深鉢 5,478, 浅鉢 164, ミニチュア土器 2, 有孔鈔付土器 5, 台形土器 1), 土製品 67点 (土器片鎌 65, 土器片円盤 1, 匙形土製品 1), 石器 13点 (削器 1, 鎌 3, 石匙 1, 磨製石斧 2, 磨石 4, 敲石 1, 凹石 1), 剥片 9点 (チャート 5, 黒曜石 2, 石英 2), 石製品 2点 (耳飾り, 軽石製品), 骨角器 14点 (釣針 1, ヤス 8, ヘラ 1, 垂飾り 1, 加工品 3), 貝製品 16点 (貝刃 3, 貝輪 1, 垂飾り 12), 人骨 4点, 自然遺物 (貝類, アカエイ科, アジ科, ウナギ属, カレイ科, クロダイ属, コチ科, サバ属, サメ・エイ類, サヨリ属, スズキ属, タイ科, トビエイ科, ニシン亜科, ハゼ科, ヒラメ, プリ属, ボラなどの魚骨, カモ科, キジ科, スズメ目などの鳥骨, イノシシ, ニホンジカ, ノイヌ, ノウサギなどの獣骨) が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたとみられる。143は, 第V-5層と第IV層中からそれぞれ出土した土器片が接合したもので, 破片の一部が投棄時または投棄後に低所に流れ込んだと考えられる。79の一部・113・145は黒褐色土中から出土している。N 1143のアカエイ科の尾鰭棘は, 貝層中から出土したもので, 刺突具としての加工痕或使用痕は確認できなかった。貝製品では, ヤカドツノガイ製の垂飾りが他の貝層と比較して多く出土している。

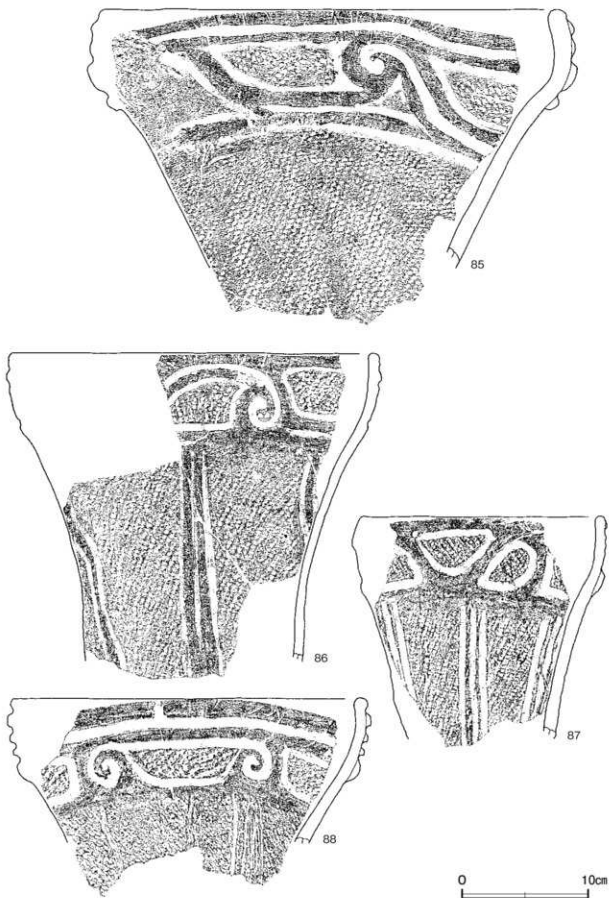
所見 干潟群集に属するマガキやウミミナ、内湾砂底群集に属するハマグリを主体とした貝層などがみられる。主体となる貝種の変化は、採貝季節や採貝場の差異、意図的な採貝活動などによると考えられる。自然科学分析から、ハマグリは殻長3cm前後の小形が中心であることが判明した。カワザンショウガイはアシ原に生息する貝類で、アシの採集に伴って持ち込まれた可能性がある。詳細については、本節1(2)に掲載した。出土した魚骨は多種にわたっているが、主に湾内や河口付近でヤスや漁網などを使用した漁労活動を行っていたとみられる。時期は、出土土器から中期後葉と考えられる。



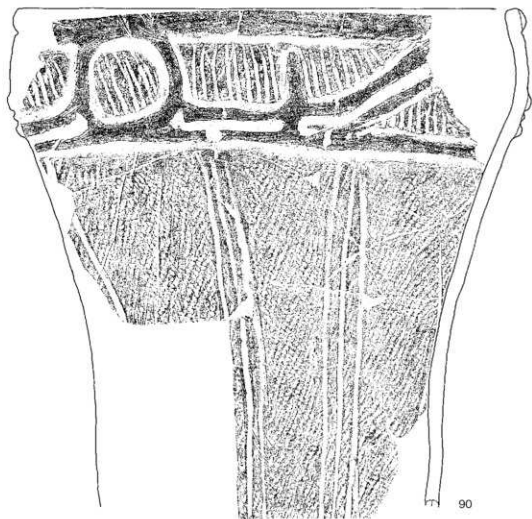
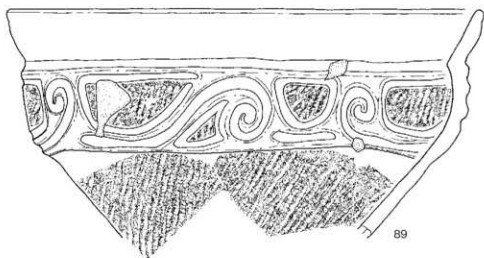
第39図 第2号貝層第V層出土遺物実測図(1)



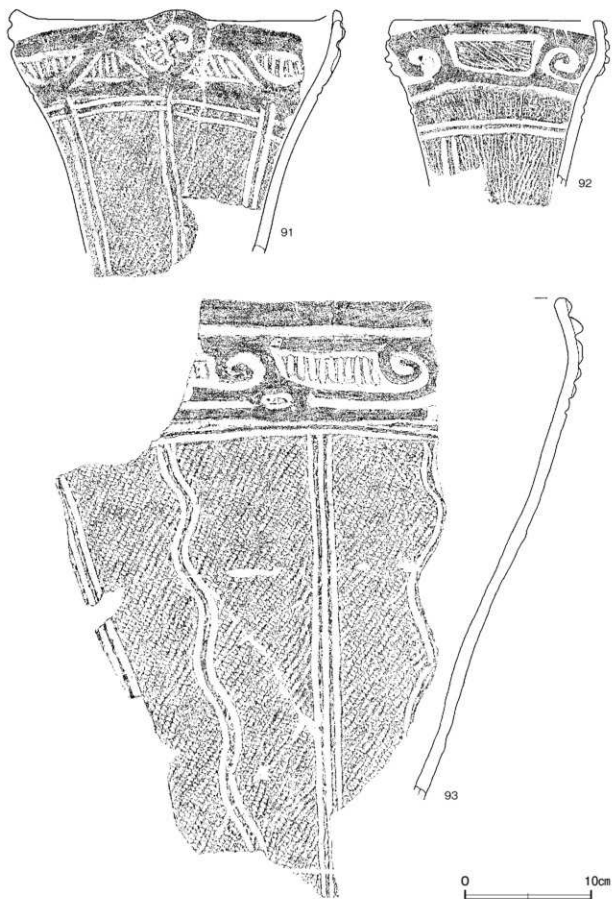
第40图 第2号貝層第V層出土遺物実測図2)



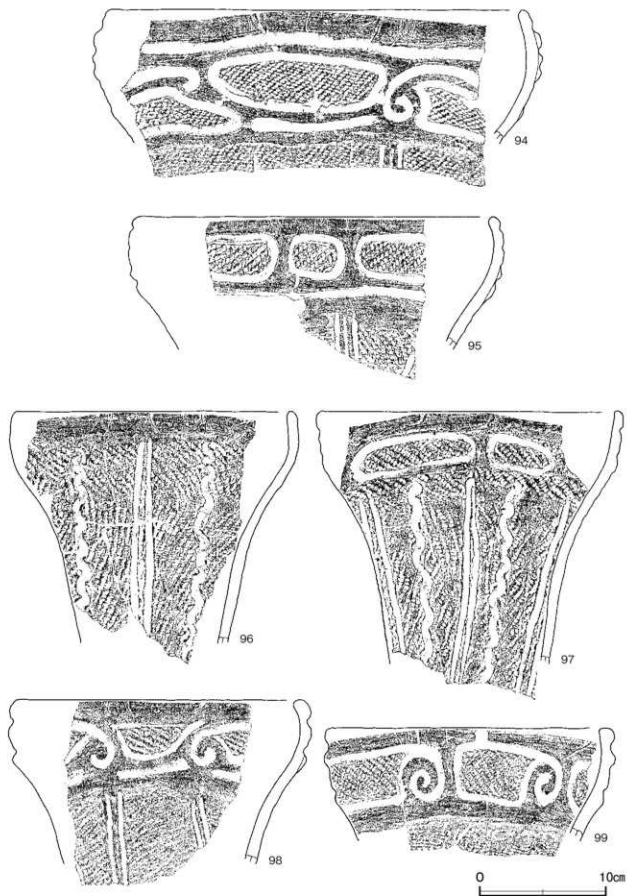
第41图 第2号贝层第V层出土遗物实测图(3)



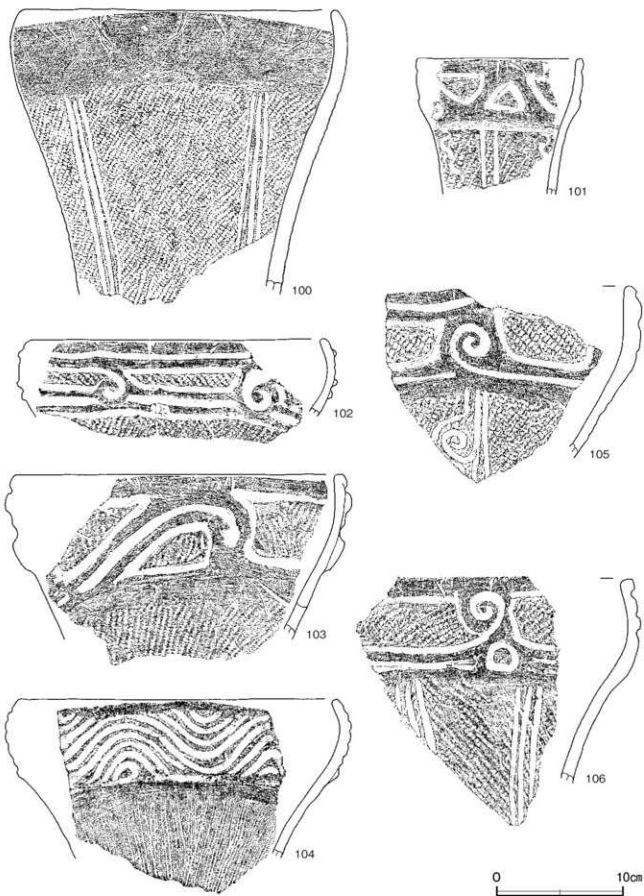
第42图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(4)



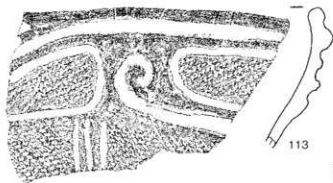
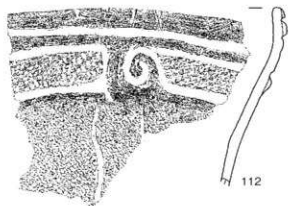
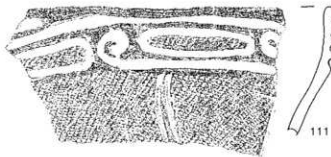
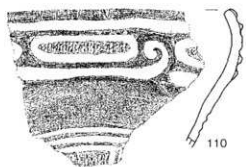
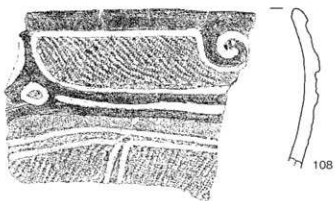
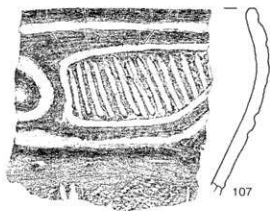
第43图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(5)



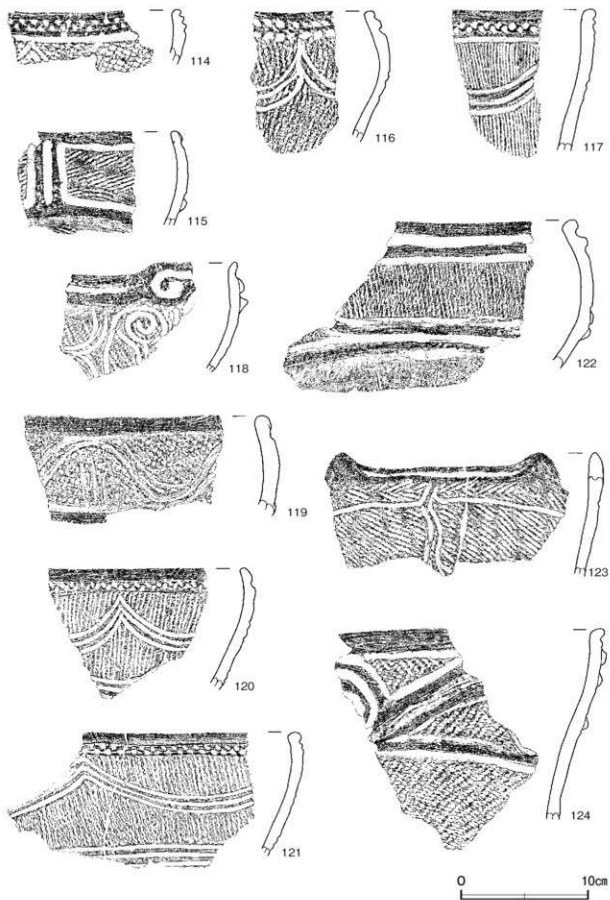
第44图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(6)



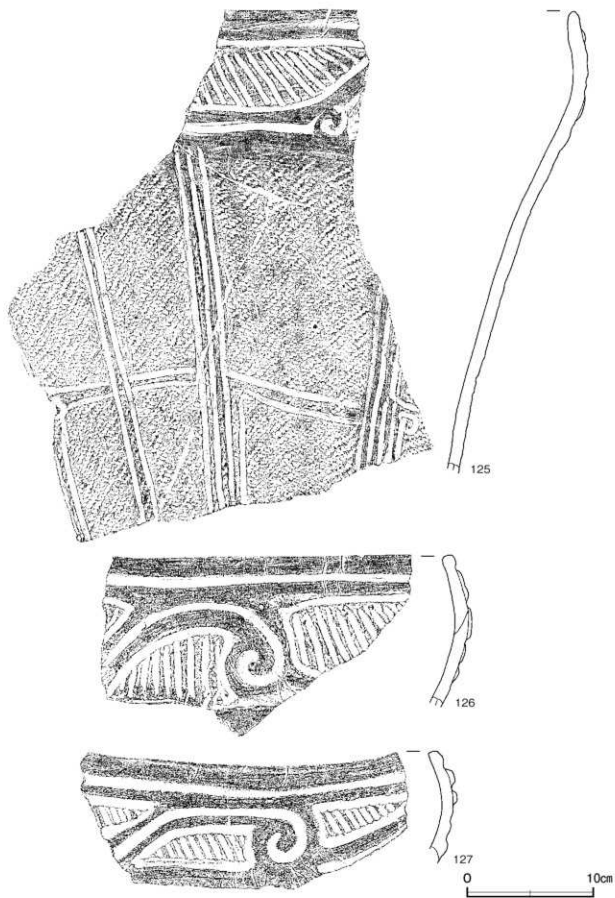
第45图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(7)



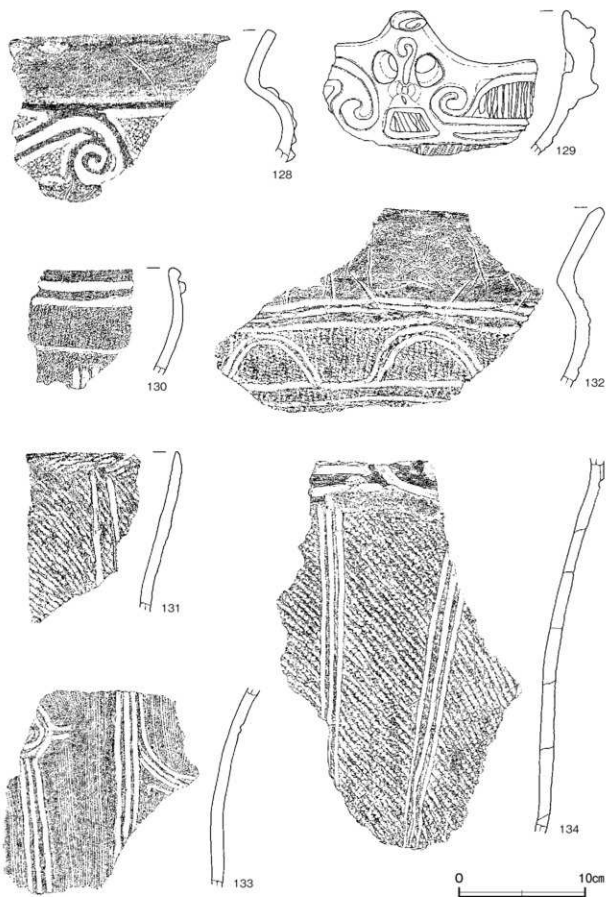
第46图 第2号贝层第V层出土物实测图(8)



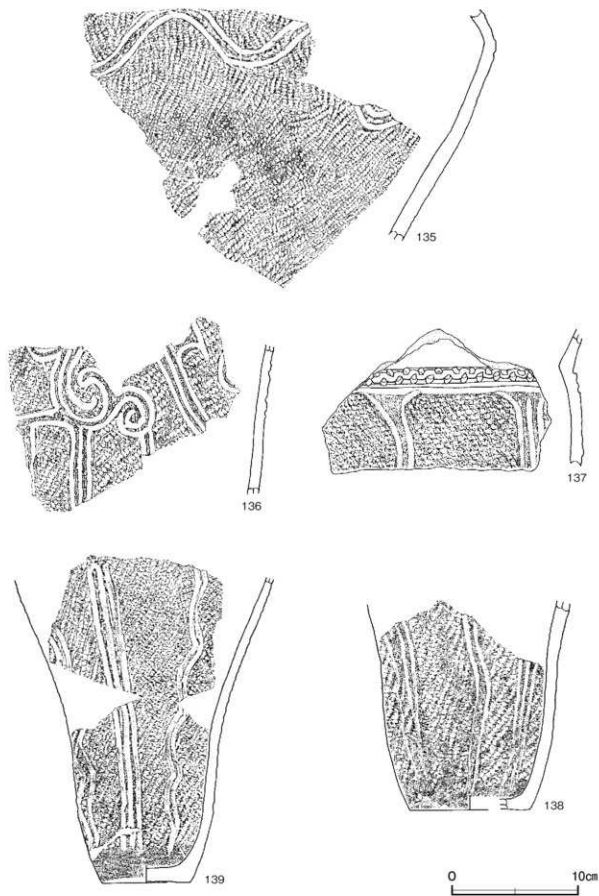
第47图 第2号贝层第V层出土遗物实测图(9)



第48图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(3)



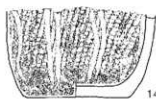
第49图 第2号貝層第V層出土遺物実測図(1)



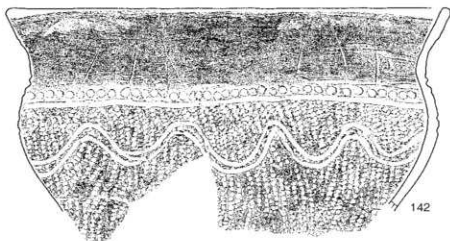
第50图 第2号贝层第V层出土物实测图02



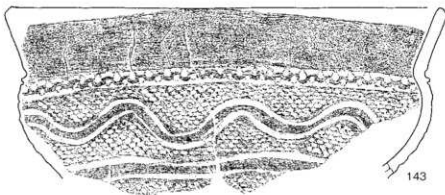
140



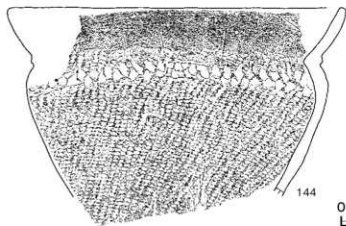
141



142



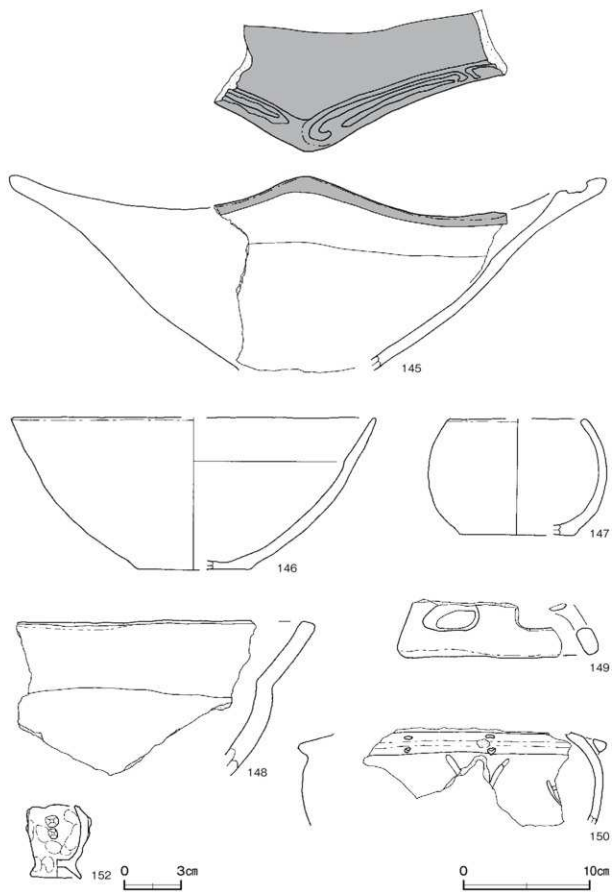
143



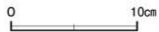
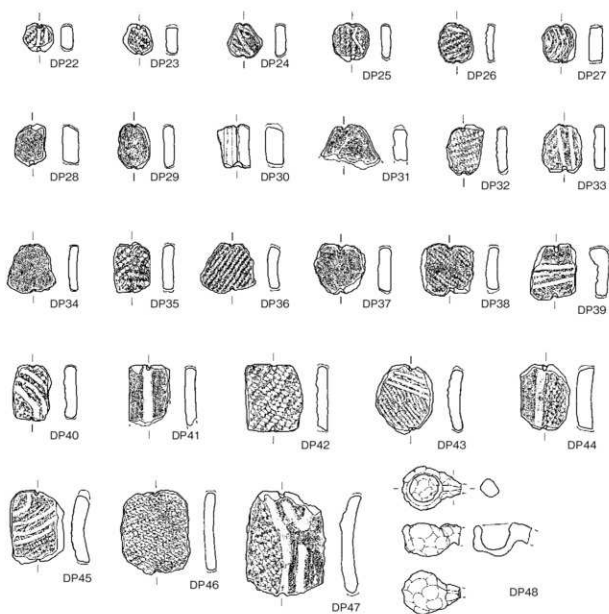
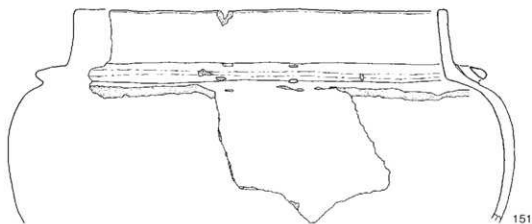
144



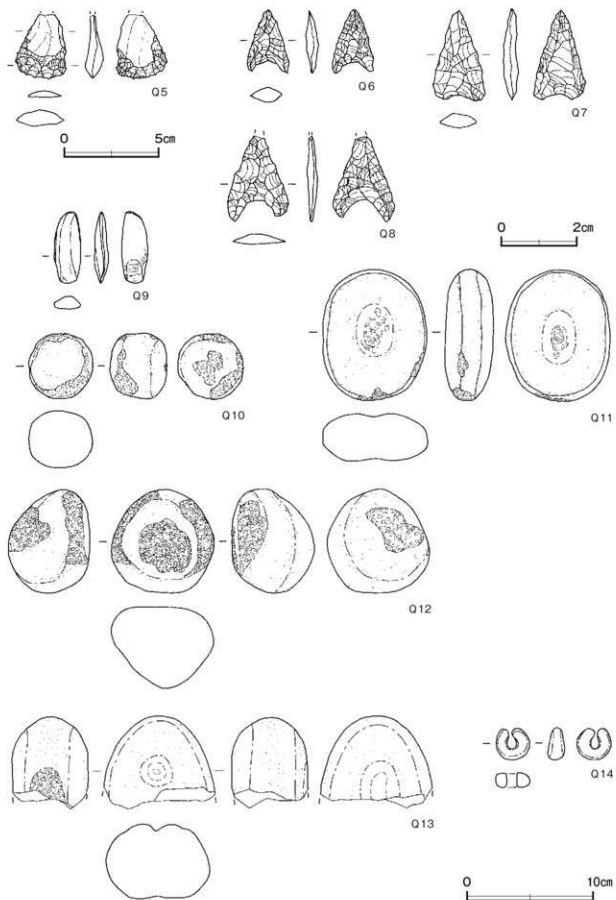
第51图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(3)



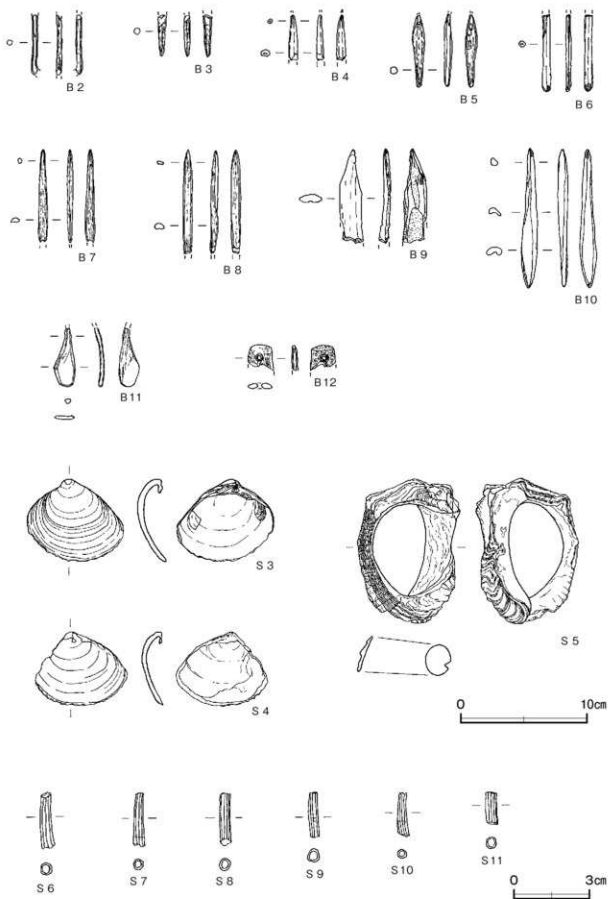
第 52 图 第 2 号貝層第 V 層出土遺物実測図④



第 53 图 第 2 号貝層第 V 層出土遺物实测图(15)



第54图 第2号貝層第V層出土遺物実測図⑩



第55图 第2号貝層第V層出土遺物实测图(7)

第2号貝層第V層出土遺物観察表(第39～55図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
78	縄文土器	深鉢	220	26.5	7.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	櫛歯状工具による条線文	低所下層	90% PL24
79	縄文土器	深鉢	[20.5]	22.3	10.4	長石・石英・雲母・緑輝	にぶい黄橙	普通	単節縄文L(横・縦) 円形刺突列 沈澱による渦巻文 内面黒色処理	高所下層 斜面部低所	60% PL24
80	縄文土器	深鉢	[21.2]	[25.2]	-	長石・雲母	にぶい橙	普通	然赤文 磨消懸垂文	高所下層	20%
81	縄文土器	深鉢	[20.8]	[19.3]	-	長石・石英・雲母	黒緑	普通	単節縄文L(横) 円形刺突列 沈澱による波状文 懸赤文 蛇行沈澱	第V-5層	20%
82	縄文土器	深鉢	[21.0]	[13.6]	-	長石・石英・雲母	暗赤褐	普通	然赤文 弧状文を伴う懸赤文	貝層中	10%
83	縄文土器	深鉢	152	(10.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横) 懸赤文 蛇行沈澱	低所下層	40%
84	縄文土器	深鉢	23.8	(18.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文L(横・縦) 沈澱による櫛歯状渦巻文 懸赤文 蛇行沈澱	第V-6層	30% PL24
85	縄文土器	深鉢	[36.0]	[20.5]	-	長石・石英	橙	普通	複節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文	高所下層	10%
86	縄文土器	深鉢	[28.6]	(24.4)	-	長石・石英・雲母	黒緑	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文 1単位3条の磨消懸垂文 磨消蛇行沈澱	第V-5層	20%
87	縄文土器	深鉢	190	(17.6)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による波状文 懸赤文	貝層中	40%
88	縄文土器	深鉢	[28.0]	(11.5)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	複節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 懸赤文	貝層中	10%
89	縄文土器	深鉢	[37.4]	(18.1)	-	長石・石英	にぶい黒	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文	高所下層 低所下層	20%
90	縄文土器	深鉢	[40.0]	(29.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による円形沈澱光斑 懸赤文	低所上層	30%
91	縄文土器	深鉢	[25.6]	(19.3)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	隆帯と沈澱による渦巻文・弧状文 沈澱光斑 単節縄文L(横) 懸赤文	貝層中	10% PL46
92	縄文土器	深鉢	[16.6]	[13.2]	-	長石・石英	にぶい赤黄	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 懸赤文	高所下層	20%
93	縄文土器	深鉢	-	(39.9)	-	長石・石英・雲母	灰黄	普通	隆帯と沈澱による渦巻文 沈澱光斑 単節縄文L(横) 懸赤文 蛇行沈澱	高所上層	10%
94	縄文土器	深鉢	[32.6]	(10.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文	第V-36層	10%
95	縄文土器	深鉢	[28.0]	(10.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	複節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による円形文 懸赤文	貝層中	10%
96	縄文土器	深鉢	[21.8]	(18.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	多条線文L(横) 懸赤文 蛇行沈澱	第V-6層	20%
97	縄文土器	深鉢	[23.6]	(20.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文L(横・縦) 楕円形区画 懸赤文 蛇行沈澱	貝層中	10%
98	縄文土器	深鉢	[22.0]	(13.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	多条線文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 懸赤文	貝層中	10%
99	縄文土器	深鉢	[21.6]	(8.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文	高所上層	10%
100	縄文土器	深鉢	24.6	(22.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	良好	単節縄文L(横) 懸赤文	第V-6層	25%
101	縄文土器	深鉢	130	(10.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	隆帯と沈澱による波状文 単節縄文L(横) 懸赤文 蛇行沈澱	貝層中	40%
102	縄文土器	深鉢	[23.2]	(6.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文	貝層中	10%
103	縄文土器	深鉢	[25.8]	(13.0)	-	長石・石英・雲母	黒緑	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文	高所上層	10%
104	縄文土器	深鉢	[25.2]	(12.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	沈澱による規矩文 櫛歯状工具による条線文	貝層中	10%
105	縄文土器	深鉢	-	(13.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 渦巻文を伴う懸赤文	貝層中	10%
106	縄文土器	深鉢	-	(16.1)	-	長石・石英	灰褐	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文	低所下層	
107	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文	貝層中	
108	縄文土器	深鉢	-	(12.7)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	単節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 懸赤文	貝層中	
109	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	-	長石・石英・雲母・緑輝	赤褐	普通	隆帯と沈澱による渦巻文 沈澱光斑 単節縄文L(横) 懸赤文 蛇行沈澱	第V-36層	
110	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	然赤文 隆帯と沈澱による渦巻文 楕円形区画	低所下層	
111	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	明緑	普通	単節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文 楕円形区画 蛇行沈澱	高所下層	
112	縄文土器	深鉢	-	(14.2)	-	長石・石英・雲母	褐灰	普通	複節縄文L(横・縦) 隆帯と沈澱による渦巻文 蛇行沈澱	貝層中	
113	縄文土器	深鉢	-	(11.2)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	複節縄文L(横) 隆帯と沈澱による渦巻文 懸赤文	斜面部低所	
114	縄文土器	深鉢	-	(4.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黒	普通	交互刺突 単節縄文L(横) 連弧文	第V-4層	
115	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	-	長石・石英・雲母	橙	良好	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈澱による区画文	第V-12層	
116	縄文土器	深鉢	-	(10.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文L(横) 円形刺突列 連弧文	貝層中	
117	縄文土器	深鉢	-	(11.1)	-	長石・石英・雲母	橙	良好	交互刺突 然赤文 連弧文	貝層中	
118	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	単節縄文LR(横) 沈澱による渦巻文	貝層中	
119	縄文土器	深鉢	-	(7.9)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	単節縄文L(横) 沈澱による波状文	貝層中	
120	縄文土器	深鉢	-	(9.5)	-	長石・石英・雲母	黒緑	普通	交互刺突 然赤文 連弧文	貝層中	
121	縄文土器	深鉢	-	(9.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	普通	交互刺突 然赤文 連弧文	貝層中	
122	縄文土器	深鉢	-	(11.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄橙	良好	然赤文	貝層中	
123	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黒	普通	無節縄文L(横・縦) 蛇行沈澱	貝層中	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
124	縄文土器	深鉢	-	(15.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	単純縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	
125	縄文土器	深鉢	-	(36.6)	-	長石・石英	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 沈線欠損 渦巻文を伴う横の沈線 點垂文	低所下層	
126	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英・雲母	灰黄緑	普通	隆帯と沈線による渦巻文 沈線欠損	高所上層	
127	縄文土器	深鉢	-	(8.8)	-	長石・石英・雲母・細砂	灰褐	良好	隆帯と沈線による渦巻文 沈線欠損	高所上層	
128	縄文土器	深鉢	-	(10.5)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	単純縄文RL(横) 隆帯と沈線による渦巻文 内面黒色処理	貝層中	
129	縄文土器	深鉢	-	(11.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	普通	渦巻文を伴う凹手 隆帯と沈線による渦巻文 沈線欠損 単純縄文RL(縦)	貝層中	PL47
130	縄文土器	深鉢	-	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	點垂文 點垂文	貝層中	
131	縄文土器	深鉢	-	(12.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	無筋縄文L(横・縦) 點垂文	第V-4層	
132	縄文土器	深鉢	-	(14.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	単純縄文RL(斜) 沈線による弧状文	低所下層	
133	縄文土器	深鉢	-	(15.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	普通	横溝状工具による条線文 渦巻文を伴う點垂文	貝層中	
134	縄文土器	深鉢	-	(29.4)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	単純縄文LR(縦) 點垂文	低所上層	
135	縄文土器	深鉢	-	(19.0)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 沈線による流状文	第V-4層	
136	縄文土器	深鉢	-	(12.0)	-	長石・石英	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 渦巻文を伴う尚状沈線	貝層中	
137	縄文土器	深鉢	-	(10.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	交互斜交 単純縄文LR(縦) 1単位3葉の 尚状点垂文 尚状蛇行沈線	高所下層	
138	縄文土器	深鉢	-	(16.6)	(9.5)	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 點垂文 蛇行沈線	貝層中	10%
139	縄文土器	深鉢	-	(24.2)	7.2	長石・石英・赤色粒子	橙	普通	単純縄文RL(縦) 點垂文 蛇行沈線	高所上層	30%
140	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	10.3	長石・石英・雲母	橙	普通	単純縄文RL(縦) 點垂文	貝層中	10%
141	縄文土器	深鉢	-	(6.5)	8.4	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 點垂文 蛇行沈線	貝層中	10%
142	縄文土器	浅鉢	(34.4)	(16.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	凹形列突列 単純縄文RL(斜) 沈線による流 状文 口縁部外・内面赤彩痕	高所上層	30% PL47
143	縄文土器	浅鉢	(34.0)	(13.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	交互斜交 単純縄文LR(縦) 沈線による流 状文 口縁部外・内面赤彩痕	第V-5層 第IV層	20%
144	縄文土器	浅鉢	(27.0)	(15.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	単純縄文RL(縦) 交互斜交 内面黒色処理	低所下層	30%
145	縄文土器	浅鉢	(46.8)	(15.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	沈線による渦巻文	低所部低所	20%
146	縄文土器	浅鉢	(28.0)	(12.1)	(9.0)	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	無文 口縁部外・内面赤彩痕	貝層中	40%
147	縄文土器	浅鉢	(10.8)	9.2	(9.0)	長石・石英	にぶい橙	普通	無文	貝層中	30%
148	縄文土器	浅鉢	-	(12.2)	-	長石・石英	にぶい赤褐	普通	無文 内面赤彩・黒色処理	低所下層	
149	縄文土器	台形	-	(4.7)	(14.6)	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄緑	普通	凹窓	低所下層	10%
150	縄文土器	有孔円筒	-	(7.4)	-	長石・雲母	橙	普通	筒に穿孔 沈線文	貝層中	
151	縄文土器	有孔円筒	(29.6)	(16.8)	-	長石・石英	にぶい黄緑	普通	筒に穿孔 内面黒色処理	貝層中	20% PL47
152	縄文土器	にぶい	2.2	3.9	2.7	長石・石英	にぶい赤褐	普通	台付 2個1対の粘土塊 断面痕	高所下層	90% PL45

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP22	土器片鉢	2.3	2.3	0.9	5.4	長石・石英・雲母	灰黄緑	割断片 周縁研磨 一对の割み	第V-3層	
DP23	土器片鉢	2.5	2.4	0.9	7.7	長石・石英・雲母	にぶい橙	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	高所下層	
DP24	土器片鉢	2.8	2.8	0.9	8.7	長石・石英・雲母	黒灰	割断片 周縁研磨 一对の割み	貝層中	
DP25	土器片鉢	3.1	2.9	0.7	9.1	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP26	土器片鉢	3.2	2.8	0.7	6.8	長石・石英・雲母	灰黄緑	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP27	土器片鉢	3.1	2.8	1.0	12.9	長石・石英・雲母	灰褐	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP28	土器片鉢	3.3	2.5	1.3	14.5	長石・石英・雲母	黒褐	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP29	土器片鉢	3.5	2.6	0.9	11.7	長石・石英・雲母	にぶい橙	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	高所下層	
DP30	土器片鉢	3.5	2.6	1.4	16.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP31	土器片鉢	(3.6)	(4.7)	1.1	(16.7)	長石・石英・雲母	黒褐	口縁部片 周縁研磨 片端部欠損	貝層中	
DP32	土器片鉢	4.0	3.0	0.9	12.0	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP33	土器片鉢	3.8	3.2	0.8	15.8	長石・石英・雲母	にぶい褐	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP34	土器片鉢	3.9	3.8	0.8	14.3	長石・石英・雲母	にぶい橙	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	PL61
DP35	土器片鉢	4.0	2.9	1.0	15.5	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	割断片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP36	土器片鉢	4.0	4.4	1.0	20.7	長石・石英・雲母	にぶい赤褐	割断片 長軸方向に一对の割み	貝層中	PL61
DP37	土器片鉢	4.1	4.1	1.2	21.9	長石・石英・雲母	黒褐	割断片 周縁研磨 一对の割み	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP28	土器片鉢	4.1	4.2	1.1	23.5	長石・石英・雲母	灰黄褐色	胴部片 周縁研磨 短軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP29	土器片鉢	4.5	3.6	1.6	24.7	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP40	土器片鉢	4.5	3.0	1.0	20.0	長石・石英・雲母	灰褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP41	土器片鉢 (4.9)	3.3	1.0	(26.0)	長石・石英・雲母	にぶい橙褐色	口縁部片 周縁研磨 片端部削み欠損	高所上層		PL61
DP42	土器片鉢	5.4	4.5	1.0	35.6	長石・石英・雲母	橙褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP43	土器片鉢	5.5	4.6	1.3	34.6	長石・石英・雲母	にぶい橙褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP44	土器片鉢	5.2	4.0	1.3	32.7	長石・石英・雲母	黒褐色	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第V-6層	PL61
DP45	土器片鉢	5.9	4.3	1.4	41.8	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第V-14層	PL61
DP46	土器片鉢	6.7	5.5	1.0	48.4	長石・石英・雲母	灰褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	第V-36層	PL61
DP47	土器片鉢	8.3	6.3	1.7	82.0	長石・石英・雲母	にぶい橙褐色	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	PL61
DP48	彫刻土製品	(4.7)	3.6	2.6	(25.1)	長石・石英・雲母	黒褐色	歯研痕	貝層中	PL61

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 5	削器	(3.4)	2.7	1.0	(6.4)	チャート	押圧潤磨	貝層中	PL65
Q 6	鏝	1.7	1.1	0.3	0.4	石英	凹基無茎 押圧潤磨	貝層中	PL65
Q 7	鏝	2.4	1.4	0.4	1.1	チャート	凹基無茎 押圧潤磨	貝層中	PL65
Q 8	鏝	(2.3)	1.6	0.3	(0.8)	チャート	凹基無茎 押圧潤磨 先端部欠損	第V-36層	PL65
Q 9	磨製石斧	5.7	2.1	1.0	17.7	蛇紋岩	全面研磨	貝層中	PL67
Q 10	磨石	5.2	5.1	4.5	183.6	砂岩	両面研磨 敲打痕	貝層中	PL64
Q 11	磨石	10.5	8.2	3.9	497.7	安山岩	両面研磨 両面に凹み 敲打痕	貝層中	PL64
Q 12	磨石	8.3	8.2	6.5	568.6	安山岩	敲打痕	貝層中	
Q 13	凹石	(7.2)	(8.8)	(6.1)	(308.5)	安山岩	両面に凹み 敲打痕	貝層中	
Q 14	耳飾り	2.5	2.7	1.3	12.4	蛇紋岩	琺瑯 全面研磨	貝層中	PL65

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B 2	釣針	(4.8)	(0.5)	0.4	(1.1)	硝乳網	単式 表面研磨 針先・チモト欠損	貝層中	PL70
B 3	ヤス	(3.3)	0.7	0.5	(0.8)	硝乳網四股骨	表面研磨 先端部欠損	貝層中	PL71
B 4	ヤス	(3.6)	0.7	0.6	(1.0)	硝乳網	表面研磨 先端部欠損	第V-36層	PL71
B 5	ヤス	(3.7)	1.0	0.6	(3.2)	硝乳網四股骨 空突孔付型	表面研磨 先端部欠損	貝層中	PL71
B 6	ヤス	(6.0)	0.7	0.5	(1.3)	イノシシ骨	表面研磨 先端部欠損	貝層中	
B 7	ヤス	(7.4)	0.7	0.4	(1.8)	硝乳網四股骨	表面研磨 基部欠損	第V-36層	PL71
B 8	ヤス	(8.2)	0.7	0.6	(2.6)	硝乳網四股骨	表面研磨 基部欠損	貝層中	PL71
B 9	ヤス	(7.4)	1.8	0.8	(6.1)	硝乳網	全面研磨 未成品	貝層中	
B 10	ヤス	11.0	1.2	0.8	6.6	硝乳網四股骨	全面研磨	貝層中	PL71
B 11	ヘラ	(4.7)	1.6	0.3	(2.2)	イノシシ犬歯	匙状 歯根側を細く、エナメル質側を丸く加工	貝層中	PL70
B 12	糸鋸り	(2.0)	2.0	0.5	(1.7)	硝乳網	全面研磨 二方向から穿孔 孔径 0.6～0.7cm	貝層中	PL71

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S 3	貝片	7.7	6.5	1.9	30.3	チャウセンハマグリ	左殻 腹縁はほぼ全体に付刃	貝層中	PL69
S 4	貝片	(7.2)	5.8	1.5	(4.5)	チャウセンハマグリ	左殻 刃部一部欠損	貝層中	
S 5	貝輪	11.6	8.2	4.7	161.5	アカニシ	体輪打ち削り後研磨 殻表自然 孔径 4.5～7.4cm	第V-6層	PL68
S 6	糸鋸り	2.3	0.6	0.6	0.3	ヤカドツノガイ	両端部切断	貝層中	PL70
S 7	糸鋸り	2.1	0.5	0.5	0.4	ヤカドツノガイ	両端部切断	貝層中	PL70
S 8	糸鋸り	2.1	0.5	0.5	0.4	ヤカドツノガイ	両端部切断	第V-6層	PL70
S 9	糸鋸り	1.8	0.4	0.4	0.3	ヤカドツノガイ	両端部切断	第V-15層	PL70
S 10	糸鋸り	1.8	0.4	0.4	0.1	ヤカドツノガイ	両端部切断	第V-10層	PL70
S 11	糸鋸り	1.3	0.4	0.4	0.2	ヤカドツノガイ	両端部切断	第V-18層	PL70

第Ⅵ層 (第56～77図)

確認状況 窪地の北部に位置するブロック状貝層である。暗褐色土の間層に覆われており、第Ⅴ層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 第Ⅵ・Ⅶ層の上部に形成されている。第Ⅵ-1層が第354号土坑に、第Ⅵ-8層相当の上部が第356号土坑にそれぞれ掘り込まれている。

広がりと**堆積状況** 東西幅は約6.2mで、南北幅は、北部が第354号土坑に掘り込まれているため約6.0mしか確認できなかった。層厚は約90cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北方向から低所に投棄されたと考えられる。19層に分層でき、小形のマガキ、ウミナを主体とした貝層などが堆積している。東部には、貝類の破砕片をわずかに含んだ層が堆積している。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。第Ⅵ-5・9・11・12・14・18層は自然科学分析該当層で、第Ⅵ-9層ではナミマガシワが、第Ⅵ-12層ではウミナが、第Ⅵ-14・18層ではマガキがそれぞれ主体である。第Ⅵ-5層は、焼土ブロックを多量に含んだ暗褐色土の間層である。第Ⅵ-11層は層厚の薄い混貝土層で、自然科学分析の貝層土壌サンプルでは少量の貝類しか検出できなかったが、肉眼による断面観察ではウミナ主体である。柱状サンプルからは、チャツボ、スズメハマツボなどの微小貝類も検出されている。

土層・貝層解説

1 暗褐色	ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子微量	10 黒褐色	焼土ブロック・炭化粒子少量
2 混貝土層	暗褐色、カキ破砕片、混貝率5%、破砕率95%、炭化粒子・灰少量、ロームブロック・焼土粒子微量	11 混貝土層	黒褐色、ウミナ主体、混貝率25%、破砕率90%、焼土粒子・炭化粒子少量
3 混貝土層	暗褐色、カキ破砕片、混貝率5%、破砕率95%、ロームブロック・焼土粒子・炭化粒子・灰微量	12 混貝土層	殻高10～30cmのウミナ主体、混貝率80%、破砕率60%、炭化粒子・灰少量、焼土粒子微量
4 混貝土層	暗褐色、カキ破砕片、混貝率5%、破砕率95%、ロームブロック・炭化粒子微量	13 純貝層	殻高09～34cmのウミナ主体、破砕率60%
5 暗褐色	ウミナなど極微量、焼土ブロック多量、灰中量、炭化物少量	14 純貝層	殻高17～54cmのマガキ主体、破砕率50%
6 混貝土層	殻高11～35cmのウミナ主体、混貝率75%、破砕率75%、炭化粒子微量	15 純貝層	殻高07～32cmのウミナ主体、破砕率50%
7 混貝土層	黒褐色、ハマグリ主体、混貝率25%、破砕率90%、炭化粒子微量	16 混貝土層	殻高11～61cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子少量
8 混貝土層	黒褐色、殻高17～41cmのマガキ主体、混貝率25%、破砕率95%、炭化粒子微量	17 混貝土層	殻高13～82cmのマガキ主体、混貝率90%、破砕率75%、炭化粒子微量
9 混貝土層	殻高23～48cmのナミマガシワ主体、混貝率75%、破砕率80%、焼土粒子・灰中量、炭化粒子少量	18 混貝土層	黒褐色、殻高11～43cmのマガキ主体、混貝率40%、破砕率80%、灰多量、炭化物・焼土粒子少量
		19 純貝層	殻高08～31cmのウミナ主体、破砕率60%、炭化粒子微量

表40 第Ⅵ-6層貝類組成表

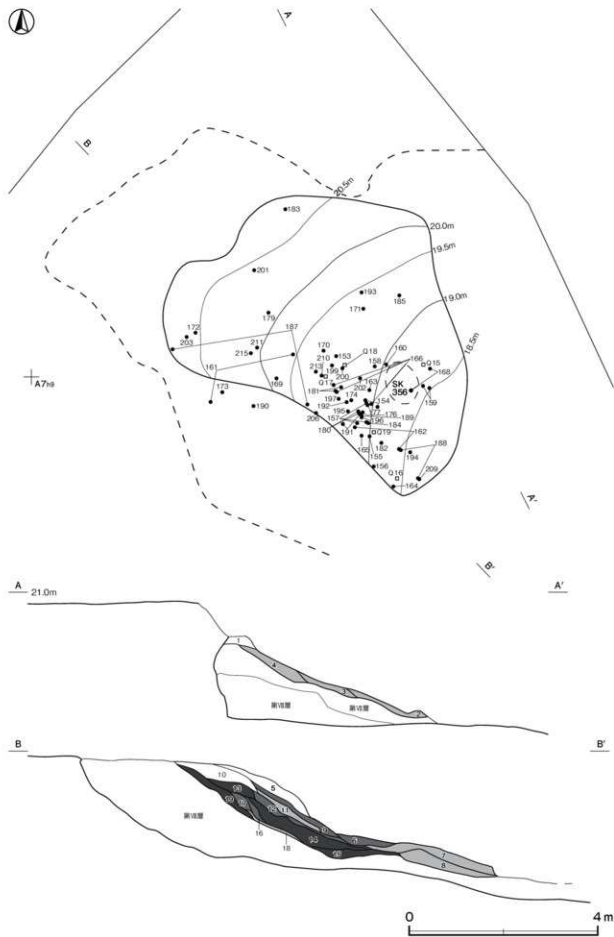
貝種	ウミナ	ナミマガシワ	ハマグリ	シオフキ	アラムシロ	サルボウ	マガキ	クワアイ	カノコガイ	キシジミ	アサリ	レイシガイ	その他	個体数
点 右数	91	27	26	23	21	14	12	7	4	2	1	3	キセルガイ8	265
点 左数		57	27	20		10	9			3	3			(発生数)
割合(%)	34.4	21.5	10.2	8.7	8.0	5.3	4.5	2.6	1.5	1.1	1.1	1.1	-	

表41 第Ⅵ-7層貝類組成表

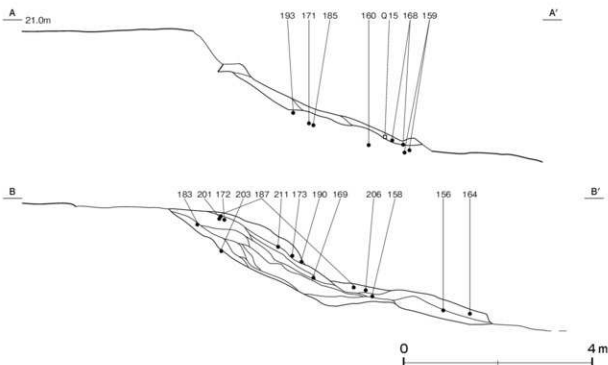
貝種	ハマグリ	ウミナ	シオフキ	サルボウ	マガキ	キシジミ	アカニシ	個体数
点 右数	27	33	9	7	1	0		
点 左数	51		7	6	1	1	1	103
割合(%)	49.5	32.0	8.7	6.8	1.0	1.0	1.0	

表42 第Ⅵ-8層貝類組成表

貝種	マガキ	サルボウ	ハマグリ	ウミナ	カノコガイ	個体数
点 右数	10	0	1		1	
点 左数	14	3	2			21
割合(%)	66.6	14.3	9.5	4.8	4.8	



第 56 図 第 2 号貝層第 VI 層実測図(1)



第57図 第2号貝層第Ⅵ層実測図(2)

表43 第Ⅵ-13層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	アラムシロ	サルボウ	シオフキ	ハマグリ	スガイ	ナミダシロ	カワアイ	カノコガイ	レイシガイ	その他	個体数
点	右数	982	441	106	45	36	26	14	20	19	7	アサリ1 オキシジミ1 カゴメガイ1 カワサシヨウ1 キセルガイ11	1744 (準生取)
	左数		334		44	17	33						
割合(%)	56.4	25.3	6.1	2.6	2.1	1.9	1.7	1.2	1.1	1.0	0.4	0.2	

表44 第Ⅵ-15層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	サルボウ	ハマグリ	シオフキ	スガイ	カワアイ	オキシジミ	ナミダシロ	レイシガイ	アラムシロ	アサリ	その他	個体数
点	右数	377	175	100	87	38	15	11	8	4	3	0	アサリ2 カノコガイ1	842
	左数		137	115	79	23		6	4	4		2		
割合(%)	44.8	20.8	13.7	10.3	4.5	1.8	1.3	1.0	0.5	0.5	0.3	0.2	0.3	

表45 第Ⅵ-16層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	シオフキ	サルボウ	ハマグリ	カワアイ	アラムシロ	ナミダシロ	スガイ	カノコガイ	アサリ	ヒシラトリ	その他	個体数
点	右数	378	32	14	19	23	16	3	5	5	3	1	オキシジミ1 バカガイ1 ヒメコサリ1 キセルガイ76	645 (準生取)
	左数		124	28	24			23				6		
割合(%)	58.6	19.2	5.0	3.7	3.6	3.6	2.5	0.9	0.8	0.8	0.6	0.3	0.4	

表46 第Ⅵ-17層貝類組成表

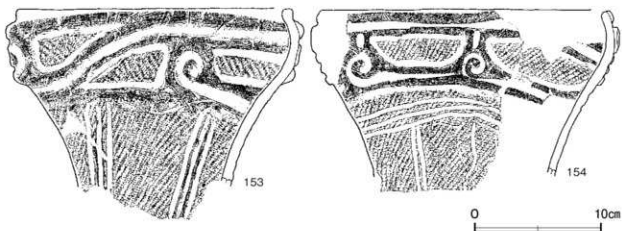
貝種	マガキ	ウミニナ	シオフキ	ハマグリ	サルボウ	アラムシロ	カノコガイ	ナミダシロ	カワアイ	アサリ	オキシジミ	スガイ	その他	個体数
点	右数	356	54	44	25	19	12	6	6	4	2	2	ヒメシラトリ1 キセルガイ152	726 (準生取)
	左数		183	43	46		32	8		8	5			
割合(%)	49.1	25.2	7.4	6.3	4.4	2.6	1.7	1.1	0.8	0.7	0.3	0.3	0.1	

表47 第VI-19層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	アラムシロ	シオフキ	サルボウ	ハマグリ	ナミマガシワ	スガイ	オノコガイ	カワアイ	アサリ	ウネナシ トマガ	その他	個体数
点	右殻	614	117	71	27	24	14	10	18	18	15	2	0	982 (陸生除く)
	左殻	138			31	28	24	19				0	2	
割合(%)	62.6	14.1	7.2	3.2	2.9	2.4	1.9	1.8	1.8	1.5	0.2	0.2	0.2	

遺物出土状況 縄文土器片4,717点(深鉢4,638, 浅鉢72, ミニチュア土器6, 台形土器1), 土製品41点(土器片鍾39, 土器片円盤2), 石器15点(鎌1, 磨製石斧4, 石皿4, 磨石4, 敲石1, 石錘1), 剥片9点(チャート4, 黒曜石2, 石英2, 安山岩1), 石製品1点(垂飾り), 骨角器6点(釣針1, ヤス3, 鹿角加工品1, 加工品, 1), 貝製品3点(貝輪, 垂飾り, 加工品), 人骨, 1点, 自然遺物(貝類, アイナメ属, ウナギ属, ウルメイワシ亜科, クロダイ属, コチ科, サメ・エイ類, シログチ属, スズキ属, タイ科, ニシン亜科, ハゼ科, ヒラメ, ブリ属, ボラなどの魚骨, カニ類の可動指, カモ科, キジ科などの鳥骨, イヌ科, イノシシ, ニホンジカ, ノウサギなどの獣骨, クリ, オニグルミ, ダイズ属。)が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたとみられる。158・173・179・190は, 暗褐色土の間層から出土している。186は貝層中から出土しており, 潮間帯に投棄されていた破片にマガキが偶発的に付着し, そのまま採貝された可能性がある。

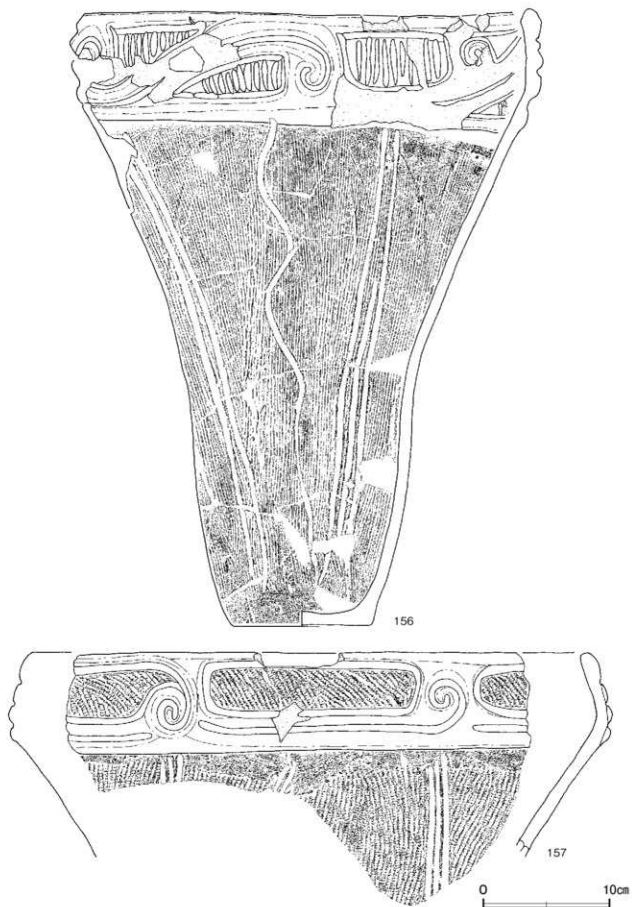
所見 干潟群集に属するマガキやウミニナ, 干潟・内湾岩礫性群集に属するナミマガシワを主体とした貝層などを確認した。主に干潟で採貝活動を行っていたと考えられる。ハマグリは殻長3cm前後の小形が中心で, 組成割合は低い。混貝土層である第VI-18層からは, 陸生のキセルガイが多量に出土していることから, 投棄行為の間に落葉や残滓などによって繁殖したとみられる。漁労具では, 釣針, ヤス, 土器片鍾が出土していることから, 釣りや刺突で大形魚を, 土器片鍾を使用した漁網で主に小形魚を捕獲していたと考えられる。ヒラメは内湾砂底域で, アイナメ属は内湾岩礫域で, ボラは汽水域でそれぞれ捕獲したとみられることから, 様々な環境下で漁労活動を行っていたと推測できる。自然科学分析から, 第VI-5・18層に含まれる炭化物は, クリ材, オニグルミの核, ダイズ属の種子であることが判明した。詳細については, 本節1(2)に掲載した。これらの出土遺物から, 漁労・採貝・鈴貝・採集活動における捕獲・採集物が判明したほか, 堅果類以外にもクリ材や豆類などの植物を利用していた可能性がある。時期は, 出土土器から中期後葉と考えられる。



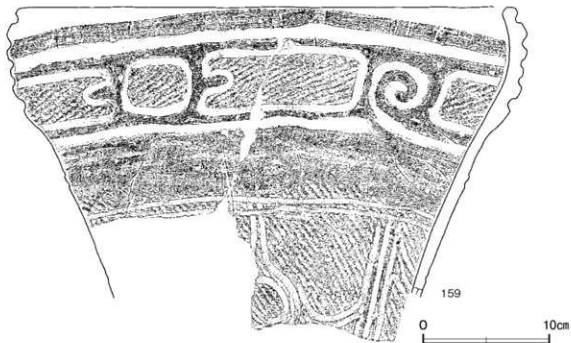
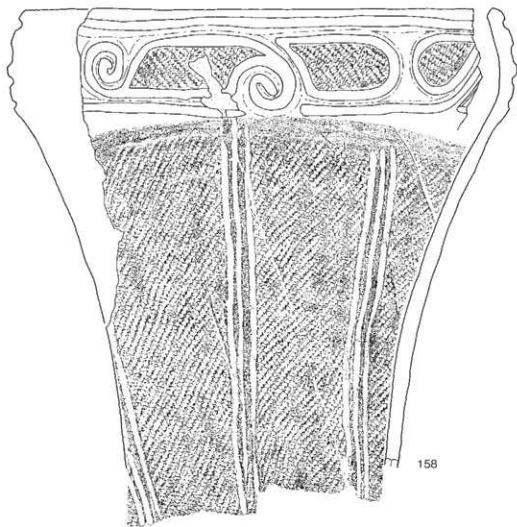
第58図 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(1)



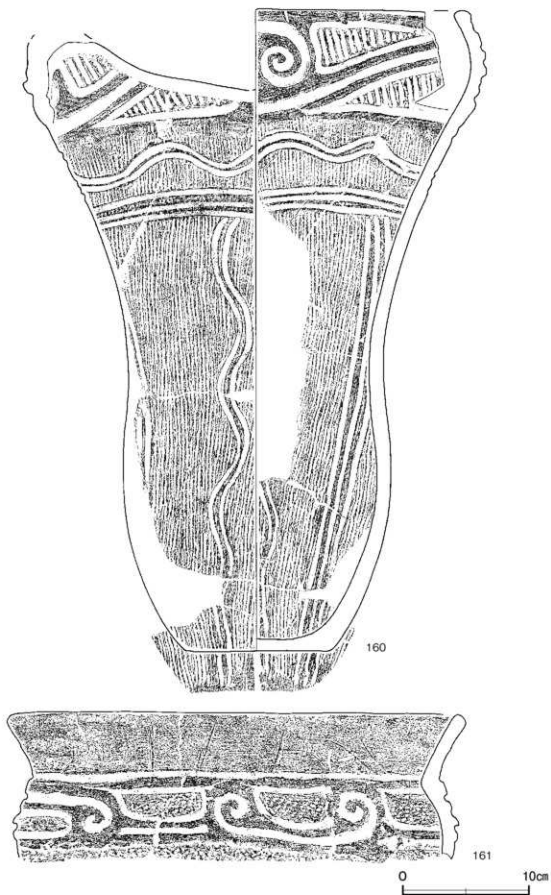
第 59 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物实测图(2)



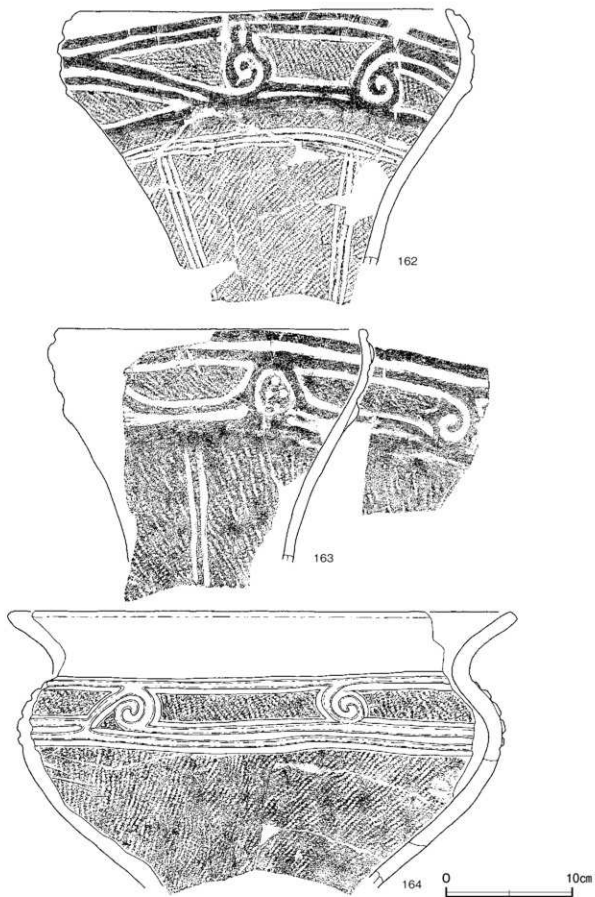
第60图 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(3)



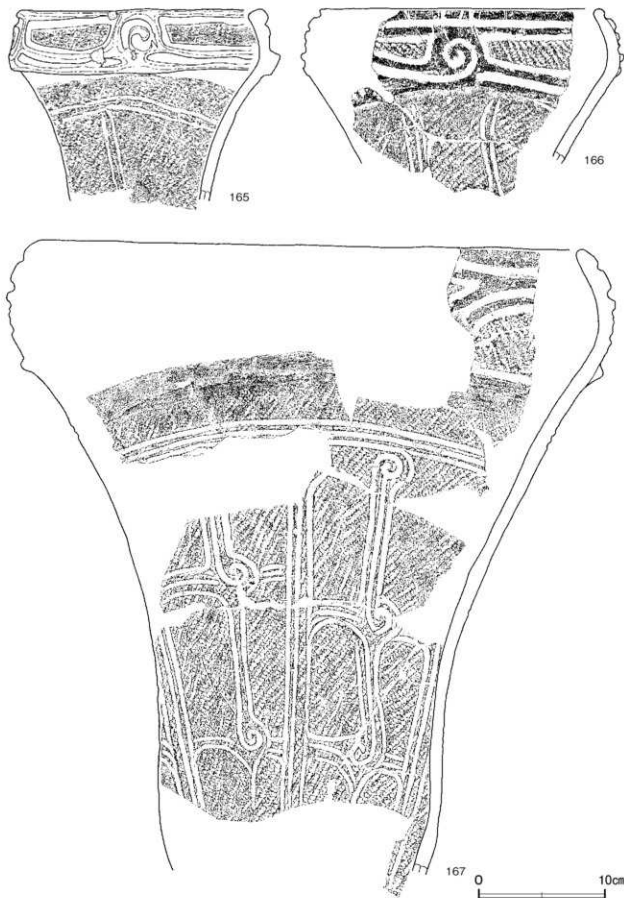
第 61 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物实测图(4)



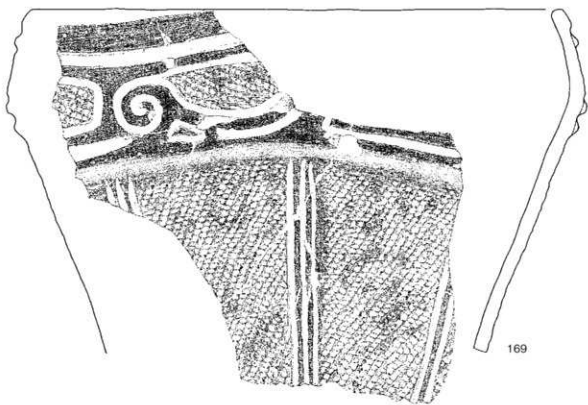
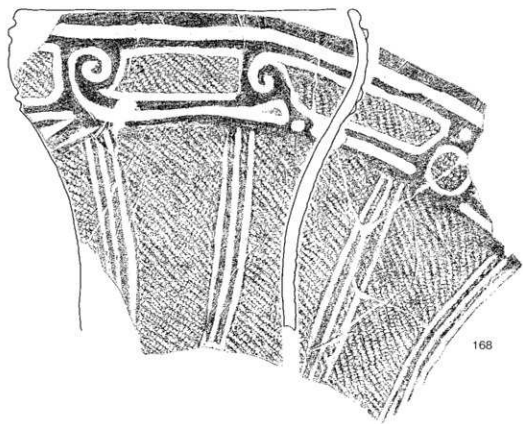
第 62 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物实测图(5)



第63图 第2号貝層第VI層出土遺物实测图(6)

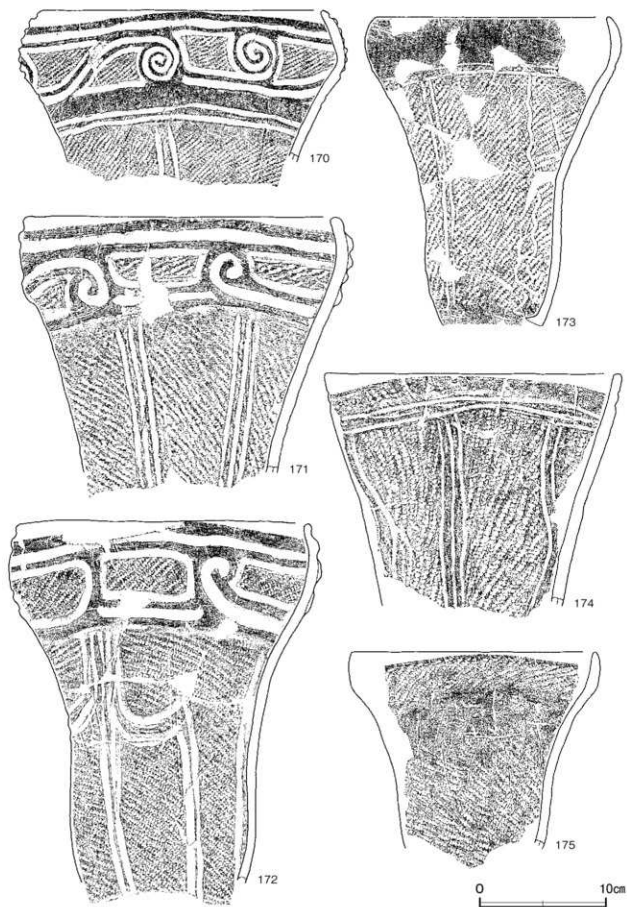


第64图 第2号貝層第VI層出土遺物实测图(7)

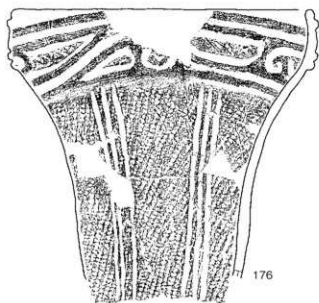


0 10cm

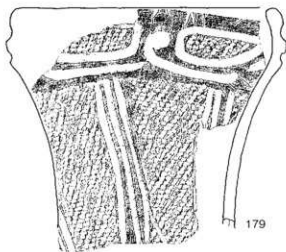
第 65 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物实测图(8)



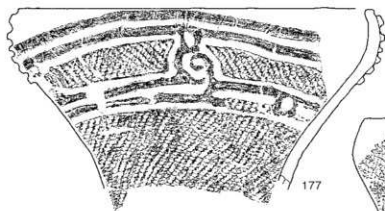
第66图 第2号貝層第VI層出土遺物实测图(9)



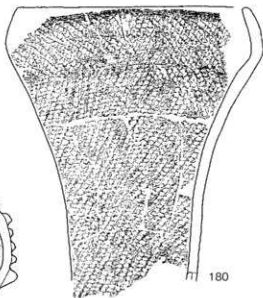
176



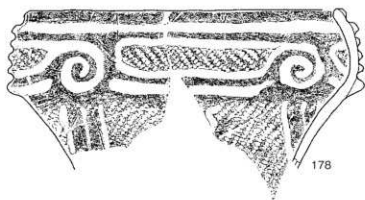
179



177



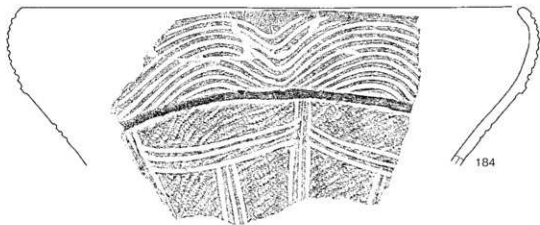
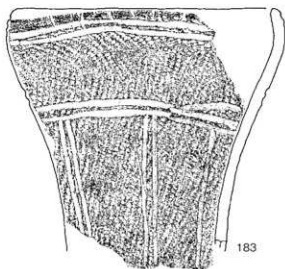
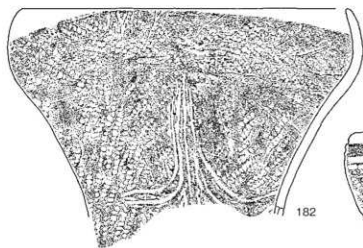
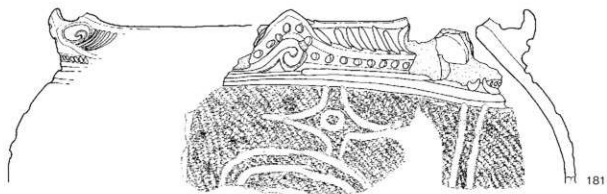
180



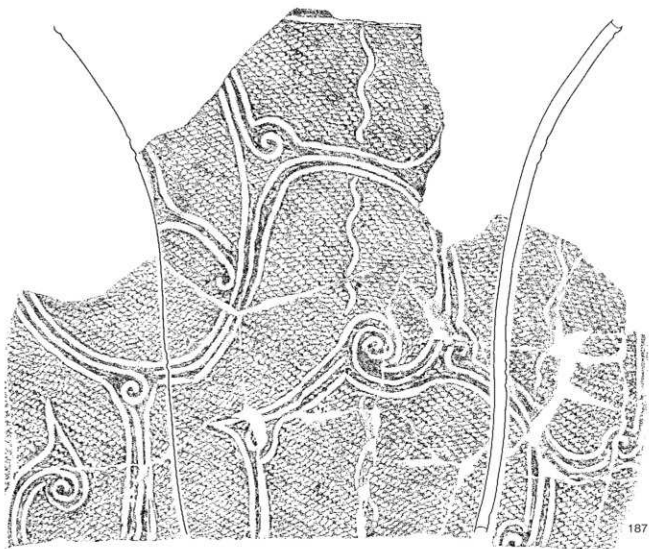
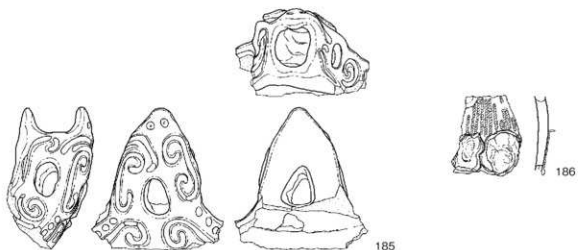
178



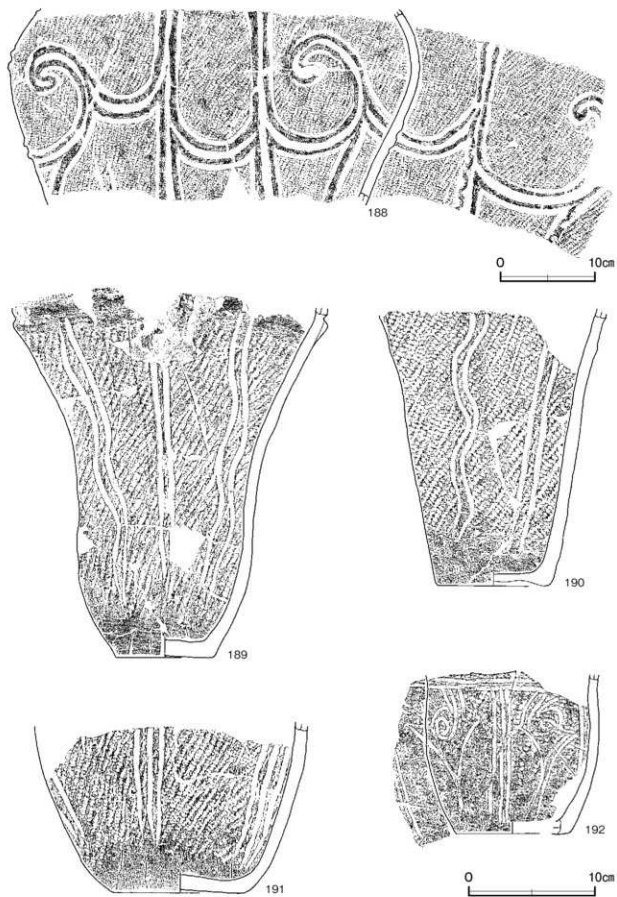
第 67 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物实测图(00)



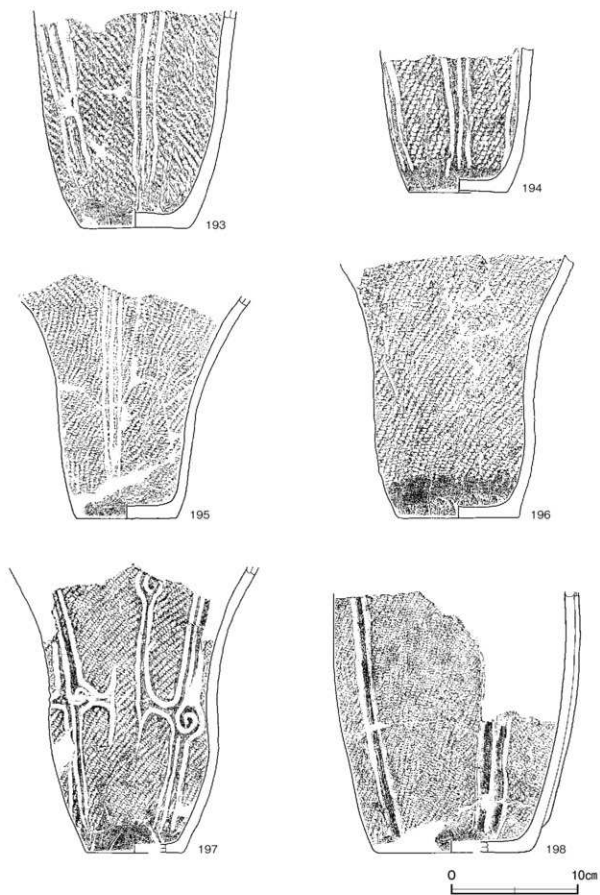
第 68 图 第 2 号貝層第 VI 層出土物实测图(1)



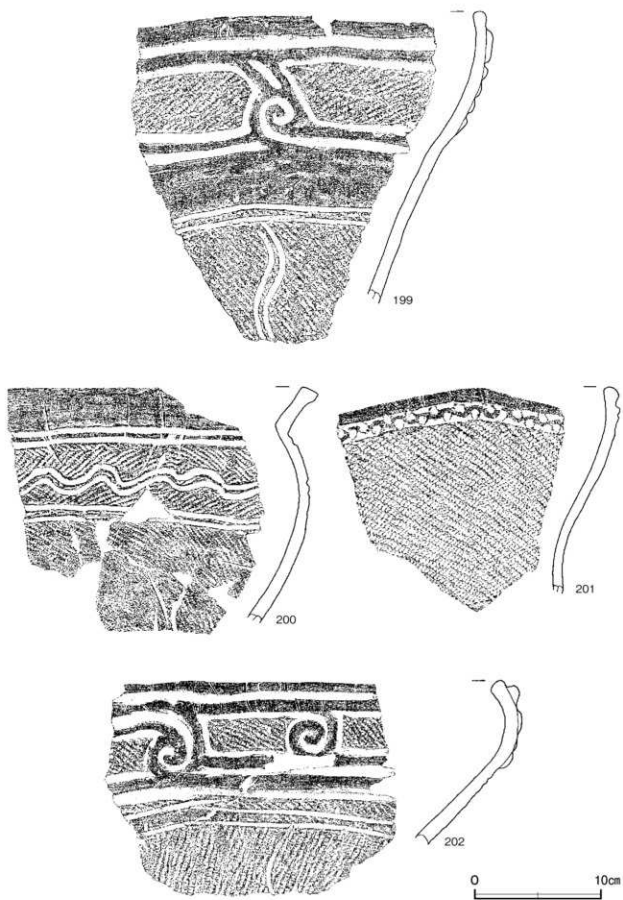
第 69 图 第 2 号貝層第 VI 層出土遺物実測図(2)



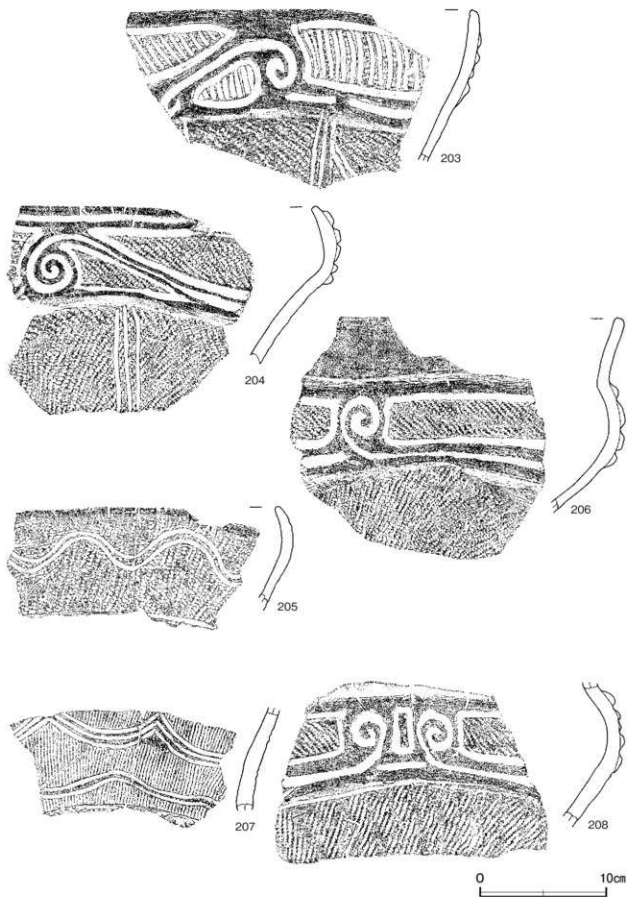
第70图 第2号貝層第VI層出土遺物実測図⑬



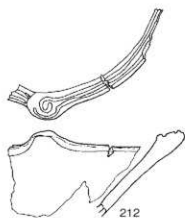
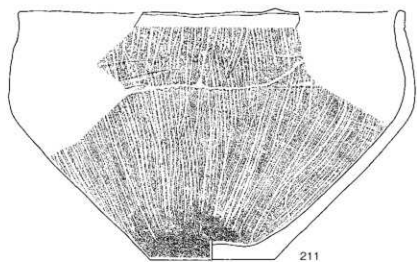
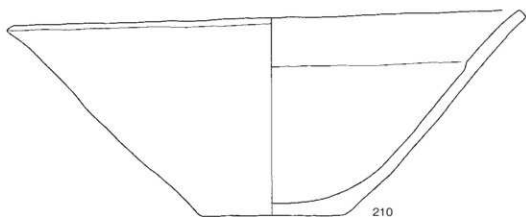
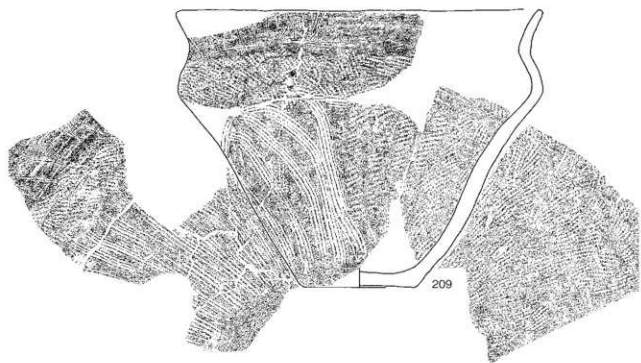
第71图 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(4)



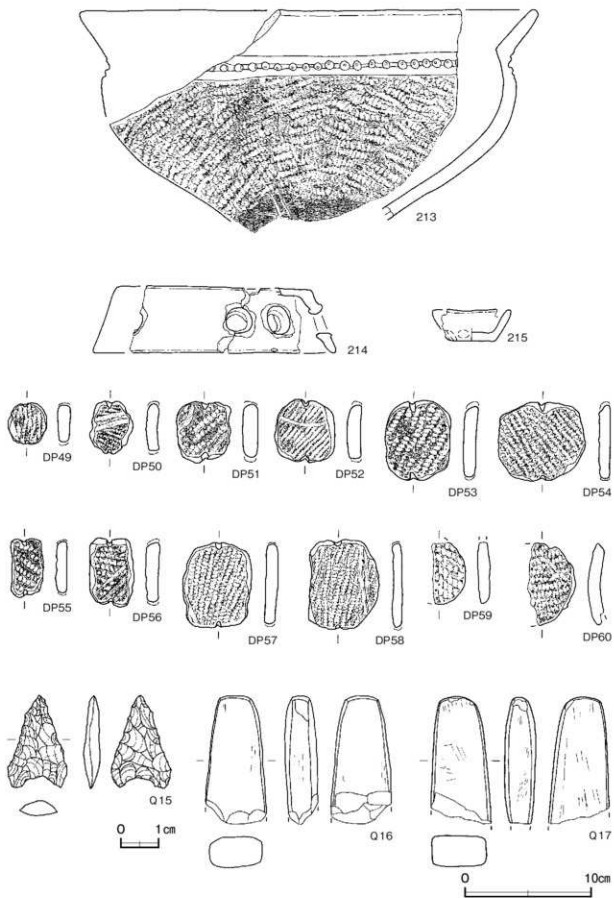
第72图 第2号貝層第VI層出土遺物实测图(5)



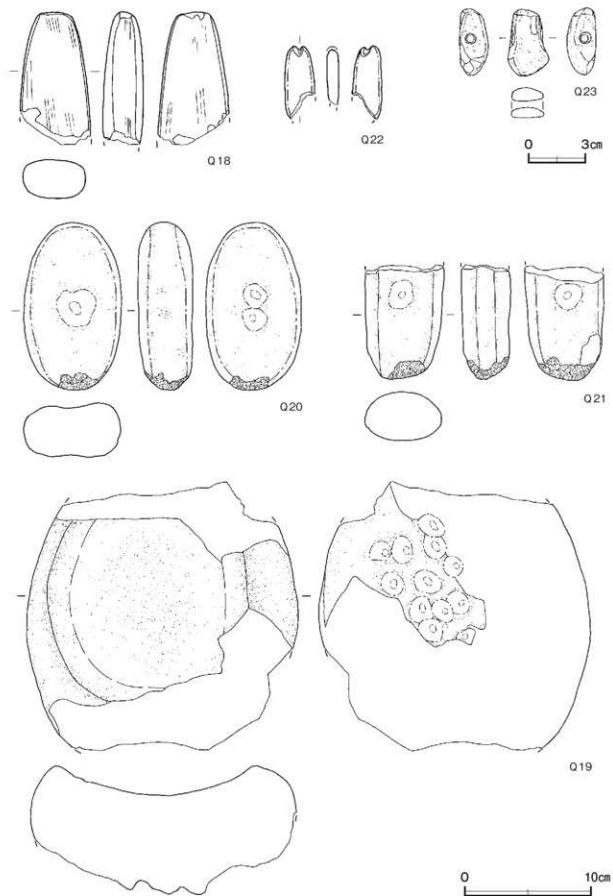
第73图 第2号貝層第VI層出土遺物实测图06



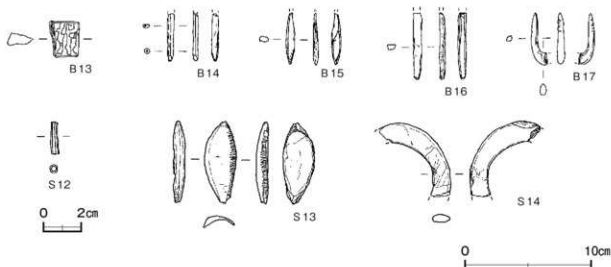
第74图 第2号貝層第VI層出土物实测图(17)



第75图 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(8)



第76图 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(19)



第77図 第2号貝層第VI層出土遺物実測図(20)

第2号貝層第VI層出土遺物観察表(第58~77図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
153	縄文土器	深鉢	22(20)	14(0)	-	長石・石英・磁礫	にぶい褐色	普通	多条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 15層	15% PL47
154	縄文土器	深鉢	23(10)	13(1)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単条縄文 RL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文・蛇行沈線	第VI - 8・15層	20% PL47
155	縄文土器	深鉢	31.0	26(6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	渦巻文を伴う中空把手 隆帯と沈線による渦巻文・射突光頭 縦条縄文 LRL (縦) 渦巻文を伴う懸垂文	第VI - 8層	30% PL25
156	縄文土器	深鉢	35.8	49.0	11.1	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	隆帯と沈線による渦巻文 沈線光頭 磨面状工具による条縄文 懸垂文 蛇行沈線	低所下層	70% PL27
157	縄文土器	深鉢	44(2)	16(1)	-	長石・石英・磁礫	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 8層	10%
158	縄文土器	深鉢	37(8)	36(4)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・1単位3条の磨消懸垂文	低所上層	20%
159	縄文土器	深鉢	39(0)	23(0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 LRL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・射突付内形文 渦巻文を伴う懸垂文 上層部の一気吹状 隆帯と沈線による渦巻文 沈線光頭 沈線による波状文 1単位3条の磨消懸垂文 蛇行沈線	低所下層	25%
160	縄文土器	深鉢	33(0)	30.9	11.4	長石・石英・雲母	褐色	普通	単条縄文 LRL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・内凹凹色処理	第VI - 9層 粗層	10% PL47
161	縄文土器	深鉢	35(2)	11(6)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 8・15層	40%
162	縄文土器	深鉢	29.3	20(3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	単条縄文 LRL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・内形文	第VI - 7層	20%
163	縄文土器	深鉢	24(4)	18(5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 LRL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・内形文	第VI - 7層	20%
164	縄文土器	深鉢	40(4)	22(0)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	低所上層	30% PL47
165	縄文土器	深鉢	18.7	15(1)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単条縄文 RL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文 蛇行沈線	第VI - 6層	50%
166	縄文土器	深鉢	22(0)	12(2)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文 蛇行沈線	第VI - 15層	5%
167	縄文土器	深鉢	43(0)	49(8)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 射突付渦巻文を伴う筒状文	第VI - 8・15層	50%
168	縄文土器	深鉢	26.3	25(4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 LRL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・1単位3条の磨消懸垂文	低所上層	75% PL27
169	縄文土器	深鉢	41(8)	27(2)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・1単位3条の磨消懸垂文	高所上層	30%
170	縄文土器	深鉢	22(4)	12(0)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単条縄文 RL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 15層	20% PL47
171	縄文土器	深鉢	24.2	20(3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	単条縄文 LRL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	高所上層	80%
172	縄文土器	深鉢	23.0	28(7)	-	長石・石英・雲母・磁礫	灰黄褐色	良好	単条縄文 LRL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	高所上層	60% PL26
173	縄文土器	深鉢	18(4)	24(4)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (縦) 懸垂文 蛇行沈線	周層	80% PL26
174	縄文土器	深鉢	22(4)	18(4)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単条縄文 RL (縦) 1単位3条の磨消懸垂文 蛇行沈線	第VI - 6層	20%
175	縄文土器	深鉢	19(4)	15(6)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単条縄文 LRL (横・縦)	第VI - 19層	20%
176	縄文土器	深鉢	23(6)	21(3)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 15層	30%
177	縄文土器	深鉢	27(6)	14(3)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第VI - 8・15層	20% PL48
178	縄文土器	深鉢	24(8)	12(6)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単条縄文 RL (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・1単位3条の磨消懸垂文	第VI - 8・15層	10%
179	縄文土器	深鉢	20(0)	17(5)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単条縄文 LRL (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・1単位3条の磨消懸垂文	第VI - 5層	20%
180	縄文土器	深鉢	18.1	21(7)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	縦条縄文 RL (横・縦)	第VI - 8層	60%
181	縄文土器	深鉢	30(4)	14(3)	-	長石・石英・雲母	暗褐色	普通	縦条縄文 内形射突付 単条縄文 LRL (縦) 射突付渦巻文 1RSと同一類群	第VI - 15層	10% PL48

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
182	縄文土器	深鉢	[258]	(165)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	単節縄文 L (横・縦) 渦状沈線	第VI - 8層	20% PL28
183	縄文土器	深鉢	[204]	(192)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L (横・縦) 懸垂文	高所下層	30%
184	縄文土器	深鉢	[398]	(125)	-	長石・石英・雲母	黒褐色	普通	沈線による渦文 単節縄文 L (縦) 渦状沈線	第VI - 8層	15% PL48
185	縄文土器	深鉢	-	(113)	-	長石・石英・雲母	暗褐色	良好	動物意匠押手 沈線による渦文 L 円形刻突 朱彩痕 刻上層ニ伴ニ伴	低所下層	PL28
186	縄文土器	深鉢	-	(63)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L (縦) マダギ左巻2点付着	貝所中	PL45
187	縄文土器	深鉢	-	(406)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L R (縦) 刺先付渦文 蛇行沈線	高所上層 低所上層	40%
188	縄文土器	深鉢	-	(203)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文 L (縦) 隆帯による渦文	第VI - 8層	25% PL27
189	縄文土器	深鉢	-	(277)	7.8	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	無節縄文 R (縦) 懸垂文 蛇行沈線	第VI - 7層	50%
190	縄文土器	深鉢	-	(219)	8.6	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文 L (縦) 懸垂文 蛇行沈線	岡原	30%
191	縄文土器	深鉢	-	(136)	10.9	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L (縦) 懸垂文	第VI - 8層	20%
192	縄文土器	深鉢	-	(126)	[90]	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	複節縄文 L R (縦) ナナ消 刺先付渦文 懸垂文	第VI - 8層	30%
193	縄文土器	深鉢	-	(172)	8.5	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L R (縦) 懸垂文	高所下層	30%
194	縄文土器	深鉢	-	(115)	7.8	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	複節縄文 L R (縦) 1単位3条の渦消懸垂文	第VI - 7層	15%
195	縄文土器	深鉢	-	(176)	[79]	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文 L (縦) 懸垂文	第VI - 8層	20%
196	縄文土器	深鉢	-	(208)	9.6	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L (縦)	第VI - 8層	60%
197	縄文土器	深鉢	-	(226)	7.7	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L (縦) 渦文を作った渦状沈線	第VI - 15層	50%
198	縄文土器	深鉢	-	(207)	12.4	長石・石英・雲母	橙	普通	単節縄文 L (縦) 隆帯による懸垂文	第VI - 8層	20%
199	縄文土器	深鉢	-	(230)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文 L R (横・縦) 隆帯と沈線による渦文 無節無文部 蛇行沈線	第VI - 6層	PL48
200	縄文土器	深鉢	-	(187)	-	長石・石英・細砂	にぶい赤褐色	普通	単節縄文 L R (横・縦) 沈線による波状文	第VI - 8層	
201	縄文土器	深鉢	-	(164)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	交互刻突 複節縄文 L R (縦)	高所上層	
202	縄文土器	深鉢	-	(130)	-	長石・石英・雲母・細砂	にぶい黄褐色	普通	多葉縄文 L (横・縦) 隆帯と沈線による渦文 蛇行沈線	第VI - 15層	PL48
203	縄文土器	深鉢	-	(119)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L R (縦) 隆帯と沈線による渦文 沈線先頭 渦状沈線	高所下層	PL48
204	縄文土器	深鉢	-	(125)	-	長石・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文 L (横・縦) 隆帯と沈線による渦文 懸垂文	貝所中	PL48
205	縄文土器	深鉢	-	(82)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L (縦) 沈線による波状文	第VI - 14層	
206	縄文土器	深鉢	-	(153)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L (横・縦) 隆帯と沈線による渦文	低所上層	
207	縄文土器	深鉢	-	(82)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	粘土文 渦文文 交互刻突	第VI - 5層	
208	縄文土器	深鉢	-	(111)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	単節縄文 L (横・縦) 隆帯と沈線による渦文	貝所中	
209	縄文土器	浅鉢	28.6	22.0	8.8	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L (横・縦) 曲線状工具による条線文	第VI - 8層	70% PL27
210	縄文土器	浅鉢	40.2	16.3	11.4	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい黄褐色	普通	無文	第VI - 15層	80% PL28
211	縄文土器	浅鉢	[302]	19.7	10.0	長石・石英・雲母	橙	普通	曲線状工具による条線文	高所上層	40% PL28
212	縄文土器	浅鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	沈線による渦文	第VI - 15層	
213	縄文土器	浅鉢	[354]	16.7	-	長石・石英	にぶい橙	普通	円形刻突 単節縄文 L R (斜)	第VI - 12層	20%
214	縄文土器	台形	[154]	5.3	[194]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	円盤	第VI - 14層	20% PL28
215	縄文土器	コップ	[60]	2.5	[38]	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	指頭痕	第VI - 9層	40%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP49	土器片鉢	3.3	3.0	1.1	14.4	長石・石英	灰褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	
DP50	土器片鉢	4.2	3.4	1.1	17.7	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	銅部片 長軸方向に一对一の削み	貝所中	
DP51	土器片鉢	4.9	4.3	1.2	34.5	長石・石英	にぶい赤褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	
DP52	土器片鉢	5.0	4.8	1.2	32.6	長石・石英	褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	第VI - 12層	
DP53	土器片鉢	6.4	5.3	1.1	59.3	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	PL61
DP54	土器片鉢	6.3	7.0	0.9	57.2	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	銅部片 周縁研磨 短軸方向に一对一の削み	第VI - 15層	PL61
DP55	土器片鉢	4.2	2.6	0.9	15.2	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	PL61
DP56	土器片鉢	5.4	3.6	1.1	27.3	長石・石英・雲母	橙	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	PL61
DP57	土器片鉢	6.8	5.4	1.0	51.2	長石・石英	にぶい黄褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	
DP58	土器片鉢	7.1	5.6	0.8	48.6	長石・石英・雲母	黒褐色	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の削み	貝所中	PL61
DP59	土器片鉢	(4.9)	(2.6)	1.0	(13.0)	長石・石英・雲母	明褐色	銅部片 周縁研磨 欠損	第VI - 8層	
DP60	土器片鉢	6.6	(3.7)	1.3	(28.4)	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	銅部片 周縁研磨 欠損	第VI - 14層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 15	鉄	2.5	1.6	0.5	1.2	チャート	円形無蓋 押花調離	低所上層	PL65
Q 16	磨製石斧	(10.2)	(4.8)	2.7	(207.5)	安山岩	定角式 全面研磨 刃部欠損	第VI - 8層	PL67
Q 17	磨製石斧	(10.0)	(4.9)	2.5	(210.3)	安山岩	定角式 全面研磨 基部・刃部欠損	第VI - 15層	
Q 18	磨製石斧	(10.7)	(5.7)	3.1	(367.2)	槍紋岩	定角式 全面研磨 刃部欠損	第VI - 15層	
Q 19	石皿	(21.3)	21.6	10.2	(374.3)	安山岩	圓状 片面に凹み	第VI - 8層	PL63
Q 20	磨石	13.3	2.7	4.3	716.5	安山岩	両面研磨 敲打痕 両面に凹み	貝層中	PL64
Q 21	敲石	(9.2)	6.4	3.9	(346.8)	安山岩	敲打痕 両面に凹み	貝層中	
Q 22	石鏃	(5.8)	2.4	1.0	(17.7)	砂岩	全面研磨 片端部欠損	貝層中	PL65
Q 23	垂飾り	3.5	2.1	1.6	(6.9)	琥珀	二方向から穿孔 孔径 0.4 - 0.6cm	確認面	PL65

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B 13	垂角加工品	1.9	1.6	0.7	1.9	ニホンジカ角	方形に切断	第VI - 13層	
B 14	ヤス	(3.8)	0.5	0.4	(0.6)	哺乳綱肋骨カ	表面研磨 先端部欠損	貝層中	PL71
B 15	ヤス	(4.1)	0.7	0.4	(1.4)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 先端部欠損	貝層中	
B 16	ヤス	(5.3)	0.7	0.4	(2.3)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 先端部欠損	第VI - 9層	
B 17	釣針	4.1	(1.4)	0.6	(1.6)	哺乳綱	単式 表面研磨 チモトに屈み 針先欠損	貝層中	PL70

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S 12	垂飾り	1.8	0.4	0.4	0.2	ヤカドツノガイ	両端部切断	貝層中	PL70
S 13	加工品	6.5	2.5	1.0	10.6	タカラガイ	殻口内容 両縁研磨	貝層中	PL70
S 14	貝輪	(5.9)	(5.7)	0.6	(11.2)	イタボガキ	石段 全面研磨	第VI - 9層	PL68

第Ⅵ層 (第78～84図)

確認状況 窪地の北東部に位置するブロック状貝層である。第Ⅵ層の調査後に貝層全体を検出した。

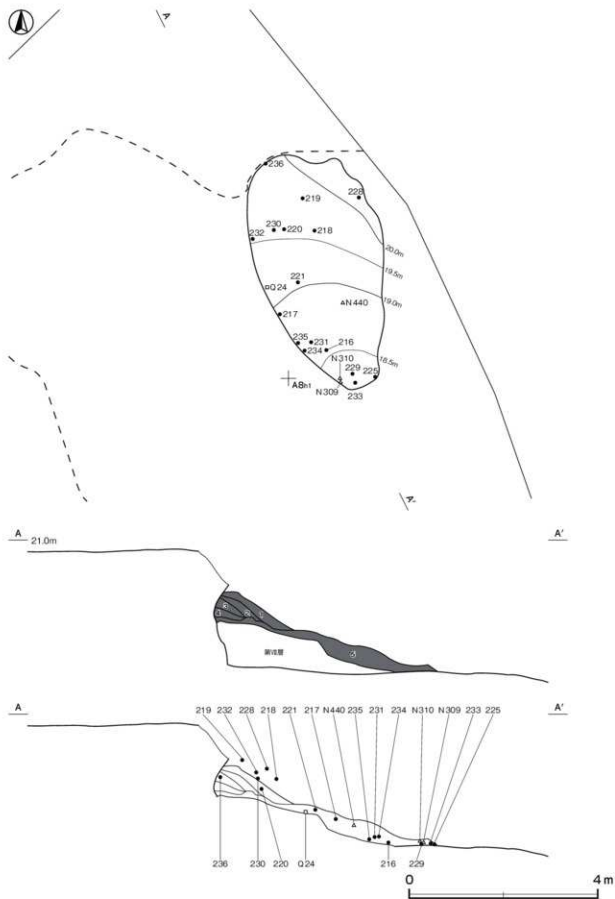
重複関係 第Ⅶ・Ⅷ層の上部に形成されている。

広がりや堆積状況 東西幅は約2.8m、南北幅は約5.4mで、層厚は約65cmである。形状や傾斜方向から、貝類は高所の北方向から低所に投棄されたと考えられる。5層に分層でき、小形のハマグリを主体とした混土貝層が堆積している。なお、集計作業は、貝層土壌サンプルを定量で採取していないため行っていない。

土層・貝層解説

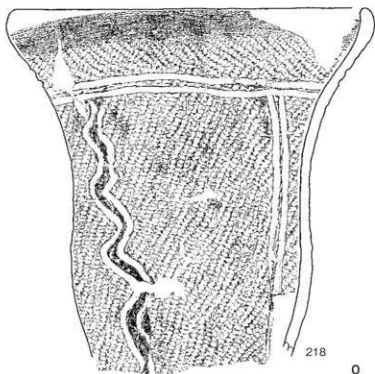
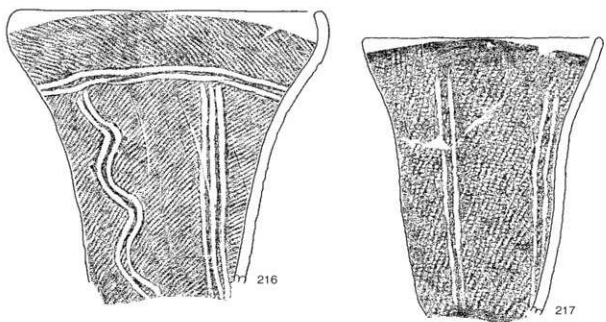
- | | | | |
|--------|--|--------|--|
| 1 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・ウミナシなど、混貝率80%、
破砕率60%、炭化粒子微量 | 4 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率70%、
破砕率75%、炭化粒子微量 |
| 2 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率70%、
破砕率60%、炭化粒子微量 | 5 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率60%、
破砕率80%、炭化粒子微量 |
| 3 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・サルボウなど、混貝率60%、
破砕率75%、炭化粒子微量 | | |

遺物出土状況 縄文土器片1,164点(深鉢1,134,浅鉢20,ミニチュア土器5,有孔鈎付土器5),土製品17点(土器片鏃),石器5点(鐵1,磨石4),剥片7点(チャート1,黒曜石3,石英3),骨角器4点(ヤス2,垂飾り1,加工品,1),貝製品2点(貝刃,垂飾り),人骨1点,自然遺物(貝類,アジ科,ウナギ属,クロダイト属,コチ科,サバ属,サメ類,サメ・エイ類,サヨリ属,スズキ属,タイ科,ニシン亜科,ハゼ科,ボラなどの魚骨,カモ科,キジ科などの鳥骨,イノシシ,ニホンジカ,ノイス,ノウサギなどの獣骨)が出土している。出土した土器の大半は破片で、破損後に高所から低所へ投棄されたと思われる。N 1のイタヤガイは、内湾では生貝を採貝できないことから、自然貝層の露頭から持ち込まれた化石貝とみられる。N 309・N 310のノイス, N 440のイノシシは、低所下層からそれぞれ出土している。

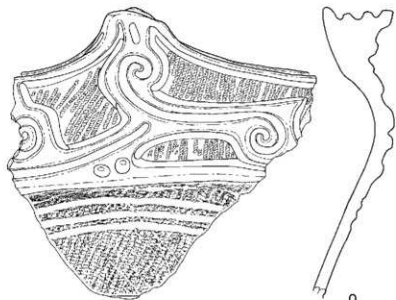
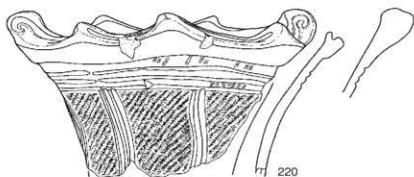
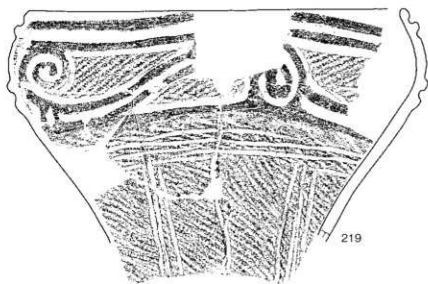


第78圖 第2号貝層第Ⅶ層実測図

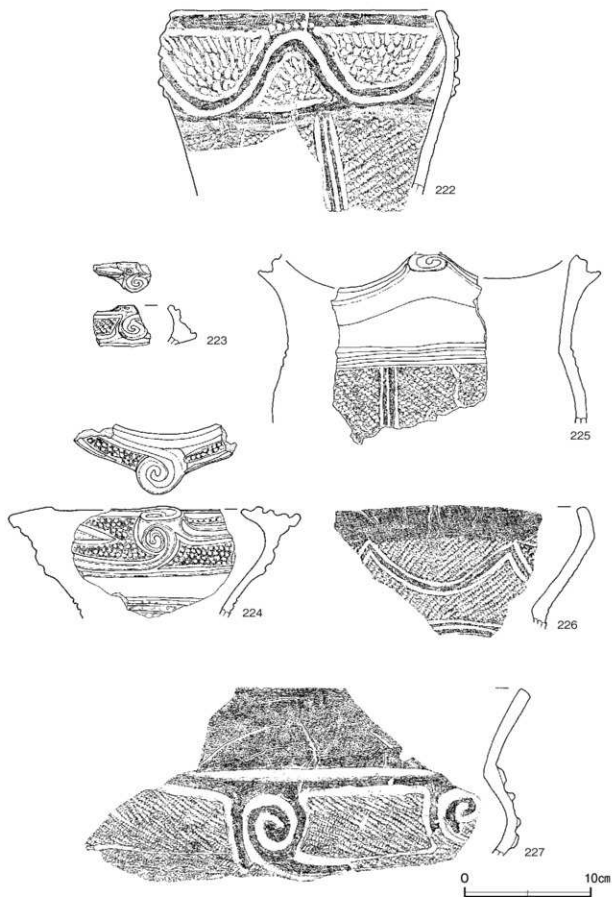
所見 内湾砂底群集に属するハマグリを主体とした貝層とみられる。ハマグリは、殻長約3cm前後の小形が中心である。マガキやサルボウなども出土していることから、主に干潟で採貝していたと考えられる。出土した動物遺存体から、漁労・採貝・狩猟活動によって多様な食料資源を獲得していたことがうかがえる。時期は、出土土器から中期後葉と考えられる。



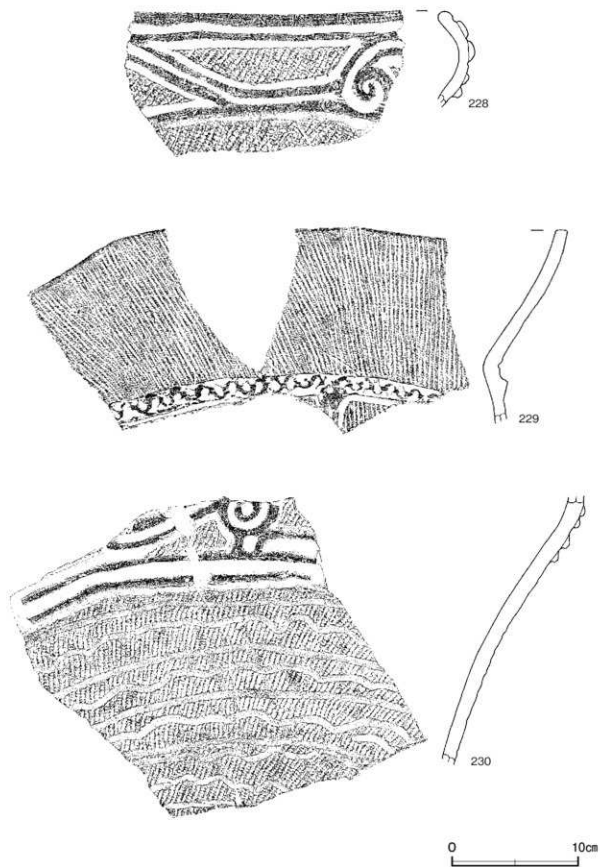
第79図 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物実測図(1)



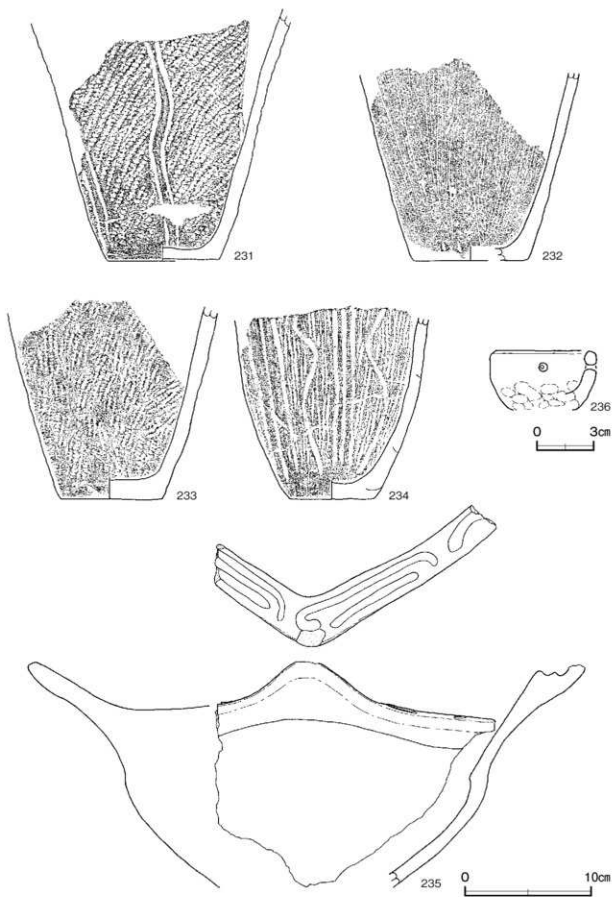
第80图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物実測図(2)



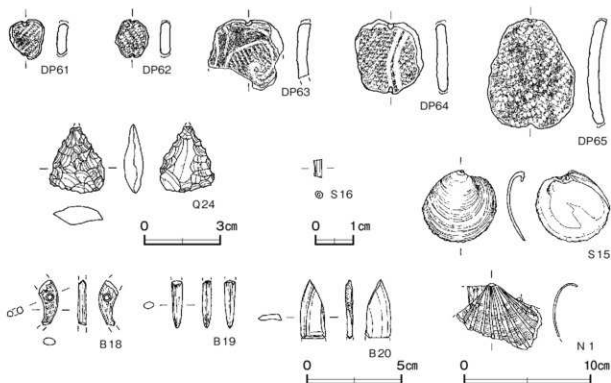
第81图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物実測图(3)



第 82 图 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(4)



第83图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物実測図(5)



第84図 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物実測図(6)

第2号貝層第Ⅶ層出土遺物観察表 (第79～84図)

番号	種別	形種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
216	縄文土器	深鉢	24.1	(21.6)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	多条縄文RL(横・縦) 懸垂文 蛇行沈線	低所下層	60% PL28
217	縄文土器	深鉢	18.8	(22.0)	-	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	単条縄文RL(縦) 懸垂文	低所下層	75%
218	縄文土器	深鉢	[27.8]	(27.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	単条縄文RL(横・縦) 懸垂文 蛇行沈線	高所上層	30%
219	縄文土器	深鉢	[29.8]	(18.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	単条縄文[縦(横・縦) 陸帯と沈線による渦巻文・懸垂文 蛇行沈線]	高所上層	30%
220	縄文土器	深鉢	24.4	(13.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐	良好	大小各3単位の波状口縁 多条縄文RL(縦) 1単位3条の磨消懸垂文 蛇行沈線	高所上層	50% PL29
221	縄文土器	深鉢	-	(23.0)	-	長石・石英・雲母	灰褐	良好	単条縄文RL(縦) 陸帯と沈線による渦巻文	低所下層	PL48
222	縄文土器	深鉢	[21.0]	(14.6)	-	長石・石英	にぶい焼	普通	背削陸帯による波状文 刺突充填 単条縄文RL(縦) 1単位3条の磨消懸垂文	貝層中	20%
223	縄文土器	深鉢	-	(3.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	単条縄文RL(横) 陸帯と沈線による渦巻文	貝層中	
224	縄文土器	深鉢	[14.0]	(8.8)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	渦巻文を伴う突起 刺突充填 刺突充填 頭部無文	貝層中	5%
225	縄文土器	深鉢	[23.0]	(13.4)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	渦巻文 複条縄文LRL(縦) 1単位3条の磨消懸垂文 蛇行沈線	低所下層	5%
226	縄文土器	深鉢	-	(9.6)	-	長石・石英	にぶい焼	普通	単条縄文RL(縦) 連弧文	貝層中	
227	縄文土器	深鉢	-	(13.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	単条縄文RL(横) 陸帯と沈線による渦巻文	貝層中	
228	縄文土器	深鉢	-	(7.6)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	単条縄文RL(縦) 陸帯と沈線による渦巻文	高所上層	
229	縄文土器	深鉢	-	(14.8)	-	長石・石英・雲母	暗褐	普通	懸赤文 交互刺突 陸帯垂下	低所下層	PL49
230	縄文土器	深鉢	-	(21.4)	-	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	単条縄文RL(縦) 陸帯と沈線による渦巻文 磨消沈線 連弧沈線	高所上層	
231	縄文土器	深鉢	-	(19.9)	[8.8]	長石・石英	にぶい焼	普通	単条縄文RL(縦) 磨消懸垂文 蛇行沈線	低所下層	10%
232	縄文土器	深鉢	-	(14.9)	[9.0]	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	糊状工具による条線文	高所上層	10%
233	縄文土器	深鉢	-	(15.3)	7.9	長石・石英	にぶい焼	普通	単条縄文RL(縦)	低所下層	15%
234	縄文土器	深鉢	-	(14.2)	6.6	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	懸赤文 1単位3条の磨消懸垂文 蛇行沈線	低所下層	30%
235	縄文土器	浅鉢	[43.0]	(17.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい焼	普通	渦巻文 内面赤彩痕	低所下層	20%
236	縄文土器	に+7	[4.8]	(3.1)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	穿孔 指頭痕	高所上層	20%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP61	土器片鉢	3.1	2.8	0.9	9.2	長石・石英・雲母	にぶい焼	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の削み	貝層中	PL.61
DP62	土器片鉢	3.0	2.6	0.8	8.0	長石・石英・雲母	にぶい焼	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对の削み	貝層中	PL.61
DP63	土器片鉢	(5.7)	(5.9)	(1.1)	(33.9)	長石・石英	にぶい黄焼	胴部片 周縁研磨 片端部削み欠損	貝層中	
DP64	土器片鉢	6.0	5.4	0.9	34.7	長石・石英	にぶい焼	胴部片 長軸方向に一对の削み	貝層中	
DP65	土器片鉢	8.8	6.9	1.5	74.0	長石・石英・雲母	にぶい焼	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の削み	貝層中	PL.61

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q-24	鏝	(2.7)	2.2	0.8	(3.1)	チャート	平基無基 押圧痕跡	高所下層	PL.65

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B-18	垂飾り	(2.4)	0.9	0.5	(0.7)	哺乳綱	全面研磨 二方向から穿孔 孔径0.4cm 焼熟	貝層中	PL.71
B-19	ヤス	(2.5)	0.6	0.5	(0.6)	哺乳綱	全面研磨 先端部欠損	貝層中	
B-20	ヤス	(3.1)	1.3	0.4	(1.6)	イノシシ犬歯	エナメル質残存 全面研磨 基部欠損	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S-15	貝刃	5.7	5.9	1.4	15.6	カギマガイ	石殻 腹縁はほぼ全体に付刃	貝層中	PL.69
S-16	垂飾り	0.4	0.2	0.2	0.1	ヤカドツノガイ	頂口付込 両端部切断	貝層中	

番号	種別	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
N-1	化石貝	(5.3)	(6.6)	(1.9)	(8.4)	イタヤガイ	石殻	貝層中	PL.70

第Ⅷ層 (第85～114図)

確認状況 窪地の北壁際に位置するブロック状貝層である。第Ⅵ・Ⅶ層の調査終了後に貝層全体を検出した。

重複関係 貝層窪地が第3号遺物包含層の堆積土を掘り込んでいる。

広がりと堆積状況 東西幅は約8.1m、南北幅は約5.1mで、層厚は約170cmである。形状や傾斜方向、東部に堆積している貝層の貝殻破砕率の高さから、貝類は高所の北方向から低所に投棄され、低所で東部へ広がったと考えられる。30層に分層でき、小形のマガキ、小形のハマグリ、ウミナを主体とした貝層などが堆積している。第Ⅷ-1層は、斜面部の低所に堆積した黒褐色土の間層である。貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。第Ⅷ-4・8・9・16・17層は自然科学分析該当層で、第Ⅷ-4・17層ではマガキが、第Ⅷ-8層ではカキ類の破砕片が、第Ⅷ-9層ではハマグリが、第Ⅷ-16層ではシオフキがそれぞれ主体である。柱状サンプルからは、チャツボやノミナなどの微小貝類も検出されている。

土層・貝層解説

1	暗褐色	黄褐色シルトブロック・粘土ブロック少量	8	混貝土層	黒褐色。カキ類破砕片、混貝率20%、破砕率90%、炭化粒子少量
2	混貝土層	黒褐色。殻高0.8～3.2cmのウミナ主体、混貝率30%、破砕率50%、焼土粒子中量、炭化粒子・灰少量	9	純貝層	ハマグリ主体、破砕率60%、炭化粒子微量
3	混土貝層	殻高1.2～3.2cmのウミナ主体、混貝率75%、破砕率75%、焼土粒子・灰中量、炭化粒子微量	10	混貝土層	黒褐色。ハマグリ主体、混貝率30%、破砕率50%、焼土粒子中量、灰少量、炭化粒子微量
4	純貝層	殻高1.5～7.1cmのマガキ主体、破砕率60%、焼土粒子・炭化粒子微量	11	混土貝層	ハマグリ主体、混貝率80%、破砕率50%、焼土粒子少量、炭化粒子微量
5	混土貝層	殻高1.6～4.7cmのマガキ主体、混貝率80%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子微量	12	混土貝層	ハマグリ主体、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子少量
6	混貝土層	黒褐色。殻高1.0～4.9cmのマガキ主体、混貝率40%、破砕率60%、焼土粒子・炭化粒子・灰中量	13	混土貝層	ハマグリ主体、混貝率60%、破砕率75%、灰中量、焼土粒子・炭化粒子少量
7	混貝土層	黒褐色。ハマグリ主体、混貝率30%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子・灰少量	14	混土貝層	ハマグリ主体、混貝率60%、破砕率80%、焼土粒子・炭化粒子微量

15	混貝土層	黒褐色。ハマグリ主体。混貝率40%、破砕率75%、灰中量、焼土粒子・炭化粒子微量	23	混貝土層	黒褐色。ハマグリ主体・マガキなど。混貝率5%、破砕率90%、炭化粒子微量
16	混貝土層	黒褐色。シオフキ主体。混貝率25%、破砕率75%、炭化粒子少量	24	混土貝層	マガキ主体・ハマグリ・ナミマガシワなど。混貝率75%、破砕率90%、炭化粒子・炭化粒子微量
17	混貝土層	黒褐色。殻高15～7cmのマガキ主体。混貝率40%、破砕率90%、黄褐色シルトブロック中量、炭化粒子微量	25	混貝土層	黒褐色。マガキ主体・ハマグリ・サルボウなど。混貝率10%、破砕率90%、焼土粒子・炭化粒子微量
18	混貝土層	黒褐色。殻高1.0～3.0cmのウミニナ主体。混貝率40%、破砕率50%、炭化粒子微量	26	黒褐色	灰多量、炭化粒子少量、焼土粒子・ハマグリ破砕片微量
19	混貝土層	黒褐色。殻高0.9～2.8cmのウミニナ主体。混貝率25%、破砕率75%、炭化粒子微量	27	混土貝層	マガキ主体・ハマグリなど。混貝率60%、破砕率95%、炭化粒子微量
20	混貝土層	黒褐色。殻高0.7～3.2cmのウミニナ主体。混貝率30%、破砕率80%、炭化粒子微量	28	黒褐色	炭化粒子・ハマグリ破砕片微量
21	混貝土層	黒褐色。殻高1.0～2.9cmのウミニナ主体。混貝率40%、破砕率85%、炭化粒子微量	29	混土貝層	ハマグリ主体。混貝率60%、破砕率95%、炭化粒子微量
22	混土貝層	ハマグリ主体・マガキ・ナミマガシワなど。混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量	30	混土貝層	ハマグリ主体。混貝率75%、破砕率95%、炭化粒子・焼土粒子少量

表48 第Ⅷ-2層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	シオフキ	ハマグリ	ナミマガシワ	ヒメシロ	アラムシロ	サルボウ	アサリ	カワアイ	スガイ	カノコガイ	その他	個体数	
点	右殻	151	73	46	20	18	25	19	13	8	7	5	3	オキシジミ1 カガミガイ1 カノコガイ1 ヒメシロ1 ヤマシロ1 アサリ1 キセルガイ25	415 (産生数)
	左殻		77	18	27	27			11					14	
割合(%)		36.4	18.6	11.1	6.5	6.5	6.0	4.6	3.4	1.9	1.7	1.2	0.7	1.4	

表49 第Ⅷ-3層貝類組成表

貝種	ウミニナ	マガキ	サルボウ	シオフキ	ナミマガシワ	ハマグリ	アラムシロ	カノコガイ	アサリ	スガイ	カワアイ	オキシジミ	その他	個体数	
点	右殻	498	282	48	56	48	41	25	11	9	9	8	2	ヒメシロ4 アサリ1 カガミガイ2 レイシガイ2 ヤマシロ2 カガミガイ1 キセルガイ22	1061 (産生数)
	左殻		194	59	55	48								41	
割合(%)		47.0	26.6	5.6	5.3	4.5	3.9	2.4	1.0	0.8	0.8	0.7	0.4	1.0	

表50 第Ⅷ-5層貝類組成表

貝種	マガキ	ウミニナ	ハマグリ	サルボウ	シオフキ	スガイ	ナミマガシワ	カワアイ	カノコガイ	アサリ	オキシジミ	カガミガイ	その他	個体数	
点	右殻	195	113	31	30	15	6	3	5	5	3	1	0	レイシガイ1 カガミガイ1 キセルガイ11	425 (産生数)
	左殻			172	44	30		10						5	
割合(%)		45.9	26.6	10.4	7.1	3.5	1.4	1.2	1.2	1.2	0.7	0.2	0.2	0.4	

表51 第Ⅷ-6層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	サルボウ	ウミニナ	シオフキ	ナミマガシワ	アサリ	レイシガイ	カノコガイ	アラムシロ	オキシジミ	スガイ	その他	個体数	
点	右殻	92	78	55	51	22	5	6	4	4	4	2	2	キセルガイ3	345 (産生数)
	左殻					81	60	57						29	
割合(%)		26.7	22.6	16.5	14.8	8.4	3.5	2.6	1.2	1.2	1.2	0.7	0.6	-	

表52 第Ⅷ-7層貝類組成表

貝種	ハマグリ	ウミニナ	マガキ	シオフキ	ナミマガシワ	サルボウ	アサリ	レイシガイ	カノコガイ	オキシジミ	カガミガイ	カワアイ	その他	個体数	
点	右殻	82	40	26	21	6	7	4	3	3	2	2	2	アラムシロ1 スガイ1 キセルガイ114	222 (産生数)
	左殻			101	25	12	8	4						5	
割合(%)		45.5	18.0	11.7	9.5	3.6	3.2	2.3	1.3	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9	

表53 第Ⅷ-10層貝類組成表

貝種	ハマグリ	ウミニナ	シオフキ	マガキ	アラムシロ	サルボウ	カノコガイ	ナミマガシ	アサリ	オキシジミ	ナミマガシ	カノコガイ	その他	個体数
点	右殻	79	39	33	8	7	6	5	3	1	1	1	0	192 (発生数)
	左殻	70		24			14			2	1	1	0	
割合(%)	41.2	20.3	17.2	7.3	3.6	3.1	2.6	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5	11	

表54 第Ⅷ-11層貝類組成表

貝種	ハマグリ	シオフキ	ナミマガシ	マガキ	サルボウ	ウミニナ	アサリ	スガイ	レイシガイ	カノコガイ	アラムシロ	カワアイ	その他	個体数
点	右殻	170	41	25	11	10	10	4	3	2	1	1	1	290 (発生数)
	左殻	160	28	20	20	9		2						
割合(%)	58.6	14.1	8.6	6.9	3.5	3.5	14	1.1	0.7	0.3	0.3	0.3	0.7	

表55 第Ⅷ-12層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	ウミニナ	シオフキ	アサリ	サルボウ	アラムシロ	カノコガイ	ナミマガシ	オキシジミ	レイシガイ	その他	個体数
点	右殻	181	80	30	21	9	2	5	5	1	0	2	346 (発生数)
	左殻	169	56		14	11	7			2	2		
割合(%)	52.3	23.1	8.7	6.1	3.2	2.0	1.4	1.4	0.6	0.6	0.6	-	

表56 第Ⅷ-13層貝類組成表

貝種	ハマグリ	シオフキ	ウミニナ	マガキ	サルボウ	アサリ	レイシガイ	オキシジミ	アラムシロ	カノコガイ	ナミマガシ	ウネナシトマヤ	その他	個体数
点	右殻	87	49	38	26	17	12	5	4	4	4	1	2	294 (発生数)
	左殻	113	64		23	16	7					3	4	
割合(%)	38.4	21.7	12.9	8.8	5.8	4.1	1.7	1.4	1.4	1.4	0.7	0.7	1.0	

表57 第Ⅷ-14層貝類組成表

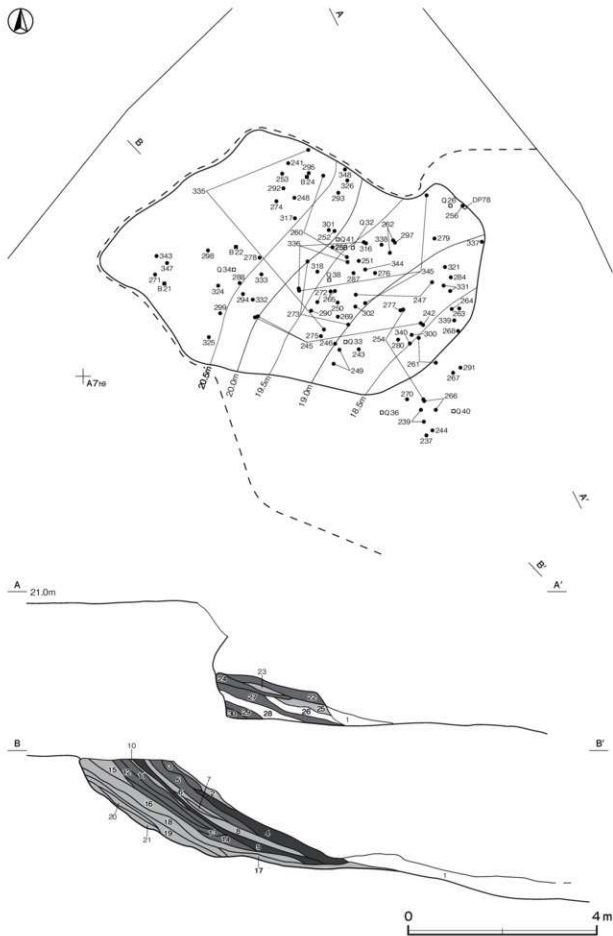
貝種	ハマグリ	ウミニナ	シオフキ	マガキ	サルボウ	レイシガイ	アラムシロ	アサリ	ナミマガシ	カワアイ	カノコガイ	オキシジミ	その他	個体数
点	右殻	193	71	23	17	15	11	10	8	3	3	2	0	370 (発生数)
	左殻	187		35	10	16		8	2	1		キセルガイ22		
割合(%)	52.2	19.2	9.5	4.6	4.3	3.0	2.7	2.2	0.8	0.8	0.5	0.2	-	

表58 第Ⅷ-15層貝類組成表

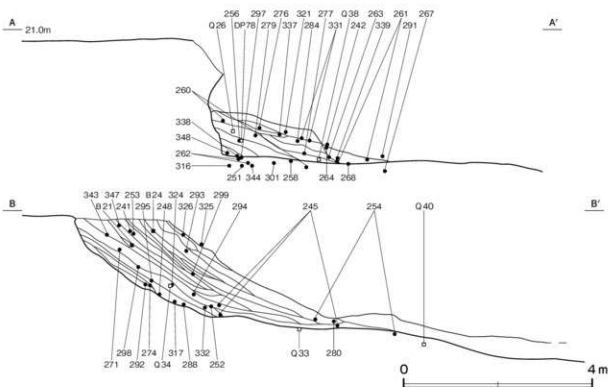
貝種	ハマグリ	ウミニナ	シオフキ	サルボウ	マガキ	アラムシロ	カワアイ	レイシガイ	オキシジミ	カワアイ	カノコガイ	その他	合計
点	右殻	57	57	35	8	5	5	4	4	0	2	2	202 (発生数)
	左殻	43		46	14	9		2		2		1	
割合(%)	28.2	28.2	22.7	6.9	4.5	2.5	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	-	

表59 第Ⅷ-18層貝類組成表

貝種	ウミニナ	ハマグリ	マガキ	シオフキ	アラムシロ	カワアイ	レイシガイ	カノコガイ	アサリ	オキシジミ	サルボウ	スガイ	その他	個体数
点	右殻	177	39	36	28	12	9	9	8	7	3	2	2	336 (発生数)
	左殻		26	21	23					7	3	1		
割合(%)	52.6	11.6	10.7	8.3	3.6	2.7	2.7	2.4	2.1	0.9	0.6	0.6	1.2	



第 85 图 第 2 号貝層第Ⅶ層实测图(1)



第 86 図 第 2 号貝層第 VIII 層実測図(2)

表 60 第 VIII - 19 層貝類組成表

貝種	ウミナ	マガキ	ハマグリ	カワアイ	シオフキ	アラムシロ	オキシジミ	カノコガイ	アサリ	サルボウ	ヒメコザラ	オキシジミ	ナマゴシ	レイシガイ	その他	個体数
点	右殻	163	18	10	6	6	3	5	3	2	1	1	1	スガイ 1 ヒメコザラ 1 キセルガイ 17 ヤマゴロムス 2	239	
	左殻		22	14			6		5	3	2					1
割合 (%)	68.2	9.2	5.9	3.8	2.5	2.5	2.1	2.1	1.3	0.8	0.4	0.4	0.4	0.8	(残生除く)	

表 61 第 VIII - 20 層貝類組成表

貝種	ウミナ	マガキ	ハマグリ	シオフキ	カワアイ	アラムシロ	カノコガイ	アサリ	サルボウ	ヒメコザラ	オキシジミ	ナマゴシ	その他	個体数	
点	右殻	308	62	39	29	26	19	19	18	3	7	6	0	ヤマトシジミ 1 カノコガイ 1 オキシジミ 1 キセルガイ 2 ハマゴロムス 2	549
	左殻		52	31	32				14	7		3	3		
割合 (%)	56.1	11.3	7.1	5.8	4.7	3.5	3.5	3.3	1.3	1.3	1.1	0.5	0.5	(残生除く)	

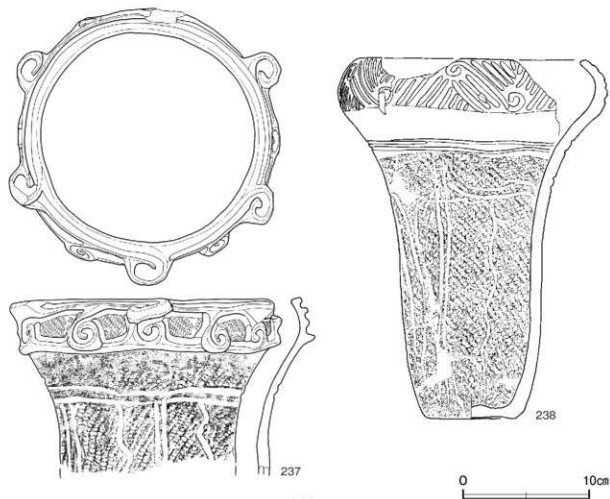
表 62 第 VIII - 21 層貝類組成表

貝種	ウミナ	シオフキ	マガキ	ハマグリ	カワアイ	アサリ	アラムシロ	カノコガイ	ヒメコザラ	レイシガイ	オキシジミ	サルボウ	その他	個体数
点	右殻	321	28	31	27	27	11	9	8	7	2	4	オキシジミ 1 ヤマトシジミ 1 スガイ 1 オキシジミ 1 キセルガイ 2 ハマゴロムス 1	510
	左殻		39	14	22									
割合 (%)	62.9	7.6	6.0	5.3	5.3	3.1	2.2	1.8	1.6	1.4	1.2	0.8	0.8	(残生除く)

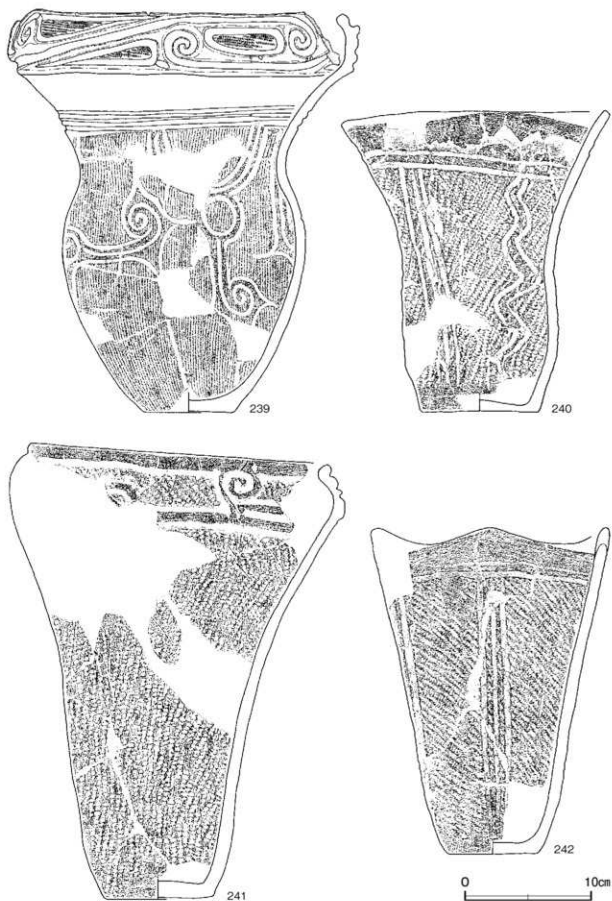
遺物出土状況 縄文土器片 5,432 点 (深鉢 5,314, 浅鉢 109, ミニチュア土器 5, 有孔罎付土器 1, 台形土器 3), 土製品 30 点 (土器片鎌 28, 土器片円盤 2), 石器 25 点 (打製石斧 6, 磨製石斧 9, 石皿 1, 磨石 7, 敲石 1, 凹石 1), 剥片 8 点 (チャート 1, 黒曜石 4, 石英 2, 粘板岩 1), 骨角器 6 点 (ヤス 4, 鹿角加工品 2), 貝

製品9点(貝刃1, 貝輪4, 垂飾り4), 人骨5点, 自然遺物(貝類, アカエイ, アジ科, ウナギ属, コチ科, サバ属, サメ・エイ類, サヨリ属, スズキ属, タイ科, トビエイ, ニシン亜科, ハゼ科, ボラなどの魚骨, カニ類の可動指, カモ科, キジ科, タイナ科, スズメ目などの鳥骨, イノシシ, ニホンジカ, ノイヌ, ノウサギなどの獣骨)が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたものとみられる。第Ⅶ-1層から出土した239・270などは, 投棄時または投棄後に高所から低所の土主体層に流れ込んだものと考えられる。238は, 第Ⅶ-1層と第Ⅶ-17層からそれぞれ出土した土器が接合したものである。299は, 第3号遺物包含層からの流れ込みとみられる。N 215～N 219の人骨は, 貝層中から散乱した状態で出土している。

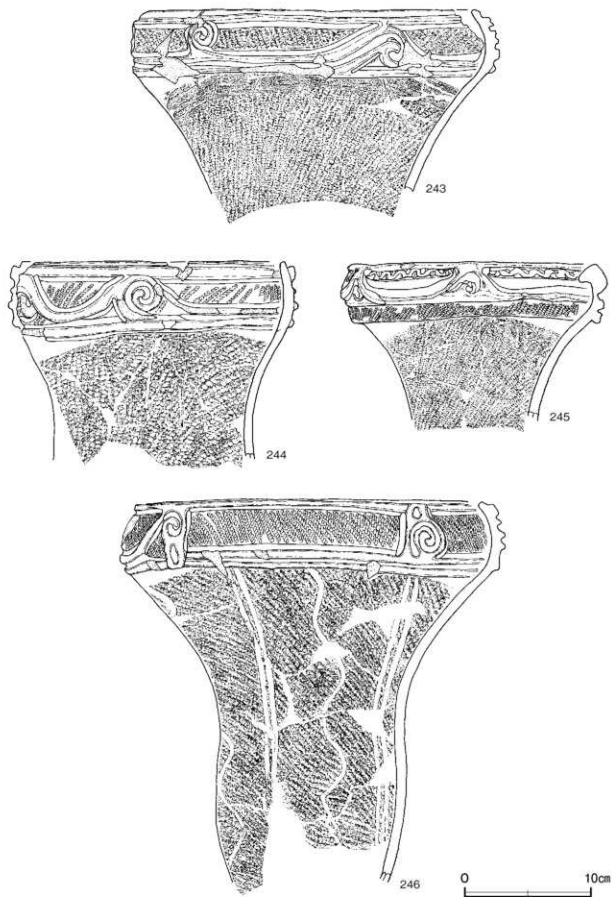
所見 貝層の堆積状況から, 高所の北方向から形成された貝層の中で最も古い。内湾砂底群集に属するハマグリやシオフキ, 干潟群集に属するマガキやウミニナを主体とした貝層などが堆積していることから, 主に砂泥質干潟や泥質干潟で採貝していたと考えられる。ハマグリは個体数がやや多い理由として, 採貝域や季節の差異などのほか, 生息に適した環境が比較的広域だった可能性もある。ハマグリは殻長は, 第Ⅶ層から第Ⅴ層に至るまで3cm前後の小形が中心であることから, 大形の個体を採貝することは貝層形成の初期から難しかったと考えられる。自然科学分析の詳細については, 本節1(2)に掲載した。貝層中からは, 成人男性とみられる人骨が出土していることから, 貝層が形成された窪地は, 破損した遺物や貝殻などの残滓の「捨て場」だけではなく, 「送り場」にもなっていた可能性がある。時期は, 出土土器から中期後葉と考えられる。



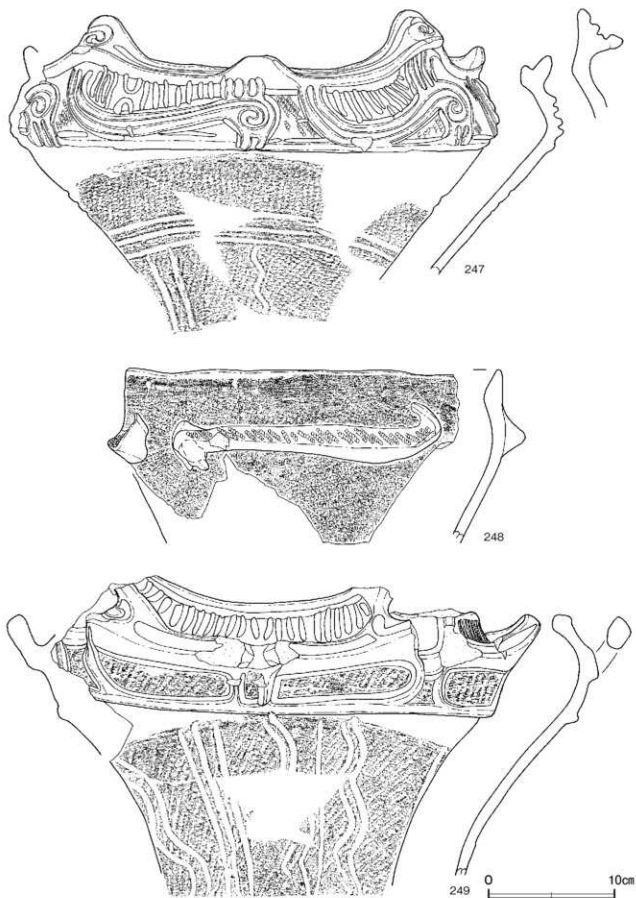
第 67 図 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物実測図(1)



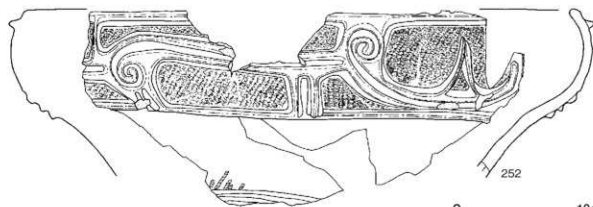
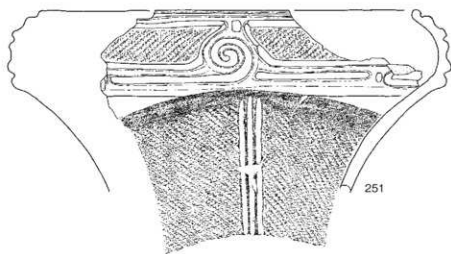
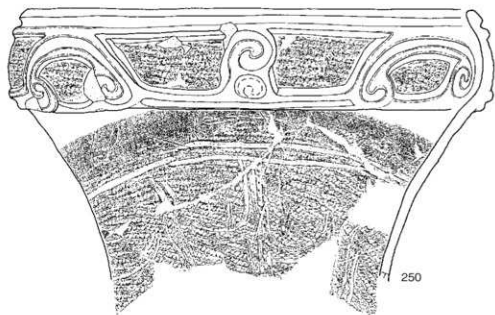
第 88 图 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(2)



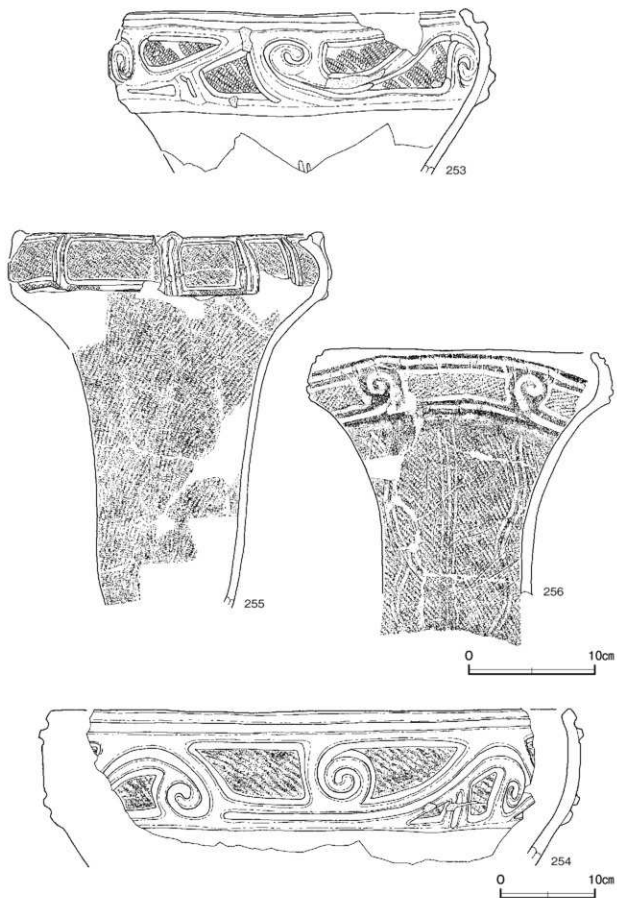
第 89 图 第 2 号贝层第Ⅷ层出土物实测图(3)



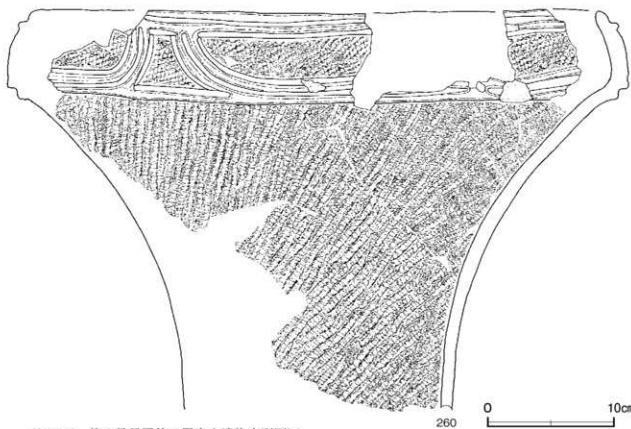
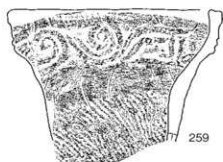
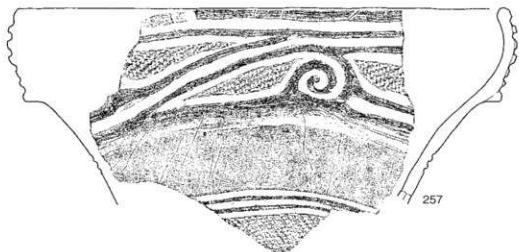
第90图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(4)



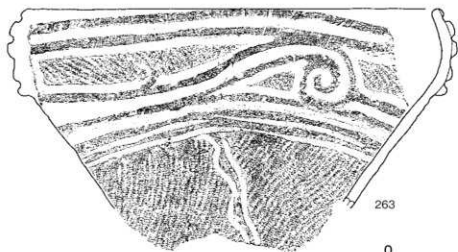
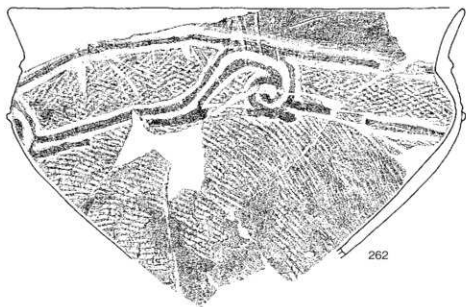
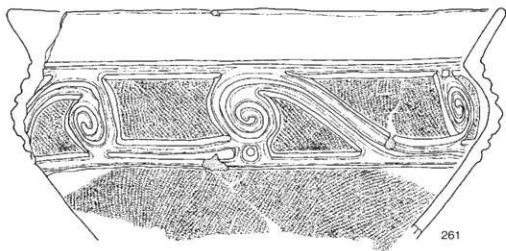
第 91 图 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(5)



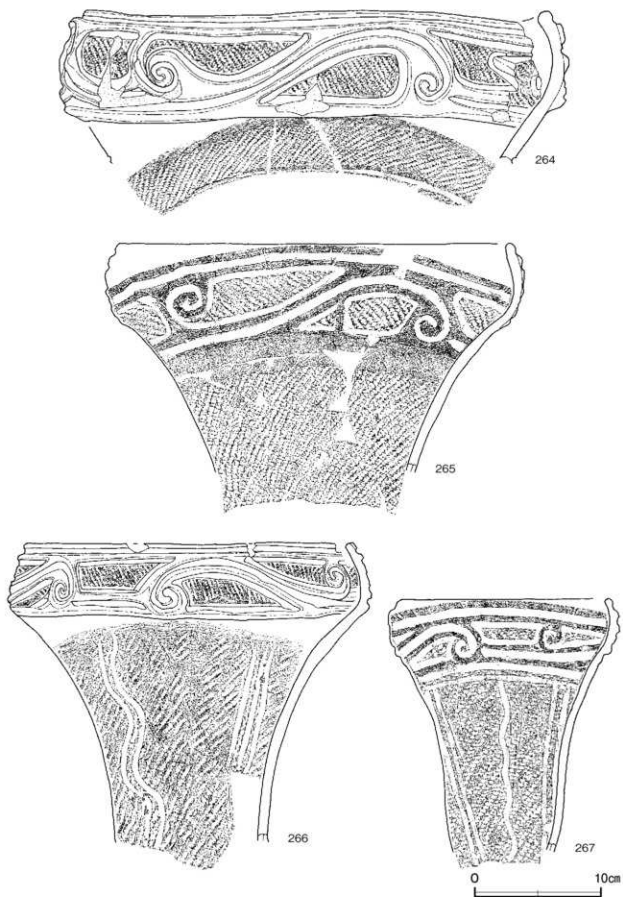
第 92 图 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(6)



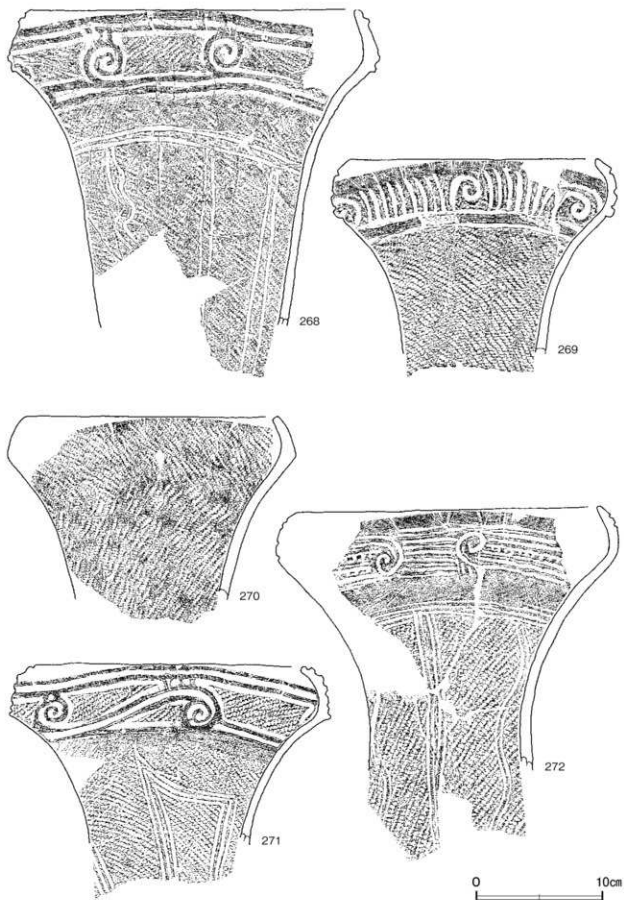
第 93 图 第 2 号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図(7)



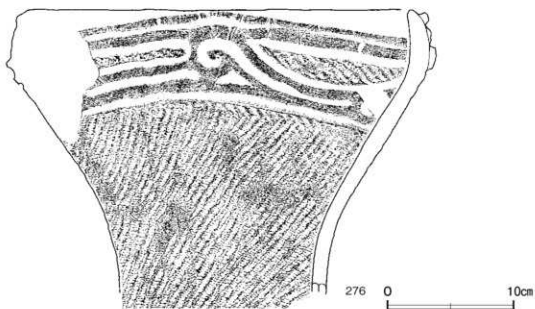
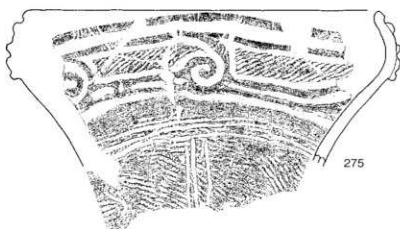
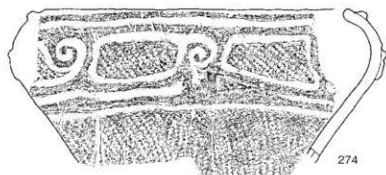
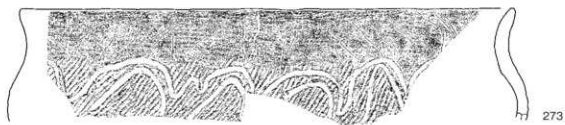
第94图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(8)



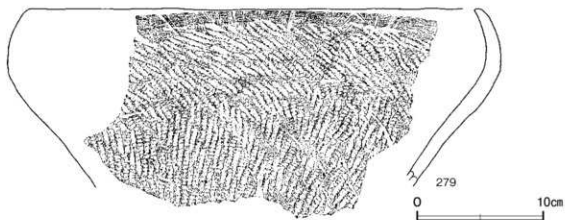
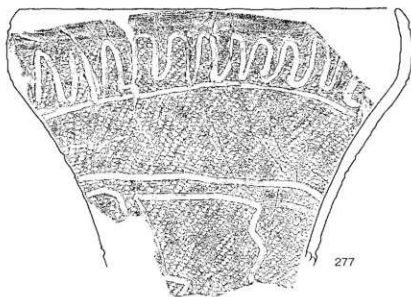
第95图 第2号贝层第Ⅷ层出土物实测图(9)



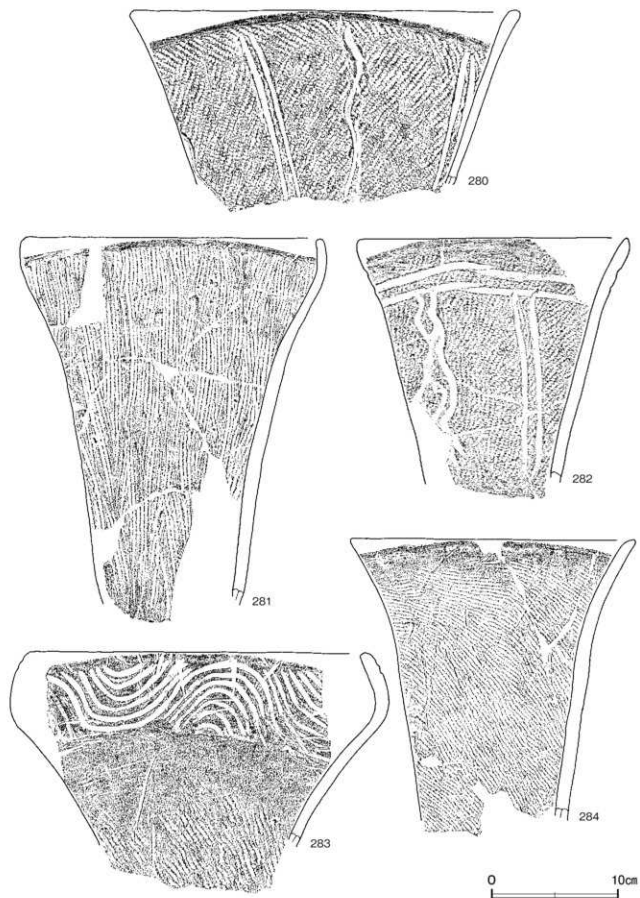
第96图 第2号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(00)



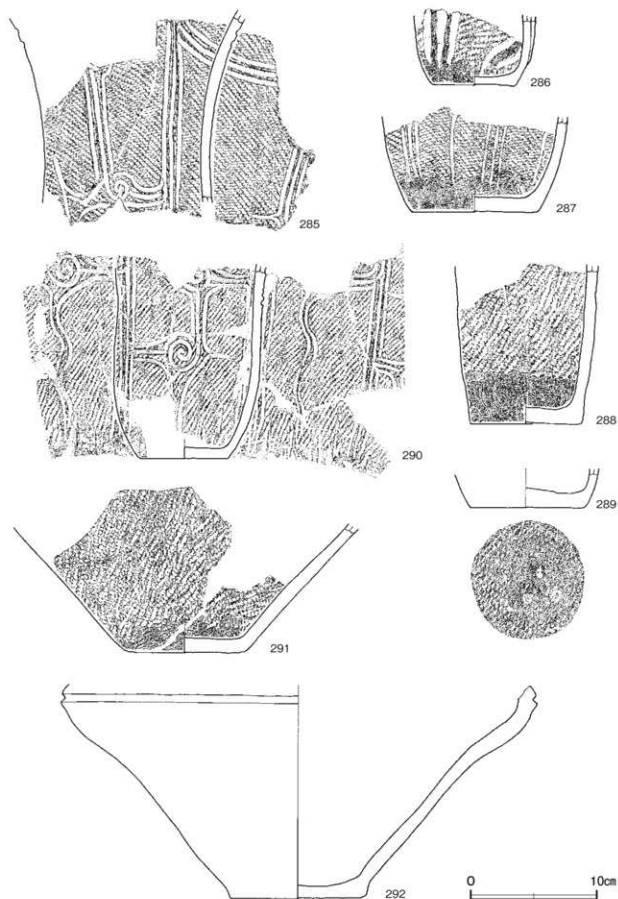
第97图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物实测图(1)



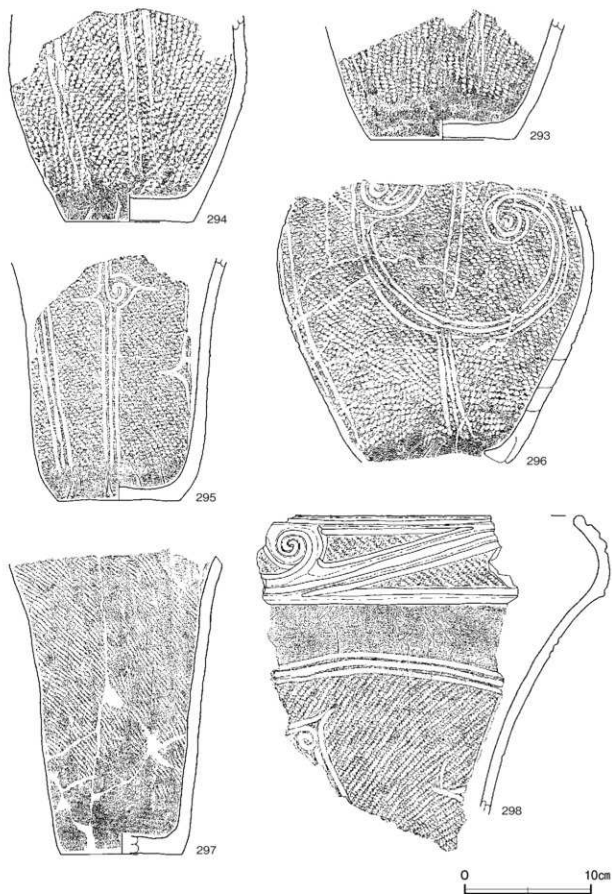
第 98 图 第 2 号貝層第Ⅶ層出土遺物实测图(2)



第 99 图 第 2 号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図13



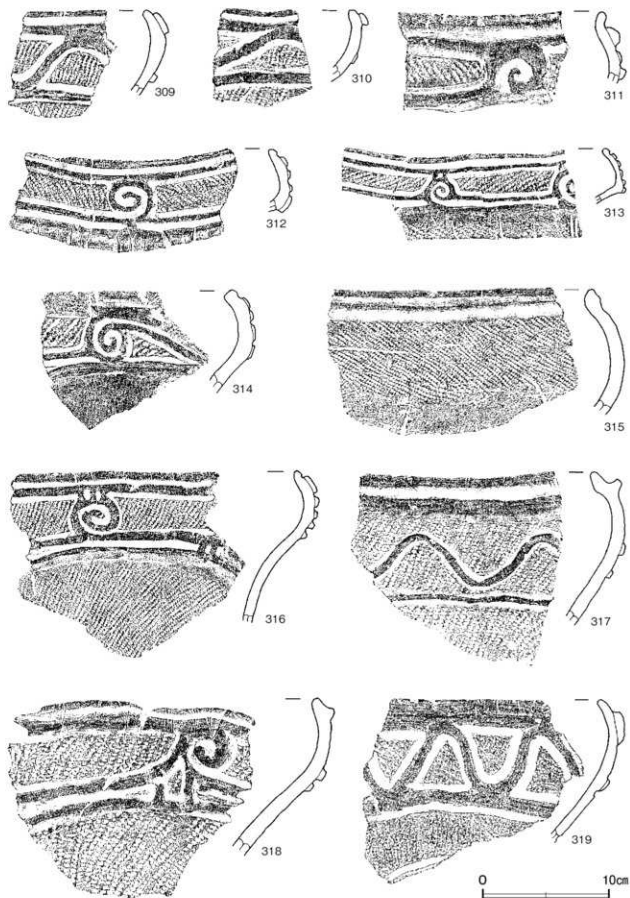
第 100 图 第 2 号貝層第Ⅷ層出土遺物实测图④



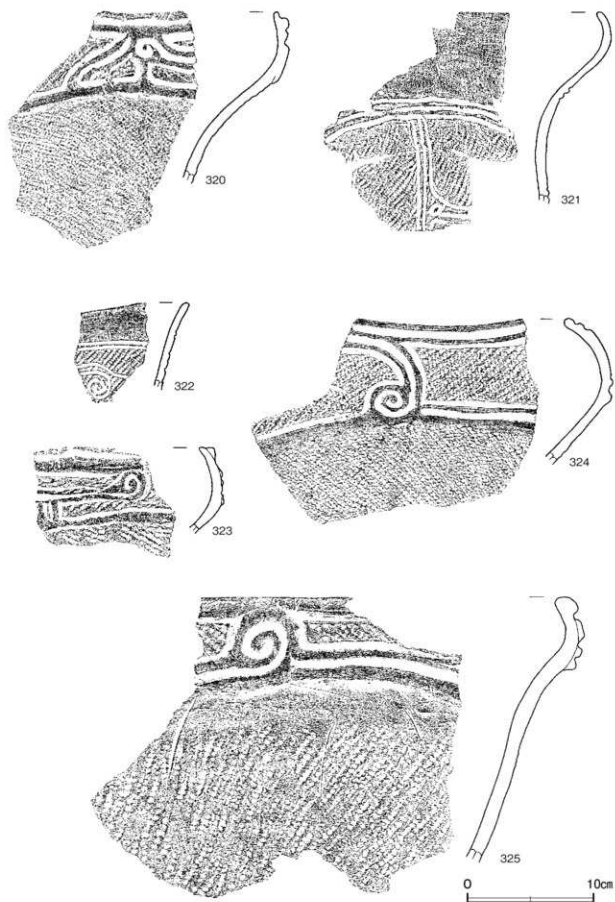
第101图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図⑮



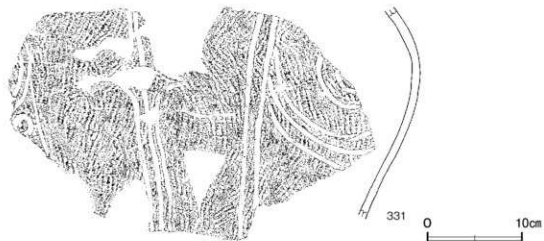
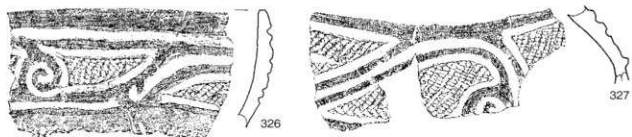
第 102 图 第 2 号贝层第 VIII 层出土遗物实测图⑥



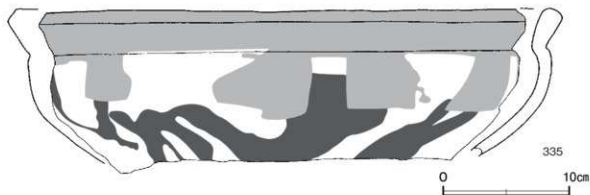
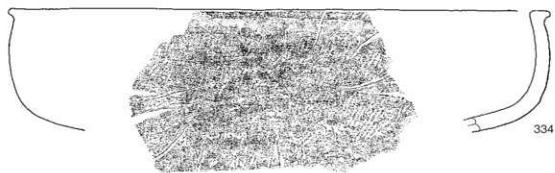
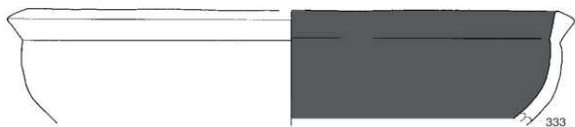
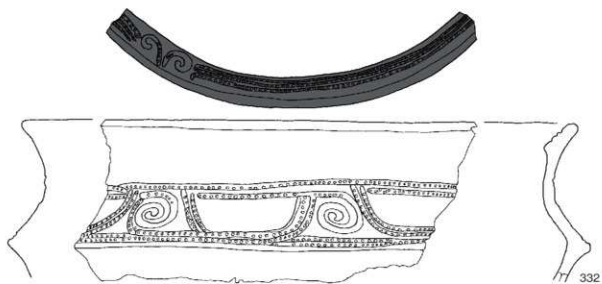
第 103 图 第 2 号貝層第 VIII 層出土遺物実測図(7)



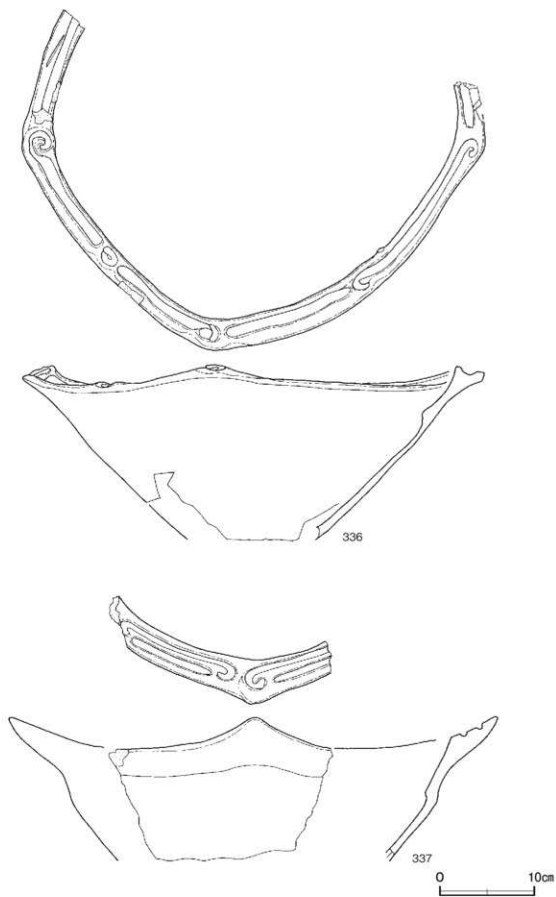
第 104 图 第 2 号贝层第 VIII 层出土遗物实测图⑧



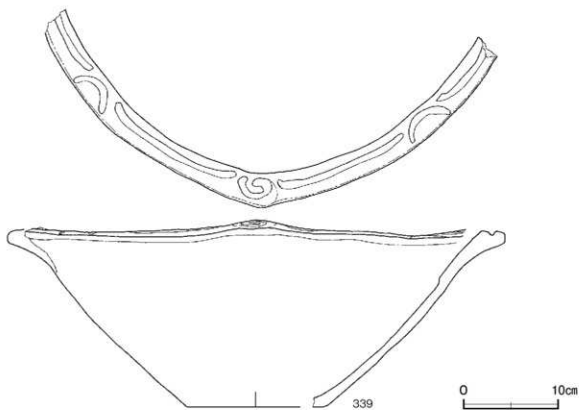
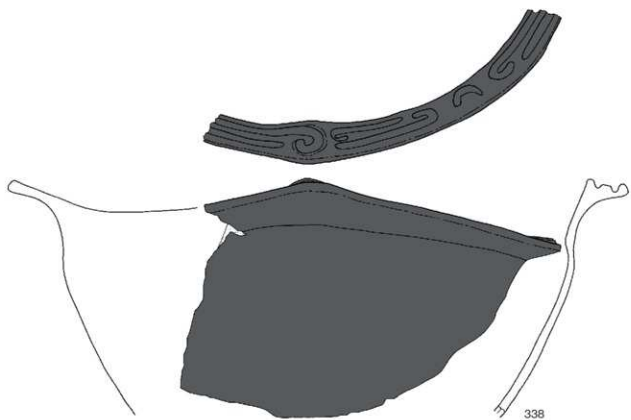
第105图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図9



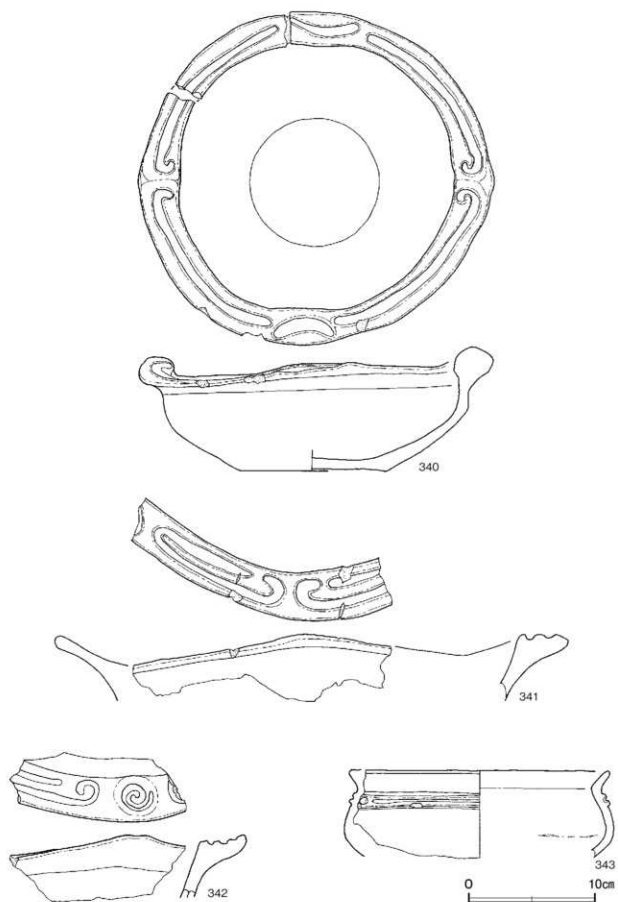
第 106 图 第 2 号貝層第 VIII 層出土遺物実測図(2)



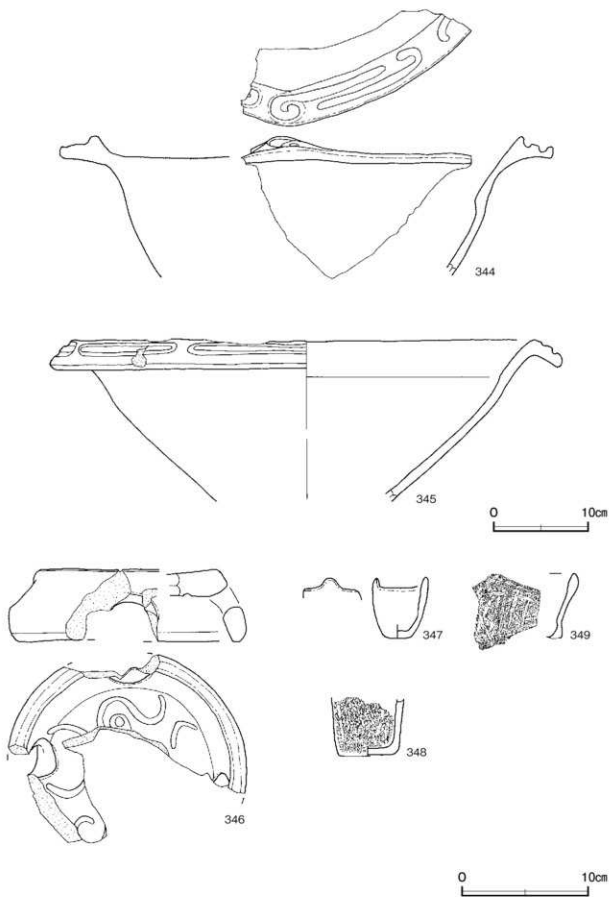
第 107 図 第 2 号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図(2)



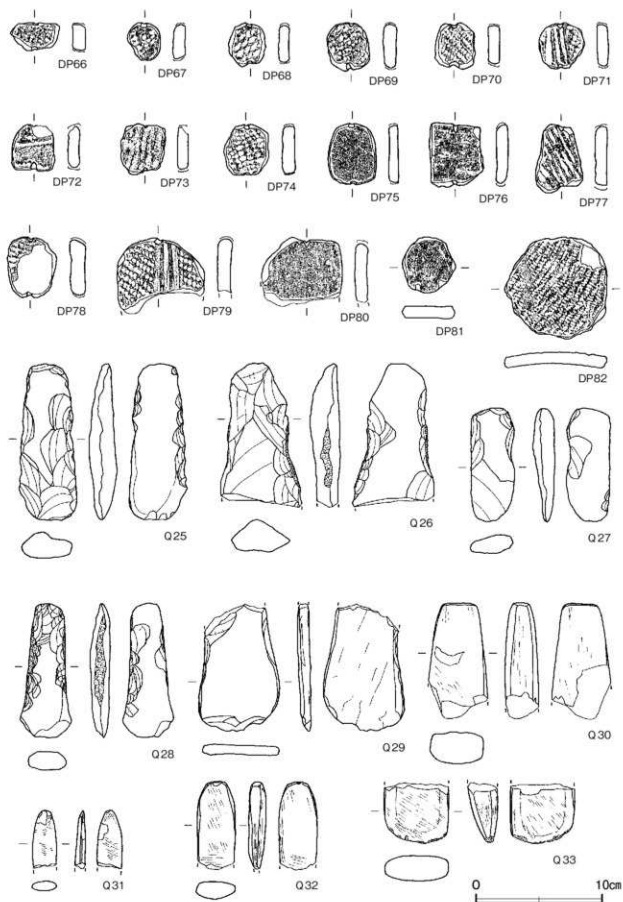
第108图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図22



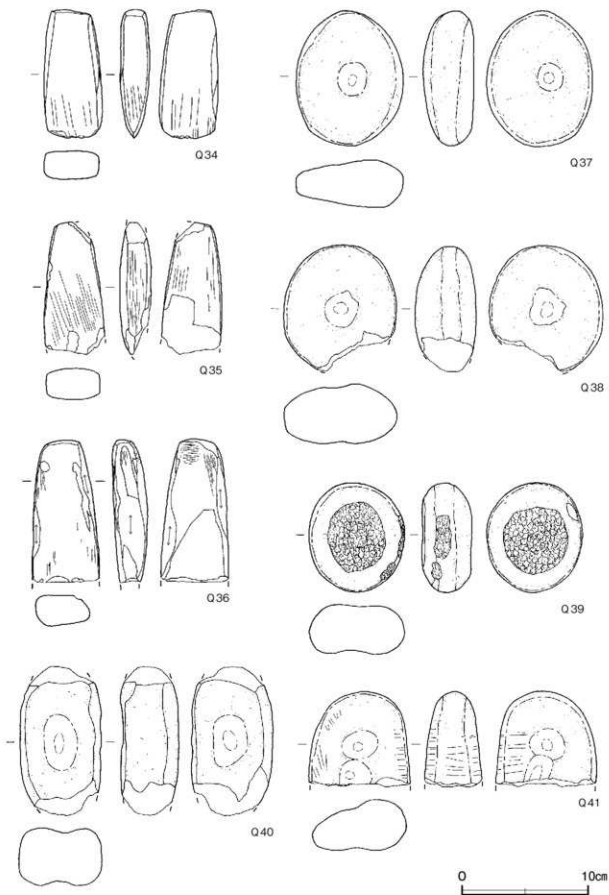
第109图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図23



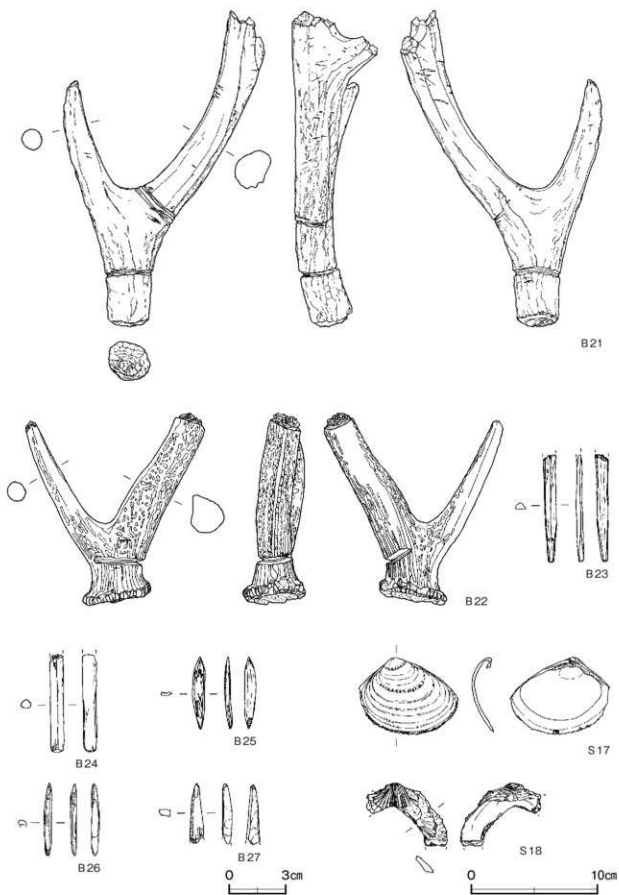
第110图 第2号贝冢第Ⅷ层出土遗物实测图24



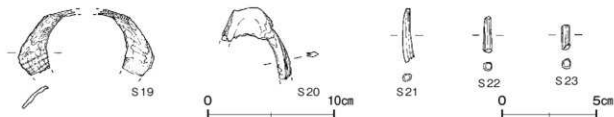
第111图 第2号具层第VIII层出土物实测图(四)



第112图 第2号貝層第Ⅷ層出土遺物実測図26



第 113 图 第 2 号貝層第 VIII 層出土遺物実測図(27)



第114図 第2号貝層第Ⅳ層出土遺物実測図②

第2号貝層第Ⅳ層出土遺物観察表 (第87～114図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
237	縄文土器	深鉢	17.6	(14.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 渦巻状突起 隆帯と沈線による渦巻文 懸垂文 蛇行沈線	第Ⅳ層-1層	60% PL29
238	縄文土器	深鉢	18.7	28.5	7.3	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	斜位沈線 沈線による渦巻文 頸部無文帯 単節縄文LR(縦) 渦状沈線 蛇行沈線	第Ⅳ層-1・17層	70%
239	縄文土器	深鉢	(26.5)	32.0	7.0	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	頸部無文帯 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 単節縄文LR	第Ⅳ層-1層	70% PL29
240	縄文土器	深鉢	20.4	24.1	9.3	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単節縄文LR(縦) 懸垂文 蛇行沈線	第Ⅳ層-4層	70%
241	縄文土器	深鉢	(23.2)	36.2	8.8	長石・石英・雲母・細礫	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	高所上層	50%
242	縄文土器	深鉢	(18.4)	25.9	(7.2)	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	多条縄文LR(縦) 懸垂文	低所下層	50% PL29
243	縄文土器	深鉢	(26.0)	(14.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅳ層-17層	20%
244	縄文土器	深鉢	(20.8)	(15.7)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐色	普通	単節縄文LR(縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅳ層-1層	30%
245	縄文土器	深鉢	19.5	(12.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	交互突起 隆帯による渦巻文 単節縄文LR(縦) 懸垂文 蛇行沈線	低所下層	30% PL29
246	縄文土器	深鉢	26.7	(20.5)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単節縄文LR(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 交互沈線	第Ⅳ層-16層	80% PL29
247	縄文土器	深鉢	(35.6)	(21.4)	-	長石・石英・雲母・細礫	灰黄褐色	普通	隆帯と沈線による渦巻文 沈線突起 複節縄文LR(横・縦) 頸部無文帯 蛇行沈線	第Ⅳ層-16・17層	25% PL49
248	縄文土器	深鉢	(29.4)	(13.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	S字状隆帯 単節縄文LR(横・縦)	高所下層	30% PL49
249	縄文土器	深鉢	(33.7)	(22.1)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	渦巻文を伴う把手 単節縄文LR(縦) 懸垂文 蛇行沈線	第Ⅳ層-4層	20%
250	縄文土器	深鉢	(35.4)	(21.6)	-	長石・石英	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 交互沈線	第Ⅳ層-8層	30%
251	縄文土器	深鉢	(30.4)	(14.4)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	褐色	普通	複節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯	低所下層	15%
252	縄文土器	深鉢	(42.8)	(13.2)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯	低所下層	20%
253	縄文土器	深鉢	27.7	(13.0)	-	長石・石英・雲母・細礫	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯	高所上層	20% PL30
254	縄文土器	深鉢	(54.2)	(16.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	多条縄文LR(横) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯	低所下層	35%
255	縄文土器	深鉢	23.8	(29.7)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	60% PL30
256	縄文土器	深鉢	(21.4)	(19.4)	-	長石・石英	にぶい黄褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 蛇行沈線	低所下層	20%
257	縄文土器	深鉢	(39.0)	(15.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	複節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯	低所下層	10% PL49
258	縄文土器	深鉢	(23.4)	(12.2)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単節縄文LR(縦) 隆帯による渦巻文	低所下層	5%
259	縄文土器	深鉢	(17.0)	(10.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	無節縄文LR(縦) 隆帯による渦巻文	第Ⅳ層-17層	10%
260	縄文土器	深鉢	(44.6)	(31.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい赤褐色	普通	単節縄文LR(縦) 背筋隆帯	低所下層	30%
261	縄文土器	深鉢	(39.0)	(18.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所下層 第Ⅳ層-1層	30%
262	縄文土器	深鉢	(36.0)	(19.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所下層	40%
263	縄文土器	深鉢	(32.6)	(15.7)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	多条縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 蛇行沈線	低所下層	20%
264	縄文土器	深鉢	(37.0)	(12.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所上層	20%
265	縄文土器	深鉢	(31.0)	(18.2)	-	長石・石英・雲母	褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅳ層-5層	30% PL49
266	縄文土器	深鉢	(25.8)	(23.8)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 蛇行沈線	第Ⅳ層-1層	35% PL49
267	縄文土器	深鉢	16.4	(20.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 蛇行沈線	第Ⅳ層-1層	80% PL30
268	縄文土器	深鉢	(25.8)	(25.1)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	普通	単節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸部無文帯 蛇行沈線	低所下層	30%
269	縄文土器	深鉢	(19.6)	(15.4)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単節縄文LR(縦) 沈線による渦巻文	第Ⅳ層-17層	30%
270	縄文土器	深鉢	(20.2)	(14.5)	-	長石・石英・雲母・細礫	にぶい褐色	普通	単節縄文LR(横・縦)	第Ⅳ層-1層	20%
271	縄文土器	深鉢	21.0	(14.3)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	灰褐色	普通	複節縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頸状沈線	高所下層	40%
272	縄文土器	深鉢	24.1	(21.0)	-	長石・石英	暗褐色	普通	単節縄文LR(縦) 沈線による渦巻文 頸部無文帯 頸部無文帯 蛇行沈線	第Ⅳ層-9・17層	30% PL30
273	縄文土器	深鉢	(39.0)	(8.8)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい褐色	普通	多条縄文LR(縦) 沈線による渦状文	第Ⅳ層-9・16層	10%

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
274	縄文土器	深鉢	[238]	(122)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	高所下層	10%
275	縄文土器	深鉢	[278]	(124)	-	長石・石英	にぶい赤黄	普通	複節縄文 L (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第Ⅱ層 - 4層	10%
276	縄文土器	深鉢	302	(226)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	多条縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所下層	55%
277	縄文土器	深鉢	[300]	(204)	-	長石・石英・雲母	明褐色	普通	単節縄文 L 系 (縦) 沈線による波状文・蛇行沈線	低所下層	20%
278	縄文土器	深鉢	[272]	(252)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	沈線による波状手状渦巻文・円形突起文・雷形突起文・単節縄文 L 系 (斜) 渦巻文を伴う角状沈線	第Ⅱ層 - 3, 4層	PL30
279	縄文土器	深鉢	[360]	(141)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	単節縄文 L 系 (横・縦)	低所上層	10%
280	縄文土器	深鉢	[316]	(138)	-	長石・石英・雲母	灰褐色	普通	単節縄文 L 系 (横・縦) 懸垂文・蛇行沈線	低所上層	20%
281	縄文土器	深鉢	[232]	(291)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	縄衝工具による条線文	第Ⅱ層 - 1層	70%
282	縄文土器	深鉢	[212]	(191)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦) 懸垂文・蛇行沈線	貝層中	30%
283	縄文土器	深鉢	[262]	(159)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	沈線による複弧文・単節縄文 L 系 (縦)	貝層中	10%
284	縄文土器	深鉢	[226]	(223)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (縦)	低所上層	30%
285	縄文土器	深鉢	-	(153)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	複節縄文 L 系 (縦) 渦巻文を伴う角状沈線	第Ⅱ層 - 16層	
286	縄文土器	深鉢	-	(54)	65	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい赤黄	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯による懸垂文・蛇行文	第Ⅱ層 - 4層	10%
287	縄文土器	深鉢	-	(76)	100	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (縦) 懸垂文	第Ⅱ層 - 17層	10%
288	縄文土器	深鉢	-	(127)	88	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦)	高所下層	20%
289	縄文土器	深鉢	-	(31)	8.9	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい濁	普通	割部下端無文 底面網代文	貝層中	5%
290	縄文土器	深鉢	-	(152)	70	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦) 朝先付渦巻文を伴う角状沈線・蛇行沈線	第Ⅱ層 - 4層	40%
291	縄文土器	深鉢	-	(104)	9.6	長石・石英・ 赤色粒子	浅黄	普通	単節縄文 L 系 (縦)	第Ⅱ層 - 1層	10%
292	縄文土器	深鉢	-	(169)	108	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	無文 支線帯欠損	高所下層	40%
293	縄文土器	深鉢	-	(95)	11.5	長石・石英・雲母	明赤褐	普通	単節縄文 L 系 (斜) 懸垂文	高所上層	30%
294	縄文土器	深鉢	-	(164)	101	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (縦) 懸垂文	高所下層	15%
295	縄文土器	深鉢	-	(193)	9.6	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (縦) 朝先付渦巻文	高所下層	25%
296	縄文土器	深鉢	-	(206)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (縦) 沈線による渦巻文・懸垂文	第Ⅱ層 - 1層	20%
297	縄文土器	深鉢	-	(238)	9.6	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文 L 系 (縦)	低所下層	40%
298	縄文土器	深鉢	-	(237)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・頭部無文帯 朝先付渦巻文	高所下層	
299	縄文土器	深鉢	-	(130)	-	長石・石英・雲母	黒褐	普通	隆帯文 単節縄文 L 系 (縦)	高所上層	PL50
300	縄文土器	深鉢	-	(98)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	複節縄文 L 系 (横・縦) 渦巻状突起 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第Ⅱ層 - 17層	PL50
301	縄文土器	深鉢	-	(145)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	中空把手 沈線欠損	低所下層	PL50
302	縄文土器	深鉢	-	(104)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	灰黄褐	普通	中空把手 朝み目	第Ⅱ層 - 17層	
303	縄文土器	深鉢	-	(62)	-	長石・石英	にぶい橙	普通	複節縄文 L 系 (横) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 5層	
304	縄文土器	深鉢	-	(60)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 13層	
305	縄文土器	深鉢	-	(71)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 19層	
306	縄文土器	深鉢	-	(65)	-	長石・石英・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (横) 隆帯と沈線による渦巻文・頭部無文帯	第Ⅱ層 - 16層	
307	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	灰黄褐	普通	複節縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による朝先付渦巻文・頭部無文帯	貝層中	
308	縄文土器	深鉢	-	(85)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	多条縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 18層	
309	縄文土器	深鉢	-	(68)	-	長石・石英・ 赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯による波状文・懸垂文	第Ⅱ層 - 1層	
310	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英・ 雲母・細粒	灰黄褐	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による波状文	第Ⅱ層 - 17層	
311	縄文土器	深鉢	-	(56)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文 L 系 (横) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 9層	
312	縄文土器	深鉢	-	(51)	-	長石・石英・ 雲母・細粒	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (横) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 16層	
313	縄文土器	深鉢	-	(43)	-	長石・石英	にぶい濁	普通	複節縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文・懸垂文	第Ⅱ層 - 17層	
314	縄文土器	深鉢	-	(80)	-	長石・石英・雲母	濁灰	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文・頭部無文帯	第Ⅱ層 - 16層	
315	縄文土器	深鉢	-	(99)	-	長石・石英・細粒	にぶい濁	普通	単節縄文 L 系 (横)	貝層中	
316	縄文土器	深鉢	-	(120)	-	長石・石英・ 雲母・細粒	にぶい濁	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	低所下層	PL50
317	縄文土器	深鉢	-	(121)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい濁	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯による波状文	低所下層	
318	縄文土器	深鉢	-	(124)	-	長石・石英・ 雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 8層	
319	縄文土器	深鉢	-	(114)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文 L 系 (横・縦) 隆帯と沈線による波状文	第Ⅱ層 - 4層	
320	縄文土器	深鉢	-	(135)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐	普通	多条縄文 L 系 (縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層 - 17層	

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴	出土位置	備考
321	縄文土器	深鉢	-	(152)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	華路縄文RL(縦) 渦巻文を伴う向状沈線	既所上層	
322	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	普通	華路縄文RL(縦) 沈線による渦巻文	第Ⅱ層-17層	
323	縄文土器	深鉢	-	(69)	-	長石・石英・雲母・胡蝶	明赤黒	普通	無銘縄文L(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層-19層	
324	縄文土器	深鉢	-	(116)	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	普通	無銘縄文LRL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	既所下層	
325	縄文土器	深鉢	-	(210)	-	長石・石英・雲母	にぶ・橙	普通	華路縄文LR(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	既所上層	
326	縄文土器	深鉢	-	(93)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶ・黄黒	良好	華路縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文	既所上層	
327	縄文土器	深鉢	-	(62)	-	長石・石英・雲母	黒	普通	華路縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第Ⅱ層-12層	
328	縄文土器	深鉢	-	(165)	-	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	普通	多条縄文RL(縦) 整直文 蛇行沈線	第Ⅱ層-1層	
329	縄文土器	深鉢	-	(149)	-	長石・石英・赤色粒子	にぶ・橙	普通	無銘縄文LRL(縦) 明先付渦巻文を伴う向状沈線	第Ⅱ層-16・17層	
330	縄文土器	深鉢	-	(111)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	無銘縄文LRL(縦) 明先付渦巻文	第Ⅱ層-17層	
331	縄文土器	深鉢	-	(221)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	華路縄文RL(横・縦) 沈線による渦巻文	既所上層	
332	縄文土器	浅鉢	[430]	[125]	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	円形向突 沈線による渦巻文	既所下層	10% PL50
333	縄文土器	浅鉢	[420]	[91]	-	長石・石英	にぶ・橙	普通	無文 外・内面赤彩	第Ⅱ層-4層	
334	縄文土器	浅鉢	[430]	[96]	-	長石・石英	橙	普通	華路縄文RL(縦) ナメ酒	貝層中	10%
335	縄文土器	浅鉢	[418]	[131]	-	長石・石英	にぶ・橙	普通	黒黒と赤彩による施文。	第Ⅱ層-9層	20%
336	縄文土器	浅鉢	[484]	[182]	-	長石・石英・雲母	灰黄黒	良好	沈線による渦巻文 口縁部内面赤彩	第Ⅱ層-17層	30%
337	縄文土器	浅鉢	[512]	[150]	-	長石・石英・雲母・胡蝶	橙	良好	沈線による渦巻文 口縁部内面赤彩	既所上層	10% PL50
338	縄文土器	浅鉢	[674]	[250]	-	長石・石英	黒黒	普通	沈線による渦巻文・弧状文 口縁部内面赤彩	既所下層	20%
339	縄文土器	浅鉢	[522]	[184]	-	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	普通	沈線による渦巻文・弧状文 口縁部内面赤彩	既所下層	40%
340	縄文土器	浅鉢	281	109	118	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	普通	沈線による渦巻文・弧状文 口縁部内面赤彩	第Ⅱ層-17層	95% PL31
341	縄文土器	浅鉢	[408]	[53]	-	長石・石英・赤色粒子	にぶ・橙	普通	沈線による渦巻文 口縁部内面赤彩	第Ⅱ層-16層	5%
342	縄文土器	浅鉢	-	[50]	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	普通	沈線による渦巻文	第Ⅱ層-18層	
343	縄文土器	浅鉢	[208]	[68]	-	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	普通	隆帯に円形向突	既所上層	15%
344	縄文土器	浅鉢	[448]	[143]	-	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	普通	沈線による渦巻文 口縁部内面赤彩	既所下層	10%
345	縄文土器	浅鉢	47.8	[169]	-	長石・石英・雲母	にぶ・橙	普通	沈線文	第Ⅱ層-17層	60%
346	縄文土器	台形	[143]	5.8	17.6	長石・石英	灰黒	普通	円形 沈線による渦巻文	既所上層	40% PL31
347	縄文土器	1:1.7	4.3	4.8	2.2	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	普通	無文	第Ⅱ層-5・6層	100%
348	縄文土器	1:1.7	-	(4.6)	4.7	長石・石英・雲母	にぶ・黒	普通	華路縄文RL(縦) 整直文 蛇行沈線	既所下層	40%
349	縄文土器	1:1.7	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶ・橙	普通	無銘縄文RL(縦) 沈線文	貝層中	20%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP66	土器片鉢	2.2	3.9	1.0	10.9	長石・石英・雲母	灰黄黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-6層	
DP67	土器片鉢	3.1	2.6	1.0	9.7	長石・石英・雲母	にぶ・黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-9層	
DP68	土器片鉢	3.5	3.0	0.9	11.1	長石・石英・雲母	黒灰	銅部片 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-2層	
DP69	土器片鉢	3.8	3.4	1.1	17.7	長石・石英・雲母	黒黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-1層	
DP70	土器片鉢	3.7	3.2	0.9	15.1	長石・石英・雲母	にぶ・黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-2層	
DP71	土器片鉢	3.7	3.6	0.9	15.7	長石・石英・雲母	灰黒	銅部片 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP72	土器片鉢	3.8	3.5	0.9	17.9	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-16層	
DP73	土器片鉢	4.1	3.5	0.8	(18.4)	長石・石英・雲母	明赤黒	銅部片 長軸方向に一对の割み	貝層中	
DP74	土器片鉢	4.1	3.6	1.0	19.7	長石・石英・雲母	にぶ・黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-1層	
DP75	土器片鉢	4.9	3.9	0.7	22.5	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-7層	
DP76	土器片鉢	5.2	4.3	1.0	29.2	長石・石英・雲母	にぶ・赤黒	口縁部片 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-6層	
DP77	土器片鉢	5.5	3.7	1.0	25.8	長石・石英・雲母	にぶ・黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-21層	
DP78	土器片鉢	4.8	3.9	1.3	(29.8)	長石・石英・雲母	にぶ・黄黒	銅部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	既所下層	
DP79	土器片鉢	(6.1)	6.9	1.2	(51.5)	長石・石英・雲母	にぶ・橙	銅部片 周縁研磨 片端部割み欠損	第Ⅱ層-5層	PL61
DP80	土器片鉢	(5.5)	6.5	1.0	(55.3)	長石・石英・雲母	にぶ・黒	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对の割み	第Ⅱ層-3層	PL61
DP81	土器片鉢	3.9	4.2	1.0	21.3	長石・石英・雲母	黒	銅部片 周縁研磨	貝層中	
DP82	土器片鉢	8.1	8.2	1.3	(90.1)	長石・石英・雲母	にぶ・橙	銅部片 周縁研磨	第Ⅱ層-1層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 25	打製石斧	124	4.6	2.3	1387	ホルンフェルス	磨形 片面調整	第Ⅴ-4層	PL66
Q 26	打製石斧	(11.4)	(6.4)	2.5	(1828)	安山岩	磨形 刃部欠損	低所下層	
Q 27	打製石斧	9.0	3.5	1.7	680	ホルンフェルス	磨形 片面調整	貝層中	PL66
Q 28	打製石斧	10.7	4.1	1.6	862	ホルンフェルス	磨形 磨縁打調整	貝層中	
Q 29	打製石斧	(10.2)	6.4	1.2	(886)	粘板岩	磨形 基部・刃部欠損 使用による剥離	貝層中	
Q 30	磨製石斧	(9.2)	(4.7)	2.7	(1708)	安山岩	定角式 全面研磨 刃部欠損	貝層中	
Q 31	磨製石斧	(4.6)	2.0	0.8	(122)	粘板岩	全面研磨 刃部欠損	貝層中	PL67
Q 32	磨製石斧	(7.0)	3.1	1.4	(527)	粘板岩	全面研磨 刃部欠損	第Ⅴ-17層	PL67
Q 33	磨製石斧	(4.8)	5.0	2.4	(868)	砂岩	定角式 全面研磨 基部欠損	低所下層	PL67
Q 34	磨製石斧	10.2	4.6	2.3	2170	粘板岩	定角式 全面研磨	高所下層	PL67
Q 35	磨製石斧	(10.5)	(4.8)	2.5	(1891)	安山岩	定角式 全面研磨 刃部欠損	貝層中	
Q 36	磨製石斧	(11.4)	(5.4)	2.8	(1824)	砂岩	定角式 全面研磨 刃部欠損 砥石転用	第Ⅴ-1層	
Q 37	磨石	10.8	8.5	4.0	4560	安山岩	両面研磨 両面に凹み	第Ⅴ-9層	PL64
Q 38	磨石	(10.1)	9.0	4.8	(4978)	安山岩	両面研磨 両面に凹み	低所下層	PL64
Q 39	磨石	8.7	7.6	3.9	3852	砂岩	両面研磨 両面に凹み 磨打痕	貝層中	PL64
Q 40	磨石	(11.7)	6.5	4.6	(5529)	安山岩	両面研磨 両面に凹み	低所上層	PL64
Q 41	磨石	(7.6)	8.1	4.6	(3480)	石英斑岩	全面研磨 両面に各2か所の凹み	第Ⅴ-17層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B 21	重角加工品	(25.1)	(16.0)	(6.8)	(278.5)	ニホンジカ角	3歳以上の雄 角根切断 基部・分枝部に擦り切り痕	高所上層	PL72
B 22	重角加工品	(15.2)	(14.2)	(4.9)	(1829)	ニホンジカ角	2歳以上の雄 落角 基部に擦り切り痕 第2枝密着質を擦り切り、垂軸質で凹まれる	第Ⅴ-11層	PL72
B 23	ヤス	(8.5)	1.0	0.6	(4.4)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 先端部欠損	第Ⅴ-3層	PL71
B 24	ヤス	(5.2)	0.8	0.5	(1.9)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 先端部欠損	高所上層	PL71
B 25	ヤス	3.8	0.6	0.4	0.5	哺乳綱	表面研磨	第Ⅴ-1層	
B 26	ヤス	3.8	0.4	0.3	(0.5)	哺乳綱	表面研磨 骨幹部の一部欠損	貝層中	
B 27	ヤス	(3.2)	0.7	0.5	(0.9)	哺乳綱	表面研磨 基部・先端部欠損 焼熟	第Ⅴ-14層	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S 17	貝刃	6.1	(7.9)	1.8	(22.9)	チョウセンハマグリ	左殻 磨縁はほぼ全体に付与	確認面	PL69
S 18	貝輪	(5.0)	(6.5)	1.3	(19.1)	イタボガキ	右殻 孔打ち削り部・殻表未研磨	確認面	PL68
S 19	貝輪	(5.4)	(4.4)	1.7	(6.1)	アカガイ	左殻 孔打ち削り後研磨	確認面	
S 20	貝輪	(5.6)	(5.6)	0.4	(7.1)	イタボガキ	右殻 殻表剥離 未成品	第Ⅴ-4層	
S 21	垂飾り	2.8	0.5	0.4	0.4	ヤカドンノガイ	両端部切断	第Ⅴ-16層	PL70
S 22	垂飾り	1.8	0.4	0.4	0.2	ヤカドンノガイ	両端部切断	第Ⅴ-17層	PL70
S 23	垂飾り	1.2	0.4	0.4	0.2	ヤカドンノガイ	両端部切断	第Ⅴ-6層	PL70

第Ⅸ層 (第115～120図)

確認状況 窪地の東部に位置するブロック状貝層である。第Ⅴ・Ⅶ層の調査終了後に東方向から形成されている貝層を検出した。

重複関係 第2号遺物包含層が上部に形成されている。

広がりや堆積状況 東部が調査区域外に延びているため、南北幅は約5.1m、東西幅は約2.0mしか確認できなかった。層厚は約70cmである。形状や傾斜方向、貝殻破砕率の高さから、貝層の低所部分で、貝類は高所の東方向から低所に投棄されたと考えられる。25層に分層でき、小形のハマグリ、小形のマガキ、ウミナナを主体とした貝層などが堆積している。第Ⅸ-3層は、ハマグリ破砕片が多いことから、ハマグリ主体層とみ

られる。貝層土壌は、暗褐色土を主体としている。第21層の一部は、基盤層である黄褐色シルト層に接して堆積している。調査区東壁に土止壁を設置したため、貝層断面の一部を作図できなかった。貝層ベルト（D-D'）で採取した貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。なお、第Ⅸ-8層は、調査区東壁際に位置している層で、極めて一部しか確認できなかったため、貝層土壌サンプルを定量で採取できなかった。

土層・貝層解説

- | | | | |
|---------|--|---------|--|
| 1 暗褐色 | 炭化粒子少量 | 14 混土貝層 | ハマグリ主体、混貝率75%、破砕率80%、炭化粒子少量 |
| 2 混土貝層 | 暗褐色、最高12～50cmのマガキ主体、混貝率20%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子少量 | 15 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体、混貝率5%、破砕率95%、炭化粒子少量、炭化粒子・灰中量 |
| 3 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ破砕片、殻長28～37cmのサルボウ、混貝率40%、破砕率95%、炭化粒子少量 | 16 混土貝層 | 暗褐色、ウミナシ主体・ハマグリ破砕片など、混貝率10%、破砕率90%、炭化粒子少量 |
| 4 混土貝層 | ハマグリ主体、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子中量、焼土粒子少量 | 17 混土貝層 | ハマグリ主体・シオフキ・サルボウなど、混貝率80%、破砕率50%、炭化物少量、焼土粒子微量 |
| 5 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体、混貝率25%、破砕率95%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 18 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率60%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 6 混土貝層 | ハマグリ主体、混貝率80%、破砕率80%、炭化粒子少量 | 19 混土貝層 | 黒褐色、ウミナシ主体・ハマグリ・サルボウなど、混貝率40%、破砕率50%、灰中量、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |
| 7 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体・サルボウ・シオフキなど、混貝率25%、破砕率50%、炭化粒子少量 | 20 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ破砕片など、混貝率40%、破砕率90%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 8 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体・シオフキなど、混貝率30%、破砕率75%、炭化粒子少量 | 21 混土貝層 | ハマグリ主体・ウミナシ・サルボウなど、混貝率60%、破砕率95%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 9 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率75%、破砕率30%、焼土粒子・炭化粒子微量 | 22 混土貝層 | ハマグリ主体・マガキ・ナミマガシなど、混貝率60%、破砕率75%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 10 混土貝層 | ハマグリ主体、混貝率60%、破砕率80%、焼土粒子少量、炭化粒子・灰少量 | 23 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体・マガキなど、混貝率10%、破砕率90%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |
| 11 混土貝層 | ハマグリ主体・シオフキ・サルボウなど、混貝率80%、破砕率50%、焼土粒子・炭化粒子微量 | 24 混土貝層 | ハマグリ主体、混貝率75%、破砕率90%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 12 混土貝層 | 暗褐色、ウミナシ主体・ハマグリ・シオフキなど、混貝率40%、破砕率75%、灰中量、焼土粒子・炭化粒子少量 | 25 混土貝層 | 黒褐色、ハマグリ主体、混貝率30%、破砕率90%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |
| 13 混土貝層 | 暗褐色、ハマグリ主体、混貝率10%、破砕率90%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 | | |

表63 第Ⅸ-2層貝類組成表

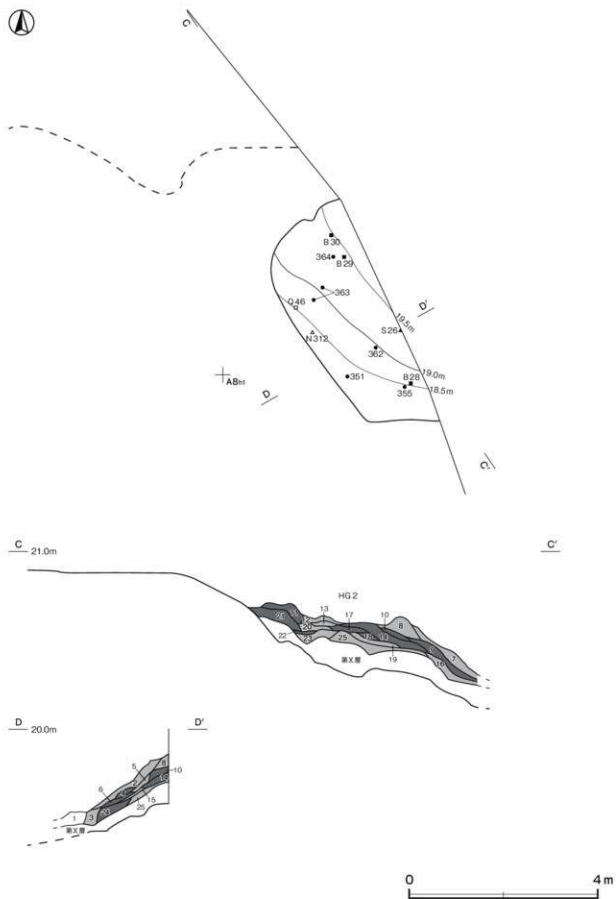
貝種	マガキ	ハマグリ	ウミナシ	ナミマガシ	サルボウ	シオフキ	アサリ	アラムシロ	オキシジミ	ウミナシトマキ	レイシガイ	カノガイ	その他	個体数
点	右殻	52	26	19	7	4	5	4	2	0	1	1	1	126 (発生数)
左殻	49	20		7	5	1	0		1	0				
割合(%)	41.2	20.6	15.0	5.6	4.0	4.0	3.2	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8	1.6	

表64 第Ⅸ-3層貝類組成表

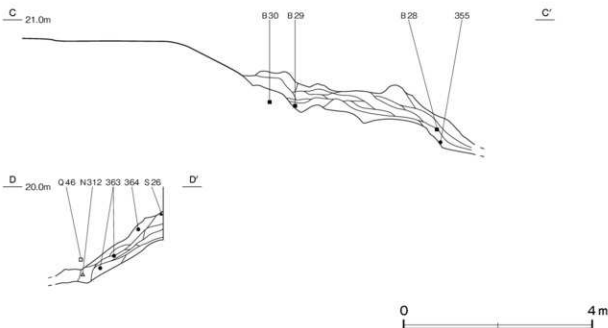
貝種	サルボウ	ハマグリ	マガキ	ナミマガシ	シオフキ	オキシジミ	その他	個体数
点	右殻	5	5	2	3	0	0	26 (発生数)
左殻	9	6	6	1	1	1	キセルガイ5	
割合(%)	34.7	23.1	23.1	11.5	3.8	3.8	-	

表65 第Ⅸ-4層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	ウミナシ	ナミマガシ	サルボウ	アサリ	アラムシロ	カワアイ	オキシジミ	レイシガイ	スガイ	カガミガイ	その他	個体数
点	右殻	133	37	34	11	10	6	6	4	2	2	0	アカシシ	268 (発生数)
左殻	130	36		17	17	7			3	3	3	2	カノコガイ1	
割合(%)	49.7	13.8	12.7	6.3	6.3	2.6	2.2	1.5	1.1	1.1	1.1	0.8	0.8	



第 115 图 第 2 号貝層第 IX 層实测图(1)



第116図 第2号貝層第IX層実測図(2)

表66 第IX-5層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	ウミニナ	シオフキ	ナミマガシワ	サルボウ	アラムシロ	カガミガイ	オキシジミ	アサリ	レイシガイ	カゴメガイ	その他	個体数
点	右殻	62	34	20	12	4	8	7	2	0	2	2	カワアイ1 キセルガイ11	175 (陸生除く)
	左殻	74	11		14	12	8		6	3	0			
割合(%)	42.3	13.8	11.4	8.0	6.9	4.6	4.0	3.4	1.7	1.1	1.1	1.1	0.6	

表67 第IX-6層貝類組成表

貝種	ハマグリ	ウミニナ	マガキ	シオフキ	サルボウ	ナミマガシワ	アサリ	カガミガイ	アラムシロ	オキシジミ	個体数
点	右殻	96	36	34	18	13	10	6	5	3	233
	左殻	104		34	14	13	7	0	4	2	
割合(%)	44.6	15.5	14.6	7.7	5.6	4.3	2.6	2.1	1.7	1.3	

表68 第IX-10層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	シオフキ	ウミニナ	ナミマガシワ	サルボウ	アサリ	カガミガイ	オキシジミ	ヤマシロ	カワアイ	スガイ	個体数
点	右殻	120	27	18	15	7	10	4	2	1	0		223
	左殻	103	32	19		13	11	3	3	3	1	1	
割合(%)	53.9	14.3	8.5	6.7	5.8	4.9	1.8	1.3	1.3	0.5	0.5	0.5	

表69 第IX-14層貝類組成表

貝種	ハマグリ	シオフキ	マガキ	サルボウ	ナミマガシワ	ウミニナ	カガミガイ	オキシジミ	アサリ	カワアイ	アラムシロ	その他	個体数
点	右殻	121	30	22	8	1	7	2	3	2			217 (陸生除く)
	左殻	125	11	27	11	6	6	5	2	1		キセルガイ10	
割合(%)	57.6	13.8	12.4	5.0	2.8	2.8	2.3	1.4	0.9	0.5	0.5	-	

表70 第IX-15層貝類組成表

貝種	ハマグリ	マガキ	ナミマガシワ	ウミニナ	シオフキ	サルボウ	オキシジミ	カワアイ	スガイ	その他	個体数
点	右殻	65	33	22	21	11	2	1			169 (陸生除く)
	左殻	65	34	9		0	10	4	1	1	
割合(%)	38.5	20.1	13.0	12.4	6.5	5.9	2.4	0.6	0.6	-	

表71 第Ⅸ-24層貝類組成表

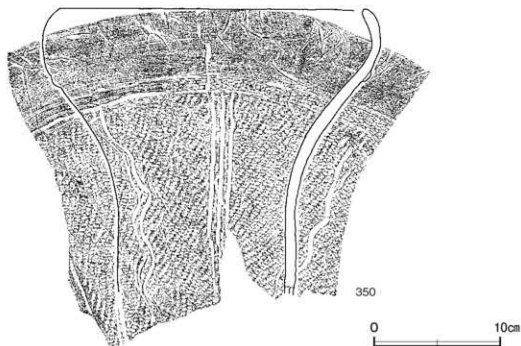
貝種	ハマグリ	マガキ	ウミニナ	サルボウ	シオフキ	レイシガイ	ナミダシロ	カワアイ	オキシジミ	アカニシ	アサリ	カゴミガイ	アラムシロ	個体数
点	右殻 102	45	65	15	18	7	0	5	3	2	0	0	1	304
	左殻 93	66		27	18		6		0		1	1		
割合(%)	33.6	21.7	21.4	8.9	5.9	2.3	2.0	1.6	1.0	0.7	0.3	0.3	0.3	

表72 第Ⅸ-25層貝類組成表

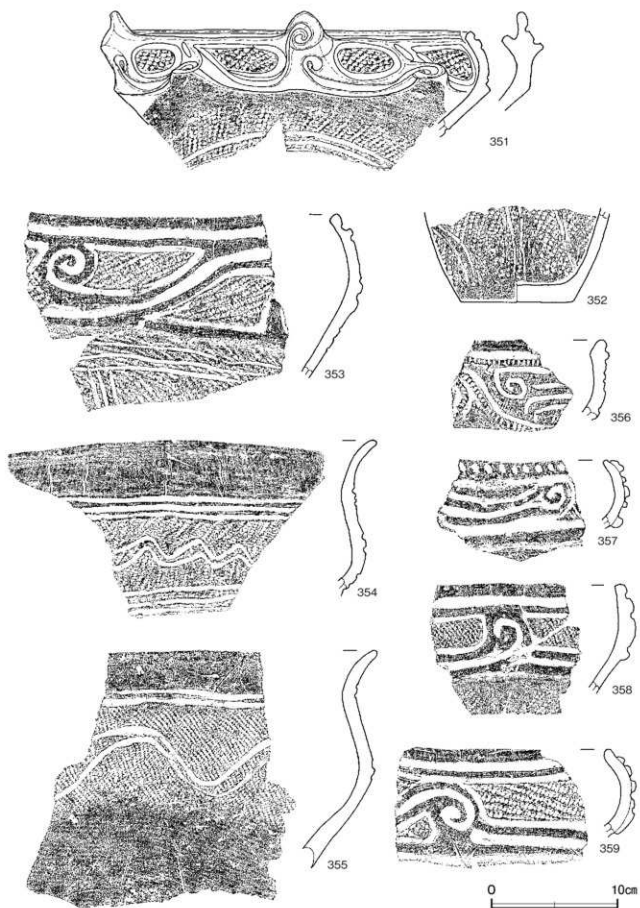
貝種	ハマグリ	ウミニナ	マガキ	サルボウ	シオフキ	アラムシロ	オキシジミ	ナミダシロ	カワアイ	アサリ	ウネナシトマヤ	レイシガイ	その他	個体数
点	右殻 52	43	28	8	6	4	1	1	2	1	1	1	スガイ1 カゴミガイ1 年セルガイ11 (微生類)	157
	左殻 57		25	6	4		2	2		1	0			
割合(%)	36.4	27.4	17.8	5.1	3.8	2.5	1.3	1.3	1.3	0.6	0.6	0.6	1.3	

遺物出土状況 縄文土器片1,594点(深鉢1,558, 浅鉢31, ミニチュア土器4, 有孔罎付土器1), 土製品19点(土器片鎌), 石器9点(鎌2, 打製石斧1, 磨製石斧4, 磨石1, 敲石1), 剥片3点(チャート1, 石英2), 骨角器5点(ヤス4, 垂飾り1), 貝製品3点(貝刃1・垂飾り2), 自然遺物(貝類, アカエイ, ウナギ属, コチ科, サメ・エイ類, スズキ属, タイ科, ニシン亜科, ハゼ科, プリ属, ボラなどの魚骨, カモ科, カラス科, キジ科, スズメ目などの鳥骨, イノシシ, ノイス, ノウサギなどの獣骨)が出土している。出土した土器の大半は破片で, 破損後に高所から低所へ投棄されたとみられる。350~352・358・362は, 貝層ベルト内からそれぞれ出土している。N 312のノイスは, 骨の一部が高所から流れ込んだものとみられる。

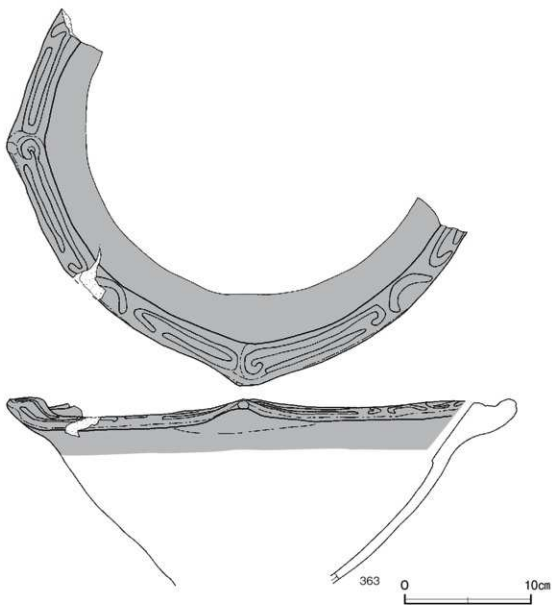
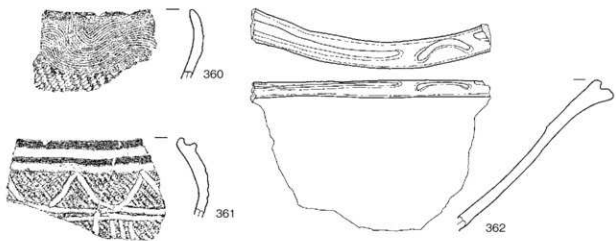
所見 東側の台地縁辺部から形成された貝層の低所部とみられる。東部が調査区域外に延びているため, 高所については不明である。内湾砂底群集に属するハマグリを主体とした貝層などが堆積している。ハマグリ割合が高いことから, 生息に適した干潟が広がっていた可能性がある。動物遺存体の種類は, 他の貝層から出土したものと類似している。時期は, 出土土器から中期後葉と考えられる。



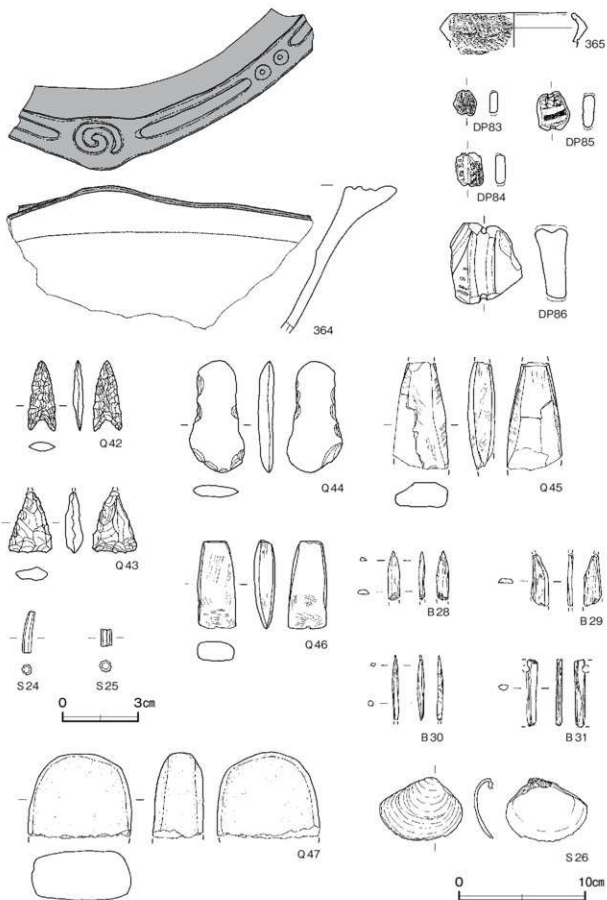
第117図 第2号貝層第Ⅸ層出土遺物実測図(1)



第 118 图 第 2 号贝层第 IX 层出土物实测图(2)



第 119 图 第 2 号貝層第 IX 層出土遺物実測図(3)



第120图 第2号貝層第Ⅸ層出土遺物実測図(4)

第2号貝層第IX層出土遺物観察表(第117～120図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考	
350	縄文土器	深鉢	24.3	(22.7)	-	長石・石英・雲母・赤色粒子	にぶい橙	普通	単節縄文R(縦) 横位隆帯 懸垂文 蛇行沈線	第IX-3層	20%
351	縄文土器	深鉢	[27.0]	(10.6)	-	灰黄緑	普通	上下各4単位の渦巻状突起	複節縄文R,R(縦)	第IX-10層	15% PL50
352	縄文土器	深鉢	-	(7.5)	8.8	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単節縄文R(縦) 懸垂文 蛇行沈線	第IX-3層	10%
353	縄文土器	深鉢	-	(13.0)	-	長石・石英・雲母	褐	普通	単節縄文L,R(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 懸垂文	貝層中	
354	縄文土器	深鉢	-	(12.4)	-	長石・石英	にぶい赤黄	普通	単節縄文R(横) 沈線による波状文	貝層中	
355	縄文土器	深鉢	-	(17.2)	-	長石・石英・雲母	灰黒	普通	単節縄文R(横) 沈線による波状文	底所下層	
356	縄文土器	深鉢	-	(6.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	普通	懸垂文 沈線による渦巻文 隆帯に斜み	貝層中	
357	縄文土器	深鉢	-	(5.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄緑	隆帯に何交列	無節縄文Rナ字酒 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	
358	縄文土器	深鉢	-	(8.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	単節縄文R(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	第IX-1層	
359	縄文土器	深鉢	-	(7.0)	-	長石・石英	にぶい赤黄	普通	単節縄文R(横) 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	
360	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	縄文土器による条線文 単節縄文R(横)	貝層中	
361	縄文土器	深鉢	-	(6.4)	-	長石・石英・雲母	黒黒	普通	多条縄文R(横) 沈線による弧状文 懸垂文	貝層中	
362	縄文土器	浅鉢	-	(11.9)	-	長石・石英・雲母	にぶい赤黄	普通	沈線による弧状文	第IX-25層	10%
363	縄文土器	深鉢	(40.0)	(14.8)	-	長石・石英・雲母	赤黒	普通	沈線による渦巻文・弧状文 内面黒色処理	第IX-2層	40% PL32
364	縄文土器	浅鉢	-	(11.8)	-	長石・石英・雲母・緑輝	にぶい橙	普通	沈線による渦巻文	底所上層	10%
365	縄文土器	深鉢	[9.6]	(2.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい褐	普通	無節縄文L(縦) 沈線による波状文	貝層中	5%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP83	土器片鏝	2.0	1.9	0.6	2.4	長石・石英・雲母	にぶい橙	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の刻み	第IX-4層	
DP84	土器片鏝	2.7	2.2	0.8	8.1	長石・石英・雲母	黒黒	口縁部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の刻み	第IX-10層	
DP85	土器片鏝	3.2	2.5	1.0	8.8	長石・石英・雲母	灰黒	胴部片 周縁研磨 長軸方向に一对一の刻み	第IX-2層	
DP86	土器片鏝	6.5	5.8	2.6	81.1	長石・石英・雲母	にぶい褐	口縁部片 長軸方向に一对一の刻み	貝層中	PL61

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 42	鏝	2.8	1.1	0.4	1.1	チャート	平基無茶 押圧調整	第IX-25層	PL65
Q 43	鏝	(2.5)	1.7	0.7	(2.6)	チャート	平基無茶 押圧調整	貝層中	PL65
Q 44	打製石斧	8.9	4.4	1.3	48.1	ホルンフェルス	撥形 側縁部敲打調整	貝層中	
Q 45	磨製石斧	(8.6)	4.4	2.2	(127.4)	砂岩	定角式 全面研磨 刃・基部欠損	貝層中	
Q 46	磨製石斧	7.0	3.0	1.6	66.1	蛇紋岩	定角式 全面研磨	底所上層	PL67
Q 47	磨石	(6.8)	8.3	3.9	(323.7)	安山岩	両面研磨	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B 28	ヤス	(3.9)	0.9	0.4	(1.0)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 基部欠損	底所下層	PL71
B 29	ヤス	(4.2)	1.4	0.4	(1.3)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 基部・先端部欠損	底所下層	PL71
B 30	ヤス	(4.9)	0.5	0.6	(1.0)	哺乳綱四肢骨	表面研磨 基部・先端部欠損	底所下層	PL71
B 31	垂輪り	5.3	(0.9)	0.4	(1.5)	哺乳綱	表面研磨 二方向から穿孔 半分欠損	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S 24	垂輪り	1.7	0.5	0.5	0.2	ヤカドツノガイ	両端部切断	第IX-25層	PL70
S 25	垂輪り	0.7	0.5	0.5	0.1	ヤカドツノガイ	両端部切断	第IX-25層	PL70
S 26	貝片	5.0	6.5	1.5	11.5	チョウセンハマグリ	右殻 腹縁中央に付片	底所上層	

第IX層(第121～125図)

確認状況 窪地の東部に位置するブロック状貝層である。第IX層の調査終了後に検出した。第IX層下に堆積しているため、調査開始時には確認できなかった貝層である。

広がりと**堆積状況** 東部が調査区域外に延びているため、南北幅は約5.2m、東西幅は約2.2mしか確認できなかった。層厚は約70cmである。形状や傾斜方向、貝殻破砕率の高さから、貝層の低所部分で、貝類は高所の東方向から低所に投棄されたと考えられる。14層に分層でき、小形のハマグリ、小形のマガキを主体とした貝層などが堆積している。貝層土壌は黒褐色土を主体としており、第Ⅸ層との差異は明瞭である。斜面部高所の基盤層と第3号遺物包含層の堆積土上層が、崖崩れまたは掘削行為によって緩やかな傾斜角で削られ、第X-2・3・6・8・11・12・14層の一部は、第3号遺物包含層堆積土下層の直上に堆積している。調査区東壁に土止壁を設置したため、貝層断面の一部を作図できなかった。貝層ベルト(D-D')で採取した貝層土壌サンプル10Lあたりの貝類組成については、下表のとおりである。貝類の大半は破砕片で、集計できた個体数は少ないが、それぞれマガキが主体とみられる。

土層・貝層解説

- | | | | |
|--------|---|--|--|
| 1 黒褐色 | 炭化粒子少量 | ハマグリ主体、ウミナなど、混貝率80%、破砕率90%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 | |
| 2 黒褐色 | 炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 9 明黄褐色 | 明黄褐色シルトブロック多量 |
| 3 混土貝層 | マガキ主体・ハマグリなど、混貝率60%、破砕率90%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 10 混土貝層 | 黒褐色、マガキ主体・ハマグリなど、混貝率5%、破砕率95%、黄褐色シルトブロック・粘土ブロック中量、炭化粒子微量 |
| 4 混貝土層 | 黒色、ハマグリ主体・マガキ・シオフキなど、混貝率10%、破砕率75%、黒色粘土ブロック多量、焼土粒子・炭化粒子微量 | 11 混貝土層 | 黒褐色、マガキ主体・ハマグリなど、混貝率40%、破砕率90%、焼土粒子・炭化粒子微量 |
| 5 混貝土層 | 黒褐色、ハマグリ主体・サルボウ・オキシジミなど、混貝率40%、破砕率75%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 | 12 混土貝層 | ハマグリ主体、ウミナなど、混貝率80%、破砕率95%、炭化粒子多量、灰中量、焼土粒子少量 |
| 6 混土貝層 | ハマグリ主体・ウミナ・マガキなど、混貝率60%、破砕率75%、炭化粒子少量 | 13 混土貝層 | 黒褐色、殻高09~29cmのマガキ主体、混貝率10%、破砕率95%、灰白色粘土ブロック・黒色粘土ブロック中量 |
| 7 混土貝層 | 殻高17~28cmのマガキ主体、混貝率60%、破砕率95%、黒色粘土ブロック・炭化粒子少量 | 14 混土貝層 | 殻高17~40cmのマガキ主体、混貝率75%、破砕率95%、炭化粒子少量、焼土粒子微量 |

表73 第X-7層貝類組成表

貝種	マガキ	サルボウ	ハマグリ	シオフキ	ナマガシ	オキシジミ	ウミナ	アサリ	レイシガイ	その他	個体数
点	右数13	3	3	0	2	0		1		キセルガイ12 マイマイ2	39 (発生数)
	左数5	9	4	4	3	2		0	1		
割合(%)	33.3	23.0	10.3	10.3	7.7	5.1	5.1	2.6	2.6	-	

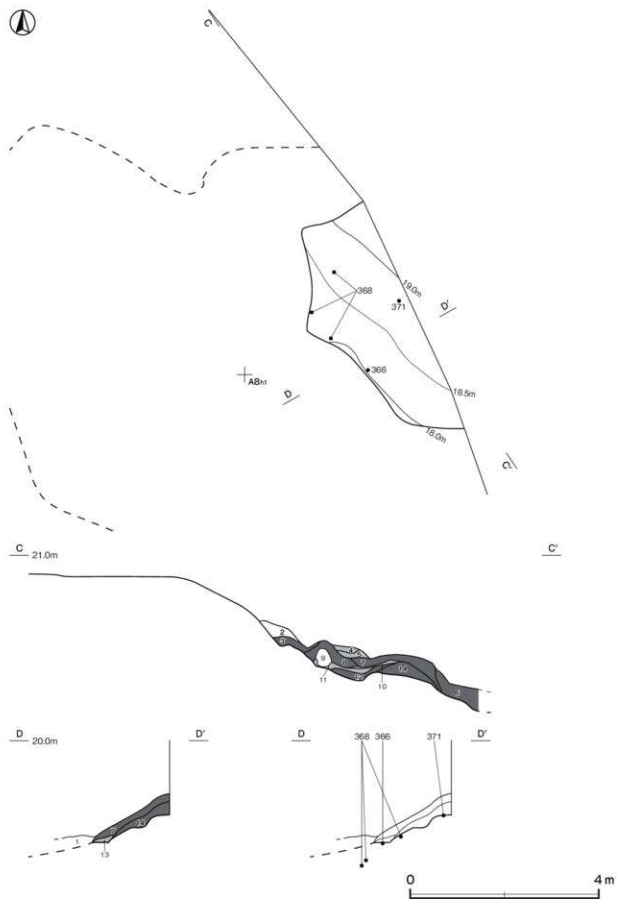
表74 第X-13層貝類組成表

貝種	マガキ	ハマグリ	サルボウ	ウミナ	ナマガシ	シオフキ	オキシジミ	個体数
点	右数8	2	1	3	2	1	1	21
	左数7	3	3		1	1	0	
割合(%)	38.0	14.3	14.3	14.3	9.5	4.8	4.8	

表75 第X-14層貝類組成表

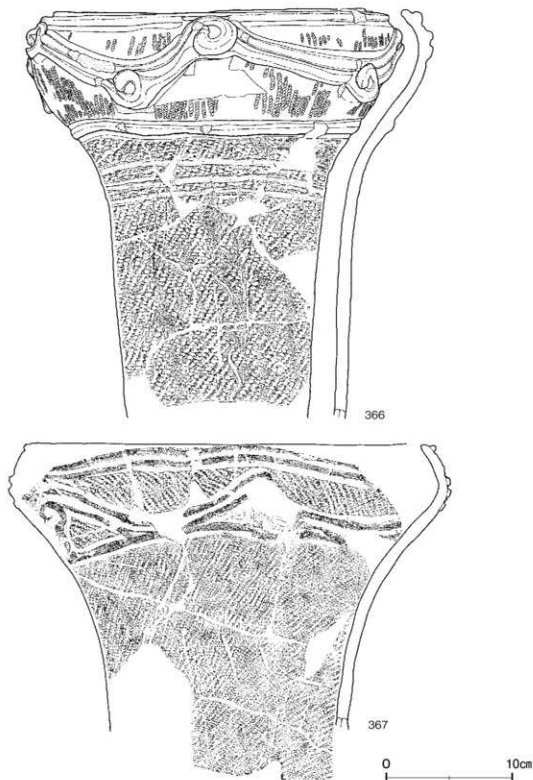
貝種	マガキ	サルボウ	ハマグリ	ナマガシ	ウミナ	シオフキ	オキシジミ	その他	個体数
点	右数7	1	1	1	2	1	0	キセルガイ5 マイマイ1	33 (発生数)
	左数22	3	2	2		0	1		
割合(%)	66.6	9.1	6.1	6.1	6.1	3.0	3.0	-	

遺物出土状況 縄文土器片1,068点(深鉢1,056,浅鉢12),土製品8点(土器片鉢),石器5点(鎌1,磨製石斧1,磨石2,砥石1),剥片5点(チャート1,黒曜石2,石英2),骨角器3点(ヤス2,ヘラ1),自然遺物(貝類,アジ科,ウナギ属,カレイ科,クロダイ属,コチ科,サメ・エイ類,スズキ属,タイ科,ニシン亜科,ハゼ科,ボラなどの魚骨,カモ科,キジ科,クイナ科などの鳥骨,イタチ,イヌ科,イノシシ,タヌキ,ニホンジカ,ノウサギなどの獣骨)が出土している。出土した土器の大半は破片で、破損後に高所から低所へ投棄されたと思われる。366・368は、低所下層から出土している。

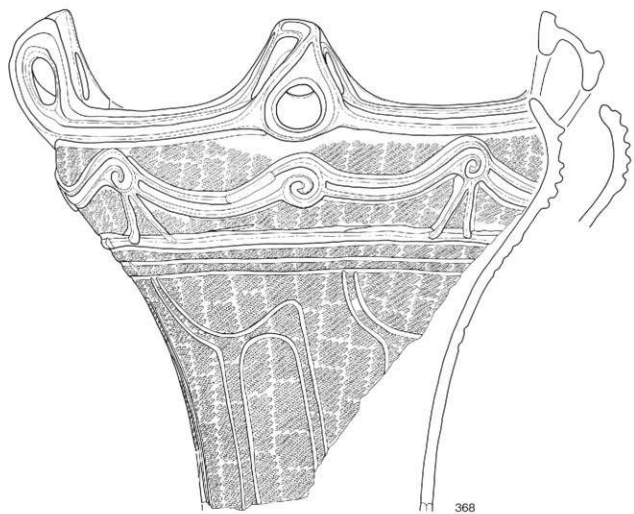


第 121 图 第 2 号貝層第 X 層实测图(1)

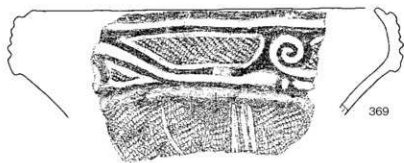
所見 第Ⅸ層と同様に、東側の台地縁辺部から形成された貝層の低所部とみられる。東部が調査区域外に延びているため、高所については不明である。貝類の大半は破砕片となっているが、干潟群集に属するマガキヤ、内湾砂底群集に属するハマグリを主体とした貝層などが堆積していると考えられる。時期は、出土土器から中期後葉と考えられる。



第122図 第2号貝層第Ⅸ層出土遺物実測図(1)



368



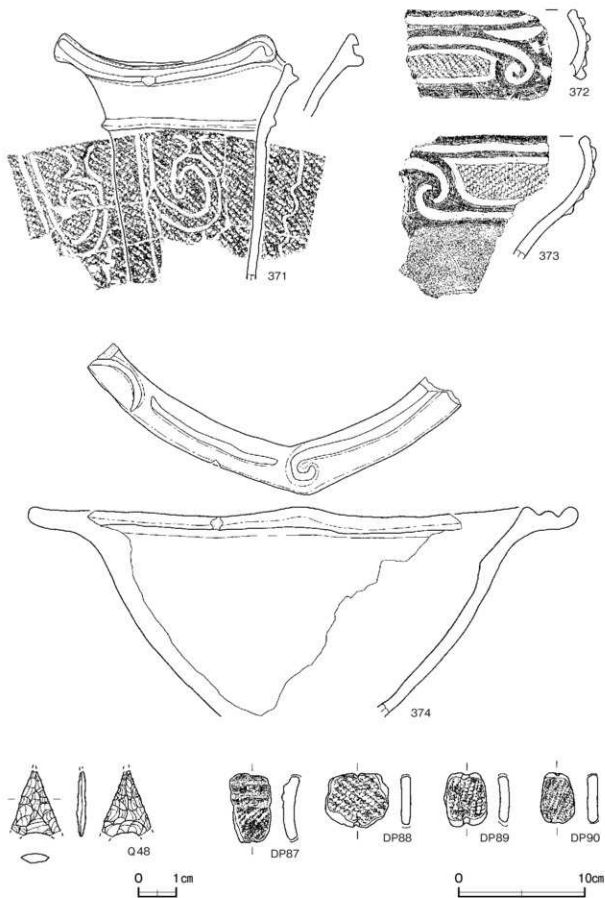
369



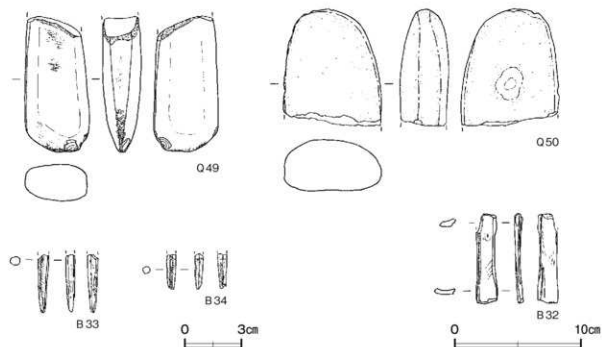
370

10cm

第 123 图 第 2 号貝層第 X 層出土遺物実測图(2)



第124图 第2号貝層第X層出土遺物実測図(3)



第125図 第2号貝層第X層出土遺物実測図(4)

第2号貝層第X層出土遺物観察表(第122～125図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
366	縄文土器	深鉢	27.7	(32.5)	-	長石・石英・雲母・赤色粘土	にぶい橙	灰褐色	単胎縄文RL(横・縦) 隆帯による渦巻文 蛇行沈線	低所下層	70% PL31
367	縄文土器	深鉢	[30.6]	(22.7)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単胎縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	貝層中	30%
368	縄文土器	深鉢	36.0	(39.2)	-	長石・石英・雲母	黄	普通	単胎縄文RL(縦) 隆帯と沈線による渦巻文 低伏文帯	低所下層	40% PL32
369	縄文土器	深鉢	[27.4]	(8.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単胎縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 低伏文帯	貝層中	10%
370	縄文土器	深鉢	[35.8]	(13.7)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	単胎縄文RL(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文 頭部無文帯	貝層中	5%
371	縄文土器	深鉢	17.7	(19.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単胎縄文LR(縦) 渦巻文 蛇行沈線	低所下層	60%
372	縄文土器	深鉢	-	(5.5)	-	長石・石英・雲母	橙	普通	単胎縄文RL(横) 隆帯と沈線による渦巻文	第X-13層	
373	縄文土器	深鉢	-	(9.8)	-	長石・石英・雲母	明赤褐色	普通	複胎縄文LRL(横) 頭部無文帯	貝層中	
374	縄文土器	浅鉢	[42.5]	(16.5)	-	長石・石英・雲母	にぶい黄褐色	普通	沈線による渦巻文・低伏文	貝層中	10%

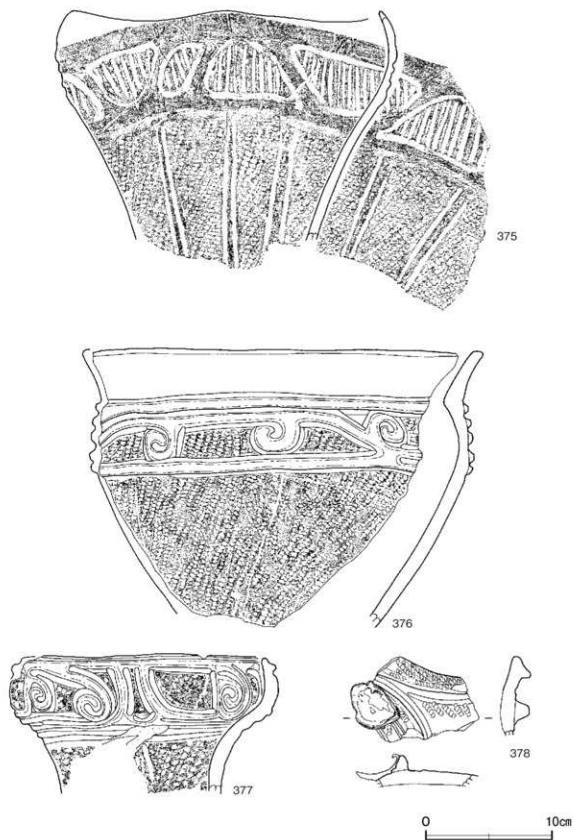
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	胎土	色調	特徴	出土位置	備考
DP87	土器片鉢	5.5	3.2	1.4	22.2	長石・石英・雲母	にぶい橙	製部片 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP88	土器片鉢	4.4	5.0	0.7	22.3	長石・石英・雲母	橙	製部片 短軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP89	土器片鉢	4.3	3.4	0.9	14.9	長石・石英・雲母	にぶい赤褐色	製部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	
DP90	土器片鉢	4.0	2.7	0.9	12.0	長石・石英・雲母	にぶい橙	製部片 周縁研磨 長軸方向に一对の刻み	貝層中	

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
Q 48	磁	(1.7)	1.3	0.2	(0.5)	チャート	円蓋無蓋 押圧剥離 基部欠損	第X-14層	PL65
Q 49	磨製石斧	(10.8)	5.2	3.1	(28.6)	砂岩	定角式 全面研磨 基部欠損 敲打痕	貝層中	PL67
Q 50	磨石	(9.4)	7.7	4.0	(46.2)	安山岩	両面研磨 片面に凹み	貝層中	

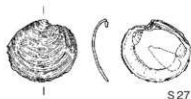
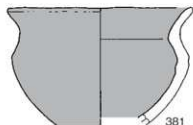
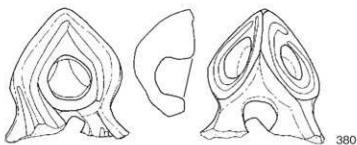
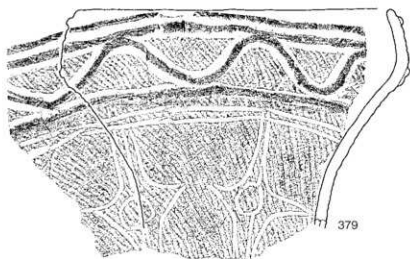
番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
B 32	ヘア	(7.1)	1.6	0.6	(5.4)	ニホンジカ 中子骨または中足骨	全面研磨	貝層中	PL70
B 33	ヤス	(3.1)	0.6	0.5	(0.5)	哺乳綱	表面研磨 基部装着痕 先端部欠損	貝層中	PL71
B 34	ヤス	(1.9)	0.5	0.4	(0.4)	哺乳綱	表面研磨 先端部欠損	貝層中	

その他の出土遺物 (第 126・127 図)

第 2 号貝層の A・B トレンチから出土した遺物のうち、帰属層が不明な遺物について、実測図と観察表を掲載する。



第 126 図 第 2 号貝層 A・B トレンチ出土遺物実測図(1)



第127図 第2号貝層A・Bトレンチ出土遺物実測図(2)

第2号貝層A・Bトレンチ出土遺物観察表(第126・127図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	焼成	文様の特徴ほか	出土位置	備考
375	縄文土器	深鉢	[24.4]	(18.2)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文区。(縦) 隆帯と沈線による波状文 沈線水拍 閉鎖文	Bトレンチ	30%
376	縄文土器	深鉢	[30.6]	(22.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文区。(縦) 隆帯と沈線による渦巻文	Aトレンチ	20%
377	縄文土器	深鉢	18.9	(11.0)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文区。(横・縦) 隆帯と沈線による渦巻文	Bトレンチ	25%
378	縄文土器	深鉢	-	(6.7)	-	長石・石英・雲母	黒灰	普通	把手 単筋縄文区。(横) マガキ左股付着	Bトレンチ	
379	縄文土器	深鉢	[24.6]	(17.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	単筋縄文区。(縦) 隆帯と沈線による波状文 沈線による閉鎖文	Bトレンチ	30%
380	縄文土器	深鉢	-	(10.6)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	中空把手	Bトレンチ	
381	縄文土器	浅鉢	[14.1]	(9.3)	-	長石・石英・雲母	にぶい橙	普通	無文	Aトレンチ	30%

番号	器種	長さ	幅	厚さ	重量	材質	特徴	出土位置	備考
S 27	貝片	5.0	5.5	1.3	10.6	カガミガイ	右殻 腹縁中央に付着	Bトレンチ	PL69

(2) 自然科学分析

ア はじめに

今回、漆喰状白色物質の素材を明らかにするために珪藻分析・植物珪酸体分析・土壌薄片作製鑑定・微細物分析・X線回折を、貝塚から得られた炭化材等を用いて材の種類および放射性炭素年代測定を、貝塚の種類構成を明らかにするために骨貝類同定および微細物分析を実施する。

イ 漆喰状白色物質の素材

(ア) 試料

試料は、SM 2第IV層より採取されたN 2である。

(イ) 分析方法

a 珪藻分析

湿重約5gをビーカーに計り取り、過酸化水素水と塩酸を加えて試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。次に、分散剤を加えた後、蒸留水を満たし放置する。その後、上澄み液中に浮遊した粘土分を除去し、珪藻殻の濃縮を行う。この操作を4～5回繰り返す。次に、自然沈降法による砂質分の除去を行い、検鏡し易い濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下して乾燥させる。乾燥した試料上に封入剤のプリユラックスを滴下し、スライドガラスに貼り付け永久プレパラートを作製する。

b 植物珪酸体分析

植物体の葉や茎に存在する植物珪酸体は、珪化細胞列などの組織構造を呈している。植物体が土壌中に取り込まれた後は、ほとんどが土壌化や攪乱などの影響によって分離し単体となる。しかし、植物が燃えた後の灰には組織構造が珪化組織片などの形で残されている場合が多い(例えば、バリノ・サーヴェイ株式会社1993)。そのため、珪化組織片の産状により当時の燃料材などの種類が明らかになると考えられ、本分析調査では混貝土層試料および白色物試料について、珪化組織片の産状に注目する。

各試料について過酸化水素水・塩酸処理および沈定法の順に物理・化学処理を行い、珪化組織片の観察に支障となる有機物や鉄分、粘土などの微粒子を除去して、珪化組織片の分離・濃集を試みる。検鏡しやすいつい濃度に希釈し、カバーガラス上に滴下・乾燥させる。乾燥後、プリユラックスで封入してプレパラートを作製する。400倍の光学顕微鏡下で全面を走査し、その間に出現するイネ科葉部(葉身と葉鞘)の葉部短細胞に由来した植物珪酸体(以下、短細胞珪酸体と呼ぶ)および葉身機動細胞に由来した植物珪酸体(以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ)、およびこれらを含む珪化組織片を近藤(2010)の分類を参考に同定する。

c 土壌薄片作製鑑定

薄片の顕微鏡鑑定は、岩石を0.03mmの厚さに薄く研磨し、顕微鏡下で観察すると、構成鉱物の大部分は透光性となり、鉱物の性質・組織などが観察できるようになるということを利用している。

試料は、ダイヤモンドカッターにより22×30×15mm程度の直方体に切断して薄片用のチップとする。そのチップをプレパラートに貼り付け、#180～#800の研磨剤を用いて研磨機上で厚さ0.1mm以下まで研磨する。さらに、メノウ板上で#2500の研磨剤を用いて正確に0.03mmの厚さに調整する。プレパラート上で薄くなった薄膜状の断面

試料の上にカバーガラスを貼り付け、観察用の薄片とする。薄片は偏光顕微鏡を用い、下方ポーラーおよび直交ポーラー下において観察記載を行なう。

d 微細物分析

通常の微細物分析は、水洗することによって泥を除去し、構成物を拾い出すのが普通である。今回の対象物は、固結した漆喰状の物質であるため、水で軟化させるのが難しいと思われた。そこで、岩石薄片を作った際の残りの表面をマイクروسコープで観察し、構成物を確認することにする。さらに、岩石薄片後の残滓片を、柄付き針等で細かく砕くことによって、含有する貝片をクリーニングし、取り出す。

e X線回折

抽出した試料は恒温乾燥器において60℃程度で12時間以上乾燥させた後、振動ミル(平工製作所製 T1100:10ml容タングステンカーバイト容器)を用いて粉碎・混合し、粉末試料(200mesh, 95%pass)とする。磨砕した粉末試料は、X線回折用のアルミニウムホルダーに充填し、不定方位試料とする。作成した不定方位試料をX線回折測定装置によって以下の条件で測定する。

装置：理学電気製 MultiFlex	Divergency Slit：1°
Target：C u (K α)	Scattering Slit：1°
Monochrometer：湾曲 Graphite	Receiving Slit：0.3mm
Voltage：40KV	Scanning Speed：2° /min
Current：40mA	Scanning Mode：連続法
Detector：SC	Sampling Range：0.02°
Calculation Mode：cps	Scanning Range：2～61°

(ウ) 結果

a 珪藻分析

分析の結果、珪藻化石は1個体も検出されなかった。

b 植物珪酸体分析

分析の結果、プレバート内には微細な鉱物粒子が見られるに過ぎず、珪化組織片および単体の植物珪酸体は認められない。

c 土壌薄片作製鑑定

本試料には、粗粒シルト～極粗粒砂の鉱物片、岩片、化石片、植物片が中量程度含まれる。基質は、粒径0.05mm以下の微細不定形状を呈する炭酸塩鉱物や粘土によって埋められる。鉱物片や化石片の一部に弱い配向性を示すものが認められるが、全体的に碎屑片の偏りは認められず、概ね塊状を呈する。碎屑片の淘汰はやや不良である。鉱物片は粒径0.51mm以下で、微量程度認められる。石英が主体となっており、その他にカリ長石、斜長石、黒雲母、角閃石、斜方輝石、単斜輝石、不透明鉱物などが認められる。岩片は粒径0.8mm程度で極めて微量程度含まれる。花崗岩片、多結晶石英などを含む。化石片は微量含まれ、貝片などの石灰質化石からなる。植物片は微量程度含まれ、針状～薄板状を呈し、長さ0.6～1.6mm程度で散在する。炭酸塩鉱物によって置換されている。基質は褐色を呈し、主に炭酸塩鉱物、粘土鉱物および非晶質物質から構成されており、粘土鉱物は微晶質で褐色を呈する。非晶質物質は組織や構造が認められない。孔隙は微量程度含まれ、不定形状～球状を呈し、径0.1～

1.6mm大で内部に充填鉱物は生成していない。

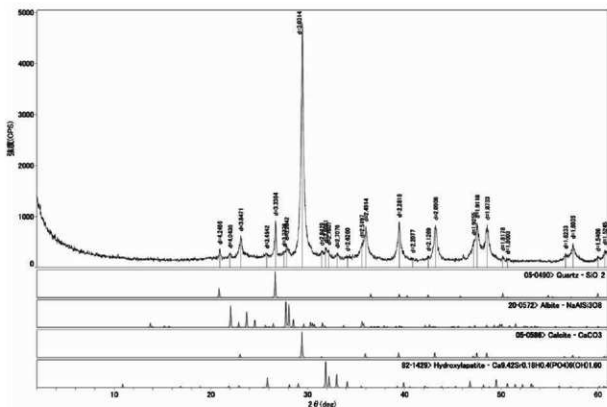
d 微細物分析

マイクロスコブで観察した結果、貝片が多く、大きなもので1cm以上ある。それに加え、砂粒程度の鉱物粒、有機物片が含まれる。薄片観察と組成が似るが、これは薄片観察で切断した残滓を観察しているの当然ともいえる(図版2参照)。柄付き針等を用いて大型の貝類をクリーニングした結果、いずれもウミニナ類であった。

e X線回折

試験結果の同定解析は、測定回折線の主要ピークと回折角度から原子面間隔および相対強度を計算し、それに該当する化合物または鉱物を、JCPDS(Joint Committee on Powder Diffraction Standards)のPDF(Powder Data File)をデータベースとしたX線粉末回折線解析プログラムJADEにより検索し、同定した。X線回折チャートを第128図に示す。図中の最上段が試料の回折チャートであり、下段が同定された結晶性鉱物もしくは化合物の回折パターンである。検出鉱物の量比は、最強回折線の回折強度(cps)から、多量(>5000cps)、中量(2,500~5,000cps)、少量(500~2,500cps)、微量(250~500cps)およびきわめて微量(<250cps)という基準で判定した。以下の文中においては、回折チャートの同定に使用したPDFデータの鉱物名(英名)は括弧内に記している。

不定方位法回折試験の結果、中量の方解石(calcite)、少量の石英(quartz)およびきわめて微量の斜長石(albite)・水酸磷灰石(hydroxylapatite)が検出される。方解石は、 3.03\AA ($2\theta : 29.5^\circ$)に尖度の高い最強回折線を示すほか、高次の回折線にも尖度の高いものが多く、結晶度は良好と判断される。水酸磷灰石は、 2.81\AA ($2\theta : 31.9^\circ$)、 2.71\AA ($2\theta : 33.1^\circ$)などに微弱な回折線を示す。



第128図 SM 2第IV層 N2の不定方位法X線回折チャート

(六) 考察

X線回折分析からは、方解石が主要鉱物として検出され、他に石英、斜長石、水酸燐灰石なども認められた。顕微鏡観察では、石英、斜長石、黒雲母、角閃石、斜方輝石、単斜輝石、花崗岩片、多結晶石英片などが確認された。

石英、斜長石をはじめとする鉱物片や花崗岩片などの岩片は、周囲の土壤に含まれる砂やシルトの粒子に由来するものが混入したと考えられる。主要鉱物の方解石は、炭酸塩岩の石灰岩などを構成する鉱物であるが、水酸燐灰石が伴われることを考慮すると、骨に由来する可能性が考えられる。水酸燐灰石(Ca(PO₄)₆OH₂)は、脊椎動物の歯や骨を構成する主成分である。遊離燐酸が土壤中で濃集し、Caと結合してその場で水酸燐灰石が生成したとは考えにくいことから、動物の骨などに由来する結晶性物質と推測される。一方の方解石は、水中や土壤中でも結晶化しやすい鉱物であることから、骨のCa成分を元にその場で結晶化したと考えられる。

微細物分析では、貝が多く、鉱物粒、有機物が含まれる。貝は漆喰の原料となり得るが、貝を焼いて酸化させると粉状になるため、含まれている貝は直接の原料ではない。ただし、検出されたウミニナ類は、火を受けた痕跡があるので人間活動において消費されたものが破棄されたと思われる。また、薄片でも見られる鉱物粒や有機物も取り込まれていることから、骨や貝に含まれるリン酸やカルシウムが溶解し、土壤中で濃集、再結晶したものと思われ、自然に形成された可能性がある。

ウ 炭化材および放射性炭素年代測定

(7) 試料

試料は、縄文時代の貝層を土壌ごと取り上げた試料番号第Ⅵ-5層と第Ⅵ-18層の2点から採取した炭化物である。これらの試料には若干の炭化物が認められるものの、脆弱であり、水洗により容易に破壊されることが予想された。このため、土壌ごと炭化物をとりあげ、周辺の土を注意深くトリミングすることにより炭化物を得た。

年代測定用試料は、組織が崩壊し、観察不能のため、炭化材同定には不適である。一方、試料から骨、貝、種実を探すために土壌の水洗を行った残渣の中に、大きさ5mm程度の炭化材が、第Ⅵ-5層、第Ⅵ-18層共に数片確認されたため、炭化材同定はこれらを対象とする。

(イ) 分析方法

a 炭化材同定

実体顕微鏡で観察した結果、おそらく、全て同じ樹種であると考えられた。そこで、第Ⅵ-5層、第Ⅵ-18層から各1点取り出し、剃刀等を用いて木口(横断面)・柁目(放射断面)・板目(接線断面)の3断面を作成し、電子顕微鏡観察用試料を作成する。電子顕微鏡で木材組織や配列を観察し、その特徴を現生標準および独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースと比較して種類(分類群)を同定する。なお、木材組織の名称や特徴は、高地・伊東(1982)、Wheeler他(1998)、Richter他(2006)を参考にする。また、日本産木材の組織配列は、林(1991)や伊東(1995、1996、1997、1998、1999)を参考にする。

b 放射性炭素年代測定

試料は、塩酸(HCl)により炭酸塩等酸可溶成分を除去、水酸化ナトリウム(NaOH)により高植酸

等アルカリ可溶成分を除去、塩酸によりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去する(酸・アルカリ・酸処理 AAA:Acid Alkali Acid)。本来の濃度は塩酸、水酸化ナトリウム共に1 mol/Lであるが、今回の試料は脆弱であるため、アルカリの濃度を薄くして試料の損耗を防ぐ(AaAと記載)。

試料の燃焼、二酸化炭素の精製、グラファイト化(鉄を触媒とし水素で還元する)はElementar社のvario ISOTOPE cubeとIonplus社のAge3を連結した自動化装置を用いる。処理後のグラファイト・鉄粉混合試料をNEC社製のハンドプレス機を用いて内径1mmの孔にプレスし、測定試料とする。

測定はタンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置(NEC社製)を用いて、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)を測定する。AMS測定時に、米国国立標準局(NIST)から提供される標準試料(HOX-II)、国際原子力機関から提供される標準試料(IAEA-C6等)、バックグラウンド試料(IAEA-C1)の測定も行う。

$\delta^{13}\text{C}$ は試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表したものである。放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。また、測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma:68%)に相当する年代である。測定年代の表示方法は、国際学会での勧告に従う(Stuiver & Polach 1977)。また、暦年較正用に一桁目まで表した値も記す。暦年較正に用いるソフトウェアは、Oxcal4.3(Bronk,2009)を用いる。較正曲線はIntcal13(Reimer et al.2013)を用いる。

(ウ) 結果

a 炭化材同定

電子顕微鏡による観察の状況を図版3に示す。電子顕微鏡で観察した試料は2点ともクリである。第VI-5層、第VI-18層それぞれに数点みられる炭化材片も、同様な特徴を有することから、検出された炭化材はいずれもブナ科のクリ(*Castanea crenata* Sieb. et Zucc.)であると思われる。組織学的な特徴は、環孔材で、道管は孔部で3-4列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列で、細胞高は1-15個。

このように検出された炭化材はいずれもクリである。クリの木材は硬いため、炭化しても残りやすい性質がある。第VI-5層、第VI-18層は、炭化物がみられるものの脆弱であり、年代測定には、この脆弱な炭化物を用いている。今回樹種同定を行った試料は、水洗選別によって検出された微小片であることから、物理的に硬く残りやすい炭化材を同定していることとなり、第VI-5層、第VI-18層内の炭化物がすべてクリだったとはいえない。したがって、第VI-5層、第VI-18層内の炭化物には少なくともクリの炭化材が含まれていることは確かだが、その組成に関しては不明である。ただし、クリは硬くて加工しやすい有用材であるため、遺跡出土の炭化材に多く含まれる種類の一つである。

b 放射性炭素年代測定

結果を表76、第129図に示す。今回は分析試料が脆弱で、アルカリ処理を十分できなかった試料がある(アルカリ濃度等の詳細は表に記載)。ただし、加速器質量分析計による年代測定に必要な炭素量は十分回収できている。同位体補正を行った測定値は、第VI-5層が $1,830 \pm 20\text{BP}$ 、第VI-18層が $3,455 \pm 20\text{BP}$ である。

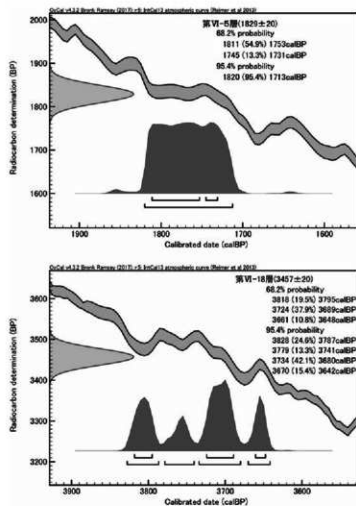
暦年較正は、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5,568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の¹⁴C濃度の変動、その後訂正された半減期(¹⁴Cの半減期5,730±40年)を較正することによって、暦年代に近づける手法である。2σの値は第VI-5層が820~1,713calBP、第VI-18層が3,828~3,642calBPである。

第VI-5層は推定された年代より新しいが、これは貝層の上部に後代の遺構があるため、そこから落ち込んだ可能性がある。第VI-18層の値は予想される年代値に近いが、暦年較正の年代幅が広い。これは、当該期の Intcal13 の曲線がノコギリ状になっていることが原因である。2試料とも組織が崩壊しており、種類を特定することは難しいが、第VI-18層はδ¹³Cの値が比較的大きいことから、一部のイネ科やカヤツリグサ科にみられるC4植物である可能性がある。

表 76 放射性炭素年代測定結果

試料	種別 / 性状	方法	補正年代 (暦年較正用) BP	δ ¹³ C (‰)	暦年較正年代			Code No.		
					年代値		確率%			
第VI-5層	炭化材 (クリ)	AaA @000IM	1830 ± 20 (1829 ± 20)	-25.77 ± 0.26	σ	cal AD 139 - cal AD 197	1811 - 1733 cal BP	54.9	YU-7763	pal-11229
						cal AD 205 - cal AD 219	1745 - 1731 cal BP	13.3		
						2σ	cal AD 130 - cal AD 238	1820 - 1713 cal BP		
第VI-18層	炭化物 (クリ)	AaA @05M	3455 ± 20 (3457 ± 20)	-17.46 ± 0.32	σ	cal BC 1869 - cal BC 1846	3818 - 3796 cal BP	19.5	YU-7764	pal-11230
						cal BC 1775 - cal BC 1740	3724 - 3689 cal BP	37.9		
						cal BC 1712 - cal BC 1699	3661 - 3648 cal BP	10.8		
					2σ	cal BC 1879 - cal BC 1838	3828 - 3787 cal BP	24.6		
						cal BC 1830 - cal BC 1792	3779 - 3741 cal BP	13.3		
						cal BC 1785 - cal BC 1731	3734 - 3680 cal BP	42.1		
cal BC 1721 - cal BC 1693	3670 - 3642 cal BP	15.4								

- 1) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。
- 2) BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。
- 3) 付記した誤差は、測定誤差σ(測定値の68.2%が入る範囲)を年代値に換算した値。
- 4) AaAは、酸・アルカリ・酸処理を示す。AaAは試料が脆弱なため、アルカリの濃度を薄くして処理したことを示す。
- 5) 暦年の計算には、Oxcal v4.3.2を使用
- 6) 暦年の計算には、補正年代に()で暦年較正用年代として示した、一桁目を丸める前の値を使用している。
- 7) 1桁目を丸めるのが慣例だが、較正曲線や較正プログラムが改正された場合の再計算や比較が行いやすいように、1桁目を丸めていない。
- 8) 統計的に真の値が入る確率は、σが68.2%、2σが95.4%である



第 129 図 暦年較正結果

エ 貝塚及び遺構出土骨貝類の種類構成

(ウ) 試料

貝塚の種類構成を明らかにするため採取された試料は、第V-10層(混土貝層)、第V-13層(混土貝層)、第V-14層(混土貝層)、第VI-5層(土主体)、第VI-9層(混土貝層)、第VI-11層(混土貝層)、第VI-12層(混土貝層)、第VI-14層(純貝層)、第VI-18層(混土貝層)、第VII-4層(純貝層)、第VII-8層(混土貝層)、第VII-9層(純貝層)、第VII-16層(混土貝層)、第VII-17層(混土貝層)、合計14試料(各試料3L)である。

この内、第VI-5層、第VI-18層の2試料は、微小な動物遺体を調べるために微細物分析を実施する。貝同定は、微細物分析の試料を採取した残り14試料全点について4mm、2mm、1mm、0.5mmの篩を用いて洗い出しを行い、4mmが全量対象、4～2mmが完形の貝と魚骨を対象、2～1mmが魚骨を対象として同定を行う。

骨同定は、平成25年度調査のSM2・HG2で検出された獣骨5試料、平成26年度調査のSM2・HG2・HG3・SK352・SK354で検出された骨307試料である。これらの試料の中には、哺乳類の他、鳥類、魚類などの骨が混在している状態である。今回は、都合により哺乳類・鳥類を中心に同定を行い、

魚類に関しては大まかな種類を調べる程度に留めた。

(f) 分析方法

a 微細物分析

土壌試料は、重量を量り、肉眼観察で確認された炭化材や炭化種実を抽出後、常温乾燥させる。水を満たした容器内に乾燥後の試料を投入し、容器を傾けて浮いた炭化物を粒径0.5mmの篩に回収する。容器内の残土に水を入れて軽く攪拌し、容器を傾けて炭化物を回収する作業を炭化物が浮かなくなるまで繰り返す(約20回)。残土を粒径0.5mmの篩を通して水洗する。水洗後、水に浮いた試料(炭化物主体)と水に沈んだ試料(砂礫主体)を、それぞれ粒径4 mm、2 mm、1 mm、0.5mmの篩に通し、粒径別に常温乾燥させる。

水洗・乾燥後の炭化物主体試料・砂礫主体試料を、大きな粒径から順に双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットを用いて、同定が可能な炭化種実や炭化材、動物遺存体などの遺物を抽出する。炭化種実の同定は、現生標本や石川(1994)、中山ほか(2010)、鈴木ほか(2012)等を参考に実施する。結果は、部位・状態別の個数と一部の重量を一覧表で示し、各分類群の写真を添付して同定根拠とする。また、一部の炭化種実を対象として、デジタルノギスで大きさを計測し、結果を一覧表に併記する。

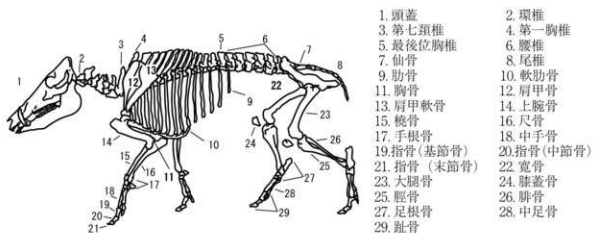
種実以外は、炭化材(主に径2mm以上)、炭化材主体(2~0.5mm)と動物遺存体、砂礫主体等に大まかに分け、重量と炭化材の最大径を計測し、結果を一覧表に併記する。炭化材と動物遺存体の一部は同定対象とする。分析後は、抽出物等を容器に入れて返却する。

b 貝同定

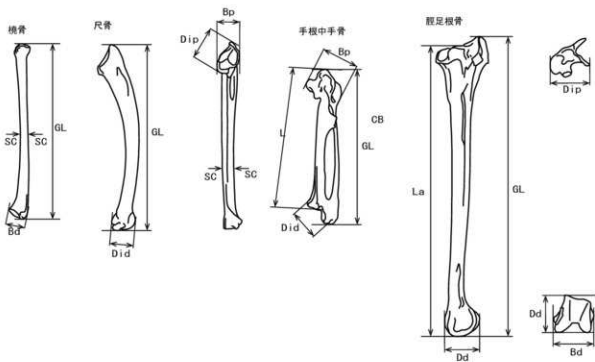
試料の重量を計測した後、4 mm、2 mm、1 mm、0.5mmの篩を用いて水洗する。その後、自然乾燥させ、ここから骨貝類を分離・抽出する。抽出した貝類は、肉眼および実体顕微鏡を用いて種を同定し、同定後の骨貝類総重量を計測する。なお、二枚貝の中で完形殻はデジタルノギスを用いて殻長および殻高を計測する。

c 骨同定

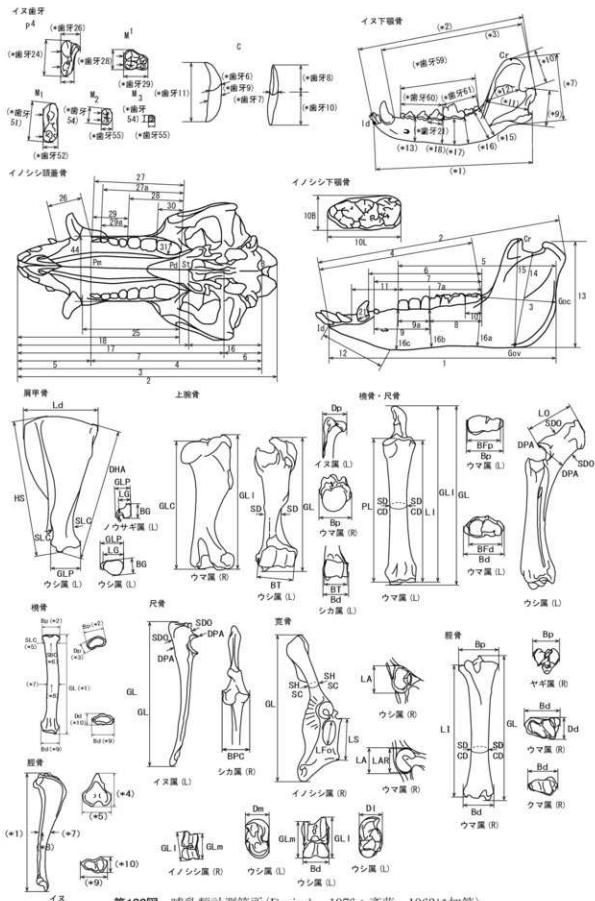
一部の試料は一般工作用接着剤で接合して復元する。肉眼および実体顕微鏡を用いて形態的特徴から種・部位を同定する。また、必要に応じてデジタルノギス等を用い、Drieach(1976)、齊藤(1963)に従って計測する。なお、骨格各部位の名称についてはイノシシを用いて第130図に、鳥類の計測箇所を第131図、哺乳綱の計測箇所を第132図に示す。



第130図 イノシシの骨格各部の名称(加藤・山内, 2003を参照)



第131図 鳥類計測箇所(Deriesh, 1976に加筆)



第132図 哺乳類計測箇所 (Deriesh, 1976; 齊藤, 1963に加筆)

イヌ(数字)は齊藤(1963), 他はDeriesh(1976)の計測番号を示す

(ウ) 結果

a 微細物分析

結果を表77に示す。また、炭化種実各分類群の写真を図版に示す。分析に供された2試料(各1kg)を通じて、被子植物2分類群(落葉広葉樹のオニグルミ、栽培の可能性のあるダイズ属?)85個0.38gの炭化種実が同定された。炭化種実以外は、不明炭化物26個0.03g、炭化材0.47g、炭化材主体1.09g、動物遺存体(魚骨、椎骨、鱗、巻貝類、二枚貝類、貝類)77.51g、砂礫主体66.91gが確認された。

以下、試料別状況を述べる。なお、本分析で検出された骨貝類についての詳細は後述する骨貝同定の項で述べる。

・ 第VI-5層

試料1kgより、オニグルミの核が30個0.21g(最大3.3mm)、オニグルミ?の核?が30個0.03g、ダイズ属?の種子が1個0.04g同定された。その他に、不明炭化物17個0.02g、炭化材0.37g(最大11.4mm)、炭化材主体0.57g、骨貝類8.83g、砂礫主体31.55gが確認された。

・ 第VI-18層

試料1kgより、オニグルミの核が14個0.04g(最大3.5mm)、オニグルミ?の核?が10個0.03g同定された。その他に、不明炭化物9個0.01g、炭化材0.10g(最大7.2mm)、炭化材主体0.52g、骨貝類68.68g、砂礫主体35.36gが確認された。

以下、炭化種実各分類群の形態的特徴等を述べる。

・ オニグルミ(*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura)

クルミ科クルミ属

核は炭化しており黒色。完形ならば、長さ3~4cm、径2.5~3cm程度の広卵体。頂部が尖り、1本の明瞭な縦の縫合線がある。出土核は全て破片で、最大は8.3mmを測る(第VI-5層)。核は硬く緻密で、表面には縦方向の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。内部には子葉が入る2つの大きな窪みと隔壁がある。

・ ダイズ属(*Glycine*)? マメ科

種子は炭化しており黒色。残存長4.55mm、幅3.70mm、厚さ2.67mmのやや扁平な楕円体で約1/3を欠損する。腹面正中線の子葉合わせ目にある臍を欠損し、隣接する幼根は長さ3.20mmでやや突出する。種皮は薄く表面は平滑で、一部発泡している。

b 骨貝同定

今回検出された種類は、微細物分析、貝同定、骨同定を含め、腹足綱26種類(ヒメコザラ・スガイ・ヒロクチカノコ・ヒメカノコ・ヒダリマキゴマガイ・ヤマグルマ・コベルトカニモリ・スズメハマツボ・カワニナ・ウミニナ・ヘナタリ・カワアイ・チャツボ・オチヨボグツツボ?・カワザンシヨウガイ・ネコガイ・レイシガイ・ノミニナ・アラムシロ・トウガタガイ科?・キセルガイ科・オカチョウジガイ?・パツラマイマイ・カサキビガイ・ナミヒメベッコウマイマイ・ウラジロベッコウマイマイ)、二枚貝綱13種類(サルボウガイ・ナミマガシワ・マガキ・イワガキ・シオフキ・ヒメシラトリ・ウネナシトマガイ・ヤマトシジミ・カガミガイ・アサリ・ハマグリ・オキシジミ・オノノガイ)、軟甲綱(カニ類)、軟骨魚綱2種類(アカエイ科・トビエイ科)、硬骨魚綱16種類(ウナギ属・ニシン亜科・サヨリ属・メバル亜科・コチ科・アイナメ属・スズキ属・ブリ属・アジ科・クロダイ属・マ

ダイア科・シログチ属・ハゼ科・サバ属・ヒラメ・カレイ科), 爬虫綱(ヘビ類), 鳥綱4種類(カラス科・キジ科・クイナ科・カモ科), 哺乳綱9種類(モグラ亜科・ヒト・ノウサギ・ネズミ亜科・イタチ?・ノリス・タスキ・イノシシ・ニホンジカ)である(表78)。なお, 以下, 貝類の生態等については, 奥谷ほか(2000), 奥谷編著(2004)などを参考とする。

表77 微生物洗い出し・炭化種実同定結果(1)

分類群	部位・状態・粒径	第Ⅴ-5層			第Ⅴ-18層			備考	
		土主体			混貝土層				
炭化種実									
オニグルミ	枝	破片	30	0.21	83	14	0.04	3.5	
オニグルミ?	枝?	破片	30	0.03	-	10	0.03	-	
ダイス属?	種子	完形未滿	1	0.04	46	-	-	-	最大径: 横径長4.5mm, 縦径2.5mm, 軸径長1.20mm
不明炭化物			17	0.02	-	9	0.01	-	
炭化材	4mm以上	破片	9	0.28	11.4	5	0.06	7.2	一部例種同定対象
	4-2mm	破片	-	0.09	-	-	0.04	-	
炭化材主体	2-1mm	破片	-	0.29	-	-	0.25	-	
	1-0.5mm	破片	-	0.28	-	-	0.27	-	
動物遺存体									
腹足綱									
ヒメコザラ(ツボミガイ型)	殻	破片	-	-	-	2	0.02	-	
スガイ?	蓋(成熟)?	破片	-	-	-	1	0.02	-	
ヒロナチカノコ	殻	破片	-	-	-	1	0.02	-	
	殻	破片	-	-	-	1	0.08	-	
ヒメカノコ	殻(成熟)	略完	1	0.00	-	-	-	-	
ヒメカノコ(幼貝)	殻	略完	-	-	-	1	0.01	-	
アマオブネガイ科	殻	破片	-	-	-	2	0.01	-	
ウミユナ	殻	略完	-	-	-	6	3.55	-	
	殻	破片	3	1.11	-	-	-	-	
	殻	破片	-	-	-	6	2.42	-	
ウミユナ?	殻	破片	1	0.22	-	-	-	-	
ウツアイ	殻	破片	1	1.06	-	-	-	-	
チャップ	殻	略完	1	0.00	-	1	0.00	-	
オホボグチツボ?	殻	破片	1	0.00	-	-	-	-	
アラムシロ	殻	略完	4	0.59	-	5	0.86	-	
	殻	破片	-	-	-	2	0.17	-	
ムシロガイ科?	殻(成熟)	破片	1	0.12	-	-	-	-	
ヒダリマキゴマガイ	殻	略完	-	-	-	3	0.00	-	
キセルガイ科	殻	略完	-	-	-	24	0.43	-	
	殻	破片	2	0.01	-	47	0.41	-	
	殻(成熟)	破片	1	0.02	-	-	-	-	
キセルガイ科(幼貝)	殻	破片	13	0.03	-	112	0.38	-	
	殻(成熟)	破片	1	0.01	-	-	-	-	
キセルガイ科?(幼貝)	殻	破片	5	0.01	-	347	0.18	-	
オカショウジガイ?(幼貝)	殻	破片	-	-	-	8	0.00	-	
バツラマイマイ	殻	破片	-	-	-	3	0.02	-	
ウツロバッコウマイマイ	殻	破片	-	-	-	18	0.01	-	
バッコウマイマイ科	殻	破片	-	-	-	3	0.03	-	
マイマイ類	殻	破片	2	0.01	-	1	0.00	-	
腹足綱	殻	略完	-	-	-	3	0.02	-	
	殻	破片	10	0.07	-	多	3.36	-	
	殻(成熟)	破片	48	0.34	-	14	0.38	-	
二枚貝綱									
マガキ	左殻	破片	-	-	-	5	2.67	-	
	右殻	破片	-	-	-	7	3.20	-	
カキ類	殻	破片	-	-	-	多	17.14	-	
	殻(成熟)	破片	-	-	-	5	0.23	-	
バカガイ科	左殻	破片	-	-	-	3	0.32	-	
	右殻	破片	1	0.07	-	2	0.12	-	
	右殻(成熟)	破片	-	-	-	1	0.22	-	
ニッコウガイ科	右殻	破片	-	-	-	2	0.22	-	
アサリ	左殻	破片	-	-	-	1	0.06	-	
	右殻	破片	-	-	-	3	0.44	-	
ハマダリ	左殻	破片	2	0.32	-	-	-	-	
マルスダレガイ科	右殻	破片	-	-	-	1	0.00	-	
二枚貝綱	殻	破片	6	1.74	-	多	20.41	-	
	殻(成熟)	破片	8	1.03	-	10	0.44	-	
貝類									
貝類	殻	破片	多	0.80	-	多	8.00	-	
	殻(成熟)	破片	28	0.43	-	85	1.41	-	
表示単位			(個)	(g)	(mm)	(個)	(g)	(mm)	

表77 微細物洗い出し・炭化種実同定結果(2)

分類群	部位 / 状態・粒径	草履 - 5種		草履 - 18種		備考
		土主体		器具土層		
硬骨魚綱						
ウルメイワシ亜科	腹椎 破片	-	-	3	0.01	
ニシン亜科	左肋骨 破片	-	-	5	0.04	
	右肋骨 破片	-	-	4	0.02	
	左方骨 破片	-	-	2	0.01	
	右方骨 破片	-	-	3	0.02	
	第1椎骨 略完	-	-	3	0.01	
	第2椎骨 略完	-	-	1	0.01	
	腹椎 破片	-	-	6	0.02	
ニシン科?	右上懸蓋骨 破片	-	-	1	0.01	
ニシン科	尾椎 破片	-	-	16	0.07	
	尾椎(焼熟) 破片	-	-	1	0.00	
ニシン科?	頭蓋骨 破片	-	-	3	0.03	
アイナメ属	尾椎 破片	1	0.02	-	-	
	前懸蓋骨 破片	-	-	1	0.01	
魚類	腹椎 破片	-	-	1	0.01	
	尾椎 破片	-	-	1	0.00	
	椎骨 破片	-	-	2	0.00	
	鱗棘等 破片	4	0.03	173	0.36	
	鱗棘等(焼熟) 破片	-	-	4	0.01	
	不明 破片	5	0.15	多	0.64	
	不明(焼熟) 破片	1	0.01	3	0.01	
	鱗 破片	2	0.00	112	0.09	
哺乳綱						
獣類	不明 破片	1	0.42	-	-	CM有,加工品の破片?
	不明 破片	-	-	-	-	
	不明(焼熟) 破片	1	0.01	1	0.02	
脊椎動物門						
	不明 破片	-	-	1	0.01	
	不明(焼熟) 破片	-	-	1	0.01	
砂礫主体	4mm以上	-	3.30	-	4.74	-
	4 - 2mm	-	3.38	-	6.12	-
	2 - 1mm	-	8.34	-	11.65	-
	1 - 0.5mm	-	14.53	-	12.85	-
分析量		-	1000	-	1000	-
表示単位		(個)	(g)	(mm)	(個)	(g)

g) 微細物分析試料

同定結果は、微細物分析の結果とともに表示する。

・ 第VI-5層

骨貝類では、腹足綱(ヒメカノコ・ウミニナ?・カワアイ・チャツボ・オチヨボグツツボ?・アラムシロ・ムシロガイ科?・キセルガイ科・マイマイ類)3.60g、二枚貝綱(バカガイ科・ハマグリ・二枚貝綱)3.36g、貝類1.23g、硬骨魚綱(アイナメ属尾椎、魚類の鱗棘等・鱗・部位不明)0.21g、哺乳綱(獣類不明破片)0.43gが確認される。これらの中には焼けているものが含まれる。

検出される貝類では、キセルガイ科が最も多く検出される。

・ 第VI-18層

骨貝類では、腹足綱(ヒメコザラ(ツボミガイ型)・スガイ?・ヒロクチカノコ・ヒメカノコ・アマオブネガイ科・ウミニナ・チャツボ・アラムシロ・ヒダリマキゴマガイ・キセルガイ科・オカチヨウジガイ?(幼貝)・パツラマイマイ・ウラジロベッコウマイマイ・ベッコウマイマイ科・マイマイ類)12.38g、二枚貝綱(マガキ・カキ類・バカガイ科・ニッコウガイ科・アサリ・マルスグレガイ科)45.47g、貝類9.41g、硬骨魚綱(ウルメイワシ亜科の腹椎、ニシン亜科の左右角骨・左右方骨・第1椎骨・第2椎骨・腹椎、ニシン亜科?の右主鰓蓋骨、ニシン科の尾椎、ニシン科?の頭蓋骨、魚類の前鰓蓋骨・腹椎・尾椎・椎骨・鱗棘等・鱗・部位不明)1.38g、哺乳綱(獣類不明破片)0.02g、骨片0.02gが確認される。これらの中には焼けているものが含まれる。

b) 貝同定試料

同定結果を表79に示す。検出される貝類については、微細物分析で検出された貝類も含めて層位別に3Lあたりに含まれる貝類の最小個体数を求め(表80)、最小個体数の総数を基数として百分率を求めて層位分布図を作成した(第133図)。

全体的な傾向をみると、第VI-11層は貝類がほとんど検出されず、第V-14層・第VI-5層・第VI-9層・第VIII-8層・第VIII-16層・第VIII-17層も量的に少ない。種類別にみると、全体的に二枚貝綱が多産する傾向にあるが、第V-10層、第VI-12層は腹足綱が多産する。また、第VIII-16・17層を除く試料では焼けた貝が検出される。なお、二枚貝綱の計測結果を表81に示し、この中で最も多く検出されたハマグリについて最長分布図を作成して第134図に示す。以下、上位より貝類の出現傾向を示す。

・ 第V-10層

骨貝類の含有量は、16.1%である。ウミニナが最も多産し、レイシガイ、アラムシロ、ハマグリなどを伴う。この他、ウナギ属、ニシン科、サヨリ属、ハゼ科などが検出される。

・ 第V-13・14層

骨貝類の含有量は、第V-13層が19.1%、第V-14層が7.4%である。貝類の組成は類似し、ハマグリが多産し、ウミニナ、シオフキを伴う。この他、ウナギ属、ニシン科、サヨリ属、ハゼ科などが検出される。

・ 第VI-5層

骨貝類の含有量は、2.1%と低い。キセルガイ科が多く検出され、ウミニナ、アラムシロ、マイマイ類、ハマグリなどを伴う。この他、コチ科、スズキ属などが検出される。

- ・ 第Ⅵ-9層

骨貝類の含有量は、16.9%である。ナミマガシワが最も多く検出され、ウミニナ、アラムシロ、キセルガイ科、サルボウガイ、シオフキ、ハマグリなどを伴う。この他、ウナギ属、ボラ、コチ科、スズキ属、ハゼ科などが検出される。
- ・ 第Ⅵ-11層

骨貝類の含有量は、0.6%と今回分析した中で最も低い。ウミニナ、キセルガイ科？、マルスダレガイ科などがわずかに検出される程度である。この他、ウナギ属、ニシン亜科、ニシン科、ボラ、スズキ属、ハゼ科、ヘビ類などが検出される。
- ・ 第Ⅵ-12層

骨貝類の含有量は、23.5%である。ウミニナが最も多産し、マガキを伴う。この他、魚類の鰭棘等、種類・部位不明の焼骨を伴う。この他、ウナギ属、ニシン科、ボラ、スズキ属、ハゼ科、ヒラメなどが検出される。
- ・ 第Ⅵ-14層

骨貝類の含有量は、61.2%を示し、今回分析した中で最も多い。マガキが多産し、ウミニナ、ナミマガシワ、イワガキ、サルボウガイ、シオフキ、ハマグリなどを伴う。この他、ウナギ属、ニシン科、ボラ、ハゼ科などが検出される。
- ・ 第Ⅵ-18層

骨貝類の含有量は、13.1%である。キセルガイ科が最も多く検出され、ウミニナ、マガキなどを伴う。この他、ニシン亜科、ニシン科、ハゼ科などを伴う。
- ・ 第Ⅶ-4層

骨貝類の含有量は、38.1%で、第Ⅵ-14層に次いで多い。マガキが最も多く、ウミニナ、キセルガイ科、イワガキ、シオフキ、ハマグリなどを伴う。この他、ニシン亜科、ニシン科、スズキ属、ハゼ科などを伴う。
- ・ 第Ⅶ-8層

骨貝類の含有量は、4.3%である。キセルガイ科が最も多く、ウミニナ、ハマグリなどを伴う。この他、サメ類、ウナギ属、ニシン亜科、ニシン科、ハゼ科などが検出される。
- ・ 第Ⅶ-9層

骨貝類の含有量は、24.6%である。ハマグリ、キセルガイ科が多産し、マガキ、シオフキなどを伴う。この他、ニシン亜科、ニシン科、スズキ属？、タイ科、ハゼ科などが検出される。
- ・ 第Ⅶ-16・17層

際立って検出される種類がない。骨貝類の含有量は、第Ⅶ-16層が7.8%、第Ⅶ-17層が10.5%である。ウミニナ、キセルガイ科、マガキ、シオフキ、ウネナシトマガイ、アサリ、ハマグリなどが検出される。この他、カニ類、ウナギ属、ニシン亜科、ニシン科、ボラ、ボラ？、サヨリ属、アジ科、ハゼ科？、小型獣類などが検出される。

表 78 検出動物分類群一覧

軟体動物門 <i>Phylum Mollusca</i>	脊椎動物門 <i>Phylum Vertebrata</i>
腹足綱 <i>Class. Gastropoda</i>	軟骨魚綱 <i>Class. Chondrichthyes</i>
前鰓亜綱 <i>Subclass. Prosobranchia</i>	鮫綱 <i>Subclass. Elasmobranchii</i>
カサガイ目 <i>Order. Patellogastropoda</i>	エイ目 <i>Order. Rajiformes</i>
エンスイカサガイ亜目 <i>Suborder. Arcaenoidea</i>	エイ目 <i>Suborder. Baiodei</i>
エンスイカサガイ科 <i>Family. Lottidae</i>	アユ目 <i>Family. Isuridae</i>
ヒメコザラ(ボボイ原) <i>Patelloha pygmaea form cauzhin</i>	アユ目 <i>Suborder. Gen. et sp. indet.</i>
古腹足目 <i>Order. Vetigastropoda</i>	トビ目 <i>Family. Myliobatidae</i>
サザナギ科 <i>Family. Turbellariidae</i>	トビ目 <i>Suborder. Gen. et sp. indet.</i>
スガ目 <i>Turbellariidae cornutus corentais</i>	サメ類 <i>Ord. et. fam. Indet.</i>
アマオボトガイ目 <i>Order. Neritimorpha</i>	サメ目 <i>Ord. et. fam. Indet.</i>
アマオボトガイ科 <i>Family. Neritidae</i>	
ヒロクナガノ目 <i>Cliton (Pictoceratina) oualensis</i>	
中腹足目 <i>Order. Mesogastropoda</i>	
ゴマガイ目 <i>Family. Diplommatinae</i>	
ヒドリマゴマガイ <i>Palmaria (Cylindropalina) pusilla</i>	
ヤマダカゴガイ類 <i>Spirostoma japonicum</i>	
雙貝目 <i>Order. Dacryoda</i>	
ニツツノガイ科 <i>Family. Cerithiidae</i>	
コベルトカニモリ <i>Cerithium dialuecum</i>	
スズメハマツボ科 <i>Family. Dialidae</i>	
スズメハマツボ <i>Diala semistriata</i>	
カワニ科 <i>Family. Pleuroceridae</i>	
カワニ <i>Semismacropa libertina</i>	
ウニニ科 <i>Family. Bulliariidae</i>	
ウニニ <i>Bullaria multiformis</i>	
フトヘナナリ科 <i>Family. Putanidae</i>	
フトヘナナリ <i>Cerithioides (Cerithiopsis) cingulata</i>	
カワイ科 <i>Cerithiidae (Cerithiopsis) djadarensis</i>	
ナツボ科 <i>Family. Barleeidae</i>	
ナツボ <i>Barleeia angustata</i>	
オキホクダツボ科 <i>Family. Anabathroidea</i>	
オキホクダツボ? <i>Amphithalamus fulcra?</i>	
カワヤシノウミイ科 <i>Family. Assimineaidae</i>	
カワヤシノウミイ <i>Assiminea japonica</i>	
タマガイ科 <i>Family. Naticidae</i>	
ネコイ <i>Ranuncula pusilla</i>	
新腹足目 <i>Order. Neogastropoda</i>	
アキガイ科 <i>Family. Muricidae</i>	
アキガイ科 <i>Subfamily. Eupaninae</i>	
レインガイ <i>Thauides (Reis) brevis</i>	
フトコロガイ科 <i>Family. Columbellidae</i>	
ムニ <i>Zafra pusilla</i>	
ムシロガイ科 <i>Family. Nassariidae</i>	
アラムシロ <i>Reticussia festiva</i>	
異腹足目 <i>Order. Heterogastropoda</i>	
トウガツガイ科 <i>Family. Pyramidelidae</i>	
トウガツガイ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
有肺綱 <i>Subclass. Pulmonata</i>	
眼目 <i>Order. Stylomatophora</i>	
キセルガイ科 <i>Family. Clausulidae</i>	
キセルガイ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
オカクキセルガイ科 <i>Family. Subulinidae</i>	
オカクキセルガイ? <i>Allopoa calcitrans kyotoense?</i>	
ナメガイ科 <i>Family. Punctidae</i>	
ハツクマイマイ目 <i>Discus pauper?</i>	
ベッコウマイマイ科 <i>Family. Helicariidae</i>	
カネバガイ <i>Trochoclamys virensata</i>	
ナヒベッコウマイマイ <i>Yamatoclamys vaga</i>	
ウツロベッコウマイマイ <i>Uzuroclamys doerzti</i>	
二枚貝綱 <i>Class. Bivalvia</i>	
異唇亜綱 <i>Subclass. Pteromorphia</i>	
フネガイ目 <i>Order. Arcoidea</i>	
フネガイ科 <i>Family. Arcidae</i>	
サルボウガイ <i>Scapharca kagoshimensis</i>	
カキ目 <i>Order. Ostreoida</i>	
オキマツガイ目 <i>Suborder. Pectinida</i>	
オキマツガイ科 <i>Family. Anomiae</i>	
オキマツガイ <i>Anomia clatensis</i>	
カキ亜目 <i>Suborder. Ostrea</i>	
イタボカキ科 <i>Family. Ostreidae</i>	
マガキ <i>Crossostrea gigas</i>	
マガキ <i>Crossostrea nippona</i>	
異唇亜綱 <i>Subclass. Heteromorphia</i>	
マルダシレイ目 <i>Order. Veneroida</i>	
マルダシレイ科 <i>Family. Macridae</i>	
シノフキ <i>Macra veneriformis</i>	
ニコウガイ科 <i>Family. Tellinidae</i>	
ヒロウキ <i>Macoma neogaea</i>	
フナガツガイ科 <i>Trapezidae</i>	
ウナシ <i>Trapezium liratum</i>	
シシ目 <i>Family. Corbiculidae</i>	
ヤマトシシ <i>Corbicula japonica</i>	
マルダシレイ科 <i>Family. Veneridae</i>	
カサガイ <i>Placostoma japonicum</i>	
アサリ <i>Ruditapes philippinarum</i>	
ハナヅク <i>Meretrix korra</i>	
シシ目 <i>Cyclina sinensis</i>	
オキノガイ目 <i>Order. Myida</i>	
オキノガイ目 <i>Suborder. Myiada</i>	
オキノガイ科 <i>Family. Myidae</i>	
オキノガイ <i>Mys arenaria onogai</i>	
節足動物門 <i>Phylum Arthropoda</i>	
節足綱 <i>Subclass. Crustacea</i>	
甲殻綱 <i>Class. Malacostraca</i>	
真甲殻亜綱 <i>Subclass. Eumalacostraca</i>	
エビ目 <i>Order. Decapoda</i>	
エビ亜目 <i>Suborder. Decapoda</i>	
カニ類 <i>Fam. et. gen. indet.</i>	
硬骨魚綱 <i>Class. Osteichthyes</i>	
硬骨魚綱 <i>Subclass. Actinopterygii</i>	
ウナギ目 <i>Order. Anguilliformes</i>	
ウナギ目 <i>Suborder. Anguilloidei</i>	
ウナギ科 <i>Family. Anguillidae</i>	
ウナギ <i>Genus. Anguilla</i>	
ニシ目 <i>Order. Clupeiformes</i>	
ニシ科 <i>Family. Clupeidae</i>	
ウルメイワシ亜科 <i>Subfamily. Dussumierinae</i>	
ニシ亜科 <i>Subfamily. Clupeinae</i>	
ニシ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
ボラ目 <i>Order. Mugiliformes</i>	
ボラ科 <i>Family. Mugilidae</i>	
ボラ <i>Mugil cephalus cephalus</i>	
ザメ目 <i>Order. Belontiiformes</i>	
トウチ目 <i>Suborder. Exocoetidae</i>	
サヨリ科 <i>Family. Hemirhamphidae</i>	
サヨリ <i>Genus. Hyporhamphus</i>	
カサゴ目 <i>Order. Scorpaeniformes</i>	
カサゴ目 <i>Suborder. Scorpaenaei</i>	
フサカサゴ科 <i>Family. Scorpaenidae</i>	
メバル科 <i>Family. Gen. et. sp. indet.</i>	
コホ科 <i>Family. Flatycephalidae</i>	
コホ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
カサゴ目 <i>Suborder. Lutjanidae</i>	
アイナメ科 <i>Family. Hexagrammidae</i>	
アイナメ <i>Genus. Hexagrammus</i>	
スズキ目 <i>Order. Perciformes</i>	
スズキ亜目 <i>Suborder. Percoidei</i>	
スズキ科 <i>Family. Moronidae</i>	
スズキ <i>Genus. Lateolabrax</i>	
アジ科 <i>Family. Carangidae</i>	
アジ <i>Genus. Serola</i>	
タイ科 <i>Family. Serranidae</i>	
ヘダイ亜科 <i>Subfamily. Sparinae</i>	
アロコ目 <i>Genus. Acanthopterygii</i>	
マダイ科 <i>Subfamily. Pagrinae</i>	
マダイ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
ニベ科 <i>Family. Sciaenidae</i>	
シラサギ目 <i>Genus. Penzancei</i>	
ハゼ目 <i>Suborder. Gobioidae</i>	
ハゼ科 <i>Family. Gobiidae</i>	
ハゼ <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
サボ目 <i>Suborder. Scombroidei</i>	
サボ科 <i>Family. Scombridae</i>	
サボ <i>Genus. Scomber</i>	
カレイ目 <i>Order. Pleurocentriformes</i>	
ヒメカレイ科 <i>Family. Paralichthyidae</i>	
ヒメカレイ <i>Paralichthys olivaceus</i>	
カレイ科 <i>Family. Pleurocentridae</i>	
カレイ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
両生綱 <i>Class. Amphibia</i>	
無尾目 <i>Order. Anura</i>	
カエル類 <i>Fem. et. gen. indet.</i>	
爬虫綱 <i>Class. Reptilia</i>	
有鱗目 <i>Order. Squamata</i>	
ヘビ亜目 <i>Suborder. Serpentes</i>	
ヘビ類 <i>Fam. et. gen. indet.</i>	
鳥綱 <i>Class. Aves</i>	
スズメ目 <i>Order. Passeres</i>	
カラウ科 <i>Family. Corvidae</i>	
カラウ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
キジ目 <i>Order. Galliformes</i>	
キジ科 <i>Family. Phasianidae</i>	
キジ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
ツル目 <i>Order. Gruiformes</i>	
ツル目 <i>Suborder. CULLI</i>	
タイ科 <i>Family. Rallidae</i>	
タイ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
カモ目 <i>Order. Anseriformes</i>	
カモ科 <i>Family. Anatidae</i>	
カモ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
哺乳綱 <i>Class. Mammalia</i>	
モウモウ目(食虫目) <i>Order. Insectivora</i>	
モウモウ科 <i>Family. Talpidae</i>	
モウモウ科 <i>Subfamily. Talpinae</i>	
モウモウ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
サル目(霊長目) <i>Order. Primates</i>	
ヒト科 <i>Family. Homonidae</i>	
ヒト <i>Homo sapiens</i>	
ウサギ目 <i>Order. Lagomorpha</i>	
ウサギ科 <i>Family. Leporidae</i>	
ウサギ <i>Lepus brachyurus</i>	
ネズミ目(齧歯目) <i>Order. Rodentia</i>	
ネズミ科 <i>Family. Muridae</i>	
ネズミ科 <i>Subfamily. Murinae</i>	
ネズミ科 <i>Gen. et. sp. indet.</i>	
ネコ目(食肉目) <i>Order. Carnivora</i>	
ネコ目 <i>Suborder. Fissipedia</i>	
イタナ科 <i>Family. Mustelidae</i>	
イタナ <i>Mustela itana?</i>	
イヌ科 <i>Family. Canidae</i>	
イヌ <i>Canis familiaris</i>	
リス科 <i>Subfamily. Procyonidae</i>	
ウシ目(偶蹄目) <i>Order. Artiodactyla</i>	
イノシシ科 <i>Family. Suidae</i>	
イノシシ <i>Sus scrofa</i>	
シカ科 <i>Family. Cervidae</i>	
ニホンシカ <i>Cervus nippon</i>	

表79 貝同定結果(1)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨片重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	炭化	備考														
第V-10層	混土貝層	2816	4 mm	45407	ヒメコノコ	殻			略完	1																
					ウミニナ	殻					略完	23														
											略完	2	○													
											破片	130														
					ウミニナ?	殻			破片	40																
					カワアイ	殻			略完	1																
					レイシガイ	殻							略完	14												
													破片	2												
					アラムシロ	殻							略完	9												
													破片	8												
					腹足綱	殻							破片	多		9.28g										
					サルボウガイ	殻						左	右	略完	1		合貝									
														略完	3											
														破片	1											
					ナミマガシワ	殻					左		破片	5												
					マガキ	殻					左		右	破片	11											
														破片	9											
					カキ類	殻								破片	多		10.24g									
														破片	多	○	0.18g									
					シオフキ	殻						左		略完	3											
														破片	6											
														略完	2											
														破片	4											
					バカガイ科	殻					左		右	破片	2											
														破片	8											
					アサリ	殻						左	右	破片	5											
					ハマグリ	殻						左		略完	12											
														破片	13											
														略完	13											
														破片	12											
					オキシジミ	殻						左		略完	3											
														破片	1											
														破片	1											
					二枚貝綱	殻							破片	多		55.67g										
					魚類	不明							破片	2		0.15g										
					土器								破片	5		10.39g										
					残渣								多			25.21g										
					2 mm	0.31	ヒメコノコ(ツボガイ型)	殻						破片	4											
														破片	1	○										
														アラムシロ	殻			破片	1							
														キセルガイ科	殻			破片	4							
														腹足綱	殻			破片	多		0.06g					
														貝類	殻			破片	多		0.01g					
														ウナギ属	腹椎								破片	1		
																							破片	2		
														ニシン科	尾椎								破片	1		
																							破片	1		
														サヨリ属	腹椎								破片	1		
																							破片	1		
														ハゼ科	主鰓蓋骨							右	破片	1		
																							破片	1		
魚類	椎骨																	破片	2							
																		破片	1							
																		鱗	破片	3						
																		不明	破片	多	0.02g					
脊椎動物門	不明																破片	1		0.01g						
残渣																	多			40.23g						
1 mm	0.17	ニシン科	腹椎															破片	3							
																		破片	1							
		ハゼ科	方骨																右	破片	1					
					破片	2																				
		魚類	尾椎								破片	1														
											破片	2														
											破片	16														
											鱗	破片	2													
		不明	破片	多	0.02g																					
		残渣								破片	多		34.47g													
0.5mm	39.63	分析対象外						多																		

表79 貝同定結果(2)

遺構	層位	試料重量 (g)	篩目	骨貝重量 (g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総重量	備考				
第V-13層	混土貝層	2185	4 mm	417.85	スガイ	殻			略完	2						
						蓋				略完	1					
					ヒロクチカノコ	殻					略完	1				
					ヒメカノコ	殻					略完	1				
					ウミニナ	殻						略完	6			
													破片	22		
					ウミニナ?	殻						破片	2			
					ネコガイ	殻						略完	1			
					レイシガイ	殻						略完	7			
					アラムシロ	殻						略完	7			
					ムシロガイ科?	殻						破片	1			
					キセルガイ科	殻						略完	1			
					腹足綱	殻							破片	多	6.06g	
					腹足綱	殻							破片	多	○	0.34g
					サルボウガイ	殻					右		略完	1		
					フネガイ科	殻				左			破片	1		
					ナミマガシフ	殻				左			破片	6		
					マガキ	殻				左			破片	2		
											右		破片	6		
					シオフキ	殻					左		略完	13		
											左		破片	17		
											右		略完	12		
											右		破片	22		
					バカガイ科	殻					左		破片	9		
											右		破片	13		
					アサリ	殻					左		破片	1		
											右		略完	1		
											右		破片	4		
					ハマダリ	殻					左		略完	58		
											左		破片	15		
													略完	63		
											右		破片	19		
					マルスタレガイ科	殻					左		破片	1		
											右		破片	3		
					オオノガイ	殻					左		破片	1		
											右		破片	2		
					二枚貝綱	殻							破片	多	1312g	
													破片	多	○	0.50g
					魚類	鱗鱗等							破片	1		
						不明							破片	多	0.08g	
					土器	破片							破片	2	3.85g	
					炭化物	破片							破片	多	0.14g	
					残渣									多	1.33g	
								2 mm	0.28	ヒメコザウ(ツボミガイ型)	殻			破片	1	
					ヒロクチカノコ	殻			略完	1						
					ヒメカノコ	殻			破片	1						
					カワザンシヨウガイ	殻			略完	2						
					キセルガイ科	殻			略完	2						
					キセルガイ科?	殻			破片	1						
					腹足綱	殻			破片	多	0.04g					
					サヨリ属	腹椎			破片	2						
						尾椎			破片	2						
					魚類	椎骨			破片	1						
						鱗鱗等			破片	1						
						鱗			破片	3						
						不明			破片	多	0.11g					
					脊椎動物門	不明			破片	多	0.01g					
					残渣					多	33.76g					
			1 mm	0.19	貝類	殻			破片	多	0.01g					
					ニシキ科	尾椎			破片	2	○					
					サヨリ属	腹椎			破片	2						
					魚類	終尾椎			破片	1						
						椎骨			破片	1						
						鱗鱗等			破片	15						
						不明			破片	多	0.06g					
			0.5mm	29.68	分析対象外					多	31.59g					

表79 貝同定結果(3)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨片重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	炭化	備考			
第V-14層	混貝土層	2228	4 mm	16520	ヒメカノコ	殻			略完	2					
					ウミニナ	殻			略完	3					
								破片	4						
					ウミニナ?	殻			破片	1		○			
					レイシガイ	殻			略完	2					
					アラムシロ	殻			略完	1					
					バツラマイマイ?	殻			破片	1					
					腹足綱	殻			破片	多			1.03g		
					サルボウガイ	殻	左		略完	2					
					マガキ	殻	左		破片	6					
							右		破片	5					
					カキ類	殻			破片	多			3.76g		
					シオフキ	殻	左		略完	2					
							左		破片	3					
							右		略完	5					
							右		破片	2					
					バカガイ科	殻	左		破片	4					
					ハマグリ	殻	左		略完	3					
							左		破片	11					
							右		略完	10					
							右		破片	8					
					二枚貝綱	殻			破片	多			17.50g		
					魚類	鱗鱗等			破片	1					
						不明			破片	多			0.11g		
					土器				破片	1			2.15g		
					残渣					多			13.58g		
					2 mm	0.09	アラムシロ?	殻		破片	1				
							キセルガイ科	殻		略完	4				
							キセルガイ科?	殻		破片	4				
							ウナギ属	尾椎			破片	2			
							ニシン科	腹椎			破片	1		○	
							サヨリ属	腹椎			破片	1			
							ハゼ科	腹椎			破片	2			
				尾椎					破片	2					
			魚類	肋骨					破片	1					
				椎骨					破片	3					
									破片	2		○			
				鱗鱗等					破片	9					
				鱗					破片	1		○			
				鱗					破片	4					
				不明					破片	多			0.18g		
			炭化物						破片	多			0.01g		
			残渣							多			42.71g		
			1 mm	0.40			ウナギ属	尾椎		破片	1				
ニシン科	尾椎						破片	1							
サヨリ属	腹椎							破片	1						
ハゼ科	主上顎骨	左						破片	1						
	角骨	右						破片	1						
	腹椎							破片	1						
魚類	角骨							破片	1						
	椎骨							破片	3						
								破片	1		○				
	鱗鱗等							破片	52						
								破片	8		○				
	鱗							破片	15						
	不明							破片	多		0.05g				
								破片	多		0.01g				
残渣									多		49.93g				
分析対象外							多								
第VI-5層	土主体	2349			4 mm	40.27	ウミニナ	殻			略完	1			
										破片	5				
										破片	2				
							ウミニナ?	殻			破片	1		○	
			ハナタリ類?	殻					破片	1		○			
			カワアイ?	殻					破片	1		○			
			アラムシロ	殻					略完	1					
									略完	1		○			

表79 貝同定結果(4)

遺構	層位	試料重量 (g)	篩目	骨貝重量 (g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総重量	備考				
第VI-5層	土主体	2349	4 mm	165.20	腹足綱	殻			破片	多		1.75g				
					サルボウガイ	殻	左		破片	1	○					
					シオフキ	殻	左		破片	1						
					ハマグリ	殻	左		破片	1						
							右		破片	1						
					二枚貝綱	殻			破片	多			1.20g			
									破片	多			0.61g			
					土器				破片	20			6.57g			
					残渣					多			1.83g			
					2 mm	0.14	キセルガイ科	殻		破片	1					
							コナ科	歯骨		破片	1					
							スズキ属	尾椎		破片	2					
							魚類	鱗骨	椎骨		破片	1			○	
									鱗鱗等		破片	7				
				鱗					破片	1			○			
				不明					破片	多			0.04g			
				不明					破片	多			0.01g			
				残渣						多			27.74g			
			1 mm	0.18			魚類	椎骨	椎骨		破片	1				
											破片	3			○	
											破片	15				
											破片	7			○	
									破片	3						
				不明			破片	多			0.01g					
				残渣				多			24.35g					
				0.5mm	34.92	分析対象外										
			第VI-9層	混土貝層	2242	4 mm	378.85	ウミニナ	殻			破片	5			
レイシガイ	殻								略完	2						
アラムシロ	殻								略完	4						
腹足綱	殻								破片	多			1.16g			
サルボウガイ	殻	左							略完	6						
		右							略完	2						
ナミマガシワ	殻	左							破片	34						
ナミマガシワ?	殻								破片	多			9.84g			
マガキ	殻	左							破片	2						
		右							破片	1						
カキ類	殻								破片	多			2.19g			
シオフキ	殻	左							略完	3						
		左							破片	8						
		右							破片	9						
ハマグリ	殻	左							略完	8						
		左							破片	4						
		右							略完	2						
		右							破片	6						
オキシジミ	殻	左							略完	2						
マルスタレガイ科	殻	左							破片	2						
		右							破片	3						
二枚貝綱	殻								破片	多			72.17g			
									破片	多			○	0.65g		
貝類	殻								破片	多			○	0.14g		
スズキ属?	後側頭骨	右							破片	1						
魚類	鱗鱗等								破片	1						
		鱗					破片	2								
	不明						破片	多			0.01g					
土器							破片	1				16.47g				
炭化物							破片	多				0.51g				
糞								多				24.21g				
2 mm	0.48	ヒメコザラ(ツボミガイ型)				殻		破片	1							
		キセルガイ科				殻		破片	7							
		ウナギ属				尾椎		破片	1							
		ボラ				鱗骨		破片	1							
		コナ科				歯骨	右		破片	1						
		スズキ属				角骨	左		破片	1						
		ハゼ科				歯骨	右		破片	1						
									破片	2						
						尾椎			破片	1						

表79 貝同定結果(5)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨片重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	被熱	備考						
第VI-9層	混土貝層	2242	2 mm		魚類	鱗棘等			破片	14								
									破片	1	○							
									鱗	破片	25							
									不明	破片	多		0.16g					
									脊椎動物門	破片	多		0.01g					
									残渣		多		4371g					
							1 mm	0.12	ウナギ属	ハゼ科	尾椎				破片	1		
												主上顎骨	左	破片	1			
														右	破片	1		
															破片	1		
												腹椎		破片	1			
														破片	2			
														破片	35			
												魚類		鱗棘等	破片	19		
														不明	破片	多	0.01g	
														残渣		多	4339g	
												0.5mm	5708	分析対象外				
第VI-11層	混土貝層	2023	4 mm	1210	ウミエナ	殻								破片	1			
														破片	多	119g		
												腹足綱	マルスダレガイ科		左	破片	1	
															右	破片	1	
												二枚貝綱	土器			破片	多	7.32g
																破片	5	5.50 g
								炭化物			破片	多	0.12g					
								残渣				多	147g					
							2 mm	0.31	キセルガイ科?	貝類	殻			破片	1			
														破片	多	0.03g		
												ウナギ属	尾椎			破片	3	
																破片	2	
												ニシン亜科	尾椎			破片	1	
																破片	1	
												ボラ	尾椎			破片	1	
																破片	1	
												ハゼ科	角骨		右	破片	1	
					破片	1												
					破片	3												
			魚類	椎骨								破片	1					
					鱗棘等								破片	4				
													破片	6				
						不明								破片	多	0.09g		
						鳥類						四肢骨		破片	1			
			脊椎動物門	不明								破片	多	0.08g				
							残渣		多	40.98g								
			1 mm	0.28	ウナギ属	腹椎				破片	1							
									破片	1	○							
							尾椎			破片	1							
										破片	1	○						
							ニシン亜科	第1椎骨		右	破片	1						
											破片	1						
											破片	4						
							ニシン科	腹椎			破片	1	○					
											破片	1						
							ニシン科	尾椎			破片	3						
											破片	1						
							スズキ属	尾椎			破片	1						
							ハゼ科	第1椎骨			破片	2						
											破片	1						
											破片	1						
							魚類	鱗骨			破片	2						
									腹椎			破片	1					
		破片								1								
尾椎									破片	1								
									破片	1								
終尾椎									破片	1								
									破片	6								
鱗棘等									破片	30								
			破片	13														
	不明			破片	多	0.01g												
ヘビ類	椎骨			破片	3													
	残渣				多	33.21g												
0.5mm	3949	分析対象外						多										

表79 貝同定結果(6)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総量	備考						
第VI-12層	混土貝層	1876	4 mm	440.59	スガイ	殻			略定	3								
						蓋				略定	4							
					ヒメカノコ	殻						略定	5					
					ウミニナ	殻						略定	87					
												破片	183					
					ウミニナ?	殻						破片	48					
					カワアイ	殻						破片	6					
					レイシガイ	殻						破片	4					
					アラムシロ	殻							略定	1				
													破片	2				
					腹足綱	殻							破片	多	1968g			
					サルボウガイ	殻					左		略定	7				
											左		破片	1				
											右		略定	9				
					ナミマガシワ?	殻							破片	多	090g			
					マガキ	殻					左		破片	40				
											右		破片	54				
					イワガキ	殻					左		破片	9				
											右		破片	15				
					カキ類	殻					左		破片	1				
													破片	多	346g			
					シオフキ	殻					左		破片	6				
											右		破片	8				
					バカガイ科	殻					右		破片	2				
					ヤマトシジミ	殻					右		略定	3				
			ハマダリ	殻					左		略定	5						
											破片	8						
									右		略定	4						
									右		破片	13						
			オキシジミ	殻					左		略定	1						
									右		破片	1						
			マルスタレイガイ科	殻					右		破片	3						
			二枚貝綱	殻							破片	多	58.19g					
			魚類	棘棘等							破片	1						
			脊椎動物門	不明							破片	多	0.12g					
			土器								破片	1	6.35g					
			残渣									多	4.69g					
			2 mm			0.47		ヒメコザワ(ツボミガイ型)	殻			破片	11					
								キマルマガイ	殻				破片	1				
								コバルトカニモリ	殻						破片	1		
								ウミニナ?	殻						破片	1		
								カワニナ?	殻						破片	1		
								アラムシロ	殻						破片	2		
								キセルガイ科	殻						略定	4		
								キセルガイ科?	殻						破片	9		
								腹足綱	殻						破片	多	006g	
								ウナギ属	尾椎							破片	2	
								ニシン科	尾椎							破片	1	
								ボラ	尾椎							破片	1	
								ハゼ科	腹椎							破片	1	
																破片	1	○
ヒラメ	腹椎												破片	1				
魚類	椎骨												破片	3				
	棘棘等												破片	4				
	鱗												破片	5				
	不明												破片	多	0.05g			
小型獣類	肋骨												破片	3				
残渣														多	41.29g			
1 mm								0.27		ニシン科	尾椎			破片	1			
										スズキ属	腹椎					破片	1	
										ハゼ科	肋骨		左				破片	1
							右					破片	1					
												破片	2					
			魚類	椎骨								破片	4					
				棘棘等								破片	43					
				鱗								破片	7					
				不明								破片	多	0.04g				
			残渣										多	32.25g				
			0.5mm			32.47	分析対象外							多				

表79 貝同定結果(7)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数	重量	備考				
第VI-14層	純貝層	1800	4mm	1139.24	ヒメコゼラ(ツボミガイ型)	殻			略定	3						
					スガイ	殻			略定	10						
						蓋			破片	1						
						蓋			略定	4						
					ヒロクチカノコ	殻			略定	1						
					ヒメカノコ	殻			略定	3						
					ウミニナ	殻			略定	74						
									破片	7						
					ウミニナ?	殻			破片	23						
									破片	1			○			
					カウアイ	殻			破片	4						
					レイシガイ	殻			略定	3						
					キセルガイ科	殻			破片	2						
					腹足綱	殻			破片	多				214g		
					サルボウガイ	殻			左	略定	6				台貝	
									左	略定	30					
									左	破片	1					
									右	略定	39					
									右	破片	2					
					ナミマゴシワ	殻			左	破片	41					
					ナミマゴシワ?	殻			破片	多					36.97g	
					マガキ	殻			左	破片	165					
									左	破片	1				腹足綱行魚	
									左	破片	1			○		
									右	破片	211					
					イワガキ	殻			左	破片	3					
									右	破片	5					
					カキ類	殻			左	破片	1					
									右	破片	2					
									破片	多					143.21g	
					シオフキ	殻			左	略定	4					
									左	破片	18					
									右	略定	4					
									右	破片	12					
					バカガイ科	殻			左	破片	1					
									右	破片	5					
					ハマグリ	殻			左	略定	13					
									左	破片	5					
									右	略定	13					
									右	破片	13					
					二枚貝綱	殻			破片	多					54.77g	
					雑				破片	多					154.78g	
					残渣				破片	多					4.24g	
					2mm	060	ヒメコゼラ(ツボミガイ型)	殻		破片	9					
							スガイ	蓋			略定	2				
							スズメハマツボ	殻			破片	3				
							ヒメカノコ	殻			略定	8				
							キセルガイ科	殻			破片	7				
							キセルガイ?	殻			破片	15				
							腹足綱	殻			破片	多				0.01g
							マガキ	殻			右	破片	2			
							ハゼ科	腹椎			破片	1				
											破片	1			○	
											尾椎	破片	1			
							魚類				鱗縁等	破片	1			
											鱗	破片	6			
											不明	破片	多			0.03g
脊椎動物門	不明			破片			多				0.01g					
残渣				破片			多				39.12g					
1mm	005	ウナギ属	腹椎				破片	1								
		ニシン科	腹椎				破片	1								
		ボウ	腹椎				破片	1								
		ハゼ科	尾椎				破片	1								
		魚類	椎骨				破片	3								
								破片	1			○				
						鱗縁等	破片	8								
						不明	破片	多			0.02g					
残渣				破片	多				25.13g							
0.5mm			21.73	分析対象外												

表79 貝同定結果(8)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総量	備考				
第Ⅲ-18層	混土層	2056	4 mm	199.80	ウミユナ	殻			略定	10						
									破片	15						
												破片	3	○		
									カワアイ	殻			破片	1		
									アラムシロ	殻			略定	5		
									キセルガイ科	殻			略定	7		
									腹足綱	殻			破片	多	1.86g	
									サルボウガイ	殻	左		略定	3		
											右		略定	3		
									ナミマガシワ	殻	左		破片	9		
									ナミマガシワ?	殻			破片	多	11.44g	
									マガキ	殻	左		破片	20		
											右		破片	28		
									イワガキ	殻	左		破片	3		
											右		破片	3		
									カキ類	殻			破片	多	10.55g	
									シオフキ	殻	左		破片	5		
											右		破片	6		
									バカガイ科	殻	右		破片	1		
									ヒメシタトリ	殻	左		略定	1		
							アサリ	殻	左		破片	3				
									右		略定	2				
							ハマグリ	殻	左		破片	2				
									右		略定	1				
									右		破片	1				
							オキシジミ	殻	右		破片	1				
							マルズダレガイ科	殻	左		破片	1				
							二枚貝綱	殻			破片	多	35.37g			
											破片	多	0.65g	○		
							魚類	脊椎等			破片	多	0.11g			
								不明			破片	多	24.18g			
							土器				破片	多	2008g			
							雑				破片	多	0.41g			
							残渣					多				
						2 mm	1.48	ヒメコザラ(ツボミガイ型)	殻			破片	1			
									キセルガイ科	殻			略定	15		
													破片	42		
									腹足綱	殻			破片	多	0.01g	
									貝類	殻			破片	多	0.01g	
									ニシン亜科	第1椎骨			破片	1		
										第2椎骨			破片	2		
										角骨	左		破片	1		
										方骨	左		破片	1		
										腹椎			破片	3		
									ニシン科	腹椎			破片	3		
										尾椎			破片	8		
									ハゼ科	腹椎			破片	1		
				魚類	椎骨					破片	2					
					脊椎等					破片	16					
					鱗					破片	149					
					不明					破片	多	0.47g				
				脊椎動物門	不明					破片	多	0.04g				
				残渣							多	18.89g				
			1 mm	0.32	ニシン科			尾椎			破片	1				
						魚類	椎骨			破片	3					
							脊椎等			破片	57					
							鱗			破片	6					
							不明			破片	多	0.06g				
						残渣					多	8.58g				
			0.5mm	12.43	分析対象外				多							
第Ⅲ-4層	純貝類	1589	4 mm	598.59	ヒメカノコ?	殻			破片	1						
					ウミユナ	殻			破片	29						
											破片	1	○			
					ウミユナ?	殻			破片	3						
					カワアイ	殻			破片	1						
					キセルガイ科	殻			略定	8						
				腹足綱	殻			破片	多	3.11g						
								破片	多	0.53g	○					

表79 貝同定結果(9)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	炭化	備考				
第Ⅷ-4層	純貝層	1580	4 mm		サルボウガイ	殻	左	略定	4							
							右	破片	1							
									右	略定	10					
									右	破片	2					
									フネガイ科	殻	左	破片	1			
									ナミマガシワ	殻	左	破片	13			
									ナミマガシワ?	殻		破片	多		8.55g	
									マガキ	殻	左	破片	80			
												右	破片	25		
									イワガキ	殻	左	破片	29			
											右	破片	15			
								カキ類	殻	左	破片	7				
											右	破片	多		96.81g	
								シオフキ	殻	左	略定	1				
											左	破片	20			
											右	略定	5			
											右	破片	11			
								バカガイ科	殻	左	破片	4				
											右	破片	1			
								ギマトシジミ	殻	左	破片	1				
								アサリ	殻	右	破片	1				
								ハマグリ	殻	左	略定	2				
											左	破片	7			
											右	略定	3			
											右	破片	6			
								オキシジミ	殻	左	破片	3				
											右	略定	1			
								マルスダレガイ科	殻	左	破片	2				
								二枚貝類	殻		破片	多		114.47g		
											破片	多		0.78g		
								魚類	鱗縁等		破片	1				
								土器			破片	2		3.59g		
								炭化物			破片	多		0.04g		
								礫				多		4.28g		
								残渣				多		1.24g		
								2 mm	250	ヒメカノコ	殻		略定	1		
										キセルガイ科	殻		略定	12		
													破片	22		
										カサキビガイ	殻		破片	1		
										ナミヒメベッコウマイマイ	殻		破片	1		
										ニシン亜科	第1椎骨		破片	15		
											第2椎骨		破片	12		
											角骨	左	破片	2		
												右	破片	1		
											腹椎		破片	36		
										ニシン科	主担骨	左	破片	3		
											腹椎		破片	8		
											尾椎		破片	9		
										スズキ属	尾椎		破片	1		
										魚類	尾椎		破片	3		
											椎骨		破片	12		
											鱗縁等		破片	16		
										不明			破片	多		1.78g
					脊椎動物門	不明		破片	多		0.01g					
					残渣				多		50.65g					
			1 mm	417	ニシン亜科	第1椎骨		破片	19							
						第2椎骨		破片	16							
						第12椎骨		破片	4							
						角骨	左	破片	5							
						角骨	右	破片	3							
						方骨	左	破片	4							
						方骨	右	破片	5							
						腹椎		破片	42							
					ニシン亜科?	腹椎		破片	1		○					
					ニシン科	腹椎		破片	2							
						尾椎		破片	6							
					ハゼ科	腹椎		破片	1							
						尾椎		破片	2							

表79 貝同定結果(10)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総量	備考							
第7層-4層	純貝層	1589	1mm		魚類	終尾椎			破片	3									
									破片	30									
									破片	2	○								
									鱗等	256									
								鱗	破片	多量		0.08g							
								不明	破片	多		2.96g							
								残渣		多		35.62g							
								28.58	分析対象外		多								
						第7層-8層	混貝土層	2145	4mm	90.47	スガイ	殻			略定	1			
															略定	1			
		ヒメカノコ	殻									破片	1						
		カワニナ		破片	2														
		ウミニナ	破片	2															
		ウミニナ?	殻									破片	1						
				破片	1							○							
		カワアイ	殻									破片	1						
		ムシロガイ科	殻									破片	1	○					
		キセルガイ科	殻									破片	1						
		腹足綱	殻									破片	多		1.72g				
		ナミマガシワ	殻	左								破片	1						
		マガキ	殻	右								破片	2						
		カキ類	殻									破片	多		3.91g				
		シオフキ	殻	左								破片	1						
				左								破片	2						
				右								略定	1						
		バカガイ科	殻	左								破片	2						
		アサリ	殻	左								破片	1						
		ハマダリ	殻	左								略定	6						
				左								破片	3						
				右								略定	2						
				右								破片	1						
		二枚貝綱	殻									破片	多		2.262g				
												破片	多	○	4.84g				
		土器										破片	1		6.52g				
		炭化物										破片	多		0.18g				
		産											多		5.61g				
		残渣											多		5.45g				
		2mm	0.70	キセルガイ科	殻									略定	13				
													破片	41					
													破片	3	○				
												カサキビガイ	殻			略定	1		
												ウナギ属	尾椎			破片	1		
												ニシン亜科	腹椎			破片	1		
												ニシン科	腹椎			破片	1		
													尾椎			破片	1		
												ハゼ科	第1椎骨			破片	1		
													腹椎			破片	1		
												魚類	鱗等			破片	5		
													鱗等			破片	1	○	
													鱗			破片	58		
												不明	破片			多		0.05g	
												炭化種子	破片			37			
												炭化物	破片			多		0.01g	
												残渣				多		32.29g	
		1mm			0.21							キセルガイ科?	殻			破片	1		
															歯牙	破片	1		
														ウナギ属	尾椎			破片	1
				ニシン亜科									腹椎			破片	2		
				ニシン科		腹椎			破片	1	○								
						尾椎			破片	2									
				ハゼ科		腹椎			破片	1									
						尾椎			破片	1									
				魚類		椎骨			破片	3									
						鱗等			破片	41									
						破片			4	○									
				不明		破片			多		0.01g								
				残渣					多		30.49g								
		0.5mm	34.91	分析対象外						多									

表79 貝同定結果(11)

遺精	部位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数	披熟	備考				
第Ⅷ-9層	純貝層	2357	4 mm	578.33	ウミニナ	殻			略定	5						
											破片	1	○			
					アラムシロ	殻			略定	5						
					キセルガイ科	殻			破片	2						
					蟹足綱	殻			破片	多			0.57g			
					サルボウガイ	殻			略定	1						
								左				破片	1			
								右				略定	2			
					ナミマガシワ	殻			左			破片	2			
					マガキ	殻			左			破片	6			
								右				破片	9			
					カキ類	殻			左			破片	2			
												破片	多	5.68g		
					シオフキ	殻			左			略定	3			
									左			破片	8			
												略定	7			
									右			破片	11			
					バカガイ科	殻			左			破片	5			
									右			破片	4			
					カガミガイ	殻			左			略定	1			
					カガミガイ類	殻			右			破片	3	合貝		
					アサリ	殻			左			略定	1			
												破片	1			
									右			略定	1			
												破片	1			
					ハマグリ	殻			左			略定	27			
									左			破片	26			
												略定	24			
									右			破片	23			
					オキシジミ	殻			左			略定	1			
					二枚貝綱	殻						破片	多	185.92g		
												破片	多	○ 0.56g		
					魚類	鱗棘等						破片	1			
						不明						破片	多	0.35g		
					土器							破片	10	9.83g		
					炭化物							破片	多	0.08g		
					残渣								多	1.49g		
					2 mm			066		ヒメカノコ	殻			破片	2	
										キセルガイ科	殻			略定	14	
														破片	33	
										貝類	殻			破片	多	0.04g
										ニシン亜科	腹椎			破片	3	
										ニシン科	尾椎			破片	1	
										スズキ属?	尾椎			破片	1	
										ハゼ科	腹椎			破片	2	
											尾椎			破片	1	
										魚類	鱗棘等			破片	4	
											鱗			破片	2	
										不明				破片	多	0.06g
										脊椎動物門	不明			破片	多	○ 0.01g
										昆虫	不明			破片	5	
										残渣					多	40.46g
					1 mm			024		ニシン亜科	腹椎			破片	1	
					ニシン科	尾椎			破片	1						
					ダイ科	歯(犬歯)			破片	1						
					ハゼ科	主上顎骨	右		破片	1						
						角骨	左		破片	1						
					魚類	前上顎/前			破片	1						
						終尾椎			破片	1						
						椎骨			破片	1						
						鱗棘等			破片	33						
					不明				破片	多	0.01g					
					残渣					多	26.25g					
0.5mm			3015		分析対象外					多						

表79 貝同定結果(12)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	総量	備考					
第Ⅷ-16層	器具土層	2511	4 mm	194.72	ウミニナ	殻			略定	5							
					レイシガイ	殻					略定	1					
					アラムシロ	殻						略定	4				
					腹足綱	殻						破片	多	0.50g			
					ヤルボウガイ	殻			左			略定	3				
												右	略定	1			
					マガキ	殻			左			破片	1				
												右	破片	5			
					イワガキ	殻			左			破片	1				
					カキ類	殻							破片	多	3.24g		
					シオフキ	殻			左				略定	8			
													破片	10			
													右	略定	3		
													右	破片	10		
					バカガイ科	殻			左				破片	2			
													右	破片	6		
					ウネナシトマヤガイ	殻			左				略定	1			
					アサリ	殻			左				略定	2			
													左	破片	2		
													右	略定	3		
													右	破片	4		
					ハマグリ	殻			左				略定	4			
													左	破片	5		
													右	略定	4		
													右	破片	5		
					マルスダレガイ科	殻			左				破片	1			
													右	破片	6		
					二枚貝綱	殻								破片	多	48.18g	
					炭化物									破片	多	0.06g	
					雜									多	多	3.4g	
					残渣									多	多	1.39g	
								2 mm	0.67	ヒメコサザ(ツボシガイ型)	殻			略定	1		
										ヒメカノコ	殻			略定	2		
										ヤマグルマガイ	殻			破片	2		
										チャツボ	殻			略定	1		
										トウガタガイ科?	殻			破片	1		
										キセルガイ科?	殻			略定	8		
										キセルガイ科?	殻			破片	14		
										カサキビガイ	殻			略定	1		
										ナミヒメバッコウマイマイ	殻			略定	2		
										腹足綱	殻			破片	多	0.05g	
										貝類	殻			破片	多	0.06g	
										カニ類	可動物			破片	1	○	
										ウナギ類	腹椎			破片	1		
										ニシン科	尾椎			破片	7		
										ボラ	尾椎			破片	1		
										ボラ?	尾椎			破片	1	○	
										アジ科	柄鱗			破片	1		
										ハゼ科?	腹椎			破片	1	○	
										魚類	椎骨			破片	3		
											棘棘等			破片	1		
											鱗			破片	3		
											不明			破片	多	0.07g	
					残渣				多	多	50.05g						
			1 mm	0.12	アジ科	腹椎			破片	1							
					ハゼ科	腹椎			破片	1							
					魚類	尾椎			破片	1	○						
						椎骨			破片	1							
						棘棘等			破片	16							
						不明			破片	多	0.01g						
					残渣				多	多	41.44g						
			0.5mm	40.87	分析対象外					多							

表79 貝同定結果(13)

遺構	層位	試料重量(g)	篩目	骨貝重量(g)	種類	部位	左	右	状態等	数量	炭化	備考								
第17層	乱貝土層	2295	4mm	240.15	ヒメカメコ	殻			略定	1										
						殻			破片	1										
					ウミニナ	殻			破片	15										
					ヘナタリ	殻			破片	2										
					ホウアイ	殻			破片	2										
					アラムシロ	殻			略定	2										
					腹足綱	殻			破片	多			3.37g							
					サルボウガイ	殻			左	右	略定	1		合貝						
									左		略定	3								
										右	破片	1								
					ナミマガシワ	殻			左		破片	1								
					ナミマガシワ?	殻					破片	多		1.01g						
					マガキ	殻			左		破片	14								
										右	破片	21								
					イワガキ	殻			右		破片	3								
					ガキ類	殻					破片	多		7.68g						
					シオフキ	殻			左		破片	5								
										右	略定	3								
										右	破片	4								
					バカガイ科	殻			左		破片	1								
										右	破片	2								
					ウネナシトマイガイ	殻			左	右	略定	2		合貝						
									左		破片	3								
										右	略定	1								
										右	破片	7								
					アサリ	殻			左		略定	1								
										右	破片	1								
					ハマグリ	殻			左		破片	5								
										右	略定	2								
										右	破片	4								
					マルスダレガイ科	殻			左		破片	5								
					二枚貝綱	殻					破片	多		55.23g						
					土器						破片	7		56.78g						
			炭化物						破片	多		0.48g								
			残渣							多		0.51g								
			2mm			2mm	0.66	ヒメコザラ(フボガイ型)	殻			略定	2							
								ヒメカメコ	殻			略定	2							
								ノミニナ	殻			略定	1							
								キセルガイ科	殻			略定	5							
														破片	5					
								キセルガイ科?	殻					破片	9					
								ナミヒメベッコウマイマイ	殻			略定	1							
								腹足綱	殻					破片	多	0.02g				
								ニシン科	腹椎					破片	1					
									尾椎					破片	2					
								ハゼ科	尾椎					破片	1					
								魚類	椎骨					破片	1					
									鱗鱗等					破片	11					
									不明					破片	多	0.04g				
								小型獣類	趾骨・歯骨					破片	1					
								残渣							多	25.16g				
								1mm			1mm	0.51	ニシン亜科	第1椎骨			破片	2		
														第2椎骨			破片	2		
	腹椎													破片	15					
ニシン科	腹椎													破片	1					
	尾椎													破片	13					
サヨリ属	腹椎			破片	1															
	尾椎			破片	1															
ハゼ科	角骨		右	破片	1															
	腹椎			破片	2															
	尾椎			破片	4															
魚類	腹椎			破片	2															
	尾椎			破片	1															
	椎骨			破片	16															
	鱗鱗等			破片	116		○													
	鱗			破片	31															
	不明			破片	多		0.11g													
残渣						破片	多						30.12g							
0.5mm			30.29	分析対象外										多						

表 80 貝類最小個体数

(31 当たり)

種類	V-10	V-13	V-14	V-5	V-9	V-11	V-12	V-14	V-18	V-4	V-8	V-9	V-16	V-17
腹足綱														
ヒメコザラ(ツボミガイ型)	5	1	-	-	1	-	11	12	3	-	-	-	1	2
スガイ?	-	2	-	-	-	-	4	11	-	-	1	-	-	-
スガイ?	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヒロクチカノコ	-	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
ヒメカノコ	1	2	2	1	-	-	5	11	1	1	2	2	2	4
ヒメカノコ?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
アマオプネガイ科	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ヒダリマキゴマガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
ヤマグルマ	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-
コペルトカニモリ	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
スズメハマツボ	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
カワニナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
カワニナ?	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
ウミニナ	155	28	7	11	5	1	270	81	40	40	2	6	5	15
ウミニナ?	40	2	1	2	-	-	49	24	-	3	2	-	-	-
ヘナタリ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
ヘナタリ類?	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カワアイ	3	-	-	1	-	-	6	4	1	1	1	-	-	2
カワアイ?	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
チャツボ	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-
オキョボグチツボ?	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カワザンショウガイ	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ネコガイ	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
レイシガイ	16	7	2	-	2	-	4	3	-	-	-	-	1	1
ノミニナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
アラムシロ	18	7	1	6	4	-	5	-	12	-	-	5	4	2
アラムシロ?	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ムシロガイ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
ムシロガイ科?	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
トウガタガイ科?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
キセルガイ科	4	3	4	18	7	-	4	9	247	42	58	49	8	10
キセルガイ科?	-	1	4	5	-	1	9	15	347	-	1	-	14	9
オカチョウジガイ?	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
パツラマイマイ	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
パツラマイマイ?	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カサキビガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-
ナミヒメベッコウマイマイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	1
ウラジロベッコウマイマイ	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	-
ベッコウマイマイ科	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
マイマイ類	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
二枚貝綱														
ナミマガシワ	5	6	-	-	34	-	-	41	9	13	1	2	-	1
ナミマガシワ?	-	-	-	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	+
マガキ	11	6	6	-	2	-	54	213	45	80	2	9	5	21
イウガキ	-	-	-	-	-	-	15	5	3	29	-	-	1	3
カキ類	-	-	-	-	-	-	1	2	-	7	-	2	-	-
サルボウガイ	5	1	2	1	6	-	9	47	3	12	-	2	3	4
フネガイ科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
シオフキ	9	34	7	1	11	-	8	22	6	21	3	18	18	7
バカガイ科	8	13	4	1	-	-	2	5	4	4	2	5	6	2
ヒメシラトリ	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
ニッコウガイ科	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
ウネナシトマヤガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
ヤマトシジミ	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-
カガミガイ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
カガミガイ類	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
アサリ	5	5	-	-	-	-	-	-	5	1	1	2	7	1
ハマグリ	25	82	18	3	12	-	17	36	2	9	9	53	9	6
オキシジミ	4	-	-	-	2	-	1	-	1	3	-	1	-	-
マルズダレガイ科	-	3	-	-	3	1	3	-	1	2	-	-	6	5
オオノガイ	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計														
腹足綱	242	59	23	51	19	2	370	174	691	90	71	62	42	48
二枚貝綱	72	153	37	6	70	1	113	361	82	183	18	98	56	59
総計	314	212	60	57	89	3	483	535	773	273	89	160	98	107

表81 貝類計測結果(2)

単位：mm

種類	試料名	左	右	殻長	殻高	備考		
シオフキ	第V-10層	左		35.63	30.93			
					33.25	28.69		
					33.22	28.87		
				右		39.52	35.21	
						39.54	33.10	
						45.29	39.12	
		第V-13層	左		41.83	36.54		
						37.58	32.75	
						35.48	31.98	
						40.84	35.07	
						36.12	31.37	
						34.03	29.51	
	第V-14層		左		37.08	31.81		
						36.50	30.89	
						32.89	29.01	
						32.15	28.59	
						30.75	26.61	
						23.18	20.54	
		第VI-9層	右		45.36	38.42		
						43.66	36.02	
						39.81	34.84	
						38.01	32.92	
						39.76	35.47	
						39.94	33.73	
					40.90	34.16		
	第VI-14層		左		36.15	31.51		
						32.77	27.92	
						30.66	27.15	
						30.35	25.63	
			右			27.96	24.04	
						42.02	35.10	
						37.15	32.70	
						38.99	33.60	
	第VI-9層	左		38.55	33.02			
					35.96	31.62		
					30.50	26.16		
		右			28.01	24.93		
					39.58	34.50		
					35.35	32.45		
第VI-14層	左		39.93	33.42				
				37.07	32.10			
				34.68	28.82			
	右			23.01	19.99			
				43.15	36.95			
				40.17	33.71			
第VII-4層	左		34.31	28.80				
				33.97	30.56			
				35.21	30.87			
	右			34.35	29.30			
				36.57	31.71			
				38.38	34.24			
第VIII-8層	左		44.89	37.29				
				25.44	23.47			
				35.75	30.25			
	右			43.61	37.94			
				22.72	19.77			
				40.97	37.63			
第VIII-9層	左		39.99	34.28				
				35.45	30.53			
				35.07	30.41			
				44.84	37.53			
				28.41	26.65			
				29.24	24.76			
	右			44.81	37.94			
				46.95	39.53			
				38.96	34.78			
				35.57	31.19			
				37.96	33.54			
				28.21	24.89			
シオフキ	第IX-16層	左		37.13	32.27			
					36.73	22.86		
					32.57	26.14		
					35.78	32.02		
				右		30.41	26.65	
						32.04	27.16	
		第IX-17層	左		23.74	21.21		
						44.65	36.50	
						32.72	29.43	
			右			37.68	34.85	
						29.56	22.40	
						35.77	16.64	合貝
	ハメシラトリ	第X-17層	右		30.24	15.92	合貝	
						34.92	17.49	
			右			21.84	19.87	
					17.19	15.29		
					20.69	17.92		
		ヤマトシジミ	第XI-12層	左		54.35	50.56	合貝
					30.79	21.47		
					41.17	32.27		
右					40.61	29.49		
					17.91	13.57		
					26.77	18.77		
カガミガイ	第XI-9層		左		36.36	19.36		
						20.05	14.87	
			右			17.33	13.01	
					30.19	15.55		
					24.02	17.68		
	アサリ		第XI-17層	左		18.45	14.62	
					36.25	44.96		
					44.55	36.00		
右					44.26	35.72		
					35.50	29.98		
					32.29	26.81		
ハマダリ		第XI-10層	左		32.49	27.64		
						36.36	29.83	
			右			29.42	26.22	
					28.53	24.93		
					24.57	21.28		
		第XII-13層	左		24.79	21.60		
				30.93	18.23			
				43.06	35.45			
				44.18	35.43			
				35.35	30.34			
				29.92	24.80			
				35.49	29.33			
				32.65	28.13			
				32.46	26.53			
				29.96	26.75			
				29.98	26.04			
				28.88	24.82			
右				24.27	20.87			
				24.43	21.74			
				23.57	20.29			
				57.78	48.35			
				44.29	35.96			
				40.62	33.78			
第XIII-13層	左		39.75	32.86				
				35.49	29.57			
				44.23	35.18			
				36.07	30.70			
				39.32	32.28			
				38.05	32.44			
	右			37.73	31.27			
				35.66	29.52			
				38.33	32.11			
				37.82	32.14			
				35.57	28.92			
				36.60	29.40			

表81 貝類計測結果(3)

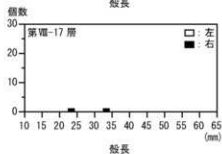
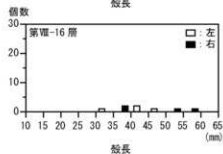
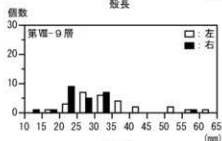
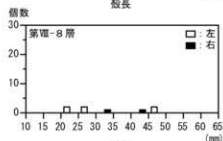
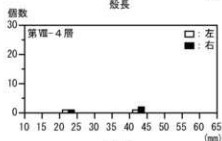
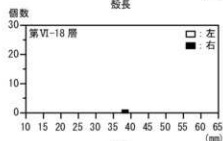
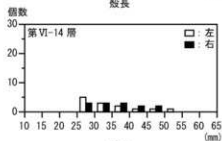
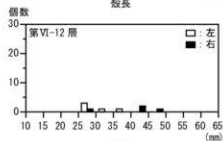
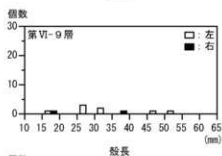
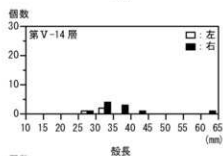
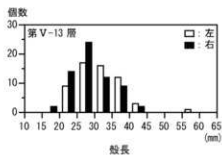
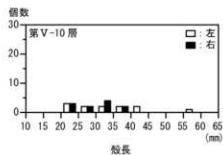
単位: mm

種類	試料名	左	右	殻長	殻高	備考	種類	試料名	左	右	殻長	殻高	備考
ハマグリ	第V-13層	左		31.28	26.39		ハマグリ	第V-13層	右		29.25	24.54	
				34.90	28.86						31.62	26.83	
				35.98	30.57						28.22	24.69	
				33.79	29.27						26.25	24.57	
				28.32	23.22						28.27	24.68	
				32.30	27.04						27.95	23.31	
				32.41	28.91						27.77	24.47	
				32.74	26.82						26.23	22.77	
				34.05	27.12						28.68	25.28	
				30.61	26.28						27.12	23.55	
				33.25	28.23						28.16	24.88	
				33.75	28.58						28.96	24.70	
				30.53	25.08						27.78	23.71	
				30.75	27.05						25.75	21.71	
				30.73	25.50						25.27	21.60	
				32.30	27.99						26.08	22.37	
				29.66	25.21						25.81	22.02	
				27.98	23.33						25.02	22.15	
				29.63	25.53						26.78	23.55	
				28.05	25.54						24.34	20.56	
				29.73	24.75						26.15	23.13	
				28.26	24.65						23.98	21.00	
				31.42	27.43						24.30	20.50	
				32.43	25.67						21.90	18.71	
				26.92	22.95						25.89	22.98	
				26.91	22.60						24.86	20.93	
				25.03	21.22						23.75	21.51	
				25.65	22.52						23.00	19.48	
				25.40	22.67						23.99	20.99	
				28.21	23.83						24.51	21.83	
				26.83	23.97						24.62	22.26	
				26.67	23.40						23.08	19.81	
				25.82	22.09						20.88	18.22	
				22.78	20.55						24.87	21.42	
				25.80	22.67						23.15	19.85	
				24.76	21.66						19.79	18.61	
				23.94	21.06						19.21	17.43	
				24.43	19.99						33.74	29.04	
				23.94	20.34						30.47	25.44	
				23.69	20.90						29.72	26.70	
				23.14	20.86						62.80	50.14	
				20.04	18.78						40.35	33.32	
				20.82	18.65						34.77	29.47	
				41.10	34.29						34.12	28.83	
				39.29	31.28						31.91	27.15	
	41.28	33.18			29.47	26.61							
	35.95	28.45			27.69	23.82							
	35.38	29.81			29.23	24.81							
	35.66	28.92			27.41	22.76							
	35.25	29.75			24.11	21.09							
	36.19	30.71			52.78	40.92							
	33.68	28.47			49.07	38.47							
	35.27	29.15			30.68	25.52							
	33.62	27.35			29.49	25.24							
	36.47	29.49			28.62	23.96							
	33.99	27.32			29.89	24.88							
	30.56	25.38			32.63	26.81							
	28.97	24.71			17.94	16.84							
	37.36	30.48			18.89	17.18							
	33.81	27.19			35.33	28.98							
	31.14	26.46			36.39	29.69							
	32.18	25.73			28.94	23.57							
	30.47	26.48			30.12	24.78							
	31.14	26.80			29.28	24.10							
	29.21	24.91			29.23	23.85							
	28.35	24.07			29.25	23.28							
	30.11	24.77			41.69	35.07							
	27.25	24.11			45.66	38.41							
	30.57	25.45			44.09	37.58							

表81 貝類計測結果(4)

単位: mm

種類	試料名	左	右	殻長	殻高	備考	種類	試料名	左	右	殻長	殻高	備考		
ハマグリ	第VI-14層	左		5120	39.86		ハマグリ	第VII-9層	右		33.23	29.11			
				4036	33.98						31.94	26.73			
				4507	36.28						33.91	27.70			
				3358	27.80						32.31	27.36			
				3576	29.53						33.02	26.97			
				3671	29.86						29.75	25.22			
				3287	27.68						29.41	24.24			
				3042	26.91						30.99	18.23			
				2881	24.49						25.52	22.77			
				2853	25.28						24.35	21.60			
				2883	24.19						28.61	24.60			
				2797	23.48						21.06	18.82			
				2614	22.05						22.84	19.92			
				右		4547				36.02			24.70	21.17	
			4297		34.72					22.78	20.03				
			3855		32.12					22.25	18.37				
			4559		36.79					24.29	20.45				
			4037		32.96					13.23	11.47				
			3921		33.86					21.08	17.10				
			3692		29.44					16.56	14.09				
			3024		26.40					26.63	23.69				
			3089		25.49					33.56	28.01				
			3096		25.11					43.46	35.67				
			2850		24.80					30.26	24.84				
			2837		24.57					39.97	34.37				
			2627		22.35					45.64	36.27				
			3952		31.98					55.18	43.77				
		第VI-18層	右		2019	17.79				第VII-16層	左		42.23	34.09	
	第VII-4層	左		4223	34.09			35.26	28.07						
				4074	33.60			38.42	30.74						
		右		4169	36.57			21.91	19.35						
				2151	19.28			33.86	29.29						
	第VII-8層	左		2248	19.63		オキシジミ	第V-10層	左		45.61	47.92			
				2291	19.79						41.02	42.98			
				2608	22.55						32.98	33.99			
				2972	23.82					41.61	43.70				
				4958	39.42					37.15	35.52				
		右		4932	38.84				第VI-9層	左		37.01	41.34		
				4182	35.60				第VI-12層	左		36.18	36.88		
				3130	25.92				第VII-4層	右		37.84	36.16		
				6012	46.57				第VII-9層	左					
				5616	47.59										
第VII-9層	左		5346	41.23											
			5022	39.76											
			4466	35.26											
			4147	32.76											
			3942	31.36											
			3470	29.01											
			3074	27.13											
			3593	28.08											
			3689	28.48											
			3603	30.14											
			3435	28.32											
			2504	22.43											
			2904	23.51											
			2593	22.13											
			3035	25.21											
			3025	24.73											
			2227	19.27											
			2572	22.37											
			2196	18.80											
			1789	15.87											
			2471	22.27											
			2888	24.47											
			2975	24.24											
			2922	25.09											
			3287	26.56											
			右		5650	46.18									
				3424	30.04										



第134図 ハマグリ殻長分布

(c) 骨同定試料

SM 2 出土の鳥類・哺乳類・その他骨貝類の同定結果を表 83～85 に、HG 2・HG 3・SK352・SK354 の同定結果を表 86 に、鳥類の計測結果を表 87 に、イヌの頭蓋計測結果を表 88 に、イノシシの頭蓋計測結果を表 89 に、哺乳綱の四肢骨計測結果を表 90 に示す。以下、遺構別・種類別に記す。

① SM 2

<鳥類>

カラス科の左右手根中手骨、スズメ目の可能性がある左橈骨・左尺骨・左手根中手骨・右脛足根骨・左足根中足骨、キジ科の左右鳥口骨・左右肩甲骨・左上腕骨・左右橈骨・左右尺骨・右手根中手骨・右大腿骨・右脛足根骨・左足根中足骨、キジ科の可能性がある右上腕骨・左尺骨・右手根中手骨・左大腿骨・左脛足根骨、クイナ科の左右手根中手骨、カモ科の右鳥口骨・左肩甲骨・右上腕骨・左右橈骨・左右尺骨・左手根中手骨・右大腿骨・左足根中足骨、カモ科の可能性がある左鳥口骨・右肩甲骨・左右尺骨・右手根中手骨・左脛足根骨、鳥類の椎骨・複合仙骨・左肩甲骨・左上腕骨・右橈骨・右尺骨・左手根中手骨・大指基節骨・右大腿骨・左右脛足根骨・左足根中足骨・末節骨・四肢骨が検出される。これらの中には、焼けた骨が含まれる。

<哺乳類>

・ モグラ類

モグラ亜科の左下顎骨・右上腕骨、モグラ科の第 1 頸椎・左踵骨が検出される。

・ ヒト

第Ⅴ層で左上顎第 1 乳切歯・左上顎第 1 乳臼歯・乳臼歯、第Ⅷ層で基節骨、第Ⅷ層で右橈骨・右尺骨・左右大腿骨・末節骨、第Ⅷ層でヒトの可能性がある中節骨が検出される。

・ ノウサギ

ノウサギの左上顎第 1 門歯・左上顎第 2 前臼歯・左上顎第 3 前臼歯・左上顎第 4 前臼歯・左上顎第 1 後臼歯・左下顎第 1 門歯・右下顎第 2 後臼歯・下顎歯牙・胸椎・左右肩甲骨・左上腕骨・左右橈骨・右尺骨・右第 3 中手骨・左右脛骨・左右踵骨・右第 3 中足骨・右第 4 中足骨・左右第 5 中足骨、ノウサギの可能性がある右下顎骨が検出される。

・ ネズミ類

ネズミ亜科の右下顎骨、ネズミ亜科?の右下顎骨、ネズミ科の左上顎第 1 門歯・左下顎骨・左下顎第 1 門歯・門歯・第 2 頸椎・頸椎・左右肩甲骨・左上腕骨・左尺骨・左右寛骨・左右大腿骨・左踵骨、ネズミ科左大腿骨の可能性がある破片が検出される。

・ イタチ?

左脛骨が検出される。

・ ノイス

頭蓋骨(右上顎骨)、左右下顎骨、第 1 頸椎、左上腕骨、左右橈骨、右尺骨、左大腿骨が検出される。この他、ノイスの可能性がある右第 2 中足骨が検出される。

・ タヌキ?

タヌキの可能性がある右脛骨が検出される。

・ イヌ科

頭蓋骨(左上顎骨)、右上顎第 1 門歯、左上顎第 2 門歯、左上顎第 3 門歯、左上顎犬

歯、左上上顎第1後臼歯、左上上顎第3前臼歯、右下顎第1乳切歯、右下顎第2乳門歯、左下顎第3乳門歯、右下顎乳犬歯、右下顎第1門歯、右下顎第2門歯、左右下顎第3門歯、左右下顎犬歯、右下顎第2前臼歯、右下顎第3前臼歯、左右下顎第4前臼歯、下顎前臼歯、左下顎第1後臼歯、門歯、歯牙、左第3中足骨、第4頸椎、左上腕骨、右大腿骨が検出される。この他、イヌ科の可能性がある犬歯、歯牙、尾椎、上腕骨が検出される。

・ イノシシ

検出部位、および数量とも哺乳綱の中では最も多い。頭蓋では、頭蓋骨(左右切歯骨・右上顎骨・左側頭骨・右岩様骨・耳骨腔・破片)、左上顎第1乳門歯、左右上顎第2乳門歯、右上顎第3乳門歯、上顎乳門歯、左右上顎乳犬歯、左上顎第1乳臼歯、右上顎第2乳臼歯、左上顎第3乳臼歯、右上顎第3乳臼歯?、左右上顎第1門歯、右上顎犬歯、左上顎第1前臼歯、右上顎第1後臼歯、左上顎第3後臼歯、左右下顎骨、左下顎第1乳門歯、左右下顎第2乳門歯、左右下顎第3乳臼歯、右下顎乳犬歯、左右下顎第1門歯、右下顎第2門歯、下顎門歯、犬歯、犬歯?、左右下顎第1前臼歯、右下顎第3門歯、右下顎第2前臼歯、右下顎第4前臼歯、右下顎第1後臼歯、後臼歯、歯牙など多くの部位が確認できる。

その他の部位では、腰椎、椎骨、肋骨、左右肩甲骨、左右上腕骨、左右橈骨、左右尺骨、尺骨?、右第2中手骨、左右第4中手骨、左第5中手骨、左右寛骨、左右大腿骨、左右脛骨、左腓骨、左右距骨、左右踵骨、左中心足根骨、左第4足根骨、左右第2中足骨、左右第3中足骨、左第4中足骨、基節骨、基節骨/中節骨、第2/5中節骨、第2/5基節骨/中節骨、四肢骨である。

この他、イノシシの可能性がある歯牙・右上腕骨・基節骨/中節骨が検出される。

・ ニホンジカ

角、右上顎後臼歯、右橈骨、左大腿骨、左右脛骨、右距骨が検出される。この他、ニホンジカの角の可能性がある破片が検出される。

・ 大型獣類、小型獣類、獣類

大型獣類は、頭蓋骨(前頭骨の可能性がある破片)、椎骨、肋骨、右脛骨、脛骨の可能性がある破片、四肢骨、部位不明破片などが検出される。小型獣類では、第1頸椎、肋骨、左右大腿骨、左脛骨・腓骨、中足骨、中手骨/中足骨、基節骨、中節骨、基節骨/中節骨、四肢骨などが検出される。獣類では、頭蓋骨、下顎骨、犬歯、歯牙、第1頸椎、胸椎、椎骨、尾椎、肋骨、肩甲骨の可能性がある破片、右上腕骨、橈骨、左大腿骨、大腿骨、中手骨/中足骨、基節骨、中節骨、末節骨、基節骨/中節骨、四肢骨、部位不明破片が検出される。

<その他骨類>

カニ類可動指、アカエイ科尾鰭棘、トビエイ科歯板、サメ類歯牙、サメ・エイ類椎骨、ウナギ属、ニシン亜科、ニシン科、ボラ、サヨリ属、メバル亜科、コチ科、スズキ属、ブリ属、アジ科、クロダイ属、マダイ亜科、タイ科、シログチ属、ハゼ科、サバ属、ヒラメ、カレイ科、カエル類、ヘビ類などが検出される。

② HG 2

<鳥類>

四肢骨の破片が検出される。

<哺乳類>

イノシシの右上顎第3門歯・右下顎第3後臼歯・歯牙・右肩甲骨・腰椎・左尺骨、ニホンジカの角の可能性のある破片、獣類の椎骨・肋骨・右脛骨・四肢骨・部位不明破片が検出される。獣類の右脛骨は、近位端が未化石で外れる。

<その他骨貝類>

魚類の鱗棘等が検出される。

③ HG 3

<鳥類>

四肢骨の破片が検出される。

<哺乳類>

タヌキの右下顎骨、ノイヌの頭蓋骨(左右鱗状骨・破片)・左上顎犬歯・上顎前臼歯・左上顎第1後臼歯、イノシシの頭蓋骨(左上顎骨・右前頭骨・頭頂骨・左涙骨・左側頭骨・後頭額・左右耳骨腔・頸静脈突起・破片)・右上顎第3後臼歯・第1頸椎・腰椎・右橈骨・右寛骨、大型獣類の大腿骨・肋骨、獣類の四肢骨・部位不明破片が検出される。

④ SK352

大型獣類の肋骨片である。

⑤ SK354

<鳥類>

四肢骨の破片が検出される。

<哺乳類>

イノシシの右脛骨、ニホンジカの右脛骨、獣類の四肢骨が検出される。

(二) 考察

a 貝塚に含まれる植物遺体

第VI-5層、第VI-18層からは、オニグルミの炭化した核の破片が確認された。オニグルミは高木になる河畔林要素の落葉広葉樹で、核内の子葉が食用可能で収量も多いことから、古くより植物質食料として利用され、縄文時代以降の遺跡出土例も多い(渡辺,1975など)。オニグルミは、当時の遺跡周辺の落葉樹林より持ち込まれ利用された植物質食料と示唆される。さらに、食用にならない核の破片が出土したことから、子葉を取り出した後の食料残渣と考えられ、火を受け炭化したとみなされる。

また、第VI-5層からは、ダイズ属?の炭化した種子が確認された。ダイズ属?は、植物質食料として利用されていた可能性があり、火を受けたとみなされる。縄文時代におけるダイズ属の栽培の可能性については、近年の土器痕跡調査や種実遺体分析により事例が蓄積されつつある(小畑,2008,2011, 那須ほか,2015など)。

b 貝塚を構成する貝類

今回検出された貝類は、岩礁に生育する種類(ヒメコザラ・スガイ・レイシガイ・ナミマガシワ・イワガキ・ウネナシトマヤガイ)、転石上に生育する種類(ヒロクチカノコ・コベルトカニモリ)、海藻上に生育する種類(スズメハマツボ・チャツボ・オチオボグツツボ?・ノミニナ)、潮間帯付近の泥底・砂泥底・砂底に生育する種類(ウミニナ・カワアイ・ネコガイ・アラムシロ・トウガタガイ科・

サルボウガイ・シオフキ・ヒメシラトリ・カガミガイ・アサリ・ハマグリ・オキシジミ・オオノガイ、河口域や汽水域に生育する種類(ヒメカノコ・ヘナタリ・カワザンシヨウガイ・マガキ・ヤマトシジミ)、淡水域に生育する種類(カワナ)、陸産貝類(ヒダリマキゴマガイ・ヤマグルマガイ・キセルガイ科・オカチョウジガイ?・バツラマイマイ?・カサキビガイ・ナミヒメベッコウマイマイ・ウラジロベッコウマイマイ)などである。この内、岩礁域に生育する種類が少なく、本貝塚の主な構成要素となるのはウミニナ・マガキ・シオフキ・ハマグリである。縄文海進が最盛期を過ぎて海退に転じ、周辺に干潟のような環境が広がっていたとみられ、そのような干潟で主に貝類が採取されたと考えられる。

ところで、検出される貝類は、層位により出現傾向に差がみられた。下位の第Ⅷ-16・17層は、ウミニナ、マガキ、ハマグリ、陸産貝類のキセルガイ科が検出されるものの、特に多産する種類がない。また、貝類の検出量も少ない。純貝層とされる第Ⅷ-9層は、ハマグリが中心となり、シオフキを伴い、キセルガイ科も多い。第Ⅷ-8層は、貝類の検出量が少なく、キセルガイ科が最も多く検出される。純貝層とされる第Ⅷ-4層は、キセルガイ科が減少し、マガキを中心にウミニナを伴う。第Ⅵ-18層は、貝類の検出量が少なく、再びキセルガイ科が多産する。純貝層とされる第Ⅵ-14層は、キセルガイ科が減少し、マガキを中心にウミニナを伴う。第Ⅵ-12層は、ウミニナが多産し、マガキを伴う。第Ⅵ-11層は、貝類の検出が極端に少なくなる。第Ⅵ-9層は、ナミマガシワが多産し、ウミニナ、サルボウガイ、シオフキ、ハマグリを伴う。第Ⅵ-5層は、貝類の検出量が少なくなり、キセルガイ科が多産し、ウミニナ、ハマグリを伴う。第Ⅴ-13・14層は、ハマグリが多産し、ウミニナ、マガキ、シオフキを伴う。第Ⅴ-10層は、ウミニナが多産し、ハマグリを伴う。このことから、ある特定の種類を集中して採取し、破棄するような行動があったと考えられる。

また、第Ⅵ-11層は、貝類の検出が極端に少ないことから、短期間のうちに埋まった可能性がある。一方、第Ⅴ-14層、第Ⅵ-5層、第Ⅵ-18層より下位の層準は、陸産貝類のキセルガイ科が多産することから、ある程度の期間、空気に曝された状態であったとみられ、特に第Ⅵ-5層・第Ⅵ-18層・第Ⅷ-8層は地表面となっていた期間が長かった可能性がある。

c 動物遺体

・ カエル類

SM 2の第Ⅴ層で、左右上腕骨と四肢骨片が検出される。比較的大型のカエル類であるが、食用とされていたか不明である。

・ ヘビ類

SM 2の第Ⅴ層、第Ⅵ層、第Ⅶ層、第Ⅷ層、第Ⅸ層で検出される。数量的には少ない。小型の椎骨であり、周辺に棲息していたものが混入したと考えられる。

・ 鳥類

鳥類では、カラス科、スズメ目?、キジ科、クイナ科、カモ科がみられる。

スズメ目の可能性がある破片は、第Ⅴ層・第Ⅷ層・第Ⅸ層で検出される。左腕骨、左尺骨、左手根中手骨、右脛足根骨、左足根中足骨が検出される。極めて小さな骨であることからスズメ目の中でも小型の個体とみられる。その他、カラス科は左右手根中手骨が各1点、クイナ科は左右手根中手骨が各1点程度である。食用とされたかは不明である。

キジ科は、層位別にみると第Ⅳ層、第Ⅴ層、第Ⅵ層、第Ⅶ層、第Ⅷ層、第Ⅸ層、第Ⅹ層などで検

出される。この内、第Ⅴ層は左腕骨から少なくとも2個体、一括取上は右脛足根骨から少なくとも3個体含まれる。

カモ科は、第Ⅲ層、第Ⅳ層、第Ⅴ層、第Ⅵ層、第Ⅶ層、第Ⅷ層、第Ⅸ層、第Ⅹ層などで検出される。この内、Ⅴ層は左腕骨など少なくとも2個体、第Ⅸ層は左右尺骨から少なくとも2個体が含まれる。

上記の通り、キジ科、カモ科は、多くの層位で検出されており、本貝塚で中心となる。なお、キジ科・カモ科で部位別に数量数をみると、上腕骨7点、腕骨15点、尺骨19点、手根中手骨12点、大腿骨3点、脛足根骨6点、足根中足骨2点である。腕骨・尺骨・手根中手骨の部分が圧倒的に多く、肉の少ない翼部分を破棄していたことに意味していると思われる。また、左側、あるいは右側など、左右がある程度まとまった状態で検出される場合もあり、これも解体したものを破棄していることを示唆する。いずれも食料資源として利用された後、破棄されて破片となったものとみられる。

・ ヒト

ヒトは、SM 2の第Ⅴ層、第Ⅶ層、第Ⅷ層でみられた。

第Ⅴ層では、いずれも乳歯が確認される。左上顎第1乳臼歯はエナメル質が若干咬耗していることから萌出済みの歯牙であると判断される。したがって、幼児(1~5歳)後半~小児(6~15歳)前半程度の可能性がある。

第Ⅷ層では、右腕骨・右尺骨・左右大腿骨・末節骨がみられ、比較的大型で、腕骨の近位端が化石化している。このことから、成人(16歳以上)に達していたとみられる。また、比較的頑丈な雰囲気から男性の可能性もある。なお、黒色と炭化している箇所がみられるが、部分的な被熱であることから骨となった状態で火を受けたと考えられる。

第Ⅷ層では、基節骨がみられた。成人と判断されるが、詳細不明である。

なお、第Ⅶ層でも、ヒトの可能性のある中節骨近位端が検出される。成人の可能性もある。

・ ノウサギ

草食性で、北海道を除いた日本各地の原野・森林に生息するとされる。HG 2、SM 2の第Ⅰ層・第Ⅲ層・第Ⅴ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層・第Ⅸ層・第Ⅹ層で出土する。この内、SM 2の第Ⅴ層は右上顎第2前臼歯から3個体が含まれる。解体に伴う痕跡が特にみられないものの、食用資源として利用されていたのであろう。

・ ノイヌ

縄文時代に広く飼育されていた哺乳類である。SM 2の第Ⅰ層・第Ⅲ層・第Ⅴ層・第Ⅷ層などで出土する。

第Ⅲ層の右上顎骨は、犬歯~第1後臼歯が植立し、右腕骨の遠位端が化石化していることから15歳以上とみられる。

第Ⅷ層の左下顎骨は、第3前臼歯~第2後臼歯が植立し、0.5歳以上とみられる。下顎骨全長は、長谷部(1952)の示す小型サイズとなり、山内(1957)の体高推定式に基づくと体高約26cmとなり、極めて小型のサイズであり、成獣に達していない可能性もある。

N309・310の左右下顎骨は、犬歯~第2後臼歯が植立することから、0.5歳以上とみられる。サイズ的には、N311よりも大型である。

この他、N308の左上腕骨が0.5歳以上、N313の左大腿骨とN312の左腕骨が1.5歳以上、N1637・1638の頭蓋が3ヶ月以上である。なお、左腕骨は、山内(1957)の体高推定式に基づくと体高34.5cm

となり、小型サイズのイヌである。

なお、N310の右下顎骨は炭化する箇所があるが、部分的な被熱であることから骨となった状態で火を受けたと考えられる。

・ タヌキほかイヌ科

タヌキは、雑食性で水辺の草地付近の森や下生えの茂った森などに生息するとされている。右下顎骨とタヌキの可能性のある右下顎骨と右脛骨の破片がみられた。また、イヌ科としては、多くの部位がみられたが、この中には、ノイヌやタヌキが含まれると思われる。

・ イノシシ

生息域は低山帯～平地の雑草が繁茂する森林～草原で、水場が近い場所を好むとされている。HG 2、HG 3、SK354、SM 2で検出されており、哺乳類の中で最も多く出土する。SM 2に多く、層別別にみると第Ⅷ層に集中し、次いで第Ⅴ層で多い。

小池・林(1984)の年齢グループ、すなわち新生児・3ヶ月齢がⅠグループ、6ヶ月齢(0.5歳)がⅡグループ、18ヶ月齢(1.5歳)がⅢグループ、30ヶ月齢(2.5歳)がⅣグループ、42ヶ月齢(3.5歳)がⅤグループ、45ヶ月齢以上がⅥグループにしたがって、SM 2で出土したイノシシについて層別別に最小個体数・年齢構成をまとめてみた(表82)。これで見ると、成獣もみられるが、年齢グループでみると、0ないしⅠグループが多く検出されており、幼獣個体が大部分を占めている。

・ ニホンジカ

ニホンジカは、広葉樹林内やその周辺の草地などに生息するとされる。HG 2、SK354、SM 2の第Ⅴ層・第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層などで検出されるが、イノシシに比較して極端に少ない。骨端が未癒合の四肢骨が検出され、幼獣が主体となっている。食料資源としてだけでなく、中手骨/中足骨や角などは骨角器の素材としても利用されている。

・ 他の哺乳類

今回、検出された種類の中で、モグラ類が第Ⅴ層・第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層などで、ネズミ類が第Ⅰ層・第Ⅲ層・第Ⅳ層・第Ⅴ層・第Ⅵ層・第Ⅶ層・第Ⅷ層・第Ⅷ層・第Ⅸ層・第Ⅹ層で検出される。これらは、貝塚周辺に生育していたものが、遺構が埋まる過程において混入した可能性が高い。

また、イタチの可能性のある左脛骨が、SM 2の第Ⅹ層で検出されている。イタチは、半水性で水辺を好み、森林地帯や開けた草原等でも活動するとされている。

・ 魚類等

魚類では、アカエイ科、トビエイ科、ウナギ属、ニシン亜科、サヨリ属、メバル亜科、コチ科、アイナメ属、スズキ属、ブリ属、アジ科、クロダイ属、マダイ亜科、シロクチ属、ハゼ科、サハ属、ヒラメ、カレイ科などが検出されており、これらを食料資源として利用していたことが伺える。

内湾沿岸部だけでなく、岩礁地、沖合などで採取されており、また中にはウナギ属などのように河川で採取しているものも含まれる。なお、ニシン亜科のように動植物プランクトンを摂取する種類が含まれることから、釣だけでなく網での漁法も行われていたことが伺える。なお、貝試料から検出されなかった種類として、カニ類も少量ながらみられた。

表 82 地点別・層位別イノシシ最小個体数および年齢構成

地点	層位	層位別 最小 個体数	遺物 No.	部位	年齢 グループ	備考
HG2	堆積土上層	1	N1620	右上顎第3門歯	0 / 1	
			N1617	右肩甲骨	成獣?	
	堆積土下層	4	N1618	右肩甲骨	幼獣	
			N1619	歯牙片	不明	
			N1621	右下顎第3後臼歯	V	
HG3	乳所中層	1	N1657	右寛骨	成獣	
	乳所下層	1	N1656	腰椎	幼獣	
SK354	堆積土中	1	N1654	右機骨	0以上	
	覆土中	1	N1668	右脛骨	0以上	
SM2	第I層	1	N367	尺骨?	不明	
	第II層	1	N368	右上顎第3乳門歯	0 / 1	
	第III層	2	N371	右上顎乳犬歯	0 / 1	
			N370	右下顎第1門歯	II以上	
	第IV層	3	N374・376・377	頭蓋骨・右肩甲骨・左上顎第1乳門歯等	0	
			N372	左肩甲骨	成獣	
			N379	左下顎骨	III	M1-2 植立, M3 途中
	第V層	4	N387	左上顎乳犬歯	0 / 1	
			N388	左上顎乳犬歯	0 / 1	
			N396	左上顎第3後臼歯	V	咬耗指数 II
			N380	右脛骨	0以上	骨端化石化
	第VI層	2	N436	後臼歯	0 / 1	未出歯牙
			N433・434	左右上顎第1門歯	II以上	
	第VII層	1	N440	左下顎骨	I	左 dm1-3, M1 植立, M2 途中
			N464・468	左右下顎骨	0	dm3 途中
	第VIII層	5	N465・467	左右下顎骨	0	dm3 未出
			N466	右下顎骨	0	dm2, 3 植立
			N448	左下顎骨	I	M1 植立, P4 未出
			N461	右下顎第3門歯	0 / 1	未出歯牙
			N526	右下顎第2門歯等	I ~ II	
	第IX層	3	N534	左下顎骨	0	dm2-3 植立, M1 出直前
			N525	左下顎第3乳臼歯	0 / 1	
			N540	左第5中手骨	0	遠位端未化石外れ
	第X層	2	N541	左肩甲骨	成獣	

表83 SM2 出土鳥類同定結果(1)

遺構	遺物 No.	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N 3	第V-11層	カラス科	手根中手骨	左	五位端	1			
SM2	N 4	第IV-3層	カラス科	手根中手骨	右	五位端欠	1			
SM2	N 5	第V層	スズメ目?	腕骨	左	五位端	1			
SM2	N 6	第V層	スズメ目?	腕骨	左	五位端	1			
SM2	N 7	第V層	スズメ目?	尺骨	左	五位端破片	1			
SM2	N 8	第V層	スズメ目?	手根中手骨	左	略定	1			
SM2	N 9	第V層	スズメ目?	足根中足骨	左	五位端破片	1	○		
SM2	N10	第VII-6層	スズメ目?	腕骨	左	五位端欠	1			
SM2	N11	第VII-6層	スズメ目?	尺骨	左	五位端	1			
SM2	N12	Bトレンナ	スズメ目?	足根中足骨	左	五位端	1			
SM2	N13	第V-36層	スズメ目	距足根骨	右	五位端	1			
SM2	N14	第V層	キジ科?	上腕骨	右	内端欠	1			
SM2	N15	第V層	キジ科?	尺骨	左	五位端	1			
SM2	N16	第V層	キジ科?	手根中手骨	右	五位端	1			
SM2	N17	第IX層	キジ科?	大顎骨	左	五位端破片	1			
SM2	N18	第IX層	キジ科?	距足根骨	左	五位端破片	1			
SM2	N19	第IX層	キジ科?	距足根骨	左	破片	1			
SM2	N20	第V-14層	キジ科	手根中手骨	右	略定	1			
SM2	N21	第IX層	キジ科	上腕骨	左	略定	1			
SM2	N22	第V-12層	キジ科	腕骨	左	五位端	1			
SM2	N23	第V層	キジ科	鳥口骨	左	五位端	1			
SM2	N24	第V層	キジ科	上腕骨	右	五位端	1			
SM2	N25	第V層	キジ科	腕骨	左	略定	1			
SM2	N26	第V層	キジ科	尺骨	右	五位端欠	1			
SM2	N27	第V層	キジ科	手根中手骨	右	五位端	1			
SM2	N28	第V層	キジ科	距足根骨	右	略定	1			内端破損
SM2	N29	第IX層	キジ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N30	第IX層	キジ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N31	第IX層	キジ科	手根中手骨	右	五位端	1			
SM2	N32	第VII-4層	キジ科	上腕骨	左	五位端	1			
SM2	N33	第IX層	キジ科	尺骨	右	五位端	1	○		
SM2	N34	第IX-3層	キジ科	肩甲骨	右	破片	1			
SM2	N35	第IX層	キジ科	尺骨	左	五位端欠	1			
SM2	N36	第IX層	キジ科	尺骨	右	五位端欠	1			
SM2	N37	第IX-7層	キジ科	鳥口骨	右	五位端	1			
SM2	N38	第IX-7層	キジ科	距足根骨	右	五位端欠	1			
SM2	N39	第IX-13層	キジ科	手根中手骨	右	五位端	1			
SM2	N40	第IX-13層	キジ科	距足根骨	右	略定	1			
SM2	N41	第X層	キジ科	肩甲骨	左	破片	1			
SM2	N42	第X層	キジ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N43	第X層	キジ科	尺骨	左	五位端破片	1			
SM2	N44	第X層	キジ科	大顎骨	右	略定	1			
SM2	N45	第X層	キジ科	足根中足骨	左	略定	1			
SM2	N46	Aトレンナ	キジ科	距足根骨	右	略定	1			
SM2	N47	Bトレンナ	キジ科	肩甲骨	右	破片	1			
SM2	N48	Bトレンナ	キジ科	上腕骨	左	五位端	1	○		
SM2	N49	第IX層	クイナ科	手根中手骨	右	五位端	1			
SM2	N50	第IX-14層	クイナ科	手根中手骨	左	五位端	1			
SM2	N51	第IX層	カモ科?	鳥口骨	左	五位端破片	1			
SM2	N52	第V層	カモ科?	尺骨	右	五位端破片	1			
SM2	N53	第IX層	カモ科?	尺骨	左	五位端破片	1	○		
SM2	N54	第IX層	カモ科?	距足根骨	左	五位端破片	1			
SM2	N55	第IX-7層	カモ科?	尺骨	右	五位端破片	1			
SM2	N56	第X層	カモ科?	肩甲骨	右	五位端破片	1			
SM2	N57	第X層	カモ科?	手根中手骨	右	五位端欠	1			
SM2	N58	Bトレンナ	カモ科?	手根中手骨	右	破片	1			
SM2	N59	第VII-2層	カモ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N60	第VII-5層	カモ科	肩甲骨	左	破片	1			
SM2	N61	第V-33層	カモ科	手根中手骨	左	五位端	1	○		
SM2	N62	第V-7層	カモ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N63	第V層	カモ科	腕骨	左	五位端	1	○		
SM2	N64	第V層	カモ科	腕骨	右	五位端	1			
SM2	N65	第V層	カモ科	腕骨	左	破片	1+			
SM2	N66	第V層	カモ科	尺骨	右	五位端破片	1			小型
SM2	N67	第V層	カモ科	尺骨	右	五位端欠	1			
SM2	N68	第V層	カモ科	手根中手骨	左	略定	1			
SM2	N69	第VI-5層	カモ科	大顎骨	右	五位端	1			
SM2	N70	第IX層	カモ科	腕骨	左	五位端	1	○		
SM2	N71	第IX層	カモ科	尺骨	左	五位端	1			
SM2	N72	第IX層	カモ科	尺骨	右	五位端欠	1			
SM2	N73	第IX層	カモ科	手根中手骨	右	五位端	1			

表83 SM2出土鳥類同定結果(2)

遺物	遺物No.	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N74	第Ⅶ-1層	カモ科	尺骨	左	略定	1			
SM2	N75	第Ⅶ-1層	カモ科	腕骨	左	遠位端	1			
SM2	N76	第Ⅶ-18層	カモ科	足指中足骨	左	遠位端	1			
SM2	N77	第Ⅶ層	カモ科	鳥口骨	右	破片	1			
SM2	N78	第Ⅶ層	カモ科	上脛骨	右	遠位端	1			
SM2	N79	第Ⅶ層	カモ科	尺骨	右	遠位端破片	1	○		
SM2	N80	第Ⅶ層	カモ科	手相中手骨	左	略定	1			
SM2	N81	第Ⅷ-6層	カモ科	尺骨	右	遠位端欠	1			
SM2	N82	第Ⅷ-10層	カモ科	腕骨	左	遠位端	1			
SM2	N83	第Ⅷ-10層	カモ科	尺骨	左	略定	1			
SM2	N84	第Ⅷ層	カモ科	腕骨	右	遠位端	1			
SM2	N85	第Ⅷ層	カモ科	尺骨	右	遠位端欠	1			
SM2	N86	第Ⅷ層	カモ科	尺骨	右	略定	1			
SM2	N87	第Ⅷ層	カモ科	腕骨	右	遠位端	1	○		
SM2	N88	Aトレンチ	カモ科	上脛骨	右	遠位端欠	1			
SM2	N89	Aトレンチ	カモ科	尺骨	左	遠位端欠	1			
SM2	N90	Aトレンチ	カモ科	尺骨	右	遠位端	1			
SM2	N91	Aトレンチ	カモ科	手相中手骨	右	略定	1			
SM2	N92	Bトレンチ	カモ科	尺骨	右	遠位端	1			
SM2	N93	Bトレンチ	カモ科	手相中手骨	左	遠位端	1			
SM2	N94	Bトレンチ	カモ科	手相中手骨	右	遠位端	1			
SM2	N95	第I層	鳥類	肩甲骨	左	破片	1			
SM2	N96	第I層	鳥類	四肢骨		破片	5			
SM2	N97	第I層	鳥類	四肢骨		破片	7			
SM2	N98	第I層	鳥類	足指中足骨		遠位端破片	1+			
SM2	N99	第Ⅱ-6層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N100	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N101	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	1	○		
SM2	N102	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N103	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N104	第Ⅱ-5層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N105	第Ⅱ-5層	鳥類	未測骨		略定	1			
SM2	N106	第Ⅱ-6層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N107	第Ⅱ-8層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N108	第Ⅱ-10層	鳥類	手相中手骨	左	遠位端破片	1			
SM2	N109	第Ⅱ-10層	鳥類	距足根骨		破片	1			
SM2	N110	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	9			
SM2	N111	第Ⅱ層	鳥類	複合趾骨		破片	1			
SM2	N112	第Ⅱ-2層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N113	第Ⅱ-5層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N114	第Ⅱ-6層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N115	第Ⅱ-15層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N116	第Ⅱ-33層	鳥類	四肢骨		破片	2			
SM2	N117	第Ⅱ-35層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N118	第Ⅱ層	鳥類	椎骨		破片	4			
SM2	N119	第Ⅱ層	鳥類	上脛骨	左	遠位端	1			
SM2	N120	第Ⅱ層	鳥類	上脛骨	右	遠位端破片	1			
SM2	N121	第Ⅱ層	鳥類	距足根骨		破片	1			
SM2	N122	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N123	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N124	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	6			
SM2	N125	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	3	○		
SM2	N126	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	59			
SM2	N127	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	5	○		
SM2	N128	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	4			
SM2	N129	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N130	第Ⅱ-7層	鳥類	四肢骨		破片	1			
SM2	N131	第Ⅱ-7層	鳥類	四肢骨		破片	1+	○		
SM2	N132	第Ⅱ-15層	鳥類	腕骨	右	遠位端	1			
SM2	N133	第Ⅱ-15層	鳥類	四肢骨		破片	7			
SM2	N134	第Ⅱ-18層	鳥類	未測骨		略定	1			
SM2	N135	第Ⅱ層	鳥類	上脛骨	左	遠位端破片	1			
SM2	N136	第Ⅱ層	鳥類	上脛骨	右	破片	1			
SM2	N137	第Ⅱ層	鳥類	尺骨	右	遠位端	1			小型
SM2	N138	第Ⅱ層	鳥類	距足根骨	左	遠位端	1			
SM2	N139	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	5			
SM2	N140	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	3			
SM2	N141	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	3			
SM2	N142	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	5	○		
SM2	N143	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	14			
SM2	N144	第Ⅱ層	鳥類	四肢骨		破片	2	○		

表83 SM2 出土鳥類同定結果(3)

遺構	遺物 No.	層位	種類	部位	左	右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N145	第3層	鳥類	末節骨			略定	2			
SM2	N146	第3層	鳥類	四肢骨			破片	12			
SM2	N147	第3層	鳥類	四肢骨			破片	6			
SM2	N148	第3層	鳥類	四肢骨			破片	5			
SM2	N149	第3層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N150	第4層-4層	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N151	第4層-4層	鳥類	四肢骨			破片	1	○		
SM2	N152	第4層-6層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N153	第4層-8層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N154	第4層-9層	鳥類	大頰骨		右	五位端破片	1			
SM2	N155	第4層-11層	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N156	第4層-14層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N157	第4層-16層	鳥類	四肢骨			破片	1	○		
SM2	N158	第4層-17層	鳥類	距足根骨		右	五位端破片	1			
SM2	N159	第4層-17層	鳥類	足根中足骨			五位端破片	1			
SM2	N160	第4層-17層	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N161	第4層	鳥類	大指基部骨			破片	1			大型
SM2	N162	第4層	鳥類	距足根骨		右	五位端	1			
SM2	N163	第4層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N164	第4層	鳥類	四肢骨			破片	18			
SM2	N165	第4層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N166	第4層	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N167	第4層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N168	第4層	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N169	第5層-10層	鳥類	椎骨			五位端	1			
SM2	N170	第5層-10層	鳥類	四肢骨			破片	3			
SM2	N171	第5層	鳥類	椎骨			破片	1			
SM2	N172	第5層	鳥類	足根中足骨	左		五位端破片	1	○		
SM2	N173	第5層	鳥類	四肢骨			破片	9			
SM2	N174	第5層	鳥類	四肢骨			破片	9			
SM2	N175	第5層	鳥類	四肢骨			破片	3			
SM2	N176	第5層	鳥類	椎骨		右	五位端欠	1			
SM2	N177	第5層-7層	鳥類	椎骨			破片	1			
SM2	N178	第5層-7層	鳥類	複合趾骨			破片	1			
SM2	N179	第5層-7層	鳥類	椎骨			五位端破片	1			
SM2	N180	第5層-7層	鳥類	末節骨			略定	1			
SM2	N181	第5層-13層	鳥類	上腕骨		右	五位端破片	1			
SM2	N182	第5層-13層	鳥類	末節骨			略定	1			
SM2	N183	第5層	鳥類	尺骨			破片	1			
SM2	N184	第5層	鳥類	距足根骨		右	五位端破片	1			
SM2	N185	第5層	鳥類	距足根骨			五位端破片	1			
SM2	N186	第5層	鳥類	四肢骨			破片	7			
SM2	N187	第5層	鳥類	四肢骨			破片	5			
SM2	N188	第5層	鳥類	四肢骨			破片	1	○		
SM2	N189	第5層	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N190	第5層	鳥類	四肢骨			破片	17 +			
SM2	N191	A トレンチ	鳥類	距足根骨		右	五位端破片	1			
SM2	N192	A トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	2			
SM2	N193	A トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N194	A トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N195	A トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N196	A トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N197	B トレンチ	鳥類	椎骨			略定	1			
SM2	N198	B トレンチ	鳥類	大指基部骨			略定	1			
SM2	N199	B トレンチ	鳥類	距足根骨	左		五位端破片	1			
SM2	N200	B トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	3			
SM2	N201	B トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	6			
SM2	N202	B トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	1			
SM2	N203	B トレンチ	鳥類	四肢骨			破片	2	○		

表84 SM2出土哺乳類同定結果(8)

遺構	遺物No.	層位	種類	部位	左	右	状態等	数量	視別	CM	備考	年齢
SM2	N806	第IX層	獣類	不明			破片	2	○			
SM2	N807	第X-7層	獣類	歯牙			破片	3				
SM2	N808	第X-7層	獣類	鼻骨			略定	1				
SM2	N809	第X-7層	獣類	中肋骨			略定	1				
SM2	N810	第X-7層	獣類	不明			破片	1	○			
SM2	N811	第X-13層	獣類	中肋骨			略定	1				
SM2	N812	第X-13層	獣類	基肋骨 / 中肋骨			位置推定	1				
SM2	N813	第X-13層	獣類	四肢骨			破片	2				
SM2	N814	第X層	獣類	肋骨骨?			破片	1				
SM2	N815	第X層	獣類	中手骨 / 中足骨			位置推定	2				
SM2	N816	第X層	獣類	中手骨 / 中足骨			位置推定	1				
SM2	N817	第X層	獣類	基肋骨			略定	1				
SM2	N818	第X層	獣類	基肋骨			位置推定	1				
SM2	N819	第X層	獣類	中肋骨			位置推定	4				
SM2	N820	第X層	獣類	基肋骨 / 中肋骨			位置推定	2				
SM2	N821	第X層	獣類	四肢骨			破片	2				
SM2	N822	第X層	獣類	四肢骨			破片	3				
SM2	N823	第X層	獣類	四肢骨			破片	1	○		両端未化石外れ	
SM2	N824	第X層	獣類	四肢骨			破片	1				
SM2	N825	第X層	獣類	四肢骨			破片	1				
SM2	N826	第X層	獣類	不明			破片	3				
SM2	N827	Aトレンナ	獣類	肋骨			破片	1				
SM2	N828	Aトレンナ	獣類	肋骨			破片	1				
SM2	N829	Aトレンナ	獣類	上腕骨		右	遠位薄破片	1	○			
SM2	N830	Aトレンナ	獣類	四肢骨			破片	2				
SM2	N831	Aトレンナ	獣類	不明			破片	13*				
SM2	N832	Aトレンナ	獣類	不明			破片	5	○			
SM2	N833	Aトレンナ	獣類	不明			破片	2				
SM2	N834	Aトレンナ	獣類	不明			破片	2				
SM2	N835	Aトレンナ	獣類	不明			破片	1				
SM2	N836	Bトレンナ	獣類	中手骨 / 中足骨			位置推定	1				
SM2	N837	Bトレンナ	獣類	中肋骨			略定	1				
SM2	N838	Bトレンナ	獣類	肋骨			破片	6				
SM2	N839	Bトレンナ	獣類	四肢骨			破片	1			かじり痕有	
SM2	N840	Bトレンナ	獣類	四肢骨			破片	4*				
SM2	N841	Bトレンナ	獣類	四肢骨			破片	3				
SM2	N842	Bトレンナ	獣類	四肢骨			破片	1				
SM2	N843	Bトレンナ	獣類	不明			破片	15*				
SM2	N844	Bトレンナ	獣類	不明			破片	2				
SM2	N845	Bトレンナ	獣類	不明			破片	6	○			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(1)

道標	遺物No	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N846	第1層	サメ・エイ類	椎骨		略定	5			
SM2	N847	第1層	ウナギ風	主上顎骨・歯槽		破片	1			
SM2	N848	第1層	ウナギ風	歯骨	左	破片	1			
SM2	N849	第1層	ウナギ風	腹椎		略定	4			
SM2	N850	第1層	ウナギ風	尾椎		破片	1			
SM2	N851	第1層	ニシン亜科	第1椎骨		略定	5			
SM2	N852	第1層	ニシン亜科	第2椎骨		略定	3			
SM2	N853	第1層	ニシン科	腹椎		破片	2			
SM2	N854	第1層	ニシン科	腹椎		破片	1	○		
SM2	N855	第1層	ニシン科	腹椎		破片	4			
SM2	N856	第1層	ニシン科	尾椎		破片	3			
SM2	N857	第1層	ニシン科	尾椎		破片	1	○		
SM2	N858	第1層	ボラ	主上顎骨	右	破片	1			
SM2	N859	第1層	ボラ	腹椎		破片	5			
SM2	N860	第1層	ボラ	椎骨		破片	1			
SM2	N861	第1層	コナ科	歯骨	右	破片	2			
SM2	N862	第1層	コナ科	歯骨	右	破片	1			
SM2	N863	第1層	スズキ風	尾椎		破片	4			
SM2	N864	第1層	ハゼ科	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N865	第1層	ハゼ科	歯骨	左	破片	1			
SM2	N866	第1層	ハゼ科	第1椎骨		破片	2			
SM2	N867	第1層	ハゼ科	腹椎		破片	5			
SM2	N868	第1層	カレイ科	尾椎		破片	1			
SM2	N869	第1層	魚類	紡錘等		破片	6	○		
SM2	N870	第1層	魚類	紡錘等		破片	2			
SM2	N871	第1層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(126g)
SM2	N872	第1層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(134g)
SM2	N873	第1層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(17.72g)
SM2	N874	第2-1層	ニシン亜科	腹椎		略定	2			
SM2	N875	第2-1層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N876	第2-1層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.05g)
SM2	N877	第2-1層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.05g)
SM2	N878	第2-2層	ニシン亜科	腹椎		破片	1			
SM2	N879	第2-2層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N880	第2-2層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.08g)
SM2	N881	第2-2層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.06g)
SM2	N882	第2-2層	ウナギ風	尾椎		破片	1			
SM2	N883	第2-2層	ニシン亜科	第1椎骨		破片	1			
SM2	N884	第2-2層	ニシン亜科	第2椎骨		破片	1			
SM2	N885	第2-2層	ニシン科	歯骨	右	破片	1			
SM2	N886	第2-2層	ニシン科	尾椎		破片	2			
SM2	N887	第2-2層	ハゼ科	歯骨	右	破片	1			
SM2	N888	第2-2層	ハゼ科	腹椎		破片	1			
SM2	N889	第2-2層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(1.28g)
SM2	N890	第2-3層	ウナギ風	腹椎		略定	1			
SM2	N891	第2-3層	スズキ風	主上顎骨	左	破片	1			
SM2	N892	第2-3層	魚類	紡錘等		破片	1			
SM2	N893	第2-3層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(2.98g)
SM2	N894	第2-4層	魚類	紡錘等		破片	3			
SM2	N895	第2-5層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.5g)
SM2	N896	第2-5層	不明	不明		破片	2			
SM2	N897	第2-6層	サメ・エイ類	椎骨		略定	1			
SM2	N898	第2-6層	ニシン亜科	第2椎骨		破片	1			
SM2	N899	第2-6層	スズキ風?	方骨	左	破片	1			
SM2	N900	第2-6層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.75g)
SM2	N901	第2-7層	魚類	紡錘等		破片	3			
SM2	N902	第2-8層	スズキ風	尾椎		破片	1			
SM2	N903	第2-8層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(0.4g)
SM2	N904	第2-9層	サメ・エイ類	椎骨		略定	1			
SM2	N905	第2-9層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N906	第2-9層	コナ科	前上顎骨	右	破片	1			
SM2	N907	第2-9層	コナ科	尾椎		破片	1			
SM2	N908	第2-9層	脊椎動物門	不明		破片	3			魚類中心(3.11g)
SM2	N909	第3層	ニシン亜科	第1椎骨		略定	1			
SM2	N910	第3層	ニシン科	腹椎		破片	2			
SM2	N911	第3層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N912	第3層	スズキ風	歯骨	左	破片	1			
SM2	N913	第3層	スズキ風	尾椎		破片	1			
SM2	N914	第3層	ハゼ科	歯骨	右	破片	1			
SM2	N915	第3層	ウナギ風	腹椎		破片	1			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(2)

遺構	遺物 No.	層位	種別	部位	左	右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N916	第Ⅱ層	ウナギ属	尾椎			破片	1			
SM2	N917	第Ⅱ層	魚類	鱗鱗等			破片	1			
SM2	N918	第Ⅱ層	魚類	不明			破片	1			
SM2	N919	第Ⅱ層	魚類	不明			破片	2			
SM2	N920	第Ⅱ層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.89g)
SM2	N921	第Ⅱ層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(2.39g)
SM2	N922	第Ⅳ-3層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N923	第Ⅳ-3層	ニシン科	尾椎			破片	2			
SM2	N924	第Ⅳ-3層	ウナギ属	尾椎			略定	2			
SM2	N925	第Ⅳ-3層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N926	第Ⅳ-3層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.22g)
SM2	N927	第Ⅳ-3層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(2.12g)
SM2	N928	第Ⅳ-4層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N929	第Ⅳ-4層	ウナギ属	尾椎			略定	3			
SM2	N930	第Ⅳ-4層	ニシン科	尾椎			破片	2			
SM2	N931	第Ⅳ-4層	メバル亜科	尾椎			破片	1			
SM2	N932	第Ⅳ-4層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.32g)
SM2	N933	第Ⅳ-5層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N934	第Ⅳ-5層	ウナギ属	尾椎			略定	2			
SM2	N935	第Ⅳ-5層	ウナギ属	尾椎			略定	1			
SM2	N936	第Ⅳ-5層	ウナギ属	尾椎			破片	2			
SM2	N937	第Ⅳ-5層	スズキ属?	尾椎			破片	1			
SM2	N938	第Ⅳ-5層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(3.83g)
SM2	N939	第Ⅳ-5層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.28g)
SM2	N940	第Ⅳ-7層	スズキ属	尾椎			破片	1			
SM2	N941	第Ⅳ-7層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.28g)
SM2	N942	第Ⅳ-8層	コナ科	尾椎			破片	1			
SM2	N943	第Ⅳ-8層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.84g)
SM2	N944	第Ⅳ-9層	ウナギ属	尾椎			略定	1			
SM2	N945	第Ⅳ-9層	脊椎動物門	不明			破片	多数			
SM2	N946	第Ⅳ-10層	アガイ科	尾鱗鱗			破片	2			
SM2	N947	第Ⅳ-10層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N948	第Ⅳ-10層	ウナギ属	尾椎			略定	1			
SM2	N949	第Ⅳ-10層	ウナギ属	尾椎			略定	3			
SM2	N950	第Ⅳ-10層	ウナギ属	尾椎			略定	2			
SM2	N951	第Ⅳ-10層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N952	第Ⅳ-10層	ボラ	尾椎			破片	1			
SM2	N953	第Ⅳ-10層	ボラ	尾椎			破片	4			
SM2	N954	第Ⅳ-10層	コナ科	主上顎骨		右	破片	1			
SM2	N955	第Ⅳ-10層	スズキ属	主上顎骨	左		破片	1			
SM2	N956	第Ⅳ-10層	スズキ属	主上顎骨		右	破片	1			
SM2	N957	第Ⅳ-10層	スズキ属	歯骨		右	破片	1			
SM2	N958	第Ⅳ-10層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N959	第Ⅳ-10層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N960	第Ⅳ-10層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N961	第Ⅳ-10層	マダイ亜科	歯骨		右	破片	1			
SM2	N962	第Ⅳ-10層	ハゼ科	尾椎			破片	1			
SM2	N963	第Ⅳ-10層	ハゼ科	尾椎			破片	2			
SM2	N964	第Ⅳ-10層	ハゼ科	尾椎			破片	3			
SM2	N965	第Ⅳ-10層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.34g)
SM2	N966	第Ⅳ-10層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.32g)
SM2	N967	第Ⅳ-10層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.81g)
SM2	N968	第Ⅳ-10層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.90g)
SM2	N969	第Ⅳ-11層	スズキ属	上脛骨	左		破片	1			
SM2	N970	第Ⅳ-11層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.41g)
SM2	N971	第Ⅳ-12層	コナ科	前鰓蓋骨	左		破片	1			
SM2	N972	第Ⅳ-12層	脊椎動物門	不明			破片	多数			
SM2	N973	第Ⅳ-13層	ウナギ属	尾椎			破片	2			
SM2	N974	第Ⅳ-13層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N975	第Ⅳ-13層	スズキ属	尾椎			破片	1			
SM2	N976	第Ⅳ-13層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.22g)
SM2	N977	第Ⅳ-14層	ウナギ属	歯骨	左		破片	1			
SM2	N978	第Ⅳ-14層	ウナギ属	尾椎			略定	1			
SM2	N979	第Ⅳ-14層	ウナギ属	尾椎			破片	4			
SM2	N980	第Ⅳ-14層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N981	第Ⅳ-14層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N982	第Ⅳ-14層	タイ科?	尾椎			破片	1			
SM2	N983	第Ⅳ-14層	ハゼ科	尾椎			破片	2			
SM2	N984	第Ⅳ-14層	ハゼ科	尾椎			破片	1			
SM2	N985	第Ⅳ-14層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.62g)

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(3)

道標	遺物 No.	層位	種別	部位	左右	状態等	数量	焼熱	CM	備考
SM2	N986	第IV層	サメ・エイ類	椎骨		略定	1			
SM2	N987	第IV層	ウナギ属	歯骨	右	破片	1			
SM2	N988	第IV層	ウナギ属	歯骨		破片	3			
SM2	N989	第IV層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N990	第IV層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N991	第IV層	ボラ	歯骨		破片	1			
SM2	N992	第IV層	ボラ	尾椎		破片	1			
SM2	N993	第IV層	スズキ属	尾椎		破片	1			
SM2	N994	第IV層	アジ科?	歯骨		破片	1			
SM2	N995	第IV層	ハゼ科	歯骨		破片	2			
SM2	N996	第IV層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(7.32g)
SM2	N997	第IV層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.6g)
SM2	N998	第V-1層	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N999	第V-2層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1000	第V-2層	魚類	棘刺等		破片	16			
SM2	N1001	第V-2層	魚類	不明		破片	2			
SM2	N1002	第V-2層	不明	不明		破片	7+			
SM2	N1003	第V-3層	サメ・エイ類	椎骨		略定	2			
SM2	N1004	第V-3層	ウナギ属	尾椎		破片	2			
SM2	N1005	第V-3層	ニシン科	歯骨		破片	1			
SM2	N1006	第V-3層	ニシン科	歯骨		破片	2			
SM2	N1007	第V-3層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1008	第V-3層	ハゼ科	第1肋骨		破片	1			
SM2	N1009	第V-3層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(1.25g)
SM2	N1010	第V-4層	ウナギ属	尾椎		破片	3			
SM2	N1011	第V-4層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1012	第V-4層	ボラ	歯骨		破片	1			
SM2	N1013	第V-4層	クロダイ属	前上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1014	第V-4層	ハゼ科	尾椎		破片	2			
SM2	N1015	第V-4層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(2.07g)
SM2	N1016	第V-5層	ウナギ属	歯骨		略定	2			
SM2	N1017	第V-5層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1018	第V-5層	ハゼ科	歯骨		破片	2			
SM2	N1019	第V-5層	ハゼ科	尾椎		破片	2			
SM2	N1020	第V-5層	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N1021	第V-5層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.99g)
SM2	N1022	第V-6層	ウナギ属	歯骨		破片	1			
SM2	N1023	第V-6層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1024	第V-6層	魚類	不明		破片	1			
SM2	N1025	第V-6層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(1.26g)
SM2	N1026	第V-7層	サメ・エイ類	椎骨		略定	1			
SM2	N1027	第V-7層	ウナギ属	尾椎		略定	3			
SM2	N1028	第V-7層	ニシン科	歯骨		破片	1			
SM2	N1029	第V-7層	ニシン科	歯骨		破片	2			
SM2	N1030	第V-7層	スズキ属	上上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1031	第V-7層	ハゼ科	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1032	第V-7層	ハゼ科	歯骨		破片	1			
SM2	N1033	第V-7層	サハ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1034	第V-7層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(2.44g)
SM2	N1035	第V-8層	ボラ	尾椎		破片	1			
SM2	N1036	第V-8層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.88g)
SM2	N1037	第V-9層	ニシン科	尾椎		破片	2			
SM2	N1038	第V-9層	タイ科	歯牙(臼歯状)		破片	1			
SM2	N1039	第V-9層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.62g)
SM2	N1040	第V-10層	ウナギ属	歯骨		略定	1			
SM2	N1041	第V-10層	ボラ	終尾椎		破片	1			
SM2	N1042	第V-10層	スズキ属	歯骨		破片	1			
SM2	N1043	第V-10層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(3.39g)
SM2	N1044	第V-11層	アカエイ科	尾棘刺		破片	1			
SM2	N1045	第V-11層	ボラ	歯骨		破片	1			
SM2	N1046	第V-11層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.8g)
SM2	N1047	第V-12層	ウナギ属	歯骨		略定	1			
SM2	N1048	第V-12層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1049	第V-12層	魚類	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1050	第V-12層	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N1051	第V-12層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.59g)
SM2	N1052	第V-13層	ウナギ属	尾椎		破片	2			
SM2	N1053	第V-13層	ハゼ科	歯骨		破片	1			
SM2	N1054	第V-13層	ハゼ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1055	第V-13層	脊椎動物門	不明		破片	多数			魚類中心(0.68g)

表85 SM2 出土その他骨類等同定結果(4)

遺構	遺物 No.	層位	種類	部位	左	右	状態等	数量	焼結	CM	備考
SM2	N1066	第V-14層	アカエイ科	尾鰭棘			破片	4			
SM2	N1067	第V-14層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N1068	第V-14層	ウナギ属	尾鰭			略定	2			
SM2	N1069	第V-14層	ウナギ属	尾鰭			破片	3			
SM2	N1060	第V-14層	ニシン科	尾鰭			破片	2			
SM2	N1061	第V-14層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1062	第V-14層	ボラ	尾鰭			破片	1			
SM2	N1063	第V-14層	ボラ	尾鰭			破片	1			
SM2	N1064	第V-14層	スズキ属	尾鰭			破片	1			
SM2	N1065	第V-14層	アジ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1066	第V-14層	クロダイ属	前上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1067	第V-14層	ハゼ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1068	第V-14層	ハゼ科	尾鰭			破片	5			
SM2	N1069	第V-14層	ハゼ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1070	第V-14層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(6.22g)
SM2	N1071	第V-15層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N1072	第V-15層	ウナギ属	尾鰭			破片	3			
SM2	N1073	第V-15層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1074	第V-15層	ボラ	尾鰭			破片	1			
SM2	N1075	第V-15層	タイ科	方骨	左		破片	1			
SM2	N1076	第V-15層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(3.51g)
SM2	N1077	第V-16層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1078	第V-16層	ハゼ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1079	第V-16層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.76g)
SM2	N1080	第V-16層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(2.16g)
SM2	N1081	第V-17層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1082	第V-17層	アジ属?	歯骨	左		破片	1			
SM2	N1083	第V-17層	タイ科	歯骨(犬歯状)	左		破片	1			
SM2	N1084	第V-17層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.4g)
SM2	N1085	第V-17層	コナ科?	肋骨	左		破片	1			
SM2	N1086	第V-17層	スズキ属	尾鰭			破片	1			
SM2	N1087	第V-17層	スズキ属	上眼蓋骨?	左		略定	1			
SM2	N1088	第V-17層	魚類	前上顎骨?			破片	1			
SM2	N1089	第V-17層	魚類	尾鰭			略定	1			
SM2	N1090	第V-17層	魚類	棘刺等			破片	26			
SM2	N1091	第V-33層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N1092	第V-33層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1093	第V-33層	ニシン科	尾鰭			破片	2			
SM2	N1094	第V-33層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1095	第V-33層	スズキ属	前上顎骨	左		破片	1			
SM2	N1096	第V-33層	スズキ属	尾鰭			破片	2			
SM2	N1097	第V-33層	スズキ属	尾鰭			破片	1			
SM2	N1098	第V-33層	タイ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1099	第V-33層	魚類	棘刺等			破片	1			
SM2	N1100	第V-33層	魚類	不明			破片	1			
SM2	N1101	第V-33層	魚類	尾鰭			破片	3			
SM2	N1102	第V-33層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.16g)
SM2	N1103	第V-33層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(2.6g)
SM2	N1104	第V-34層	トビエイ科	歯板			破片	1			
SM2	N1105	第V-34層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N1106	第V-34層	ウナギ属	尾鰭			略定	1			
SM2	N1107	第V-34層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1108	第V-34層	ボラ	尾鰭			破片	2			
SM2	N1109	第V-34層	ボラ?	方骨		右	破片	1			
SM2	N1110	第V-34層	スズキ属	尾鰭			破片	5			
SM2	N1111	第V-34層	ハゼ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1112	第V-34層	ハゼ科	尾鰭			破片	2			
SM2	N1113	第V-34層	サハ属	尾鰭			破片	1			
SM2	N1114	第V-34層	クロダイ属	前上顎骨	左		破片	1			
SM2	N1115	第V-34層	タイ科	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1116	第V-34層	魚類	尾鰭			破片	1			
SM2	N1117	第V-34層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(3.51g)
SM2	N1118	第V-34層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(4.57g)
SM2	N1119	第V-35層	ウナギ属	尾鰭			略定	1			
SM2	N1120	第V-35層	ニシン科	第2椎骨			破片	1			
SM2	N1121	第V-35層	ニシン科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1122	第V-35層	コナ科	尾鰭			破片	1			
SM2	N1123	第V-35層	タイ科	尾鰭			破片	2			
SM2	N1124	第V-35層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(4.98g)
SM2	N1125	第V-35層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(12.06g)

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(5)

道標	遺物No	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	焼熱	CM	備考
SM2	N1126	第V-36層	トビエ科	歯板		破片	5			
SM2	N1127	第V-36層	ウナギ属	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1128	第V-36層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1129	第V-36層	ニシン亜科	第2椎骨		破片	1			
SM2	N1130	第V-36層	ニシン亜科	腹椎		略定	1			
SM2	N1131	第V-36層	ニシン科	腹椎		破片	2			
SM2	N1132	第V-36層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1133	第V-36層	ボウ	腹椎		破片	1			
SM2	N1134	第V-36層	ボウ	尾椎		破片	2			
SM2	N1135	第V-36層	スズキ属	腹椎		破片	1			
SM2	N1136	第V-36層	スズキ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1137	第V-36層	ハゼ科	腹椎		破片	1			
SM2	N1138	第V-36層	魚類	鱗鱗等		破片	1			
SM2	N1139	第V-36層	脊椎動物門	不明		破片	8粒			魚類中心(174g)
SM2	N1140	第V-36層	脊椎動物門	不明		破片	8粒			魚類中心(218g)
SM2	N1141	第V層	サメ類	歯牙		破片	2			
SM2	N1142	第V層	アカエイ科	尾棘鱗		破片	1			
SM2	N1143	第V層	アカエイ科	尾棘鱗		破片	7			
SM2	N1144	第V層	アカエイ科	尾棘鱗		破片	1	○		
SM2	N1145	第V層	トビエ科	歯板		破片	3			
SM2	N1146	第V層	サメ・エイ類	椎骨		略定	18			
SM2	N1147	第V層	サメ・エイ類	椎骨		略定	2	○		
SM2	N1148	第V層	サメ・エイ類	椎骨		破片	1	○		
SM2	N1149	第V層	ウナギ属	腹椎		破片	5			
SM2	N1150	第V層	ウナギ属	尾椎		破片	5			
SM2	N1151	第V層	ニシン亜科	第2椎骨		破片	1			
SM2	N1152	第V層	ニシン亜科	腹椎		破片	4			
SM2	N1153	第V層	ニシン科	尾椎		破片	3			
SM2	N1154	第V層	ニシン科?	尾椎		破片	1	○		
SM2	N1155	第V層	ボウ	上脛蓋骨	左	破片	1			
SM2	N1156	第V層	ボウ	上脛蓋骨	左	破片	1			
SM2	N1157	第V層	ボウ	上脛蓋骨	右	破片	1			
SM2	N1158	第V層	ボウ	第1椎骨		破片	1			
SM2	N1159	第V層	ボウ	腹椎		破片	4			
SM2	N1160	第V層	ボウ	腹椎		破片	1	○		
SM2	N1161	第V層	ボウ	尾椎		破片	9			
SM2	N1162	第V層	ボウ	尾椎		破片	1	○		
SM2	N1163	第V層	サヨリ属	腹椎		破片	1			
SM2	N1164	第V層	コナ科	前上脛骨	左	破片	1			
SM2	N1165	第V層	コナ科	歯骨	左	破片	3			
SM2	N1166	第V層	コナ科	角骨	左	破片	1			
SM2	N1167	第V層	コナ科	角骨	右	略定	1			
SM2	N1168	第V層	コナ科	前脛蓋骨	左	破片	2			
SM2	N1169	第V層	コナ科	前脛蓋骨	右	破片	1			
SM2	N1170	第V層	コナ科	第1椎骨		破片	1			
SM2	N1171	第V層	コナ科	腹椎		破片	1			
SM2	N1172	第V層	コナ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1173	第V層	スズキ属	前上脛骨	右	破片	1			
SM2	N1174	第V層	スズキ属	上上脛骨	左	破片	3			
SM2	N1175	第V層	スズキ属	歯骨	右	破片	1			
SM2	N1176	第V層	スズキ属	第1椎骨		破片	2			
SM2	N1177	第V層	スズキ属	腹椎		破片	2			
SM2	N1178	第V層	スズキ属	尾椎		破片	14			
SM2	N1179	第V層	スズキ属	上脛蓋骨	左	破片	3			
SM2	N1180	第V層	スズキ属?	歯骨		破片	1			
SM2	N1181	第V層	スズキ属?	角骨	右	破片	1			
SM2	N1182	第V層	ブリ属	尾椎		破片	2			
SM2	N1183	第V層	クロダイ属	前上脛骨	左	破片	2			
SM2	N1184	第V層	クロダイ属	前上脛骨	左	略定	1			
SM2	N1185	第V層	クロダイ属	前上脛骨	左	略定	1			
SM2	N1186	第V層	クロダイ属	前上脛骨	左	破片	3			
SM2	N1187	第V層	クロダイ属	上上脛骨	右	略定	1			
SM2	N1188	第V層	クロダイ属	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1189	第V層	クロダイ属	歯骨	右	破片	1			
SM2	N1190	第V層	タイ科	歯牙(犬歯状)		破片	3			
SM2	N1191	第V層	タイ科	歯牙(臼歯状)		破片	4			
SM2	N1192	第V層	タイ科	上上脛骨	左	破片	1			
SM2	N1193	第V層	タイ科	上上脛骨	右	破片	1	○		
SM2	N1194	第V層	タイ科	腹椎		破片	2			
SM2	N1195	第V層	タイ科	尾椎		破片	2			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(6)

遺構	遺物 No.	層位	種類	部位	左	右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N1196	第V層	ハゼ科	前上顎骨	左		破片	1			
SM2	N1197	第V層	ハゼ科	前上顎骨		右	破片	2			
SM2	N1198	第V層	ハゼ科	上上顎骨	左		破片	2			
SM2	N1199	第V層	ハゼ科	上上顎骨		右	破片	2			
SM2	N1200	第V層	ハゼ科	歯骨	左		破片	2			
SM2	N1201	第V層	ハゼ科	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1202	第V層	ハゼ科	第1椎骨			破片	2			
SM2	N1203	第V層	ハゼ科	椎骨			破片	4			
SM2	N1204	第V層	ハゼ科	椎骨			破片	1	○		
SM2	N1205	第V層	ハゼ科	尾椎			破片	2			
SM2	N1206	第V層	ヒラメ	第1椎骨			破片	1			
SM2	N1207	第V層	ヒラメ	尾椎			破片	1			
SM2	N1208	第V層	カレイ科	第1椎骨			破片	1			
SM2	N1209	第V層	カレイ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1210	第V層	カレイ科	尾椎			破片	2			
SM2	N1211	第V層	魚類	椎骨			破片	2	○		
SM2	N1212	第V層	魚類	椎骨			破片	1			
SM2	N1213	第V層	魚類	椎骨			破片	1	○		
SM2	N1214	第V層	魚類	終尾椎			破片	1			
SM2	N1215	第V層	魚類	上歯槽骨			破片	1			
SM2	N1216	第V層	魚類	鱗鱗等			破片	14	○		
SM2	N1217	第V層	魚類	鱗鱗等			破片	4			
SM2	N1218	第V層	魚類	不明			破片	2			
SM2	N1219	第V層	魚類	不明			破片	2			
SM2	N1220	第V層	カエル類	上腕骨	左		完位端	1			
SM2	N1221	第V層	カエル類	上腕骨		右	破片	1			
SM2	N1222	第V層	カエル類	四肢骨			破片	1			
SM2	N1223	第V層	ヘビ類	椎骨			破片	3			
SM2	N1224	第V層	魚類	椎骨			破片	1			
SM2	N1225	第V層	魚類	不明			破片	6			
SM2	N1226	第V層	魚類	鱗鱗等			破片	2			
SM2	N1227	第V層	魚類	鱗鱗等			破片	1			
SM2	N1228	第V層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(66.41g)
SM2	N1229	第V層	脊椎動物門	不明			破片	骨			
SM2	N1230	第V層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(136.05g)
SM2	N1231	第VI-6層	ニンシ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1232	第VI-6層	コナ科	前部蓋骨	左		破片	1			
SM2	N1233	第VI-6層	スズキ属	椎骨			破片	1			
SM2	N1234	第VI-6層	スズキ属	椎骨			破片	1			
SM2	N1235	第VI-6層	スズキ属	尾椎			破片	1			
SM2	N1236	第VI-6層	ハゼ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1237	第VI-6層	ハゼ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1238	第VI-6層	ハゼ科	尾椎			破片	1			
SM2	N1239	第VI-6層	ウナギ属	椎骨			略定	1			
SM2	N1240	第VI-6層	クロダイ属	角骨	左		破片	1			
SM2	N1241	第VI-6層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(1.36g)
SM2	N1242	第VI-6層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.56g)
SM2	N1243	第VI-6層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.74g)
SM2	N1244	第VI-7層	ニンシ科	尾椎			破片	1			
SM2	N1245	第VI-7層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.12g)
SM2	N1246	第VI-7層	ウナギ属	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1247	第VI-7層	クロダイ属	角骨	左		破片	1			
SM2	N1248	第VI-7層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.38g)
SM2	N1249	第VI-8層	サメ、エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N1250	第VI-8層	コナ科	前上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1251	第VI-8層	スズキ属	方骨		右	破片	1			
SM2	N1252	第VI-8層	スズキ属?	椎骨			破片	1			
SM2	N1253	第VI-8層	ブリ属?	尾椎			破片	1			
SM2	N1254	第VI-8層	ハゼ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1255	第VI-8層	ヘビ類	椎骨			破片	2			
SM2	N1256	第VI-8層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(1.49g)
SM2	N1257	第VI-9層	脊椎動物門	不明			破片	骨			
SM2	N1258	第VI-9層	ウナギ属	椎骨			略定	2			魚類中心(0.94g)
SM2	N1259	第VI-11層	コナ科	椎骨			破片	1			
SM2	N1260	第VI-11層	魚類	尾椎			破片	1			
SM2	N1261	第VI-11層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.49g)
SM2	N1262	第VI-12層	脊椎動物門	不明			破片	骨			魚類中心(0.11g)
SM2	N1263	第VI-13層	魚類	鱗鱗等			破片	10			
SM2	N1264	第VI-13層	不明	不明			破片	2			
SM2	N1265	第VI-14層	魚類	鱗鱗等			破片	1			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(8)

遺構	遺物 No.	層位	種別	部位	左	右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N1306	第3層	スズキ属	尾椎			破片	3			
SM2	N1307	第3層	アジ科	後椎			破片	1			
SM2	N1308	第3層	クロダイ属	前上顎骨	左		破片	1			
SM2	N1309	第3層	タイ科	歯牙(臼歯状)			破片	1			
SM2	N1340	第3層	タイ科?	後椎			破片	1			
SM2	N1341	第3層	ハゼ科	主上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1342	第3層	ハゼ科	後椎			破片	3			
SM2	N1343	第3層	サハ属	後椎			破片	1			
SM2	N1344	第3層	魚類	方骨	左		破片	1			
SM2	N1345	第3層	魚類	椎骨			破片	2			
SM2	N1346	第3層	魚類	椎骨			破片	1	○		
SM2	N1347	第3層	魚類	棘棘等			破片	5	○		
SM2	N1348	第3層	魚類	棘棘等			破片	3			
SM2	N1349	第3層	魚類	不明			破片	2			
SM2	N1350	第3層	ハゼ類	椎骨			破片	1			
SM2	N1351	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(25.27g)
SM2	N1352	第3層	ウナギ属	後椎			略定	2			
SM2	N1353	第3層	ニシン亜科	第1椎骨			破片	1			
SM2	N1354	第3層	ニシン亜科	後椎			破片	1			
SM2	N1355	第3層	ニシン科	後椎			破片	1			
SM2	N1356	第3層	ニシン科	尾椎			破片	13			
SM2	N1357	第3層	ボラ?	ボラ?			破片	1			
SM2	N1358	第3層	コナ科	主上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1359	第3層	コナ科	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1360	第3層	スズキ属	尾椎			破片	1			
SM2	N1361	第3層	タイ科	後椎			破片	1			
SM2	N1362	第3層	ハゼ科	後椎			破片	3			
SM2	N1363	第3層	ハゼ科	尾椎			破片	1			
SM2	N1364	第3層	脊椎動物門	不明			9粒				魚類中心(1.72g)
SM2	N1365	第3層	ニシン亜科	角骨	左		破片	1			
SM2	N1366	第3層	ニシン亜科	第1椎骨			破片	2			
SM2	N1367	第3層	ニシン亜科	第2椎骨			破片	2			
SM2	N1368	第3層	ニシン科	後椎			破片	9			
SM2	N1369	第3層	ニシン科	後椎			破片	5			
SM2	N1370	第3層	ニシン科	尾椎			破片	3			
SM2	N1371	第3層	ボラ	後椎			破片	1			
SM2	N1372	第3層	ボラ	尾椎			破片	2			
SM2	N1373	第3層	ハゼ科	後椎			破片	1			
SM2	N1374	第3層	ハゼ科	尾椎			破片	3			
SM2	N1375	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(1.33g)
SM2	N1376	第3層	ニシン亜科	第1椎骨			破片	9			
SM2	N1377	第3層	ニシン亜科	第2椎骨			破片	4			
SM2	N1378	第3層	ニシン科	後椎			破片	8			
SM2	N1379	第3層	ニシン科	後椎			破片	4			
SM2	N1380	第3層	ニシン科	尾椎			破片	4			
SM2	N1381	第3層	ハゼ科	後椎			破片	2			
SM2	N1382	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(2.42g)
SM2	N1383	第3層	ウナギ属	尾椎			破片	4			
SM2	N1384	第3層	ニシン亜科	第1椎骨			破片	2			
SM2	N1385	第3層	ニシン亜科	後椎			破片	2			
SM2	N1386	第3層	ニシン科	後椎			破片	1			
SM2	N1387	第3層	ニシン科	尾椎			破片	5			
SM2	N1388	第3層	ボラ	後椎			破片	1			
SM2	N1389	第3層	ボラ	尾椎			破片	4			
SM2	N1390	第3層	スズキ属	第1椎骨			略定	1			
SM2	N1391	第3層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N1392	第3層	ハゼ科	主上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1393	第3層	魚類	前上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1394	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(1.83g)
SM2	N1395	第3層	魚類	棘棘等			破片	4			
SM2	N1396	第3層	ニシン亜科	第2椎骨			破片	2			
SM2	N1397	第3層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N1398	第3層	ハゼ科	主上顎骨	左		破片	1			
SM2	N1399	第3層	ハゼ科	後椎			破片	1			
SM2	N1400	第3層	魚類	尾椎			破片	1			
SM2	N1401	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(25g)
SM2	N1402	第3層	魚類	棘棘等			破片	10			
SM2	N1403	第3層	アサギイ科	尾棘棘			破片	1			魚類中心(0.32g)
SM2	N1404	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			魚類中心(0.11g)
SM2	N1405	第3層	脊椎動物門	不明			破片	9粒			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(9)

道産	遺物No.	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N1406	第1層-10層	スズキ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1407	第1層-10層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.48g)
SM2	N1408	第1層-11層	トビエイ科	歯板		破片	2			
SM2	N1409	第1層-11層	ニシン亜科	腹椎		破片	1			
SM2	N1410	第1層-11層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1411	第1層-11層	ボラ	腹椎		破片	1			
SM2	N1412	第1層-11層	スズキ属	腹椎		破片	1			
SM2	N1413	第1層-11層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(1.02g)
SM2	N1414	第1層-12層	ニシン科	腹椎		破片	1			
SM2	N1415	第1層-12層	ニシン科	尾椎		破片	2			
SM2	N1416	第1層-12層	ボラ	上脛骨	右	破片	1			
SM2	N1417	第1層-12層	ボラ	腹椎		破片	2			
SM2	N1418	第1層-12層	ボラ	尾椎		破片	1			
SM2	N1419	第1層-12層	ボラ?	方骨	左	破片	1			
SM2	N1420	第1層-12層	スズキ属	前上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1421	第1層-12層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(2.04g)
SM2	N1422	第1層-14層	魚類	尾椎		破片	1		○	
SM2	N1423	第1層-14層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(1.08g)
SM2	N1424	第1層-15層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.51g)
SM2	N1425	第1層-16層	アジ科	腹椎		破片	1			
SM2	N1426	第1層-16層	アジ科?	尾椎		破片	1			
SM2	N1427	第1層-16層	タイ科	歯牙(臼歯状)		破片	1			
SM2	N1428	第1層-16層	魚類	腹椎		破片	1			
SM2	N1429	第1層-16層	魚類	尾椎		破片	1			
SM2	N1430	第1層-16層	魚類	椎骨		破片	1			
SM2	N1431	第1層-16層	魚類	棘鱗等		破片	1			
SM2	N1432	第1層-16層	魚類	鱗		破片	1			
SM2	N1433	第1層-16層	魚類	不明		破片	1			
SM2	N1434	第1層-16層	魚類	不明		破片	1		○	
SM2	N1435	第1層-16層	ヘビ類	椎骨		破片	1			
SM2	N1436	第1層-16層	爬虫			破片	1			0.04g
SM2	N1437	第1層-17層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.82g)
SM2	N1438	第1層-18層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.16g)
SM2	N1439	第1層-19層	脊椎動物門	不明		破片	1			
SM2	N1440	第1層-20層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.22g)
SM2	N1441	第1層-21層	魚類	腹椎		略完	1			
SM2	N1442	第1層-21層	魚類	棘鱗等		破片	5			
SM2	N1443	第1層-21層	魚類	不明		破片	2			
SM2	N1444	第1層	サメ・エイ類	椎骨		略完	5			
SM2	N1445	第1層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1446	第1層	ニシン亜科	第一椎骨		破片	1			
SM2	N1447	第1層	ニシン亜科	腹椎		略完	2			
SM2	N1448	第1層	ニシン科	尾椎		破片	3			
SM2	N1449	第1層	ボラ	腹椎		破片	1			
SM2	N1450	第1層	ボラ	尾椎		破片	2			
SM2	N1451	第1層	スズキ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1452	第1層	タロダイ属	歯骨	左	略完	1			
SM2	N1453	第1層	サハ属	尾椎		破片	2			
SM2	N1454	第1層	ヘビ類	椎骨		破片	1			
SM2	N1455	第1層	魚類	棘鱗等		破片	1			
SM2	N1456	第1層	魚類	棘鱗等		破片	2			
SM2	N1457	第1層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(16.82g)
SM2	N1458	第1層	脊椎動物門	不明		破片	10+			
SM2	N1459	第1層	脊椎動物門	不明		破片	1			軟部中心(34.77g)
SM2	N1460	第2層	ニシン科	腹椎		破片	1			
SM2	N1461	第2層	ニシン科	尾椎		破片	1			
SM2	N1462	第2層	ボラ	腹椎		破片	1			
SM2	N1463	第2層	ハゼ科	腹椎		破片	1			
SM2	N1464	第2層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(2.30g)
SM2	N1465	第2層	ニシン亜科	腹椎		略完	2			
SM2	N1466	第2層	ニシン科	尾椎		破片	5			
SM2	N1467	第2層	ボラ	腹椎		破片	1			
SM2	N1468	第2層	スズキ属	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1469	第2層	タイ科	歯牙(犬歯状)		破片	1			
SM2	N1470	第2層	ハゼ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1471	第2層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(3.41g)
SM2	N1472	第2層	脊椎動物門	不明		破片	1			軟部中心(1.57g)
SM2	N1473	第2層	ボラ	尾椎		破片	1			
SM2	N1474	第2層	脊椎動物門	不明		破片	1			魚類中心(0.27g)
SM2	N1475	第2層	サメ・エイ類	椎骨		略完	1			

表85 SM2 出土その他骨類等同定結果(10)

遺構	遺物 No.	層位	種別	部位	左	右	状態等	数量	焼熟	CM	備考
SM2	N1476	第Ⅴ-5層	ウナギ属	腹椎			略定	2			
SM2	N1477	第Ⅴ-5層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.73g)
SM2	N1478	第Ⅴ-6層	ブリ属?	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1479	第Ⅴ-6層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.31g)
SM2	N1480	第Ⅴ-10層	アカエイ科	尾棘棘			破片	1			
SM2	N1481	第Ⅴ-10層	アカエイ科	尾棘棘			破片	1	○		
SM2	N1482	第Ⅴ-10層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N1483	第Ⅴ-10層	ウナギ属	尾椎			略定	1			
SM2	N1484	第Ⅴ-10層	ウナギ属	尾椎			破片	1			
SM2	N1485	第Ⅴ-10層	ニシン亜科	腹椎			略定	1			
SM2	N1486	第Ⅴ-10層	ニシン科	尾椎			破片	1			
SM2	N1487	第Ⅴ-10層	ボラ	腹椎			破片	1			
SM2	N1488	第Ⅴ-10層	スズキ属	第1椎骨			破片	1			
SM2	N1489	第Ⅴ-10層	ハゼ科	腹椎			破片	1			
SM2	N1490	第Ⅴ-10層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(4.77g)
SM2	N1491	第Ⅴ-10層	コナ科	前上顎骨		右	破片	1			
SM2	N1492	第Ⅴ-10層	魚類	不明			破片	1			
SM2	N1493	第Ⅴ-10層	不明	不明			破片	1			
SM2	N1494	第Ⅴ-14層	ニシン亜科	腹椎			略定	1			
SM2	N1495	第Ⅴ-14層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(0.96g)
SM2	N1496	第Ⅴ-14層	魚類	尾椎			破片	1			
SM2	N1497	第Ⅴ-15層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1			
SM2	N1498	第Ⅴ-15層	ボラ	腹椎			破片	1			
SM2	N1499	第Ⅴ-15層	ボラ	尾椎			破片	2			
SM2	N1500	第Ⅴ-15層	タイ科	歯牙(犬歯状)			破片	1			
SM2	N1501	第Ⅴ-15層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.75g)
SM2	N1502	第Ⅴ-24層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N1503	第Ⅴ-24層	スズキ属	腹椎			破片	1			
SM2	N1504	第Ⅴ-24層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N1505	第Ⅴ-24層	ハゼ科	腹椎			破片	2			
SM2	N1506	第Ⅴ-24層	タイ科?	歯牙(犬歯状)			破片	1			
SM2	N1507	第Ⅴ-24層	コナ科	歯骨		左	破片	1			
SM2	N1508	第Ⅴ-24層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(1.76g)
SM2	N1509	第Ⅴ-24層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(6.09g)
SM2	N1510	第Ⅴ層	アカエイ科	尾棘棘			破片	1			
SM2	N1511	第Ⅴ層	アカエイ科	尾棘棘			破片	1			
SM2	N1512	第Ⅴ層	サメ・エイ類	椎骨			略定	2			
SM2	N1513	第Ⅴ層	ウナギ属	尾椎			破片	1			
SM2	N1514	第Ⅴ層	ニシン亜科	第2椎骨			破片	1			
SM2	N1515	第Ⅴ層	ニシン亜科	腹椎			破片	1			
SM2	N1516	第Ⅴ層	ニシン科	腹椎			破片	2			
SM2	N1517	第Ⅴ層	ニシン科	尾椎			破片	2			
SM2	N1518	第Ⅴ層	ボラ	尾椎			破片	1			
SM2	N1519	第Ⅴ層	コナ科	前上顎骨		左	破片	2			
SM2	N1520	第Ⅴ層	コナ科	尾椎			破片	1			
SM2	N1521	第Ⅴ層	スズキ属	尾椎			破片	2			
SM2	N1522	第Ⅴ層	ハゼ科	腹椎			破片	2			
SM2	N1523	第Ⅴ層	ハゼ科	尾椎			破片	1			
SM2	N1524	第Ⅴ層	魚類	棘棘等			破片	2			
SM2	N1525	第Ⅴ層	魚類	棘棘等			破片	1	○		
SM2	N1526	第Ⅴ層	魚類	不明			破片	3			
SM2	N1527	第Ⅴ層	脊椎動物門	不明			破片	多数			魚類中心(17.96g)
SM2	N1528	第Ⅴ-7層	トビエイ科	歯骨			破片	1			
SM2	N1529	第Ⅴ-7層	サメ・エイ類	椎骨			略定	4			
SM2	N1530	第Ⅴ-7層	サメ・エイ類	椎骨			略定	1	○		
SM2	N1531	第Ⅴ-7層	ウナギ属	尾椎			破片	2			
SM2	N1532	第Ⅴ-7層	ニシン亜科	腹椎			破片	1			
SM2	N1533	第Ⅴ-7層	ニシン科	腹椎			破片	7			
SM2	N1534	第Ⅴ-7層	ボラ	腹椎			破片	1			
SM2	N1535	第Ⅴ-7層	ボラ	尾椎			破片	1			
SM2	N1536	第Ⅴ-7層	サヨリ属	腹椎			破片	1			
SM2	N1537	第Ⅴ-7層	スズキ属	前上顎骨		左	破片	1			
SM2	N1538	第Ⅴ-7層	スズキ属	歯骨		左	破片	1			
SM2	N1539	第Ⅴ-7層	スズキ属	方骨		右	破片	1			
SM2	N1540	第Ⅴ-7層	スズキ属	腹椎			破片	1			
SM2	N1541	第Ⅴ-7層	スズキ属	尾椎			破片	6			
SM2	N1542	第Ⅴ-7層	ハゼ科	歯骨		右	破片	1			
SM2	N1543	第Ⅴ-7層	ハゼ科	第1椎骨			破片	1			
SM2	N1544	第Ⅴ-7層	ハゼ科	尾椎			破片	6			
SM2	N1545	第Ⅴ-7層	カレイ科	尾椎			破片	1			

表85 SM2出土その他骨類等同定結果(11)

道標	遺物 No.	層位	種別	部位	左右	状態等	数量	焼熱	CM	備考
SM2	N1546	第X-7層	魚類	椎骨		破片	1			
SM2	N1547	第X-7層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(7.31g)
SM2	N1548	第X-7層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(3.48g)
SM2	N1549	第X-13層	サメ・エイ類	椎骨		略定	2			
SM2	N1550	第X-13層	ウナギ属	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1551	第X-13層	ニシン亜科	第2椎骨		破片	1			
SM2	N1552	第X-13層	ニシン科	腹椎		破片	1			
SM2	N1553	第X-13層	ニシン科	尾椎		破片	2			
SM2	N1554	第X-13層	スズキ属	尾椎		破片	2			
SM2	N1555	第X-13層	コナ科	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1556	第X-13層	魚類	棘刺等		破片	6			
SM2	N1557	第X-13層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(2.69g)
SM2	N1558	第X-14層	魚類	椎骨		破片	1			
SM2	N1559	第X-14層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(7.12g)
SM2	N1560	第X-14層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(1.09g)
SM2	N1561	第X層	サメ・エイ類	椎骨		略定	7			
SM2	N1562	第X層	サメ・エイ類	椎骨		略定	1	○		
SM2	N1563	第X層	ウナギ属	尾椎		破片	1			
SM2	N1564	第X層	ニシン亜科	腹椎		破片	1			
SM2	N1565	第X層	ボウ	腹椎		破片	1			
SM2	N1566	第X層	ボウ	尾椎		破片	3			
SM2	N1567	第X層	コナ科	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1568	第X層	スズキ属	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1569	第X層	スズキ属	上上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1570	第X層	スズキ属	腹椎		破片	1			
SM2	N1571	第X層	スズキ属	尾椎		破片	4			
SM2	N1572	第X層	アジ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1573	第X層	クロダイ属	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1574	第X層	クロダイ属	前上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1575	第X層	タイ科	歯牙(臼歯状)		破片	1			
SM2	N1576	第X層	ハゼ科	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1577	第X層	ハゼ科	腹椎		破片	6			
SM2	N1578	第X層	ハゼ科	尾椎		破片	2			
SM2	N1579	第X層	カレイ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1580	第X層	魚類	椎骨		破片	2			
SM2	N1581	第X層	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N1582	第X層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(9.67g)
SM2	N1583	第X層	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(16.1g)
SM2	N1584	Aトレンチ	スズキ属	歯骨	右	破片	1			
SM2	N1585	Aトレンチ	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N1586	Aトレンチ	魚類	棘刺等		破片	2			
SM2	N1587	Aトレンチ	魚類	不明		破片	4			
SM2	N1588	Bトレンチ	トビエイ科	歯板		破片	1			
SM2	N1589	Bトレンチ	サメ・エイ類	椎骨		破片	1			
SM2	N1590	Bトレンチ	サメ・エイ類	椎骨		略定	2			
SM2	N1591	Bトレンチ	ニシン亜科	第1椎骨		略定	4			
SM2	N1592	Bトレンチ	ニシン亜科	第2椎骨		略定	4			
SM2	N1593	Bトレンチ	ニシン亜科	腹椎		破片	3			
SM2	N1594	Bトレンチ	ニシン亜科	角骨	左	破片	1			
SM2	N1595	Bトレンチ	ニシン亜科	角骨	右	破片	1			
SM2	N1596	Bトレンチ	ニシン科	腹椎		破片	2			
SM2	N1597	Bトレンチ	ニシン科	尾椎		破片	2			
SM2	N1598	Bトレンチ	ボウ	尾椎		破片	2			
SM2	N1599	Bトレンチ	コナ科	前上顎骨	左	破片	1			
SM2	N1600	Bトレンチ	コナ科	歯骨	右	破片	1			
SM2	N1601	Bトレンチ	スズキ属	腹椎		破片	1			
SM2	N1602	Bトレンチ	タイ科	腹椎		略定	1			
SM2	N1603	Bトレンチ	ハゼ科	歯骨	左	破片	1			
SM2	N1604	Bトレンチ	ハゼ科	前上顎骨	右	破片	1			
SM2	N1605	Bトレンチ	ハゼ科	腹椎		破片	4			
SM2	N1606	Bトレンチ	ハゼ科	腹椎		破片	1	○		
SM2	N1607	Bトレンチ	カレイ科	尾椎		破片	1			
SM2	N1608	Bトレンチ	魚類	棘刺等		破片	1			
SM2	N1609	Bトレンチ	魚類	不明		破片	13			
SM2	N1610	Bトレンチ	魚類	腹椎		破片	1	○		
SM2	N1611	Bトレンチ	魚類	椎骨		破片	1	○		
SM2	N1612	Bトレンチ	魚類	棘刺等		破片	2	○		
SM2	N1613	Bトレンチ	脊椎動物門	不明		破片	8枚			魚類中心(19.19g)

表86 HG2・HG3・SK352・SK354出土骨同定結果

遺構	遺物 No.	層位	種類	部位	左右	状態等	数量	重量	CM	備考	年齢
HG2	N1614	塚積土下層	魚類	鱗鱗等		破片	1				
HG2	N1615	塚積土下層	鳥類	四肢骨		破片	4				
HG2	N1616	塚積土上層	ノウサギ?	下顎骨	右	破片	1			M1-3 林立	
HG2	N1617	塚積土下層	イノシシ	肩甲骨	右	破片	1 +				成獣?
HG2	N1618	塚積土下層	イノシシ	肩甲骨	右	破片	1				幼獣
HG2	N1619	塚積土下層	イノシシ	歯牙	破片	8					
HG2	N1620	塚積土上層	イノシシ	上顎第3門歯	右	破片	1			未出歯牙	1/2歳以下
HG2	N1621	塚積土下層	イノシシ	下顎第3臼歯	右	破片	1				4.5歳?
HG2	N1622	塚積土下層	イノシシ	腕骨		破片	1				離体未化石骨外れ
HG2	N1623	塚積土中	イノシシ	尺骨	左	近位端	1				
HG2	N1624	塚積土上層	ニホンジカ	距骨	右	破片	1				
HG2	N1625	塚積土上層	ニホンジカ?	角?		破片	2				
HG2	N1626	塚積土下層	豚類	肋骨		破片	1				
HG2	N1627	塚積土下層	豚類	四肢骨		破片	1			かじり痕有	
HG2	N1628	塚積土下層	豚類	四肢骨		破片	1				
HG2	N1629	塚積土下層	豚類	脛骨	右	近位端	1			近位端未化石骨外れ	幼獣
HG2	N1630	塚積土下層	豚類	不明		破片	5				
HG2	N1631	冚積土	豚類	椎骨		破片	3				
HG2	N1632	塚積土上層	豚類	四肢骨		破片	1	○			
HG2	N1633	塚積土上層	豚類	四肢骨		破片	1 +	○			
HG2	N1634	塚積土下層	豚類	不明		破片	1 +				
HG2	N1635	塚積土上層	鳥類	四肢骨		破片	1 +				
HG3	N1636	塚所中層	タヌキ	下顎骨	右	破片	1			P4 林立	
HG3	N1637	塚所下層	ノイヌ	頭蓋骨	左	臑状骨	1				
HG3	N1638	塚所下層	ノイヌ	頭蓋骨	右	臑状骨	1				
HG3	N1639	塚所下層	ノイヌ	頭蓋骨		破片	塊			675g	
HG3	N1640	塚所下層	ノイヌ	上顎大歯	左	破片	1				1/4歳以上
HG3	N1641	塚所下層	ノイヌ	上顎前臼歯		破片	2				1/4歳以上
HG3	N1642	塚所下層	ノイヌ	上顎第1臼歯	左	破片	1				1/4歳以上
HG3	N1643	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	左	上顎骨	1			P4M1 林立	1.5歳
HG3	N1644	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	右	上顎骨	1			P4M2 林立	1.5歳
HG3	N1645	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	右	前頭骨	1				1.5歳
HG3	N1646	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨		頭頂骨	1				1.5歳
HG3	N1647	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	左	面骨	1				1.5歳
HG3	N1648	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	左	髑髏骨 - 後頭部	1				1.5歳
HG3	N1649	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	左	耳骨包	1				1.5歳
HG3	N1650	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨	右	耳骨包	1				1.5歳
HG3	N1651	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨		額腺突起	1				1.5歳
HG3	N1652	塚所中層	イノシシ	頭蓋骨		破片	塊			77.58g	1.5歳
HG3	N1653	塚所中層	イノシシ	上顎第3臼歯	右	破片	1			未出歯牙	1.5歳
HG3	N1654	塚積土中	イノシシ	脛骨	右	遠位端欠	1	○		かじり痕有	成獣
HG3	N1655	塚所下層	イノシシ	第1距骨		破片	1				
HG3	N1656	塚所下層	イノシシ	腕骨		破片	2			離体未化石骨外れ	幼獣
HG3	N1657	塚所中層	イノシシ	視骨	右	破片	1 +				成獣
HG3	N1658	塚積土中	大型獣類	大腸骨		遠位端破片?	1	○			
HG3	N1659	塚所中層	大型獣類	肋骨		破片	1				
HG3	N1660	塚積土中	豚類	不明		破片	1			○	
HG3	N1661	塚積土中	豚類	四肢骨		破片	1	○			
HG3	N1662	塚積土中	豚類	四肢骨		破片	1			かじり痕有	
HG3	N1663	塚積土中	豚類	四肢骨		破片	1				
HG3	N1664	塚積土中	豚類	不明		破片	1	○			
SK352	N1665	覆土中	大型獣類	肋骨		破片	1	○			
SK354	N1666	覆土中	魚類	鱗鱗等		破片	2				
SK354	N1667	覆土中	鳥類	四肢骨		破片	1				
SK354	N1668	覆土中	イノシシ	脛骨	右	遠位端破片	1				1/4歳以上
SK354	N1669	覆土中	ニホンジカ	脛骨	右	遠位端破片	1				成獣
SK354	N1670	覆土中	豚類	四肢骨		破片	3				

表88 イヌ科頭蓋計測結果

			ノイヌ			単位: mm	
			SM2	HG3	SM2	イヌ科	
			N304	N1637	N331		
測定部位	番号 No.	測定箇所	右	左	右		
上顎歯牙	6	上顎大歯歯最大長	7.81	7.65	8.17		
	7	上顎大歯歯伴	5.06	4.36	4.82		
	8	上顎大歯歯冠高	16.14	15.10	14.10		
	9	上顎大歯歯冠最大幅	8.85		8.28		
	10	上顎大歯歯根長	19.97	17.84	20.92		
	11	上顎大歯歯全長	35.04	29.94	32.58		
	24	上顎第4前臼歯長	8.84				
	26	上顎第4前臼歯幅	17.29				
	28	上顎第1後臼歯長	11.02				
	29	上顎第1後臼歯幅	11.96				
	40	上顎前臼歯列全長	39.75				
	41	上顎後臼歯長					
				ノイヌ			
				SM2			
			N311	N309	N310		
			左	左	右		
下顎骨	3	下顎骨長 (Cm-Cal 後縁)	75.85				
	6	下顎枝長 (Cm-M3al 後縁)		36 *			
	7	下顎枝高 (gov.ccr)	35 ±				
	9	脛高	19 ±	24.94			
	10	関節窩 - 脛内突起頂点	19 ±				
	11	下顎枝幅 (最小幅)	21.77	30 ±			
	12	脛内突起幅	18.03				
	13	関節窩長	12.74				
	15	下顎体高 (M3 後部)		22 ±			
	16	下顎体高 (M2 後部)	18.51	22.72			
	17	下顎体高 (M1 中央)	16.79	21.90	22.91		
	18	下顎体高 (M1 後部)	16.58	21.38			
	18	下顎体高 (P4 と M1)	15 ±	19.32	19.92		
	25	下顎体厚 (M1 中央下方)		11.06	10.52		
			咬筋深		6.2 ±		
下顎歯牙	6	下顎大歯歯最大長		8.51	8.08		
	7	下顎大歯歯伴		5.31	5.40		
	8	下顎大歯歯冠高		11.08	10.96		
	9	下顎大歯歯冠最大幅		8.73	8.70		
	10	下顎大歯歯根長		25.48	25.78		
	11	下顎大歯歯全長		33.62	33.97		
	59	下顎臼歯列全長					
	60	下顎前臼歯列全長					
	61	下顎後臼歯列全長		32 *			

注) 計測箇所は、各標(1963)に基づく。

表89 イノシシ頭蓋計測結果

			SM2	SM2	HG3	単位: mm	
			N551	N396	N1643	N1644	
			左	左	左	右	
頭蓋骨 (上顎歯牙)	No.	28	75.14				
		30	35.68	36 *		35.27	
		31	20.18	21.55		20.79	
			SM2				
			N297	N464	N468	N465	N467
			右	左	右	左	右
下顎骨	No.	8					
		10L					
		10R					
		16a					
		16b					
			SM2				
			N378	N379	N440	N448	
			右	左	左	右	左
下顎骨	No.	8		76.71			
		10L		40.44			
		10R	17.71	18.51			
		16a	58.95				
		16b	50 *		38.95	37.74	

注) 計測箇所はDriesch(1976)に基づく。

表90 瞳孔網四肢骨計測結果

単位: mm

		ノウキキ				イノシシ												ニホンジカ			
		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2		SM2	
測定 部位 材料	測定	N229	N257	N545	N546	N547	N576	N484	N481	N483	N492	N485	N490	N479	N425	N436	N541	N496	N372	N1617	N1618
	部位	右	右	左	右	右	右	右	左	右	右	右	右	左	左	右	左	右	左	右	右
	材料	SAC	657	654	2322	2325	21*	21*	2535	869	800	847	849	22*	29*	29*	30.30	30.00	29.34	37.38	
		LG	953	1049													40.37	32.83	29.67		
		BD	951	936													24.84		25.09		
ノウキキ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ		イノシシ	
測定 部位 材料	測定	N220	N246	N302	N315	N355	N418	N507	N509	N508	N506	N490	N380	N1668	N566	N562	N1690	N354	N1690	N354	
	部位	左	右	右	右	右	右	左	右	右	右	右	右	右	右	右	右	左	右	右	
	材料	GL	138.87	18.08																	
		LI	134.35																		
		SD	15.90	7.52																	
測定 部位 材料	測定	N1989	N247	N263	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266	N266
	部位	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右	右
	材料	LA	271	263	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266
		LA	271	263	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266
		LA	271	263	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266	266

注)計測箇所はDriesch(1976)に基づク

引用文献

- Bronk RC. 2009. Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon* 51, 337-360.
- 千木良雅弘. 1995. 風化と崩壊. 近未来社. 204p.
- Angela von den Drieach. 1976. A Guide to the Measurement of Animal Bones from Archaeological Sites. *Peabody Museum Bulletin* 114:1 - 137.
- 長谷部 晋人. 1952. 犬骨. 埋蔵文化財発掘調査報告第一, 吉胡貝塚. 文化財保護委員会 146-150.
- 林 昭三. 1991. 日本産木材顕微鏡写真集. 京都大学木質科学研究所.
- 石川茂雄. 1994. 原色日本植物種子写真図鑑. 石川茂雄図鑑刊行委員会. 328p.
- 伊東隆夫. 1995. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ. 木材研究・資料. 31. 京都大学木質科学研究所. 81 - 181.
- 伊東隆夫. 1996. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ. 木材研究・資料. 32. 京都大学木質科学研究所. 66 - 176.
- 伊東隆夫. 1997. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ. 木材研究・資料. 33. 京都大学木質科学研究所. 83 - 201.
- 伊東隆夫. 1998. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ. 木材研究・資料. 34. 京都大学木質科学研究所. 30 - 166.
- 伊東隆夫. 1999. 日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ. 木材研究・資料. 35. 京都大学木質科学研究所. 47 - 216.
- 加藤嘉太郎・山内昭二. 2003. 新編 家畜比較解剖図説 上巻. 美賢堂. 315p.
- 小池裕子・林 良博. 1984. 遺跡出土ニホニイノシシの胎査定について. 古文化財の自然科学的研究, 古文化財編集委員編, 同朋舎. 519 - 524.
- 近藤謙三. 2010. プラント・オパール図譜. 北海道大学出版会. 387p.
- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志. 2010. 日本植物種子図鑑(2010年改訂版). 東北大学出版会. 678p.
- 那須浩治・会田 進・佐々木由香・中沢道彦・山田武文・奥石 甫. 2015. 炭化樺実資料からみた長野県諏訪地域における縄文時代中期のママの利用. 資源環境と人類, 第5号, 明治大学黒曜石研究センター. 37 - 52.
- 小畑弘己. 2008. ママ科種子同定法. 「福東先史古代の雑穀3」. 日本学術振興会平成16-19年度科学研究費補助金(基盤B-2)(課題番号16320110)「雑穀資料からみた福東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書. 小畑弘己編. 熊本大学埋蔵文化財調査室. 225 - 252.
- 小畑弘己. 2011. 東北アジア古民族植物学と縄文農耕. 同成社. 309p.
- 奥谷喬司・窪寺恒己・黒住耐二・斎藤 寛・佐々木猛智・土田英治・土屋光太郎・長谷川和範・濱谷 巖・速水 格・堀 成夫・松隈明彦. 2000. 日本近海産貝類図鑑. 奥谷喬司編, 東海大学出版会. 1173p.
- 奥谷喬司編著. 2004. 改訂新版 世界文化生物大図鑑 貝類. 株式会社世界文化社. 399p.
- バリノ・サーヴェイ株式会社. 1993. 自然科学分析からみた人々の生活(1). 慶應義塾横浜校埋蔵文化財調査室編「湘南産沢キャンパス内遺跡 第1巻 総論」. 慶應義塾. 347-370.
- Reimer PJ, Bard E, Bayliss A, Beck JW, Blackwell PG, Bronk RC, Buck CE, Cheng H, Edwards RL, Friedrich M, Grootes PM, Guilderson TP, Halldason H, Hajdas I, Hatté C, Heaton TJ, Hoffmann DL, Hogg AG, Hughen KA, Kaiser KF, Kromer B, Manning SW, Niu M, Reimer RW, Richards DA, Scott EM, Southon JR, Staff RA, Turney CSM, van der Plicht J. 2013. IntCal13 and Marine13 radiocarbon age calibration curves 0-50,000 years cal BP. *Radiocarbon*, 55, 1869-1887.
- Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (編). 2006. 針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト. 伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部 久・内海泰弘(日本語版監修). 海青社. 70p. [Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E.(2004) IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].
- 齊藤弘吉. 1963. 大科動物骨格計測法. 138p.
- 島地 謙・伊東隆夫. 1982. 図説木材組織. 地球社. 176p.

Stuiver M. & Polach A.H. 1977, Radiocarbon 1977 Discussion Reporting of ¹⁴C Data. Radiocarbon, 19, 355 - 363.

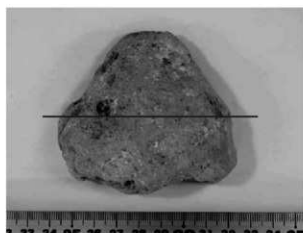
鈴木庸夫・高橋 冬・安延尚文 2012. ネイチャーウォッチングガイドブック 草木の種子と果実 -形態や大きさが一目でわかる植物の種子と果実 632 種-. 誠文堂新光社 272p.

渡辺 誠,1975,縄文時代の植物食,雄山閣出版,187p.

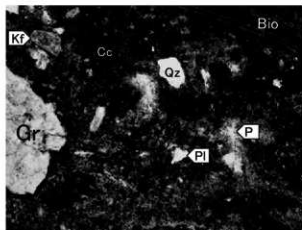
Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(編),1998,広葉樹材の識別 LAW Aによる光学顕微鏡的特徴リスト,伊東隆夫・藤井智之・佐伯 浩(日本語版監修),海青社,122p. [Wheeler E.A.,Bass P. and Gasson P.E.(1989)IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].

山内忠平,1957,鹿児島大学農学部学術報告 7,鹿児島大学農学部,125 - 131

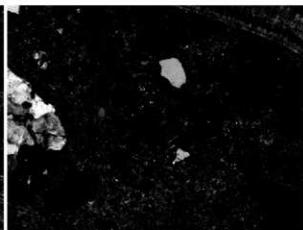
図版1 試料外観・薄片および珪藻分析・植物計算体分析プレパラート内の状況



1a. 試料外観(SM2 第IV層 N2) 薄片作製位置を線で示す。

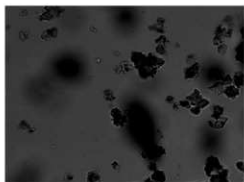


1b. SM 2 第IV層 N 2 薄片 下方ポーラー

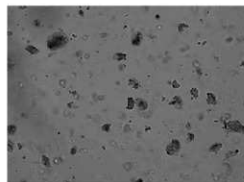


1c. SM 2 第IV層 N 2 薄片 直交ポーラー

Qz: 石英, Kf: カリ長石, Pl: 斜長石, Cc: 炭酸塩鉱物, Gr: 花崗岩, Bio: 化石片, P: 孔隙。

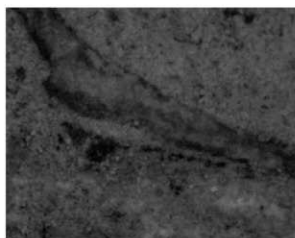


2. 珪藻分析プレパラート内状況
(SM 2 第IV層 N 2)

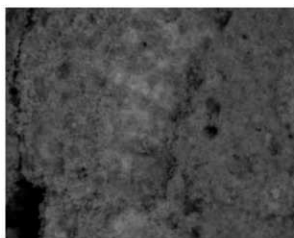


3. 植物珪酸体分析プレパラート内状況
(SM 2 第IV層 N 2)

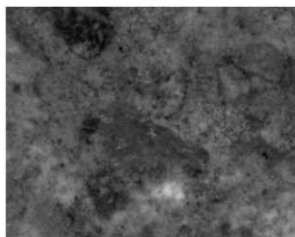
図版2 漆喰の微細物状況



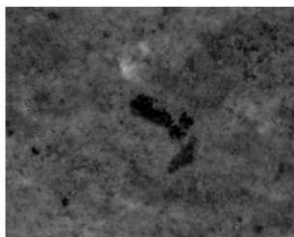
4a.貝片(SM2 第IV層 N2)



4b.貝片(SM2 第IV層 N2)



4c.貝片(SM2 第IV層 N2)



4d.有機物片(SM2 第IV層 N2)

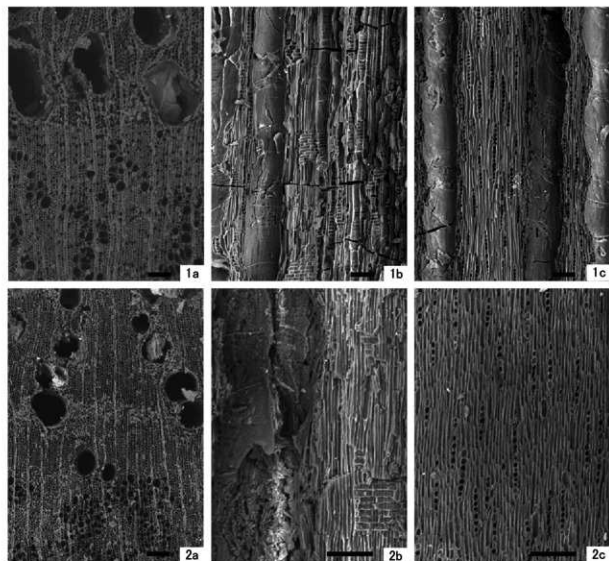


5.ウミナ類(SM2 第IV層 N2)



6.ウミナ類(SM2 第IV層 N2)

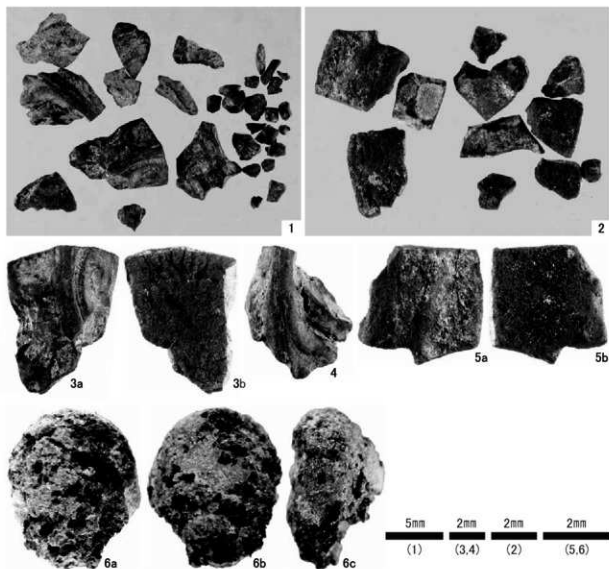
図版3 炭化材



1. クリ(第VI-5層)
2. クリ(第VI-18層)

スケールは100 μ m
a: 木口 b: 柎目 c: 板目

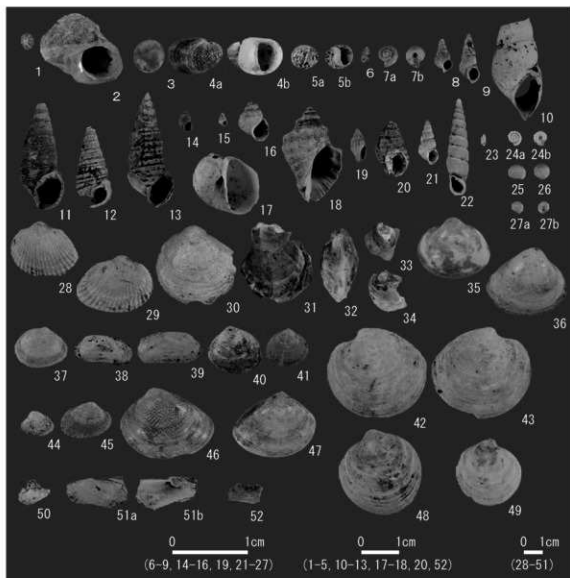
図版4 炭化種実



- 1.オニグルミ 核(第VI-5層)
 3.オニグルミ 核(第VI-5層)
 5.オニグルミ 核(第VI-18層)

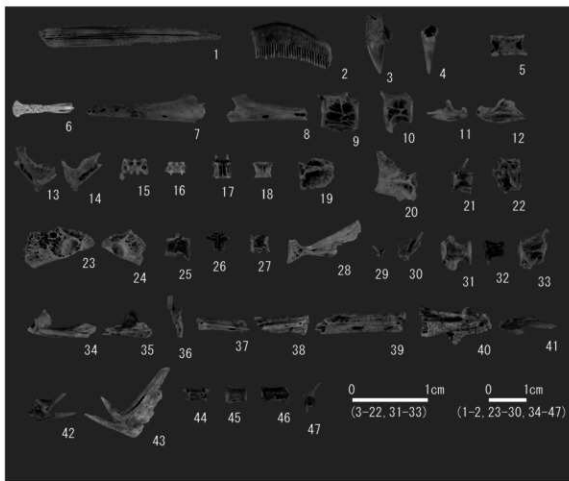
- 2.オニグルミ 核(第VI-18層)
 4.オニグルミ 核(第VI-5層)
 6.ダイズ属?種子(第VI-5層)

図版5 貝・カニ類



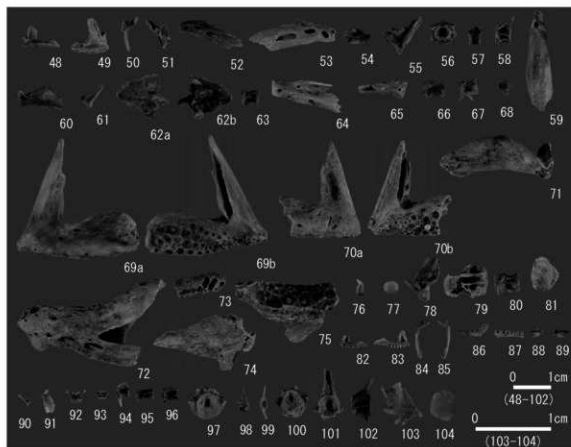
- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1 ヒメコザラ(ツボミガイ型)殻(第VI-18層微細) | 2 スガイ殻(第VI-14層) |
| 3 スガイ蓋(第VI-14層) | 4 ヒロクテカノコ殻(第VI-14層) |
| 5 カノコガイ殻(第VI-14層) | 6 ヒメリマキゴマガイ殻(第VI-18層微細) |
| 7 ヤマフルマガイ殻(第VII-16層) | 8 コベルトカニモリ殻(第VI-12層) |
| 9 スズメハツボ殻(第VI-14層) | 10 カウナ殻(第VII-8層) |
| 11 ウミニナ殻(第VI-14層) | 12 ベナツボ殻(第VI-17層) |
| 13 カワアイ殻(第VI-14層) | 14 チャツボ殻(第VI-18層微細) |
| 15 オチヨボクツボ?殻(第VI-5層微細) | 16 カワザンショウガイ殻(第V-13層) |
| 17 ネコガイ殻(第V-13層) | 18 レイシガイ殻(第VI-14層) |
| 19 ノミニナ殻(第VII-17層) | 20 アラムシロ殻(第VI-5層微細) |
| 21 トウガタガイ科?殻(第VII-16層) | 22 キセルガイ科殻(第VI-18層微細) |
| 23 オカチヨウシガイ?殻(第VI-18層微細) | 24 ハツラマイマイ殻(第VI-18層微細) |
| 25 カサキビガイ殻(第VII-16層) | 26 ナミヒメベッコウマイマイ殻(第VII-16層) |
| 27 ウラシロベッコウマイマイ殻(第VI-18層微細) | 28 サルボウガイ左殻(第VI-14層) |
| 29 サルボウガイ右殻(第VI-14層) | 30 ナミマガシウ左殻(第VI-14層) |
| 31 マガキ左殻(第VI-14層) | 32 マガキ右殻(第VI-14層) |
| 33 イワガキ左殻(第VI-14層) | 34 イワガキ右殻(第VI-14層) |
| 35 シオウキ左殻(第VI-14層) | 36 シオウキ右殻(第VI-14層) |
| 37 ヒメシトリ左殻(第VII-18層) | 38 ウネナシトマヤガイ左殻(第VII-17層) |
| 39 ウネナシトマヤガイ右殻(第VII-17層) | 40 ヤマトシジミ左殻(第VII-4層) |
| 41 ヤマトシジミ右殻(第VI-12層) | 42 カガミガイ左殻(第VII-9層) |
| 43 カガミガイ右殻(第VII-9層) | 44 アサリ左殻(第VII-9層) |
| 45 アサリ右殻(第VII-9層) | 46 ハマグリ左殻(第VI-14層) |
| 47 ハマグリ右殻(第VI-14層) | 48 オキシジミ左殻(第V-10層) |
| 49 オキシジミ右殻(第VII-4層) | 50 オオノガイ左殻(第V-13層) |
| 51 オオノガイ右殻(第V-13層) | 52 カニ類可動指(SM 2 N1267) |

図版6 魚類(1)



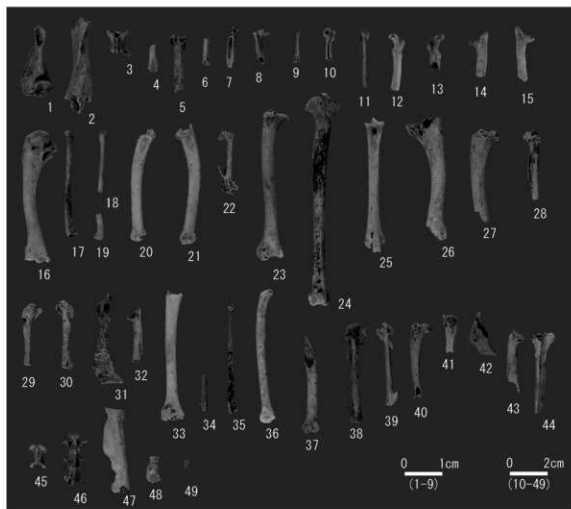
- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. アカエイ科尾鰭棘(SM 2 N1143) | 2. トビエイ科歯板(SM 2 N1145) |
| 3. サメ類歯牙(SM 2 N1141) | 4. サメ類歯牙(SM 2 N1141) |
| 5. サメ・エイ類椎骨(SM 2 N1148) | 6. ウナギ属前上顎骨-篩骨-鋤骨板(SM 2 N847) |
| 7. ウナギ属左歯骨(SM 2 N977) | 8. ウナギ属右歯骨(SM 2 N987) |
| 9. ウナギ属腹椎(SM 2 N1149) | 10. ウナギ属尾椎(SM 2 N1150) |
| 11. ニシン亜科左角骨(SM 2 第VI-18層微細) | 12. ニシン亜科右角骨(SM 2 第VI-18層微細) |
| 13. ニシン亜科左方骨(SM 2 第VI-18層微細) | 14. ニシン亜科右方骨(SM 2 第VI-18層微細) |
| 15. ニシン亜科第1椎骨(SM 2 第VI-18層微細) | 16. ニシン亜科第2椎骨(SM 2 第VI-18層微細) |
| 17. ニシン亜科腹椎(SM 2 第VI-18層微細) | 18. ニシン科腹椎(SM 2 第VI-18層微細) |
| 19. ニシン科左主髭蓋骨(SM 2 第VIII-4層) | 20. ニシン科右主髭蓋骨(SM 2 N1268) |
| 21. ニシン科尾椎(SM 2 第VI-18層微細) | 22. ニシン科?頭蓋骨(SM 2 第VI-18層微細) |
| 23. ボラ左主髭蓋骨(SM 2 N1155) | 24. ボラ右主髭蓋骨(SM 2 N1157) |
| 25. ボラ第1椎骨(SM 2 N1158) | 26. ボラ腹椎(SM 2 N1159) |
| 27. ボラ尾椎(SM 2 N1161) | 28. ボラ終尾椎(SM 2 N1041) |
| 29. ボラ?左方骨(SM 2 N1419) | 30. ボラ?右方骨(SM 2 N1109) |
| 31. サヨリ属腹椎(SM 2 N1329) | 32. サヨリ属尾椎(SM 2 第V-13層) |
| 33. メバル亜科尾椎(SM 2 N931) | 34. コチ科左前上顎骨(SM 2 N1164) |
| 35. コチ科右前上顎骨(SM 2 N1250) | 36. コチ科右主上顎骨(SM 2 N1358) |
| 37. コチ科左歯骨(SM 2 N1165) | 38. コチ科右歯骨(SM 2 N861) |
| 39. コチ科右歯骨(SM 2 N1359) | 40. コチ科左角骨(SM 2 N1166) |
| 41. コチ科右角骨(SM 2 N1167) | 42. コチ科左前髭蓋骨(SM 2 N1168) |
| 43. コチ科右前髭蓋骨(SM 2 N1169) | 44. コチ科第1椎骨(SM 2 N1170) |
| 45. コチ科腹椎(SM 2 N1171) | 46. コチ科尾椎(SM 2 N1172) |
| 47. アイナメ属尾椎(SM 2 第VI-5層微細) | |

図版7 魚類(2)



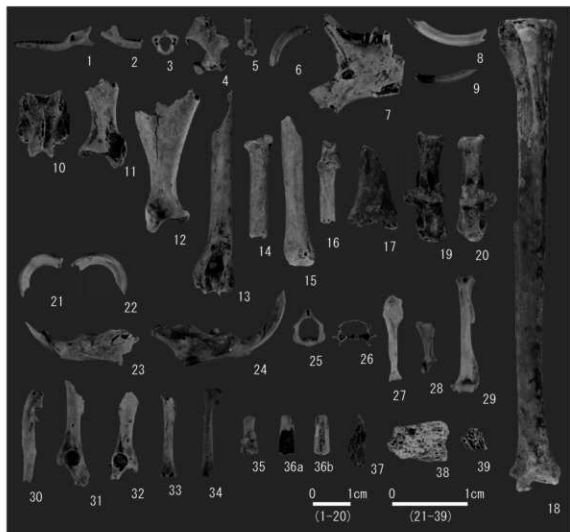
- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 48. スズキ属左前上顎骨 (SM 2 N1537) | 49. スズキ属右前上顎骨 (SM 2 N1173) |
| 50. スズキ属左上上顎骨 (SM 2 N1174) | 51. スズキ属右上上顎骨 (SM 2 N1569) |
| 52. スズキ属左歯骨 (SM 2 N1468) | 53. スズキ属右歯骨 (SM 2 N957) |
| 54. スズキ属左角骨 (SM 2 第VI-9層) | 55. スズキ属右方骨 (SM 2 N1539) |
| 56. スズキ属第1椎骨 (SM 2 N1176) | 57. スズキ属腹椎 (SM 2 N1177) |
| 58. スズキ属尾椎 (SM 2 N1178) | 59. スズキ属左上縦鎖骨 (SM 2 N1179) |
| 60. スズキ属?右角骨 (SM 2 N1181) | 61. スズキ属?左方骨 (SM 2 N899) |
| 62. スズキ属?右後側頭骨 (SM 2 第VI-9層) | 63. プリ属尾椎 (SM 2 N1182) |
| 64. プリ属?左歯骨 (SM 2 N1082) | 65. プリ属?右歯骨 (SM 2 N1478) |
| 66. アジ科腹椎 (SM 2 N1337) | 67. アジ科尾椎 (SM 2 N1572) |
| 68. アジ科鱗 (SM 2 第VII-16層) | 69. クロダイ属左前上顎骨 (SM 2 N1184) |
| 70. クロダイ属右前上顎骨 (SM 2 N1013) | 71. クロダイ属右上上顎骨 (SM 2 N1187) |
| 72. クロダイ属左歯骨 (SM 2 N1188) | 73. クロダイ属右歯骨 (SM 2 N1189) |
| 74. クロダイ属左角骨 (SM 2 N1247) | 75. マダイ亜科右歯骨 (SM 2 N961) |
| 76. タイ科歯牙 (犬歯状) (SM 2 N1190) | 77. タイ科歯牙 (臼歯状) (SM 2 N1191) |
| 78. タイ科左方骨 (SM 2 N1075) | 79. タイ科腹椎 (SM 2 N1194) |
| 80. タイ科尾椎 (SM 2 N1195) | 81. シログチ属耳石 (SM 2 N1298) |
| 82. ハゼ科左前上顎骨 (SM 2 N1031) | 83. ハゼ科右前上顎骨 (SM 2 N1197) |
| 84. ハゼ科左上上顎骨 (SM 2 N1198) | 85. ハゼ科右上上顎骨 (SM 2 N1199) |
| 86. ハゼ科左歯骨 (SM 2 N1200) | 87. ハゼ科右歯骨 (SM 2 N1202) |
| 88. ハゼ科左角骨 (SM 2 第VII-9層) | 89. ハゼ科右角骨 (SM 2 第VII-17層) |
| 90. ハゼ科右方骨 (SM 2 第V-10層) | 91. ハゼ科右主鰓蓋骨 (SM 2 第V-10層) |
| 92. ハゼ科第1椎骨 (SM 2 N1202) | 93. ハゼ科腹椎 (SM 2 N1203) |
| 94. ハゼ科尾椎 (SM 2 N1205) | 95. サハ属腹椎 (SM 2 N1343) |
| 96. サハ属尾椎 (SM 2 N1453) | 97. ヒラメ第1椎骨 (SM 2 N1206) |
| 98. ヒラメ腹椎 (SM 2 第VI-12層) | 99. ヒラメ尾椎 (SM 2 N1207) |
| 100. カレイ科第1椎骨 (SM 2 N1208) | 101. カレイ科腹椎 (SM 2 N1209) |
| 102. カレイ科尾椎 (SM 2 N1210) | 103. 硬骨魚綱前鰓蓋骨 (SM 2 第VI-18層微細) |
| 104. 硬骨魚綱鱗 (SM 2 第VI-18層微細) | |

図版8 カエル類・ヘビ類・鳥類



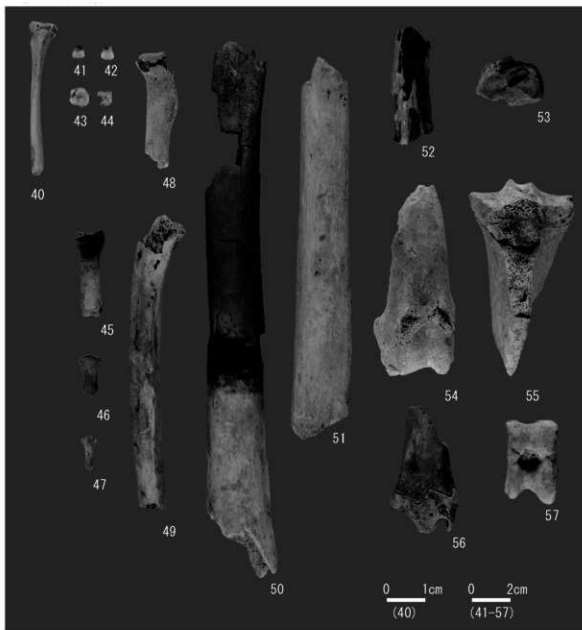
- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| 1. カエル類左上腕骨 (SM 2 N1220) | 2. カエル類右上腕骨 (SM 2 N1221) |
| 3. ヘビ類椎骨 (SM 2 N1223) | 4. スズメ目?左橈骨 (SM 2 N 6) |
| 5. スズメ目?左桡骨 (SM 2 N 5) | 6. スズメ目?左尺骨 (SM 2 N11) |
| 7. スズメ目?左手根中手骨 (SM 2 N 8) | 8. スズメ目右脛足根骨 (SM 2 N13) |
| 9. スズメ目?左足根中足骨 (SM 2 N12) | 10. カラス科左手根中手骨 (SM 2 N 3) |
| 11. カラス科右手根中手骨 (SM 2 N 4) | 12. キジ科左鳥口骨 (SM 2 N23) |
| 13. キジ科右鳥口骨 (SM 2 N37) | 14. キジ科左肩甲骨 (SM 2 N41) |
| 15. キジ科右肩甲骨 (SM 2 N34) | 16. キジ科左上腕骨 (SM 2 N21) |
| 17. キジ科左橈骨 (SM 2 N25) | 18. キジ科右橈骨 (SM 2 N29) |
| 19. キジ科右橈骨 (SM 2 N30) | 20. キジ科左尺骨 (SM 2 N35) |
| 21. キジ科右尺骨 (SM 2 N36) | 22. キジ科右手根中手骨 (SM 2 N20) |
| 23. キジ科右大腿骨 (SM 2 N44) | 24. キジ科右脛足根骨 (SM 2 N46) |
| 25. キジ科左足根中足骨 (SM 2 N45) | 26. キジ科?右上腕骨 (SM 2 N14) |
| 27. キジ科?左大腿骨 (SM 2 N17) | 28. キジ科?左脛足根骨 (SM 2 N18) |
| 29. クイナ科右手根中手骨 (SM 2 N49) | 30. クイナ科左手根中手骨 (SM 2 N50) |
| 31. カモ科右鳥口骨 (SM 2 N77) | 32. カモ科左肩甲骨 (SM 2 N60) |
| 33. カモ科右上腕骨 (SM 2 N88) | 34. カモ科左橈骨 (SM 2 N63) |
| 35. カモ科右橈骨 (SM 2 N65) | 36. カモ科左尺骨 (SM 2 N89) |
| 37. カモ科右尺骨 (SM 2 N90) | 38. カモ科左手根中手骨 (SM 2 N80) |
| 39. カモ科右手根中手骨 (SM 2 N91) | 40. カモ科右大腿骨 (SM 2 N69) |
| 41. カモ科左足根中足骨 (SM 2 N76) | 42. カモ科?左鳥口骨 (SM 2 N51) |
| 43. カモ科?右肩甲骨 (SM 2 N56) | 44. カモ科?左脛足根骨 (SM 2 N54) |
| 45. 鳥類椎骨 (SM 2 N197) | 46. 鳥類複合仙骨 (SM 2 N111) |
| 47. 鳥類大指基部骨 (SM 2 N161) | 48. 鳥類大指基部骨 (SM 2 N198) |
| 49. 鳥類末節骨 (SM 2 N145) | |

図版9 哺乳類(1)



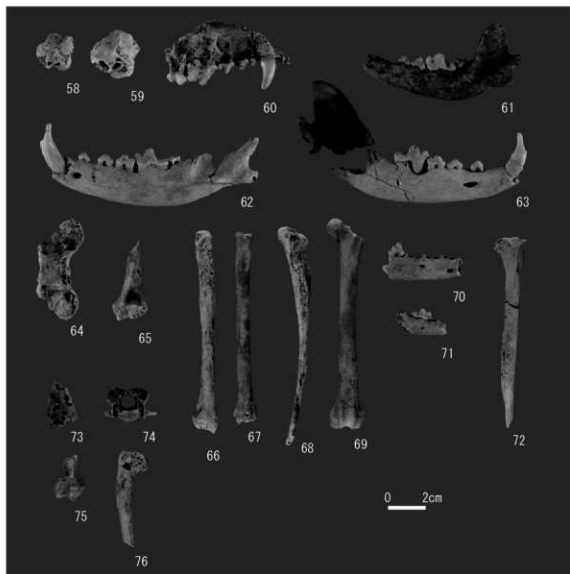
- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. モグラ亜科左下顎骨 (SM 2 N204) | 2. モグラ亜科右下顎骨 (SM 2 N205) |
| 3. モグラ科第1頸椎 (SM 2 N207) | 4. モグラ亜科右上腕骨 (SM 2 N206) |
| 5. モグラ科左踵骨 (SM 2 N208) | 6. ノウサギ左上顎第1門歯 (SM 2 N224) |
| 7. ノウサギ?右下顎骨 (HG 2 N1616) | 8. ノウサギ左下顎第1門歯 (SM 2 N223) |
| 9. ノウサギ右下顎第1門歯 (SM 2 N228) | 10. ノウサギ胸椎 (SM 2 N252) |
| 11. ノウサギ左肩甲骨 (SM 2 N257) | 12. ノウサギ右肩甲骨 (SM 2 N229) |
| 13. ノウサギ左上腕骨 (SM 2 N230) | 14. ノウサギ左橈骨 (SM 2 N250) |
| 15. ノウサギ右橈骨 (SM 2 N256) | 16. ノウサギ右尺骨 (SM 2 N251) |
| 17. ノウサギ左脛骨 (SM 2 N220) | 18. ノウサギ右脛骨 (SM 2 N246) |
| 19. ノウサギ左踵骨 (SM 2 N247) | 20. ノウサギ右踵骨 (SM 2 N253) |
| 21. ネズミ科左上顎第1門歯 (SM 2 N293) | 22. ネズミ科右上顎第1門歯 (SM 2 N278) |
| 23. ネズミ亜科?左下顎骨 (SM 2 N261) | 24. ネズミ亜科右下顎骨 (SM 2 N260) |
| 25. ネズミ科第2頸椎 (SM 2 N274) | 26. ネズミ科頸椎 (SM 2 N285) |
| 27. ネズミ科左肩甲骨 (SM 2 N271) | 28. ネズミ科右肩甲骨 (SM 2 N288) |
| 29. ネズミ科左上腕骨 (SM 2 N296) | 30. ネズミ科左尺骨 (SM 2 N281) |
| 31. ネズミ科左寛骨 (SM 2 N297) | 32. ネズミ科右寛骨 (SM 2 N298) |
| 33. ネズミ科左大腿骨 (SM 2 N283) | 34. ネズミ科右大腿骨 (SM 2 N289) |
| 35. ネズミ科左踵骨 (SM 2 N290) | 36. 哺乳綱部位不明破片 (SM 2 第VI-18層微細) |
| 37. 脊椎動物門部位不明破片 (SM 2 第VI-18層微細) | 38. 脊椎動物門部位不明破片 (SM 2 第VI-12層) |
| 39. 脊椎動物門部位不明破片 (SM 2 第VI-18層微細) | |

図版10 哺乳類(2)



40. イタチ?左脛骨(SM 2 N302)
 42. ヒト右上顎第1乳切歯(SM 2 N210)
 44. ヒト乳臼歯(SM 2 N212)
 46. ヒト?中節骨(SM 2 N213)
 48. ヒト右橈骨(SM 2 N215)
 50. ヒト左大腿骨(SM 2 N217)
 52. ニホンジカ角(SM 2 N567)
 54. ニホンジカ左大腿骨(SM 2 N564)

41. ヒト左上顎第1乳切歯(SM 2 N209)
 43. ヒト左上顎第1乳臼歯(SM 2 N211)
 45. ヒト基節骨(SM 2 N214)
 47. ヒト末節骨(SM 2 N219)
 49. ヒト右尺骨(SM 2 N216)
 51. ヒト右大腿骨(SM 2 N218)
 53. ニホンジカ右橈骨(SM 2 N565)
 55. ニホンジカ左脛骨(SM 2 N566)



58. ノイヌ左頭蓋骨(HG 3 N1637)
 60. ノイヌ右頭蓋骨(SM 2 N304)
 62. ノイヌ左下顎骨(SM 2 N309)
 64. ノイヌ第1頸椎(SM 2 N305)
 66. ノイヌ右橈骨(SM 2 N306)
 68. ノイヌ右尺骨(SM 2 N307)
 70. タヌキ右下顎骨(HG 3 N1636)
 72. タヌキ?右脛骨(SM 2 N315)
 74. イヌ科第4頸椎(SM 2 N336)
 76. イヌ科右大腿骨(SM 2 N328)

59. ノイヌ右頭蓋骨(HG 3 N1638)
 61. ノイヌ左下顎骨(SM 2 N311)
 63. ノイヌ右下顎骨(SM 2 N310)
 65. ノイヌ左上腕骨(SM 2 N308)
 67. ノイヌ右橈骨(SM 2 N312)
 69. ノイヌ左大腿骨(SM 2 N313)
 71. タヌキ?右下顎骨(SM 2 N314)
 73. イヌ科左頭蓋骨(SM 2 N327)
 75. イヌ科左上腕骨(SM 2 N337)

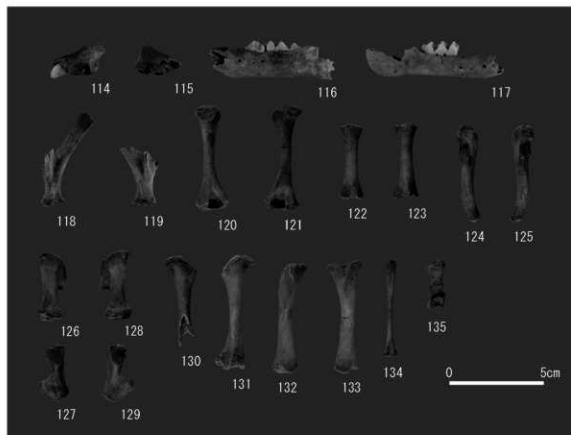
図版12 哺乳類(4)



77. イノシシ左頭蓋骨 (SM 2 N459)
 79. イノシシ左頭蓋骨 (HG 3 N1643)
 81. イノシシ右頭蓋骨 (HG 3 N1644)
 83. イノシシ左右下顎骨 (SM 2 N400)
 85. イノシシ左右下顎骨 (SM 2 N400)
 87. イノシシ腰椎 (HG 2 N1622)
 89. イノシシ右肩甲骨 (SM 2 N425)
 91. イノシシ左橈骨 (SM 2 N413)
 93. イノシシ左尺骨 (HG 2 N1623)
 95. イノシシ右第4中手骨 (SM 2 N417)
 97. イノシシ左第5中手骨 (SM 2 N540)
 99. イノシシ左大腿骨 (SM 2 N384)
 101. イノシシ左脛骨 (SM 2 N556)
 103. イノシシ左腓骨 (SM 2 N512)
 105. イノシシ右距骨 (SM 2 N535)
 107. イノシシ左中心足根骨 (SM 2 N530)
 109. イノシシ左第2中足骨 (SM 2 N420)
 111. イノシシ左第3中足骨 (SM 2 N532)
 113. イノシシ左第4中足骨 (SM 2 N533)

78. イノシシ左頭蓋骨 (SM 2 N551)
 80. イノシシ右頭蓋骨 (SM 2 N454)
 82. イノシシ右頭蓋骨 (SM 2 N542)
 84. イノシシ左右下顎骨 (SM 2 N400)
 86. イノシシ第1頸椎 (HG 3 N1655)
 88. イノシシ左肩甲骨 (SM 2 N426)
 90. イノシシ右上腕骨 (SM 2 N428)
 92. イノシシ右橈骨 (HG 3 N1654)
 94. イノシシ右第2中手骨 (SM 2 N415)
 96. イノシシ左第4中手骨 (SM 2 N549)
 98. イノシシ右寛骨 (SM 2 N503)
 100. イノシシ右大腿骨 (SM 2 N369)
 102. イノシシ右脛骨 (SM 2 N506)
 104. イノシシ左距骨 (SM 2 N419)
 106. イノシシ右踵骨 (SM 2 N550)
 108. イノシシ左第4足根骨 (SM 2 N529)
 110. イノシシ右第2中足骨 (SM 2 N557)
 112. イノシシ右第3中足骨 (SM 2 N531)

図版13 哺乳類(5)



114. イノシシ左頭蓋骨(SM 2 N451)
 116. イノシシ左下顎骨(SM 2 N464)
 118. イノシシ左肩甲骨(SM 2 N481)
 120. イノシシ左上腕骨(SM 2 N489)
 122. イノシシ左橈骨(SM 2 N491)
 124. イノシシ左尺骨(SM 2 N494)
 126. イノシシ左寛骨(SM 2 N499)
 128. イノシシ右寛骨(SM 2 N501)
 130. イノシシ左大腿骨(SM 2 N504)
 132. イノシシ左脛骨(SM 2 N507)
 134. イノシシ左踵骨(SM 2 N510)

115. イノシシ右頭蓋骨(SM 2 N452)
 117. イノシシ右下顎骨(SM 2 N467)
 119. イノシシ右肩甲骨(SM 2 N485)
 121. イノシシ右上腕骨(SM 2 N488)
 123. イノシシ右橈骨(SM 2 N493)
 125. イノシシ右尺骨(SM 2 N497)
 127. イノシシ左寛骨(SM 2 N500)
 129. イノシシ右寛骨(SM 2 N502)
 131. イノシシ右大腿骨(SM 2 N505)
 133. イノシシ右脛骨(SM 2 N508)
 135. イノシシ左踵骨(SM 2 N513)

印刷仕様

編集	OS	Microsoft Windows 10 Home Premium ServicePack1
編集		Adobe InDesign CS5
図版作成		Adobe Illustrator CS5
写真調整		Adobe Photoshop CC
Scanning		6×7 film EPSON GT-X980
図面類		RICOH imagio MP W4001
使用Font	OpenType	リュウミンPro・L、太ゴB101Pro、中ゴB101
写真	線数	モノクロ175線以上 カラー210線以上
印刷		印刷所へは、Adobe InDesign CS5でレイアウトして入稿

茨城県教育財団文化財調査報告第434集

東田中遺跡2 (上巻)

一般国道6号千代田石岡バイパス
(かすみがうら市市川～石岡市東大橋)
建設事業地内埋蔵文化財調査報告書10

平成31(2019)年 3月15日 印刷

平成31(2019)年 3月18日 発行

発行 公益財団法人茨城県教育財団

〒310-0911 水戸市見和1丁目356番地の2
茨城県水戸生涯学習センター分館内

TEL 029-225-6587

H P <http://www.ibaraki-maibun.org>

印刷 いばらき印刷株式会社

〒319-1112 那珂郡東海村村松字平原3115-3

TEL 029-282-0370

